

船ヶ谷遺跡 4次調査Ⅱ 福音小学校構内遺跡Ⅲ

2003

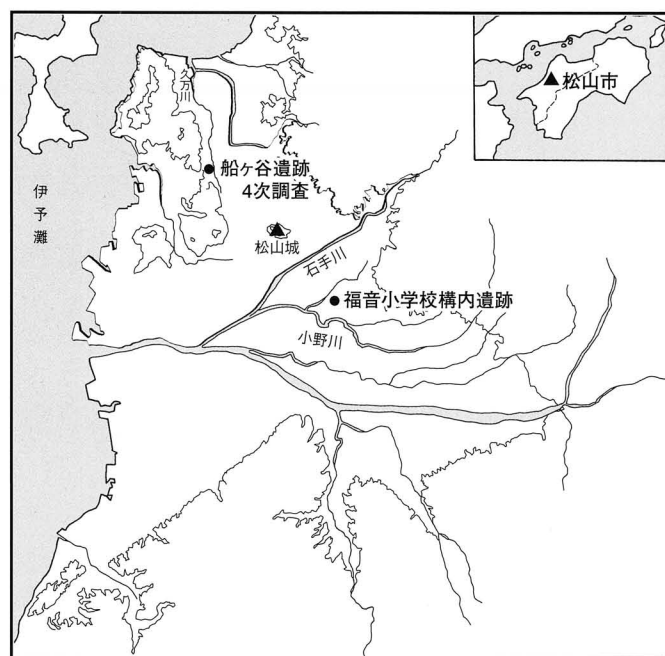
松山市教育委員会
財団法人松山市生涯学習振興財団
埋蔵文化財センター

ふな が たに

船ヶ谷遺跡 4次調査Ⅱ

ふく おんしょうがっ こう こう ない

福音小学校構内遺跡Ⅲ



2003

松山市教育委員会
財団法人松山市生涯学習振興財団
埋蔵文化財センター



1. 船ヶ谷遺跡 4 次調査出土陶質土器



2. 大韓民國咸安道項里 3・8 号墳出土



3. 大韓民國咸安道項里 1 0 号墳出土



4. 小野周辺出土陶質土器（長頸壺）・吉海町（伝）東條古墳出土・朝倉村樹之本古墳出土



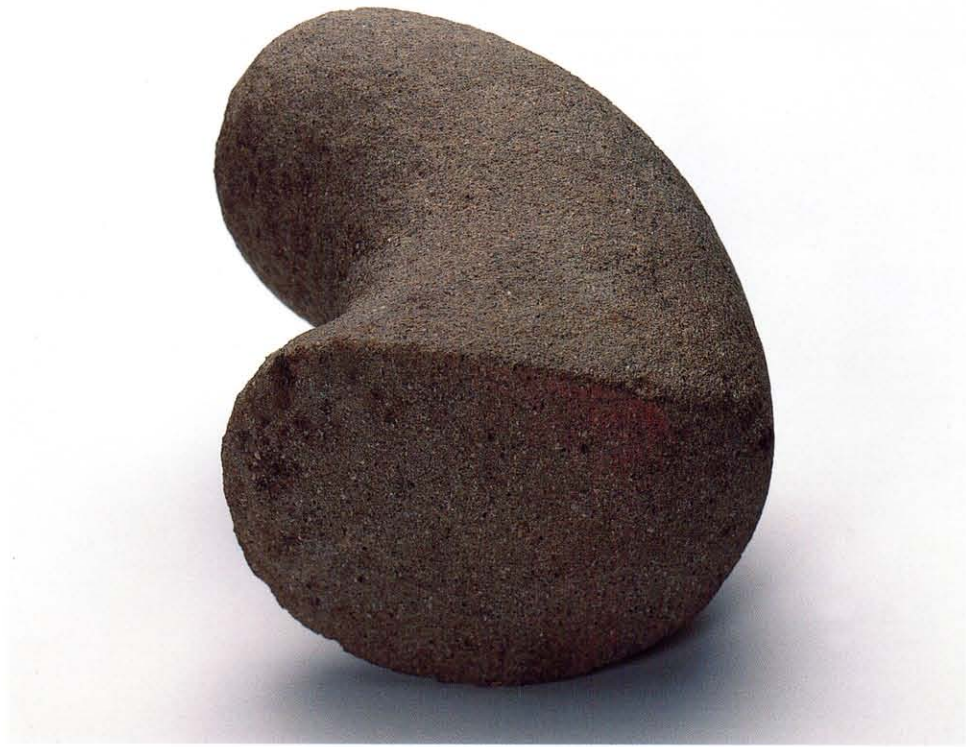
5. 大韓民國高靈池山洞 4 4 号墳出土



6. 福音小学校構内遺跡出土石製子持ち勾玉・勾玉



7. 福音小学校構内遺跡出土石製紡錘車



8. 福音小学校構内遺跡出土石製品 上:石杵(磨面に朱付着)、下:磨石(朱付着)、棒状石製品

例 言

1. 本書は、松山市文化財調査報告書第88集『船ヶ谷遺跡－4次調査－遺構・遺物編』に続く『船ヶ谷遺跡4次調査Ⅱ－分析・観察表・写真図版－』と、松山市文化財調査報告書第91集『福音小学校構内遺跡Ⅱ－遺構・遺物－』に続く『福音小学校構内遺跡Ⅲ－写真図版－』を収録している。
2. 写真撮影は調査担当者と大西朋子が行った。遺物撮影と図版作成は、担当者と協議の上大西が行った。
3. 本書報告の遺物の実測図は、須恵器を1/4とし、縮分値をスケール下に注記した。
4. 遺物の実測・製図は高尾和長、田崎真理、中村紫、宮内真弓、金子育代、高尾久子が行った。
5. 遺物観察表に掲載した1806～2484の石製品は写真掲載にとどめ、『船ヶ谷遺跡－4次調査－遺構・遺物編』には、実測図は掲載していない。
6. 巻頭図版に掲載した2・3・5は、大韓民國国立金海博物館から提供を受けたものである。その他は、財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター、吉海町立郷土文化センターの承諾を得て、大西が撮影したものである。
7. 自然化学分析Ⅱでは、船ヶ谷遺跡4次調査地出土須恵器の産地をより明確にすることを目的とし、市場南組窯、出作遺跡、伊予市太郎丸遺跡、土壇原遺跡、北井門遺跡、高橋湯ノ窪遺跡3次調査、旗立C遺跡、東野お茶屋台遺跡、北久米浄蓮寺遺跡出土の市場系土器を大谷女子大学三辻利一先生に蛍光X線分析を依頼し玉稿をいただいた。記して感謝申し上げます。また、分析に際しては長井数秋氏、松前町教育委員会、伊予市教育委員会、愛媛県教育委員会、財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター、今治市教育委員会と関係者には快く資料を提供していただきました。心より感謝申し上げます。
8. 鉄製品の分析とX線写真撮影では、船ヶ谷遺跡4次調査出土品は（財）元興寺文化財研究所に業務委託し、福音小学校構内遺跡出土品は愛媛大学村上恭通先生、田中謙氏に指導・協力を賜った。記して感謝申し上げます。
9. 本書の編集は高尾が行い、武正良浩の協力を得た。
10. 本書で報告した遺物・記録類は松山市立埋蔵文化財センターで保管している。

本文目次

船ヶ谷遺跡4次調査	高尾
1. 自然科学分析Ⅱ	三辻利 3
2. 遺物観察表	29
3. 写真図版	
福音小学校構内遺跡	武正
1. 写真図版	

挿図目次

第1図	市場南組窯跡出土須恵器の両分布図	8
第2図	陶邑群と市場群の相互識別（K、Ca、Rb、Sr因子使用）	9
第3図	船ヶ谷遺跡4次調査出土須恵器の両分布図	10
第4図	船ヶ谷遺跡4次調査出土須恵器の産地推定	11
第5図	伽耶群と市場群の判別図	12
第6図	船ヶ谷遺跡4次調査出土硬質土器の産地推定	13
第7図	出作遺跡出土須恵器の産地推定	14
第8図	出作遺跡出土硬質土器の産地推定	15
第9図	伊予市太郎丸遺跡出土須恵器の産地推定	16
第10図	土壇原遺跡出土須恵器の産地推定	17
第11図	高橋湯ノ窪遺跡3次調査出土須恵器の産地推定	18
第12図	北井門遺跡出土須恵器の産地推定	19
第13図	東野お茶屋台遺跡、旗立C遺跡、北久米浄蓮寺遺跡出土須恵器の産地推定	20
第14図	蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図（1）	21
第15図	蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図（2）	22
第16図	蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図（3）	23
第17図	蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図（4）	24
第18図	蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図（5）	25
第19図	蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図（6）	26
第20図	蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図（7）	27

表目次

表1	分析結果一覧表	6
表2	分析資料・遺跡器種別一覧表	28
表3	SR1③層出土遺物観察表（土製品）	29
表4	SR1③層出土遺物観察表（石製品）	35

表5	SR1②層G6·7区出土遺物觀察表（土製品）	36
表6	SR1②層G6·7区出土遺物觀察表（装身具）	39
表7	SR1②層出土遺物觀察表（土製品）	39
表8	SR1②層出土遺物觀察表（石製品）	68
表9	SR1②層出土遺物觀察表（装身具）	70
表10	SR1②層出土遺物觀察表（木製品）	70
表11	SR1②層出土遺物觀察表（金属製品）	70
表12	SR1①層出土遺物觀察表（土製品）	70
表13	SR1①層出土遺物觀察表（石製品）	75
表14	SK1出土遺物觀察表（土製品）	75
表15	SK10出土遺物觀察表（土製品）	75
表16	SR1-SD1出土遺物觀察表（土製品）	75
表17	SR1-SD3出土遺物觀察表（土製品）	75
表18	SK11出土遺物觀察表（土製品）	76
表19	SR1-SD2出土遺物觀察表（土製品）	76
表20	SK9出土遺物觀察表（土製品）	76
表21	SK4出土遺物觀察表（土製品）	76
表22	SK4出土遺物觀察表（石製品）	77
表23	SK18出土遺物觀察表（土製品）	77
表24	SK7出土遺物觀察表（土製品）	77
表25	SK7出土遺物觀察表（石製品）	77
表26	SK7出土遺物觀察表（木製品）	77
表27	SK15出土遺物觀察表（土製品）	77
表28	SK13出土遺物觀察表（土製品）	78
表29	SK13出土遺物觀察表（石製品）	81
表30	SK13出土遺物觀察表（木製品）	81
表31	SK19出土遺物觀察表（土製品）	81
表32	SK20出土遺物觀察表（土製品）	81
表33	SK21出土遺物觀察表（土製品）	82
表34	SK6出土遺物觀察表（土製品）	82
表35	SK8出土遺物觀察表（土製品）	82
表36	SK8出土遺物觀察表（石製品）	83
表37	SK14出土遺物觀察表（土製品）	83
表38	SK14出土遺物觀察表（木製品）	84
表39	SK22出土遺物觀察表（土製品）	84
表40	SK22出土遺物觀察表（土製品）	84
表41	SK16出土遺物觀察表（土製品）	84
表42	SK23出土遺物觀察表（土製品）	84

表43	掘立3出土遺物観察表（土製品）	85
表44	掘立5出土遺物観察表（土製品）	85
表45	SK24出土遺物観察表（土製品）	85
表46	SK24出土遺物観察表（装身具）	86
表47	SK24出土遺物観察表（土製品）	87
表48	SK24出土遺物観察表（装身具）	88
表49	SK24出土遺物観察表（石製品）	89
表50	SK24出土遺物観察表（木製品）	89
表51	SK2出土遺物観察表（土製品）	89
表52	SK2出土遺物観察表（石製品）	90
表53	杭列出土遺物観察表（木製品）	90
表54	掘立1出土遺物観察表（土製品）	90
表55	掘立1出土遺物観察表（木製品）	91
表56	掘立2出土遺物観察表（土製品）	91
表57	掘立4出土遺物観察表（土製品）	92
表58	SB1出土遺物観察表（土製品）	92
表59	SK25出土遺物観察表（土製品）	92
表60	SK26出土遺物観察表（土製品）	92
表61	SD2出土遺物観察表（土製品）	92
表62	SD2出土遺物観察表（金属製品）	93
表63	SA1出土遺物観察表（土製品）	93
表64	SX2出土遺物観察表（土製品）	93
表65	第Ⅶ層出土遺物観察表（土製品）	93
表66	第Ⅶ層出土遺物観察表（金属製品）	96
表67	第Ⅶ層出土遺物観察表（石製品）	96
表68	出土地点不明出土遺物観察表（土製品）	97
表69	出土地点不明出土遺物観察表（装身具）	97
表70	出土地点不明出土遺物観察表（土製品）	97
表71	出土地点不明出土遺物観察表（石製品）	98
表72	SR1②層出土遺物観察表（石製品）（スクレイパー・刃器・剥片）	99
表73	SR1②層出土遺物観察表（石製品）（敲石・磨石）	100
表74	SR1②層出土遺物観察表（石製品）（砥石・台石・残核・石核・未成品・原石・不明品）	106
表75	SR1①層出土遺物観察表（石製品）（スクレイパー・剥片）	109
表76	SR1①層出土遺物観察表（石製品）（敲石・磨石）	109
表77	SR1①層出土遺物観察表（石製品）（砥石・台石・残核・礫・原石）	110
表78	第Ⅶ層出土遺物観察表（石製品）（スクレイパー・剥片）	110
表79	第Ⅶ層出土遺物観察表（石製品）（敲石・磨石）	111
表80	第Ⅶ層出土遺物観察表（石製品）（砥石・台石・残核・石核・礫・未成品・原石・不明品）	113

表81	第Ⅵ層出土遺物観察表（石製品）（剥片）	114
表82	第Ⅵ層出土遺物観察表（石製品）（敲石）	114
表83	第Ⅵ層出土遺物観察表（石製品）（台石・原石）	114
表84	出土地点不明出土遺物観察表（石製品）（スクレイパー・剥片）	115
表85	出土地点不明出土遺物観察表（石製品）（敲石・磨石）	115
表86	出土地点不明出土遺物観察表（石製品）（砥石・台石・残核・未成品・原石・不明品）	116

写真図版目次

船ヶ谷遺跡4次調査

卷頭図版1.	船ヶ谷遺跡4次調査出土陶質土器	図版19	1. SR1②層出土遺物(11)
	2. 大韓民國咸安道項里3・8号墳出土	図版20	1. SR1②層出土遺物(12)
	3. 大韓民國咸安道項里10号墳出土	図版21	1. SR1②層出土遺物(13)
	4. 小野周辺出土陶質土器(長頸壺)・吉海町(伝)東條古墳出土・朝倉村木之元古墳出土	図版22	1. SR1②層出土遺物(14)
	5. 大韓民國高靈池山洞44号墳出土	図版23	1. SR1①層出土遺物
	6. 福音小学校構内遺跡出土石製子持ち勾玉・勾玉	図版24	1. SK1・SK10・SK9出土遺物
	7. 福音小学校構内遺跡出土石製紡錘車	図版25	1. SK7出土遺物
	8. 福音小学校構内遺跡出土石製品上:石杵(磨面に朱付着) 下:磨石(朱付着)、棒状石製品	図版26	1. SK13出土遺物
図版1	1. SR1③層出土遺物(1)	図版27	1. SK6・SK14出土遺物(1)
図版2	1. SR1③層出土遺物(2)	図版28	1. SK14(2)・SK22出土遺物
図版3	1. SR1③層出土遺物(3)	図版29	1. SK24出土遺物
図版4	1. SR1③層出土遺物(4)	図版30	1. SK2出土遺物
図版5	1. SR1②層G6・7区出土遺物(1)	図版31	1. 掘立1・SD2・SX2・第Ⅶ層(1)出土遺物
図版6	1. SR1②層G6・7区出土遺物(2)	図版32	1. 第Ⅶ層出土遺物(2)
図版7	1. SR1②層出土遺物(1)	図版33	1. 第Ⅶ層(3)・出土地点不明出土遺物
図版8	1. SR1②層出土遺物(2)	図版34	1. SR1②層出土遺物石製品(1)
図版9	1. SR1②層出土遺物(3)	図版35	1. SR1②層出土遺物石製品(2)
図版10	1. 出土遺物甲冑	図版36	1. SR1②層出土遺物石製品(3)
図版11	1. 出土遺物盾・鏡 2. 出土遺物ミニチュア土器	図版37	1. SR1②層出土遺物石製品(4)
図版12	1. SR1②層出土遺物(4)	図版38	1. SR1②層出土遺物石製品(5)
図版13	1. SR1②層出土遺物(5)	図版39	1. SR1①層出土遺物石製品
図版14	1. SR1②層出土遺物(6)	図版40	1. 第Ⅶ層出土遺物石製品(1)
図版15	1. SR1②層出土遺物(7)	図版41	1. 第Ⅶ層出土遺物石製品(2)
図版16	1. SR1②層出土遺物(8)	図版42	1. 第Ⅶ層(3)・第Ⅵ層出土遺物石製品
図版17	1. SR1②層出土遺物(9)	図版43	1. 出土地点不明出土遺物石製品(1)
図版18	1. SR1②層出土遺物(10)	図版44	1. 出土地点不明出土遺物石製品(2)

福音小学校構内遺跡

- 図版45 1. S B125 (南西より)
2. S B126 (北より)
3. S B163 (東より)
- 図版46 1. S B7 (南東より)
2. S B10 (西より)
3. S B18 (北より)
- 図版47 1. S B33 (南より)
2. S B39 (北東より)
3. S B52 (南東より)
- 図版48 1. S B62 (西より)
2. S B81 (南より)
3. S B82 (南より)
- 図版49 1. S B82 竈内遺物出土状況(南より)
2. S B93 竈内遺物出土状況(北より)
3. S B94 (南東より)
- 図版50 1. S B97 竈内遺物出土状況(東より)
2. S B102 (西より)
3. S B103 (北西より)
- 図版51 1. S B107 (西より)
2. S B108 (西より)
3. S B137 (南東より)
- 図版52 1. S B131・132(北東より)
2. S B3 (西より)
3. S B1 (北西より)
- 図版53 1. S B5 (南西より)
2. S B13 (南東より)
3. S B14 (南より)
- 図版54 1. S B16 (南東より)
2. S B17 (北東より)
3. S B26 (東より)
- 図版55 1. S B46 (西より)
2. S B46 竈内遺物出土状況(東より)
3. S B49 (南東より)
- 図版56 1. S B57 (北東より)
2. S B70 (東より)
3. S B71 (南より)

- 図版57 1. S B 85 (西より)
2. S B 98 (東より)
3. S B 98 竈 (南より)
- 図版58 1. S B113 竈内遺物出土状況 (北より)
2. S B127 竈内遺物出土状況 (南より)
3. S B128 (北より)
- 図版59 1. S B128 竈内遺物出土状況 (南東より)
2. S B19 (北より)
3. S B19 竈 (南より)
- 図版60 1. S B138 (北より)
2. S B4 (西より)
3. S B11 (東より)
- 図版61 1. S B80 (南東より)
2. S B101 (南西より)
3. S B129 (北より)
- 図版62 1. S B164・165 (南東より)
2. 掘立5 (西より)
3. 掘立10 (南より)
- 図版63 1. 掘立13 (東より)
2. 掘立20 (北西より)
3. 掘立43 (南より)
- 図版64 1. 掘立64 (北西より)
2. 掘立72 (西より)
3. 掘立81 (東より)
- 図版65 1. 掘立82 (東より)
2. 掘立83 (南より)
3. S K71 遺物 (No.936) 出土状況 (北東より)
- 図版66 1. S K73 遺物 (No.588~591) 出土状況 (北西より)
2. S K80 遺物 (No.938) 出土状況 (北東より)
3. S K133 遺物 (No.593・594) 出土状況 (北より)
- 図版67 1. S K209 遺物出土状況 (北より)
2. S K226 遺物出土状況 (東より)
3. S D1 (西より)
- 図版68 1. S D91 (南西より)
2. S X [波板状凹凸遺構] (西より)
3. S X [波板状凹凸遺構] (北より)

- 図版69 1. S X [波板状凹凸遺構] (東より) 2. S X 533 (南より) 3. S X 534 (北より)
 図版70 1. S E 1遺物出土状況 (北東より) 2. S P 4419 遺物 (No.855) 出土状況 (東より) 3. 5区土器溜り遺物 (No.958) 出土状況
 図版71 1. S B 1、S B 3出土遺物
 図版72 1. S B 5、S B 10出土遺物
 図版73 1. S B 7、S B 8出土遺物
 図版74 1. S B 16、S B 17出土遺物
 図版75 1. S B 18、S B 24、S B 26出土遺物
 図版76 1. S B 19、S B 39出土遺物
 図版77 1. S B 46、S B 47、S B 49出土遺物
 図版78 1. S B 62出土遺物
 図版79 1. S B 65、S B 71、S B 73、S B 80出土遺物
 図版80 1. S B 81、S B 82、S B 83出土遺物
 図版81 1. S B 85、S B 93、S B 94出土遺物
 図版82 1. S B 95、S B 98出土遺物
 図版83 1. S B 97、S B 102出土遺物
 図版84 1. S B 107、S B 109出土遺物
 図版85 1. S B 113、S B 121、S B 127、S B 128出土遺物
 図版86 1. S B 125出土遺物①
 図版87 1. S B 125② S B 131・132、S B 137、S B 163出土遺物
 図版88 1. S K 182、S K 209、S K 226出土遺物
 図版89 1. S K 133、S D 30・31出土遺物
 図版90 1. S D 3出土遺物
 図版91 1. 波板状凹凸遺構出土遺物
 図版92 1. S X 533出土遺物①
 図版93 1. S X 533②、S X 535出土遺物
 図版94 1. S X 534出土遺物
 図版95 1. S E 2出土遺物①
 図版96 1. S E 2出土遺物②
 図版97 1. S P (1区)、S P (2区) ①出土遺物
 図版98 1. S P (2区) ②、S P (3・5区) 出土遺物
 図版99 1. グリッド表採出土遺物①
 図版100 1. グリッド表採出土遺物②
 図版101 1. 出土遺物石器
 図版102 1. S B 内出土遺物鉄器①
 図版103 1. S B 内出土遺物鉄器②
 図版104 1. S K 内出土遺物鉄器
 図版105 1. S D・S P・S X 内出土遺物鉄器
 図版106 1. 出土遺物鉄器、筋違B遺跡出土遺物 (977)

船ヶ谷遺跡4次調査

1 自然科学分析Ⅱ

2 遺物観察表

3 写真図版

船ヶ谷遺跡4次調査出土初期須恵器の蛍光X線分析

大谷女子大学 三 辻 利 一

1) はじめに

船ヶ谷遺跡は考古学的形式観察から朝鮮半島産と推定される硬質土器が多数出土していることで注目されてきた。本報告では第4次調査で出土した須恵器を主体に蛍光X線分析を行った。また、朝鮮半島からの搬入品かどうかを調べる場合には、必ず、地元窯の製品や陶邑産の須恵器の化学特性と比較することが必要である。地元、市場南組窯出土須恵器の蛍光X線分析も行った。さらに、地元、市場南組窯の製品の伝播を知るため、松山市周辺の遺跡出土初期須恵器の分析も併せて行ったので報告する。

2) 分析法

分析資料はすべて松山市埋蔵文化財センターから提供された。試料片はまず、小型研磨機で表面を研磨して灰釉などの付着物を除去した。素材粘土の化学特性（化学的指紋）は土器胎土の本体部分に表示されていることは全国各地の窯跡出土須恵器の蛍光X線分析によって明らかにされた。窯内で強い火力を直接受ける土器表面には灰釉などの不純物が付着しているため除去することが必要である。次に、胎土片はタングステンカーバイド製の乳鉢で100メッシュ以下に粉碎して均質化をはかり（完全には均質化しないが）、塩化ビニル製のリングを枠にして高圧をかけてプレスし、内径20mm、厚さ5mmの錠剤試料を作成した。蛍光X線分析は相対分析であり、標準試料を含めてすべての試料は一定形状をもつことが必要だからである。これらの錠剤試料（標準試料を含めて50試料）は自動試料交換機に並べられ、蛍光X線分析を行った。分析装置は理学電機製、波長分散型3270機である。X線管球の使用条件は50KV、50mAである。この条件下でRbとSrのK α 線は十分励起できる。近年、蛍光X線分析装置は多方面に活用されており、そのため、Rb、Srの蛍光X線に十分励起できない装置も市販されていることに注意を要する。

標準試料には岩石標準試料JG-1を使用した。須恵器のマトリックスはJG-1に最も近いからである。分析試料に最も近いマトリックスをもつ試料が標準試料として選択されることは蛍光X線分析の常識である。試料の測定された蛍光X線強度を標準試料の蛍光X線強度で割った値を使ってデータ解析を行った。この値をJG-1による標準化値という。標準化値は単位のない量である。この値に地質調査所から報告されている標準試料の分析値を乗ずれば、%やppmの分析値が得られる。地域差（各地の土器の指紋）を求める研究ではこの標準化値で十分である。むしろ、万を越える大量の試料の分析処理が必要なこの研究では標準化値を使用するほうがずっと便利である。

K、Ca、Fe、Rb、Sr、Naの6元素が測定された。分析データは通常、数値のままでは理解し難いのでグラフ化される。K-Ca、Rb-Srの両分布図と判別図に表示され、データ解析が行われた。

3) 分析結果

分析データは表1にまとめられている。全分析値はJG-1による標準化値であり、 $D^2(X)$ は母集団(X)の重心からのマハラノビスの汎距離の二乗値である。

まずはじめに、地元、市場南組窯の須恵器の両分布図を図1に示す。すべての試料を包含するようにして市場領域を描いた。また比較のために、対照領域として陶邑領域も描いてある。Rb-Sr図では市場領域は陶邑領域に完全に包含されるものの、K-Ca図ではずれがあることが分かる。そこで、市場群と陶邑群の相互識別を試みた。図2には判別図を示す。 D^2 (市場)、 D^2 (陶邑) はそれぞれ、市場群、陶邑群の重心からのマハラノビスの汎距離の二乗値であり、K、Ca、Rb、Srの分析値を使って計算された。両群の全試料について D^2 (市場)、 D^2 (陶邑) を計算し、その結果をプロットしたものが図2である。ここで、ホテリングの T^2 式にしたがって、5%の危険率をかけた T^2 検定に合格する条件をF分布表より読みとると、 $D^2(X) < 10$ が得られる。この結果、 D^2 (市場) = 10、 D^2 (陶邑) = 10のところ線に引いてある。両群の試料の殆どがそれぞれ、 D^2 (市場) < 10、 D^2 (陶邑) < 10の領域に分布することが分かる。 $D^2(X) < 10$ が(X)群に帰属するための必要条件である。しかし、この条件を満たす領域の一部にしか、各母集団の試料は分布しない。それぞれ、広々とした空白の空間が残っている。この図を使って産地を推定する場合に、この空白空間は無用である。除去するほうがよい。そこで、互いに、相手群からの D^2 値を使って空白空間を除去することにした。その結果、得られたのが図2に示す市場領域、陶邑領域である。もし、松山市周辺の遺跡出土の初期須恵器の中に地元産のものがあれば、市場領域に分布するはずであるし、陶邑からの搬入品があれば、陶邑領域に分布するはずである。そして、それ以外の生産地の製品が混ざっておれば、不明領域に分布することになる。そこで、今回分析した船ヶ谷遺跡4次調査出土の初期須恵器の両分布図を図3に示す。殆どのものが市場領域と陶邑領域に分布しており、地元産の須恵器と陶邑からの搬入品が混ざっていることがわかる。しかし、これだけではどちらの産地の製品か判然としないので、ここで判別分析を行った。その判別図は図4に示す。不明領域に2点が分布するものの、市場領域に3点、陶邑領域に7点分布することがわかる。どの試料が市場産で、どの試料が陶邑産かは表1の最右欄の D^2 値を比較してもらえばよくわかる。一応、 $D^2(X) < 10$ をもって、(X)母集団への帰属条件とした。不明となった2点の試料は D^2 (伽耶) < 10も満足しないので、伽耶産でもない。目下のところ、不明としておかざるをえない。ついでに、前回分析した船ヶ谷遺跡4次調査出土試料の産地を調べてみた。朝鮮半島産の可能性を探るため、市場群と伽耶群間の判別図を図5に示しておく。両者は完全に分離しており、相互識別は十分可能であることがわかる。この図上でもし、伽耶領域に分布する試料が多数あれば、朝鮮半島からの搬入品であるということになる。図6にはその結果を示す。7点の試料が市場領域に分布するのに対して、15点近い試料が伽耶領域に分布しており、考古学的な形式観察から予想されたように、朝鮮半島からの多数の搬入品があることが確かめられることになる。個々の試料の産地推定の結果は表1を参照されたい。市場産と推定されたものが7点、陶邑産と推定されたものが20点、朝鮮半島からの搬入品と推定されたものが13点、そして、No.6、7、11、13、14、19、27、29、31、32、35、42、53の13点の試料が産地不明となった。予想されたように、船ヶ谷遺跡からは多数の朝鮮半島からの搬入品が検出された。

同様に、出作遺跡出土初期須恵器の産地を検討した。市場群と陶邑群間の判別図を図7に示す。12点の試料が市場領域に、9点の試料が陶邑領域に分布した。不明領域に分布したのは4点に過ぎなかった。また、朝鮮半島からの搬入品の有無をみるため、市場群と伽耶群間の判別図を図8に示す。朝鮮半島からの搬入品がないことがわかる。個々の試料の産地は表1に記載してある。

自然科学分析Ⅱ

伊予市の太郎丸遺跡の須恵器の産地推定の結果は図9の判別図に示してある。表1より、陶邑産が4点、市場産が2点、朝鮮半島からの搬入品と推定されたものが1点あった。No.59は不定としておいた。

土壇原遺跡出土須恵器の判別図は図10に示す。地元産が多くなり、市場産と推定されたものが8点、陶邑からの搬入品と推定されたものが2点、不明品は2点であった。朝鮮半島からの搬入品は検出されなかった。

高橋湯ノ窪遺跡の須恵器の判別図は図11に示す。4点とも地元、市場産と推定された。

北井門遺跡出土の須恵器の判別図は図12に示されている。4点が地元、市場産、3点が陶邑からの搬入品と推定された。No.78は産地不明となった。ここでも朝鮮半島からの搬入品は検出されなかった。

他の遺跡（東野お茶屋台遺跡、旗立C遺跡、北久米浄蓮寺遺跡）の須恵器の判別図は一括して図13に示してある。いずれも、陶邑からの搬入品と推定された。地元、市場産の製品が検出されなかったことが注目される。

以上みてきたように、地元、市場産の製品は松山市を中心にある程度、伝播していることがわかったが、同時に、陶邑産の須恵器が殆どの遺跡から出土していることも明らかになった。この結果は陶邑産の須恵器は北は岩手県南部から南は鹿児島県に至るまで、全国各地の遺跡から出土しているという蛍光X線分析のデータからみても、十分理解できる。これに対して、朝鮮半島からの搬入品は船ヶ谷遺跡4次調査地に集中しており、この点でも、この遺跡は特異的であることが実証された訳である。

船ヶ谷遺跡4次調査

表1 分析結果一覧表

(1)

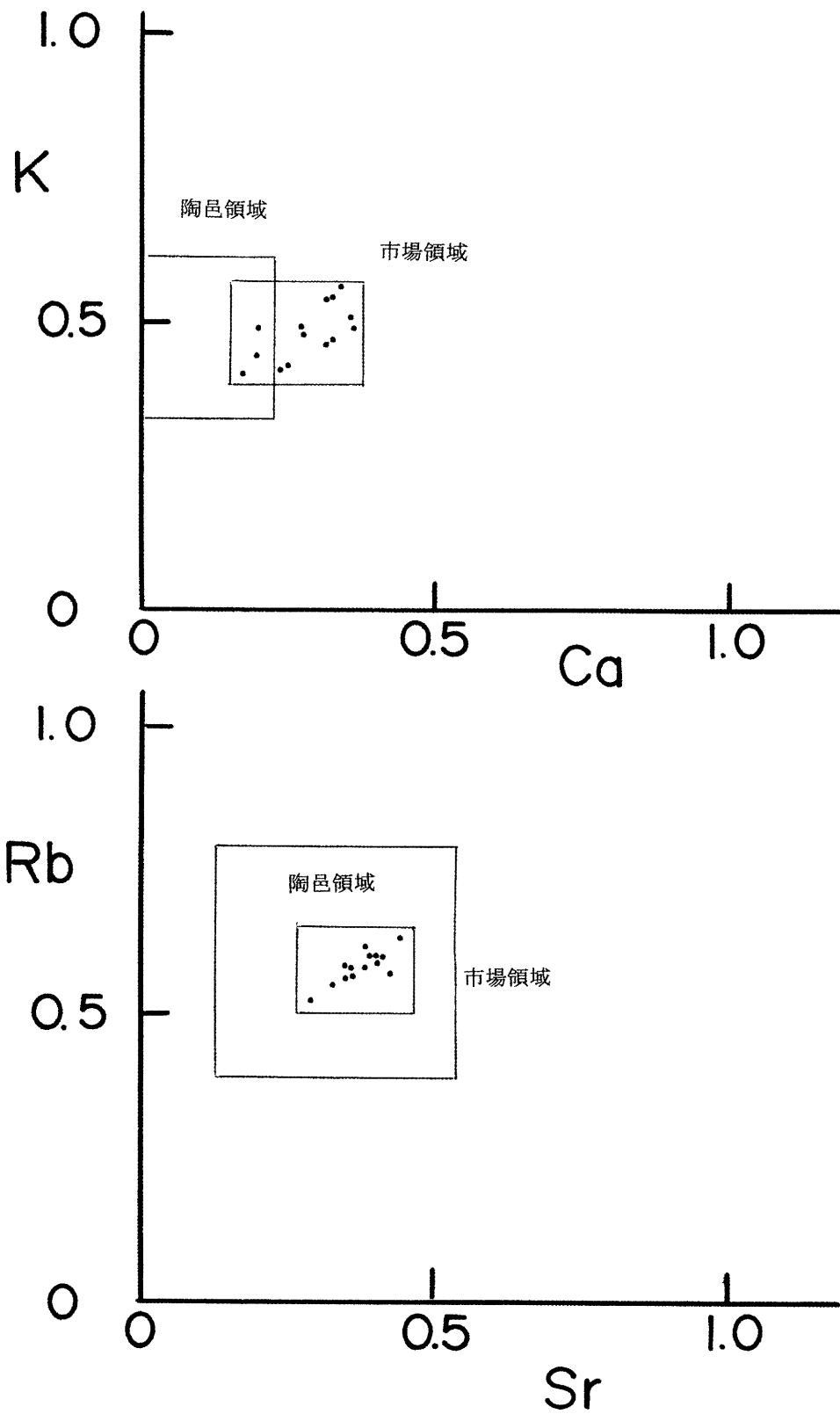
遺跡名	報告書番号	試料番号	器種		K	Ca	Fe	Rb	Sr	Na	D ² (陶邑)	D ² (市場)	D ² (伽耶)	産地推定		
市場南組窯跡		No 13	器台		0.512	0.361	2.12	0.626	0.451	0.386	55.2	3.1	21.3			
		14	〃		0.478	0.365	2.45	0.604	0.409	0.337	68.7	4.0	31.3			
		15	カメ		0.436	0.198	2.37	0.584	0.356	0.266	8.4	4.3	11.1			
		17	ツボ		0.462	0.318	2.38	0.600	0.414	0.320	41.3	2.4	21.2			
		18	高塚		0.544	0.326	2.28	0.573	0.430	0.376	42.9	7.0	18.8			
		19	〃		0.559	0.341	2.31	0.601	0.423	0.314	53.1	3.1	20.6			
		20	〃		0.539	0.327	2.32	0.576	0.391	0.331	53.0	3.7	23.7			
		21	ツボ		0.422	0.238	3.05	0.549	0.329	0.252	23.3	3.2	20.6			
		22	〃	(頸部)		0.472	0.325	2.49	0.596	0.407	0.315	46.0	1.2	22.3		
		23	〃		0.428	0.246	2.82	0.572	0.365	0.259	20.8	1.9	17.3			
		24	器台		0.483	0.280	2.29	0.617	0.391	0.303	28.5	4.8	13.8			
		25	カメ		0.493	0.204	2.48	0.564	0.361	0.333	8.8	4.5	7.3			
		26	〃		0.408	0.167	2.79	0.522	0.294	0.222	7.8	5.3	16.0			
27	〃		0.494	0.275	2.74	0.577	0.356	0.292	33.4	3.5	17.4					
船ヶ谷遺跡4次調査	487	No 1	灰	フタ	0.294	0.038	2.50	0.464	0.181	0.066	6.8	25.0	33.0	陶邑		
分析資料Ⅱ		519	2	〃	身	0.343	0.046	1.79	0.504	0.222	0.165	4.1	15.1	22.9	〃	
		553	3	高塚		0.320	0.020	2.90	0.461	0.150	0.050	4.8	33.4	30.0	〃	
		595	4	〃	脚部	0.425	0.107	4.05	0.406	0.338	0.131	4.4	139	12.7	〃	
		596	5	〃		0.386	0.118	2.42	0.611	0.314	0.134	4.0	27.9	18.4	〃	
		653	6	ツボ		0.480	0.204	1.89	0.742	0.403	0.326	8.9	123	12.4	〃	
		696	7	〃		0.426	0.266	1.81	0.644	0.402	0.277	24.8	14.5	19.6	不明	
		699	8	〃		0.446	0.275	2.24	0.582	0.371	0.305	30.3	0.84	19.3	市場	
		722	9	把手付腕		0.478	0.373	2.51	0.598	0.433	0.326	67.1	5.7	30.6	〃	
		608	10	ツボ		0.560	0.146	2.11	0.764	0.593	0.308	20.8	250	24.4	不明	
		664	11	ツボ(魁形)		0.422	0.290	2.02	0.623	0.412	0.272	32.2	8.1	22.5	市場	
		1656	12	ツボ		0.394	0.129	2.09	0.624	0.332	0.204	4.4	30.9	17.7	陶邑	
		船ヶ谷遺跡4次調査	1677	No 1	不明		0.411	0.052	2.05	0.479	0.230	0.184	2.0	17.6	15.1	〃
		分析資料Ⅰ(前回分)		609	2	大カメ		0.540	0.230	2.31	0.582	0.633	0.355	12.8	345	3.7
520	3			灰	身	0.477	0.111	1.98	0.540	0.320	0.340	0.60	14.7	6.1	陶邑	
517	4			〃	〃	0.517	0.185	2.24	0.613	0.378	0.360	4.1	21.0	2.7	〃	
報告ナシ	5			〃	蓋	0.547	0.113	2.61	0.645	0.300	0.331	4.7	113	3.9	〃	
602	6			高塚		0.825	0.135	2.34	0.870	0.417	0.418	46.2	693	29.9	不明	
564	7			高塚(?)		0.753	0.131	2.60	0.823	0.400	0.467	29.5	502	17.0	〃	
563	8			〃		0.504	0.111	2.89	0.598	0.283	0.286	2.7	57.2	5.8	陶邑	
1139	9			高塚		0.589	0.179	3.36	0.705	0.307	0.118	18.0	210	3.5	伽耶	
730	10			器台		0.491	0.164	3.28	0.570	0.323	0.142	4.9	12.2	6.6	陶邑	
693	11			埴		0.766	0.135	2.60	0.814	0.391	0.434	33.6	503	18.7	不明	
612	12			ツボorカメ		0.499	0.127	2.28	0.609	0.362	0.295	0.21	32.4	3.3	陶邑	
611	13			〃		0.733	0.136	2.68	0.803	0.403	0.422	24.7	421	13.7	不明	
686	14			〃		0.723	0.157	2.82	0.819	0.433	0.506	20.1	401	10.8	〃	
726	15			器台	灰	0.445	0.036	2.08	0.541	0.221	0.173	2.9	44.2	12.5	陶邑	
621	16			ツボ		0.480	0.138	2.20	0.577	0.387	0.343	0.42	27.5	3.6	〃	
623	17			〃		0.501	0.065	2.28	0.631	0.232	0.165	4.2	153	8.2	〃	
684	18			?		0.483	0.124	1.83	0.492	0.371	0.220	2.1	59.0	6.0	〃	
685	19			〃		0.467	0.334	4.05	0.408	0.396	0.202	57.1	178	45.8	不明	
599	20			高塚		0.456	0.202	1.97	0.543	0.507	0.251	7.3	169	4.7	陶邑	
516	21			蓋		0.544	0.188	3.19	0.669	0.437	0.220	2.2	56.1	0.90	〃	
514	22			灰	蓋	0.453	0.172	3.10	0.489	0.502	0.209	9.1	261	4.2	伽耶	
515	23			〃	〃	0.585	0.151	3.00	0.689	0.419	0.246	3.2	100	1.6	〃	
600	24			高塚		0.473	0.081	2.04	0.573	0.258	0.248	1.4	46.7	8.3	陶邑	
655	25			ツボorカメ		0.562	0.239	2.63	0.550	0.612	0.410	10.2	326	2.6	伽耶	
598	26			高塚		0.467	0.206	1.92	0.541	0.503	0.257	6.3	158	3.7	〃	
740	27			器台		0.753	0.144	2.35	0.820	0.411	0.498	28.3	469	15.7	不明	
206	28			小型器台		0.500	0.118	1.74	0.668	0.308	0.157	1.8	115	5.4	陶邑	
205	29			〃		0.570	0.371	1.50	0.613	0.930	0.361	51.9	1240	25.0	不明	
207	30			魁		0.536	0.175	2.09	0.642	0.370	0.227	4.1	46.9	1.8	伽耶	
687	31			器台	脚部	0.784	0.122	2.29	0.825	0.409	0.483	36.7	530	24.2	不明	
610	32			カメ		0.751	0.156	2.60	0.839	0.439	0.475	25.2	471	14.7	〃	
568	33			高塚		0.541	0.303	2.24	0.602	0.398	0.357	38.8	4.4	15.3	市場	
567	34			〃		0.526	0.308	2.29	0.593	0.373	0.375	46.7	7.4	20.1	〃	
566	35	〃		0.518	0.301	2.27	0.610	0.390	0.363	43.3	12.7	17.9	不明			
603	36	〃		0.413	0.044	2.26	0.482	0.248	0.161	2.9	18.6	13.8	陶邑			
604	37	〃		0.546	0.358	2.04	0.618	0.433	0.452	59.1	2.9	21.8	市場			
650	38	瓶		0.517	0.183	2.30	0.623	0.339	0.303	7.5	38.7	4.4	伽耶			
668	39	ツボ		0.529	0.305	2.40	0.610	0.391	0.375	40.7	6.6	16.0	市場			
666	40	〃		0.557	0.218	2.35	0.643	0.370	0.376	13.9	46.0	3.8	伽耶			
658	41	〃		0.461	0.137	2.06	0.572	0.335	0.256	0.63	11.9	6.1	陶邑			
659	42	〃		0.659	0.275	1.99	0.630	0.401	0.523	39.0	48.4	16.2	不明			

自然科学分析Ⅱ

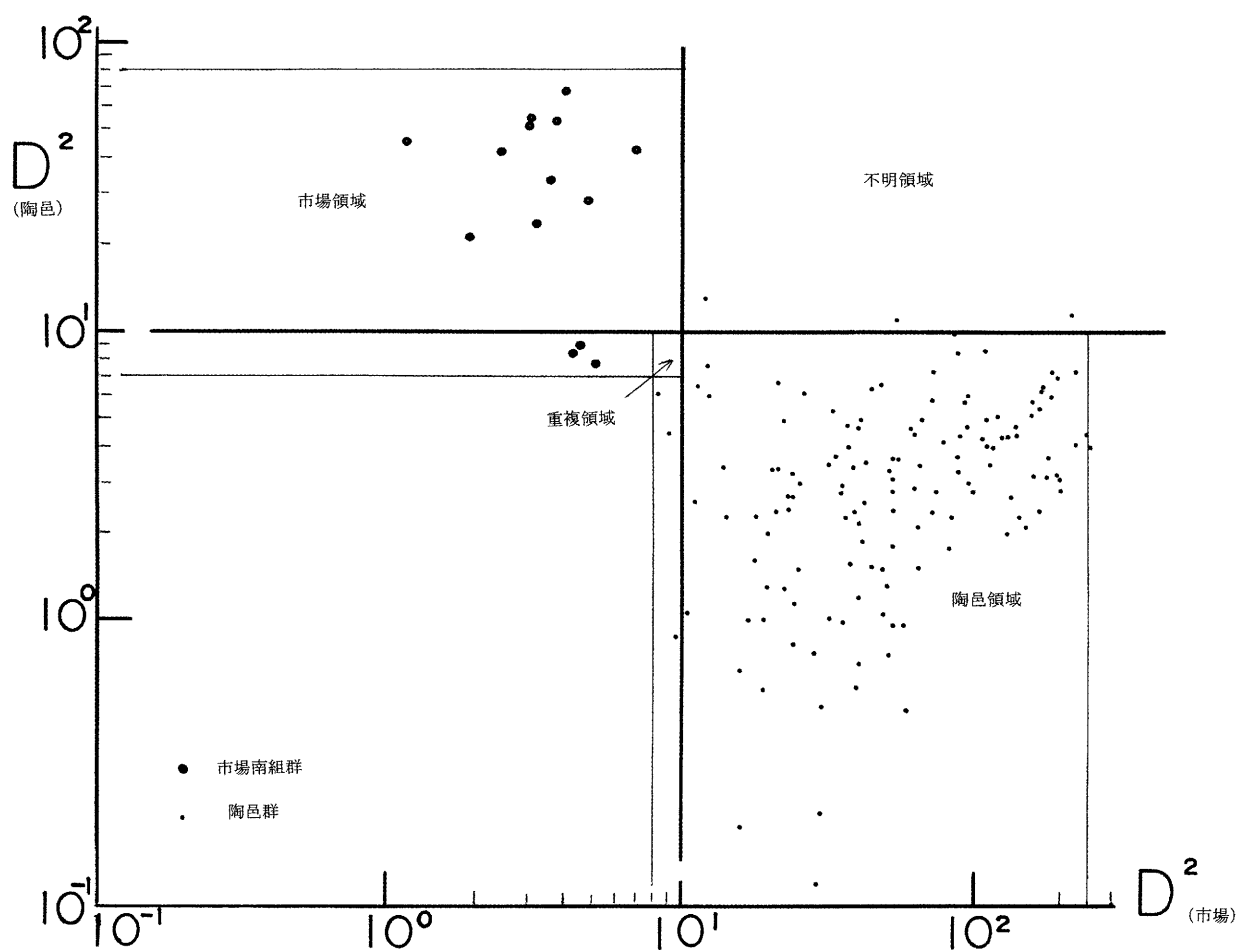
分析結果一覧表

(2)

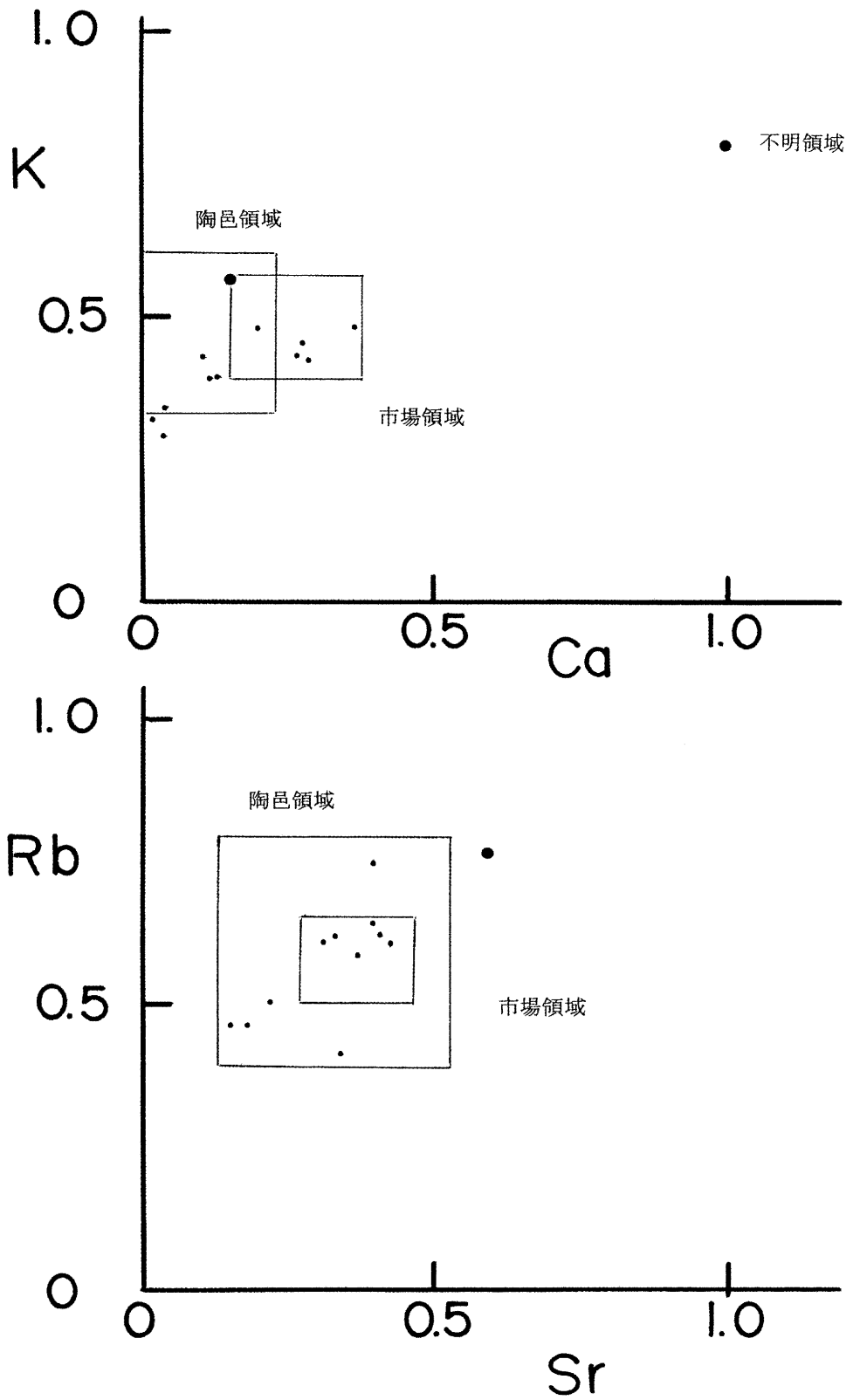
遺跡名	報告書番号	試料番号	器種	K	Ca	Fe	Rb	Sr	Na	D ² (陶色)	D ² (市場)	D ² (伽耶)	産地推定
船ヶ谷遺跡4次調査	661	43	ツボ	0.462	0.078	1.83	0.615	0.322	0.196	1.7	48.1	8.4	陶 邑
分析資料Ⅰ(前回分)	660	44	〃	0.496	0.180	2.38	0.612	0.357	0.249	4.5	20.5	4.4	〃
	614	45	ツボorカメ	0.522	0.350	2.55	0.594	0.385	0.387	67.5	7.6	28.7	市 場
	615	46	〃	0.449	0.069	2.60	0.445	0.274	0.159	3.5	40.7	13.5	陶 邑
	648	47	把手付カメ	0.529	0.290	1.95	0.646	0.429	0.373	26.2	13.6	8.4	伽 耶
	649	48	カメ	0.559	0.220	1.86	0.655	0.407	0.340	9.5	41.2	1.7	〃
	651	49	甌	0.491	0.290	2.00	0.610	0.403	0.351	30.3	2.0	13.9	市 場
	607	50	ツボ	0.532	0.332	2.31	0.623	0.397	0.373	53.4	10.6	20.0	〃
	657	51	〃	0.541	0.211	2.06	0.635	0.389	0.361	8.7	29.7	2.6	伽 耶
	663	52	〃	0.729	0.221	2.27	0.844	0.521	0.557	17.0	34.0	9.3	〃
	1570	53	蓋	0.377	0.189	2.10	0.406	0.683	0.217	59.8	1200	16.7	不 明
出 作 遺 跡	2002	No 29	坏 身	0.305	0.069	2.66	0.428	0.232	0.125	6.7	50.1	28.2	陶 邑
	2006	30	〃 蓋	0.224	0.026	2.67	0.413	0.133	0.036	13.4	56.2	50.8	不 明
	2008	31	高 坏	0.303	0.031	2.81	0.470	0.157	0.041	5.7	31.6	32.8	陶 邑
	2009	32	〃	0.407	0.092	1.90	0.622	0.362	0.197	6.2	42.3	16.8	〃
	2011	33	〃	0.453	0.236	2.20	0.603	0.370	0.298	16.3	4.4	12.3	市 場
	2013	34	〃	0.463	0.358	2.56	0.589	0.417	0.302	62.3	5.8	30.6	〃
	2016	35	甌	0.444	0.146	2.45	0.594	0.344	0.276	1.4	14.7	7.9	陶 邑
	2017	36	〃	0.470	0.325	2.52	0.573	0.387	0.296	50.6	3.0	26.2	市 場
	2019	37	〃	0.446	0.303	2.46	0.596	0.395	0.346	38.5	2.0	22.1	〃
	2020	38	把手付 甌	0.440	0.322	2.05	0.618	0.445	0.340	39.2	11.9	22.6	〃
	2021	39	〃	0.426	0.332	2.33	0.606	0.423	0.310	48.9	8.7	28.7	〃
	2022	40	小型丸底 壺	0.439	0.103	1.42	0.583	0.366	0.124	2.4	30.0	8.4	陶 邑
	2024	41	小型器台	0.393	0.244	2.54	0.553	0.332	0.219	26.5	5.5	25.4	市 場
	2030	42	ツボ	0.354	0.206	2.08	0.568	0.374	0.229	16.2	21.2	25.4	不 明
	2031	43	〃	0.437	0.269	2.94	0.541	0.351	0.256	31.4	5.8	22.6	市 場
	2033	44	〃	0.456	0.225	2.35	0.606	0.355	0.262	15.0	8.5	11.7	〃
	2034	45	〃	0.421	0.305	2.56	0.589	0.381	0.285	43.4	4.4	27.7	〃
	2035	46	坏 蓋	0.368	0.056	3.08	0.509	0.209	0.176	2.1	20.4	20.0	陶 邑
	2036	47	〃	0.301	0.029	2.47	0.449	0.156	0.098	5.8	32.0	33.0	〃
	2037	48	甌 把手	0.358	0.298	2.84	0.370	0.287	0.173	65.0	180	64.4	不 明
	2038	49	高 坏	0.355	0.075	1.81	0.565	0.253	0.115	4.0	23.2	22.5	陶 邑
	2039	50	ツボ	0.440	0.312	2.13	0.604	0.405	0.329	41.3	3.5	23.8	市 場
	2040	51	〃	0.402	0.284	2.45	0.610	0.390	0.286	34.4	7.3	26.6	〃
	2042	52	カメ	0.534	0.173	2.47	0.780	0.474	0.181	4.9	178	12.4	陶 邑
	未報告	53	大型カメ 蓋 部	0.410	0.223	2.90	0.572	0.326	0.262	19.3	4.2	19.7	市 場
伊予市太郎丸遺跡		No 54	高 坏 脚 部	0.379	0.154	2.11	0.600	0.336	0.190	6.9	14.8	19.5	陶 邑
		55	〃	0.428	0.282	2.01	0.581	0.409	0.298	28.0	10.1	19.6	市 場
		56	ツボ	0.547	0.181	1.43	0.772	0.387	0.080	6.5	221	5.2	陶 邑
		57	〃	0.613	0.096	2.09	0.803	0.323	0.247	11.6	462	7.9	伽 耶
		58	〃	0.489	0.306	2.30	0.614	0.418	0.311	34.5	2.0	15.4	市 場
		59	〃	0.466	0.217	2.22	0.620	0.366	0.243	11.4	13.6	9.1	不 定
		60	カメ	0.516	0.106	2.02	0.736	0.384	0.337	3.8	171	10.8	陶 邑
		61	甌	0.426	0.138	2.21	0.594	0.326	0.191	1.9	16.0	10.5	〃
土壇原遺跡 12号墳	整理中	No 62	ツボ	0.474	0.287	2.96	0.559	0.343	0.278	41.5	5.4	23.7	市 場
16号墳	〃	63	高 坏 脚 部	0.524	0.421	2.15	0.607	0.568	0.350	62.5	83.0	24.2	不 明
11号墳	〃	64	高 坏 脚 部	0.503	0.309	1.90	0.670	0.446	0.357	31.3	19.0	12.1	〃
12号墳	〃	65	〃	0.473	0.282	2.62	0.609	0.363	0.294	34.8	8.8	17.8	市 場
12号墳	〃	66	〃	0.460	0.258	2.65	0.603	0.356	0.262	26.0	7.0	15.8	〃
17号墳	〃	67	把手付 甌(小型)	0.466	0.283	2.60	0.599	0.376	0.286	32.5	2.1	17.7	〃
13号墳	〃	68	把手付 甌	0.414	0.253	2.00	0.601	0.389	0.269	21.7	6.0	19.2	〃
16号墳	〃	69	器 台	0.466	0.329	2.26	0.583	0.426	0.362	44.0	8.0	22.5	〃
17号墳	〃	70	ツボ 口 縁	0.499	0.360	2.53	0.617	0.412	0.328	64.8	4.0	27.1	〃
16号墳	〃	71	〃	0.510	0.358	2.55	0.604	0.416	0.315	62.5	1.9	26.1	〃
7号墳	〃	72	カメ 口 縁	0.549	0.175	2.22	0.605	0.379	0.243	4.5	26.7	2.4	陶 邑
12号墳	〃	73	〃	0.374	0.098	2.56	0.441	0.352	0.185	6.9	125	13.0	〃
高橋湯ノ窪3次調査	111	No 74	高 坏	0.493	0.371	2.69	0.594	0.414	0.356	71.0	3.7	31.6	市 場
	112	75	高 坏 脚 部	0.454	0.409	2.11	0.609	0.425	0.368	95.1	11.7	44.8	市場(?)
	114	76	小型器台	0.447	0.337	2.41	0.603	0.402	0.319	54.6	3.9	28.7	市 場
東野お茶屋台9号墳		No 77	ツボ	0.469	0.179	1.80	0.657	0.453	0.367	3.7	54.5	8.0	陶 邑
北 井 門 遺 跡	整理中	No 78	坏 身	0.207	0.063	2.55	0.328	0.176	0.081	17.8	174	53.4	不 明
	〃	79	〃	0.359	0.057	2.27	0.531	0.223	0.174	2.8	20.8	21.1	陶 邑
	〃	80	甌	0.338	0.064	2.08	0.509	0.225	0.111	3.9	14.4	24.0	〃
	〃	81	ツボ	0.458	0.293	2.27	0.631	0.425	0.322	29.1	7.3	16.3	市 場
	〃	82	器 台	0.383	0.090	2.51	0.477	0.316	0.172	3.5	45.8	13.2	陶 邑
	〃	83	高 坏	0.443	0.364	2.13	0.613	0.447	0.337	60.2	11.4	31.0	市場(?)
	〃	84	高 坏 脚 部	0.379	0.221	1.80	0.603	0.380	0.232	17.1	12.2	23.1	〃
	〃	85	把手付 甌	0.415	0.212	2.42	0.548	0.334	0.173	14.5	2.8	16.9	市 場
旗 立 C		No 86	ツボ 口 縁	0.373	0.159	2.11	0.603	0.341	0.218	8.1	15.5	21.1	陶 邑
北久米浄蓮寺		No 87	ツボ	0.432	0.152	2.55	0.576	0.325	0.273	2.8	8.4	9.9	陶 邑
高橋湯ノ窪3次調査	113	No 88	把手付 甌	0.482	0.322	2.56	0.585	0.404	0.354	45.0	1.3	21.8	市 場



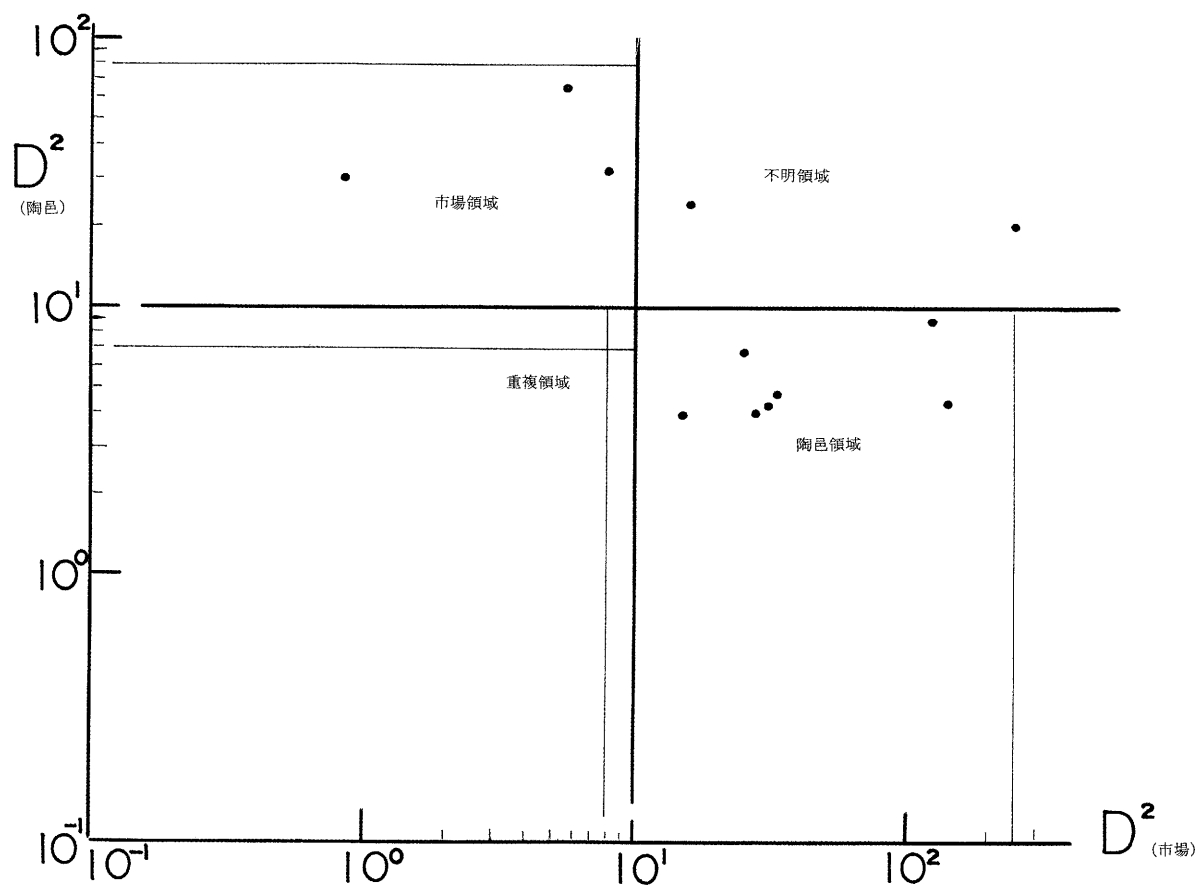
第1図 市場南組窯跡出土須恵器の兩分布図



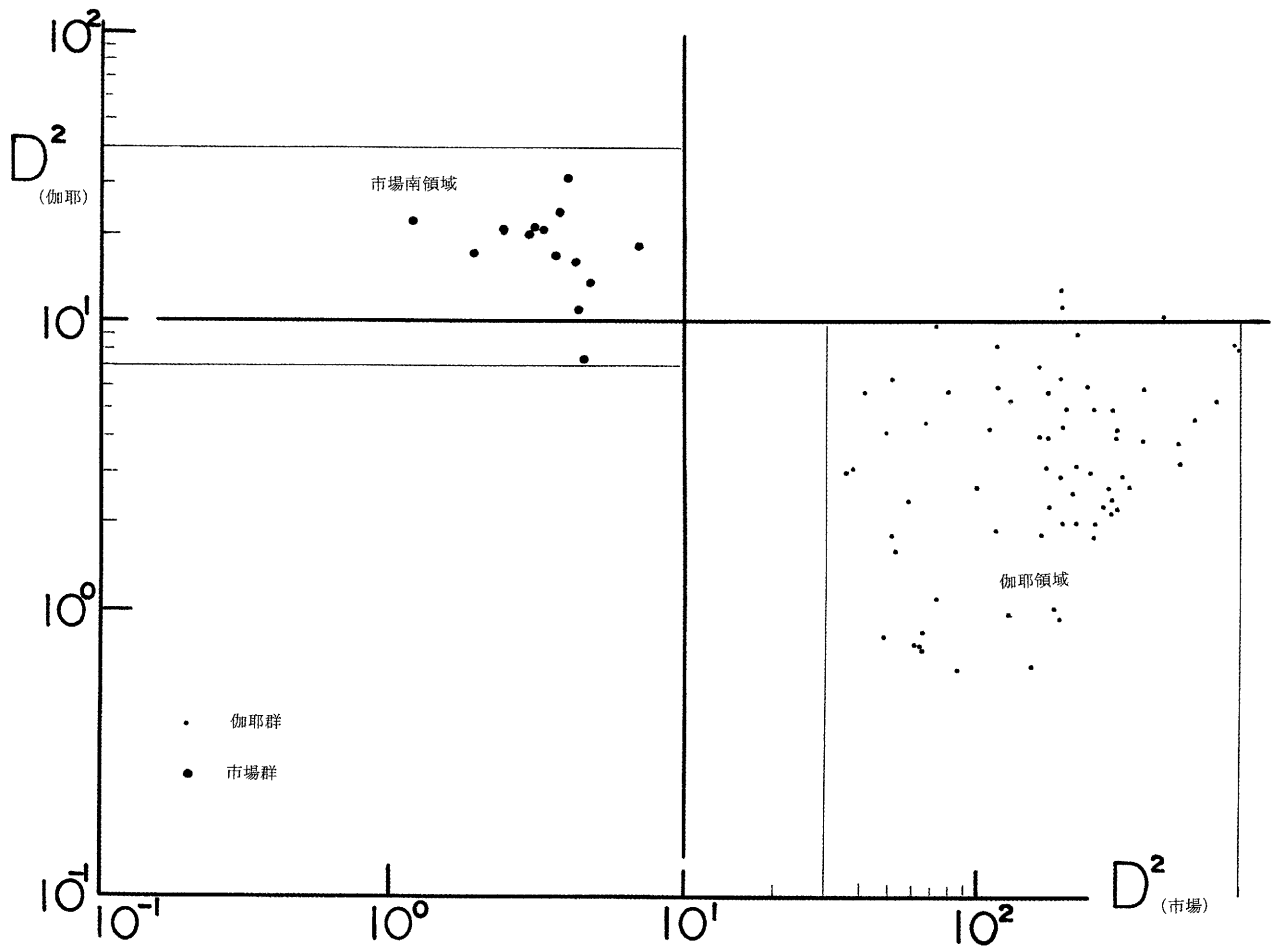
第2図 陶邑群と市場群の相互識別 (K、Ca、Rb、Sr 因子使用)



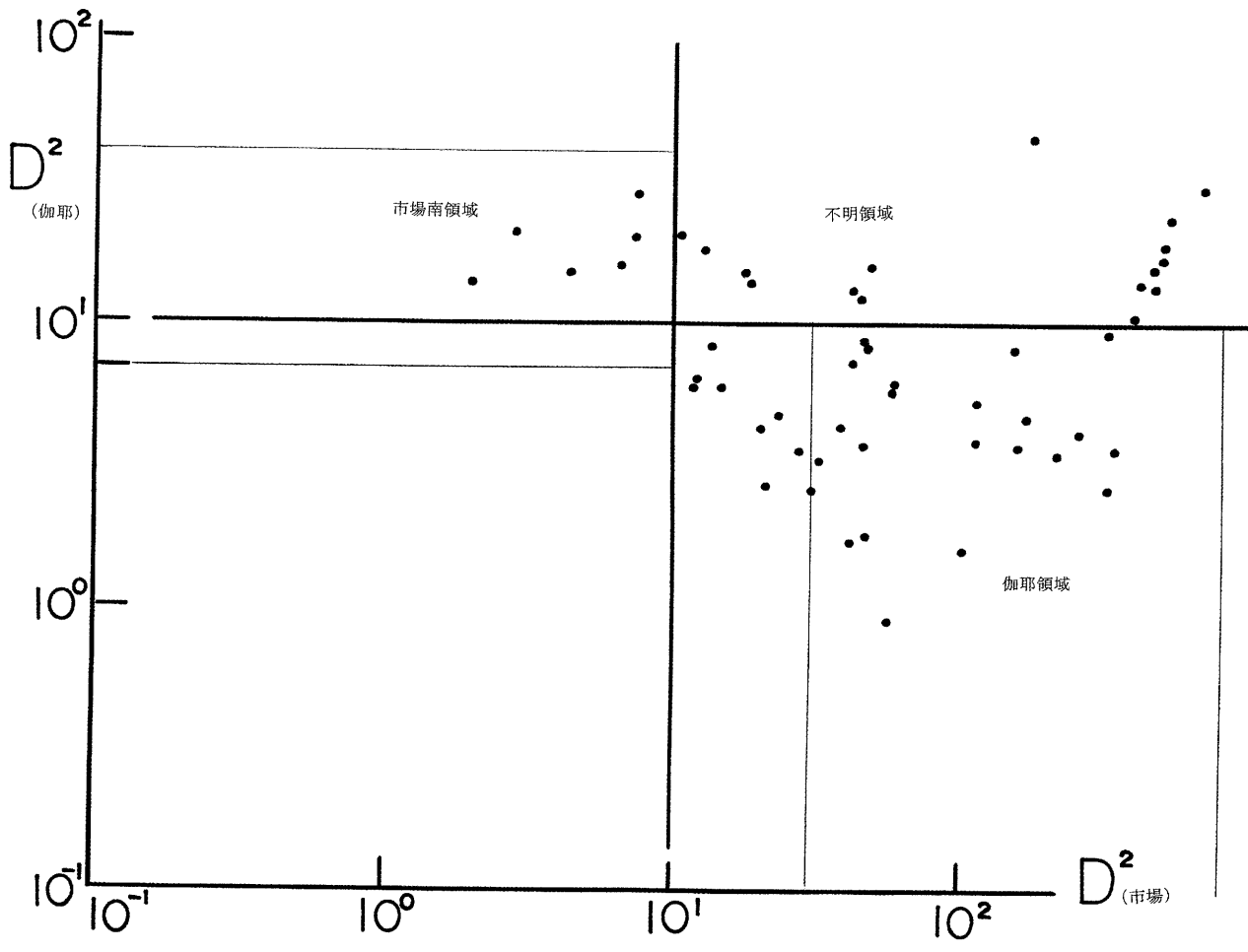
第3図 船ヶ谷遺跡4次調査出土須恵器の兩分布図



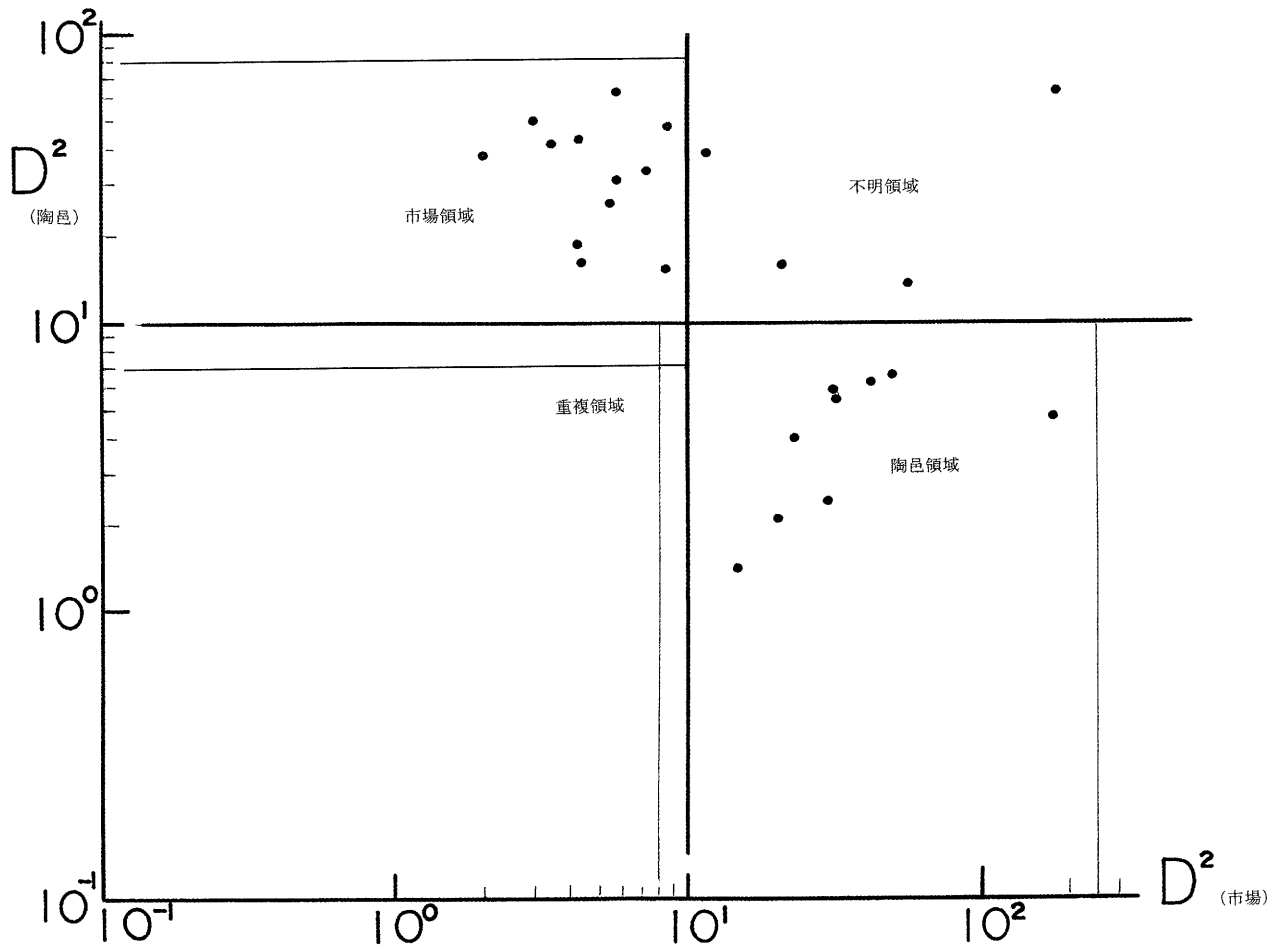
第4図 船ヶ谷遺跡4次調査出土須恵器の産地推定

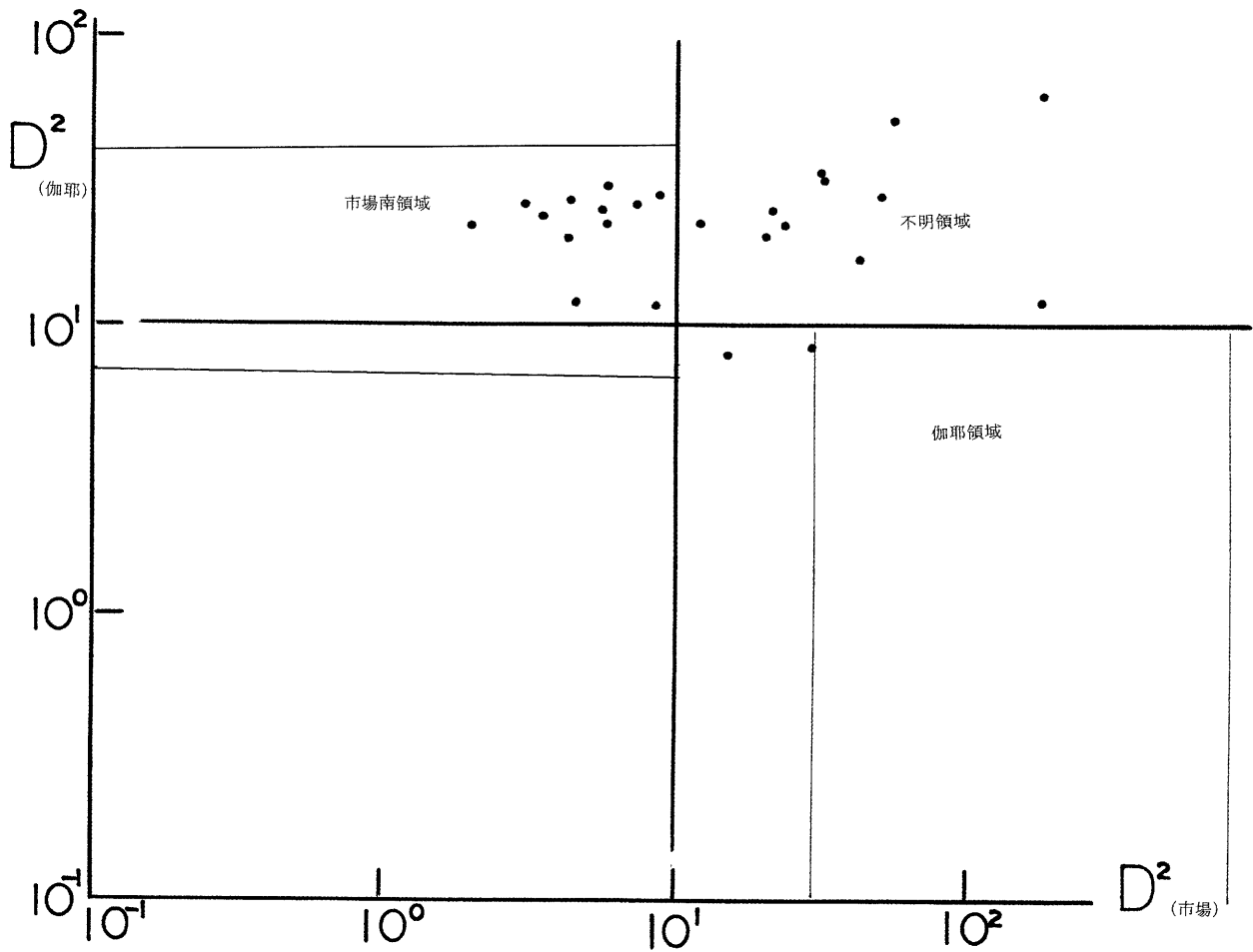


第5図 伽耶群と市場群の判別図

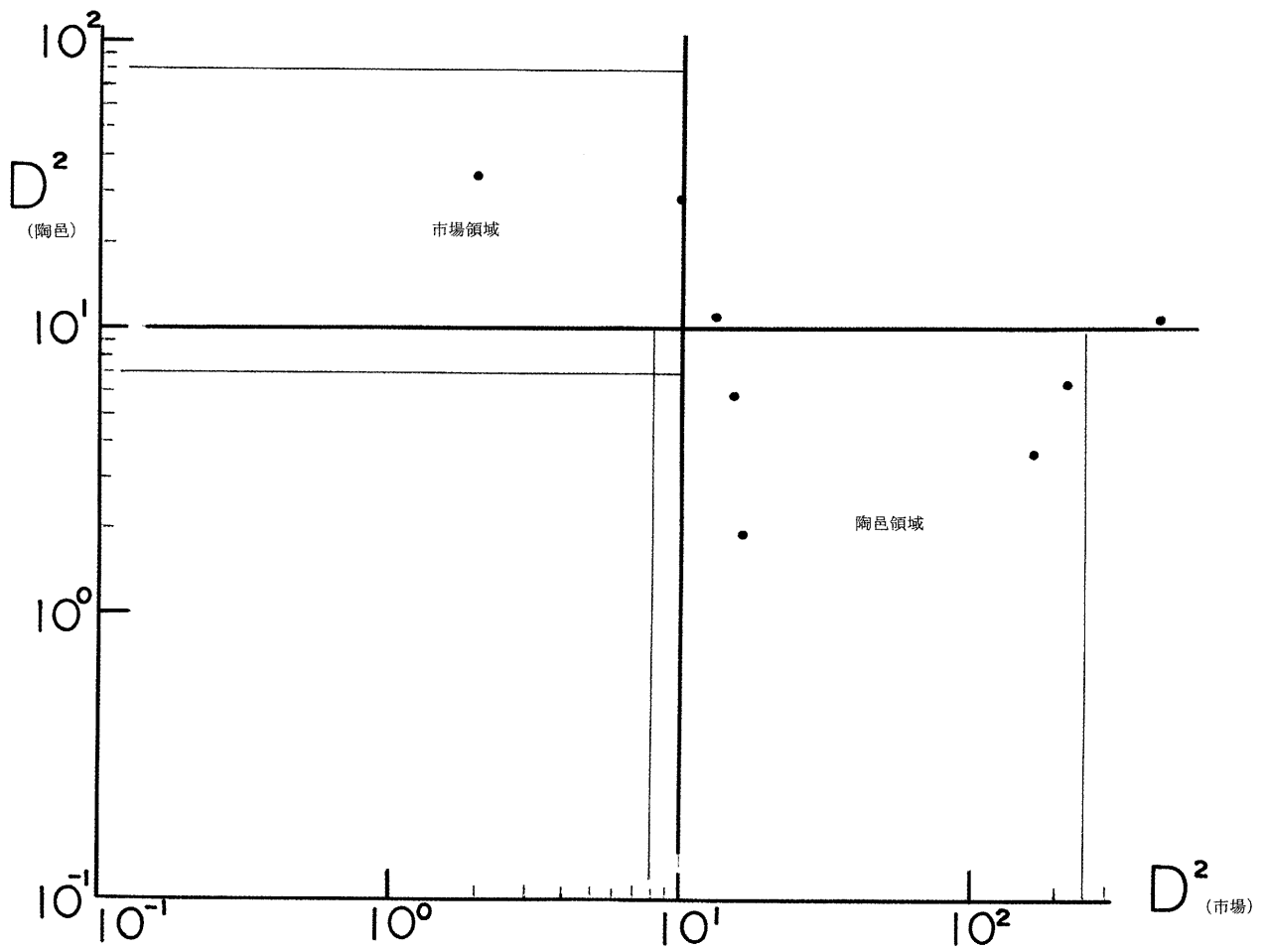


第6図 船ヶ谷遺跡4次調査出土硬質土器の産地推定

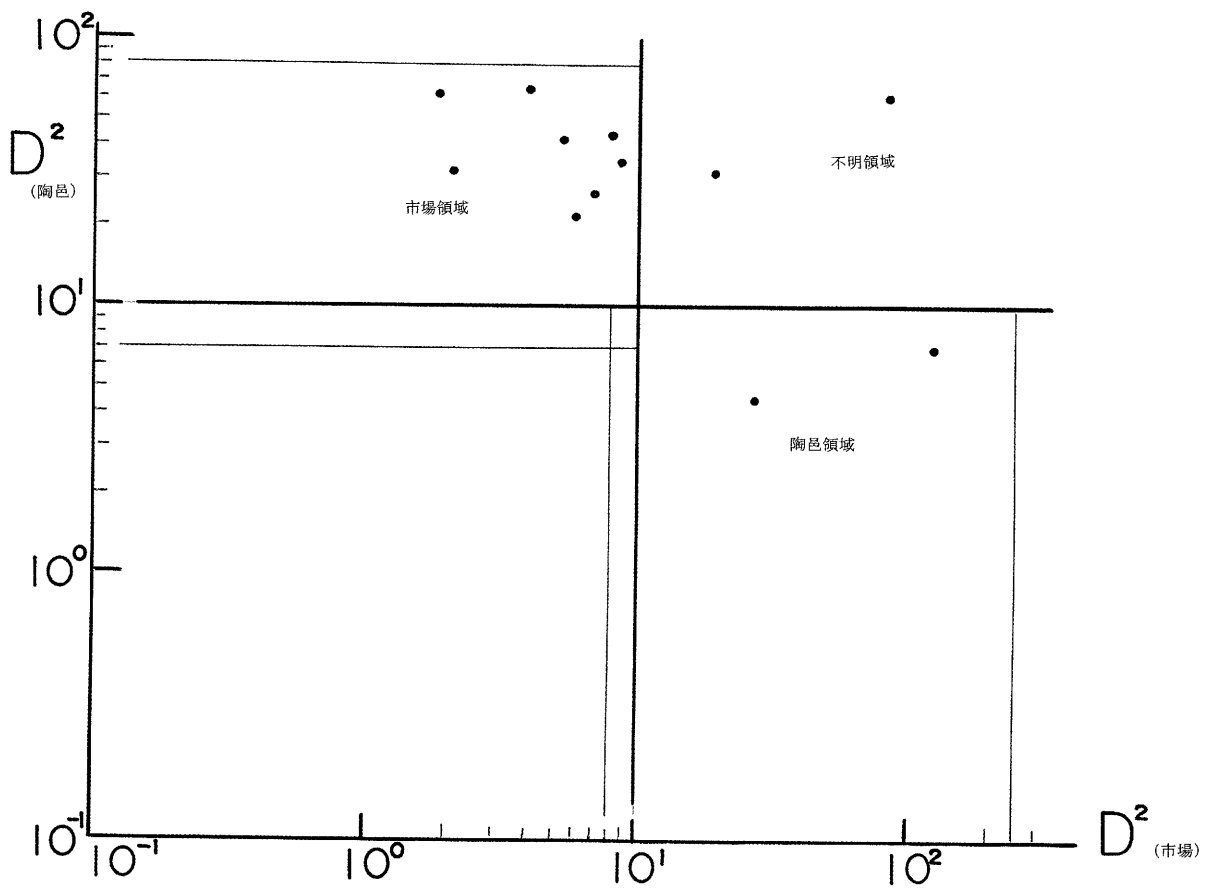




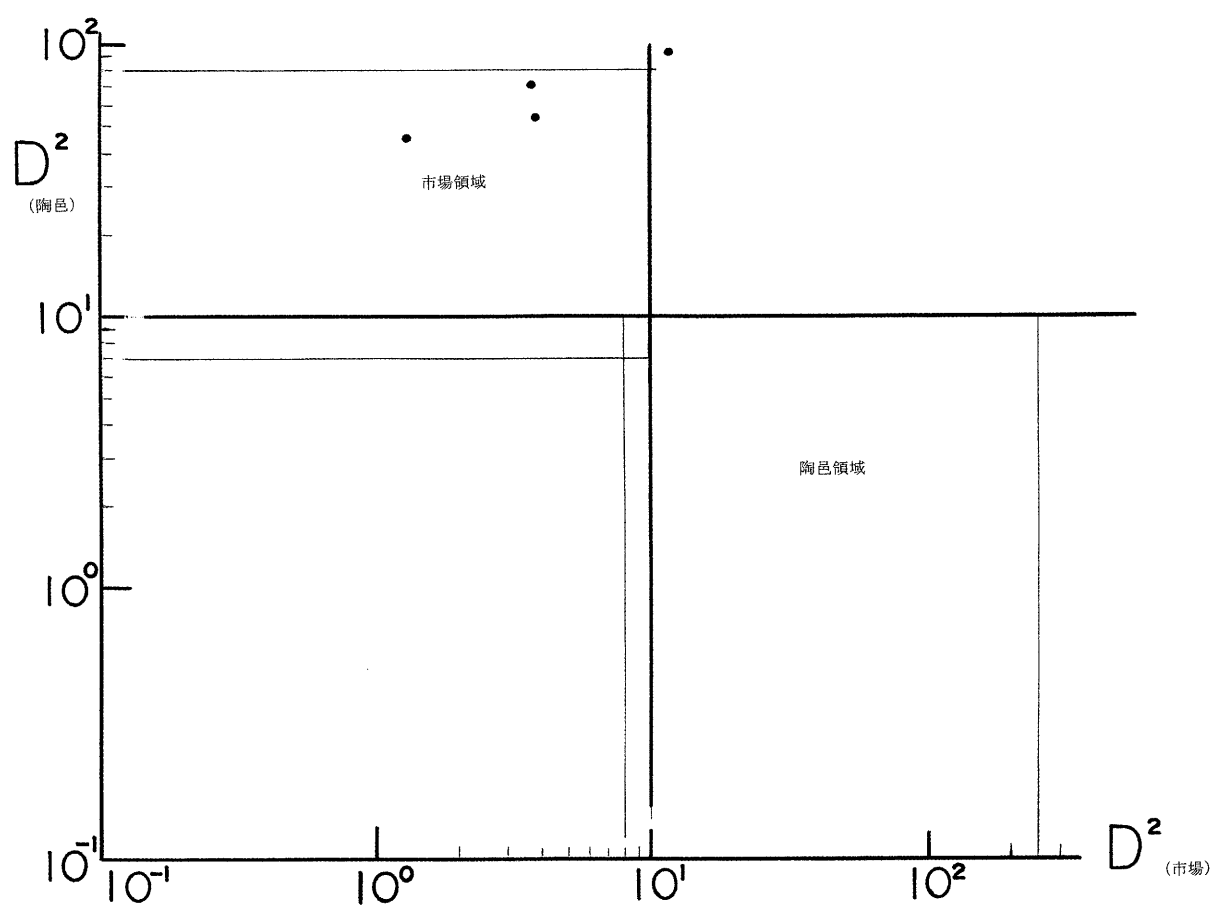
第8図 出作遺跡出土硬質土器の産地推定



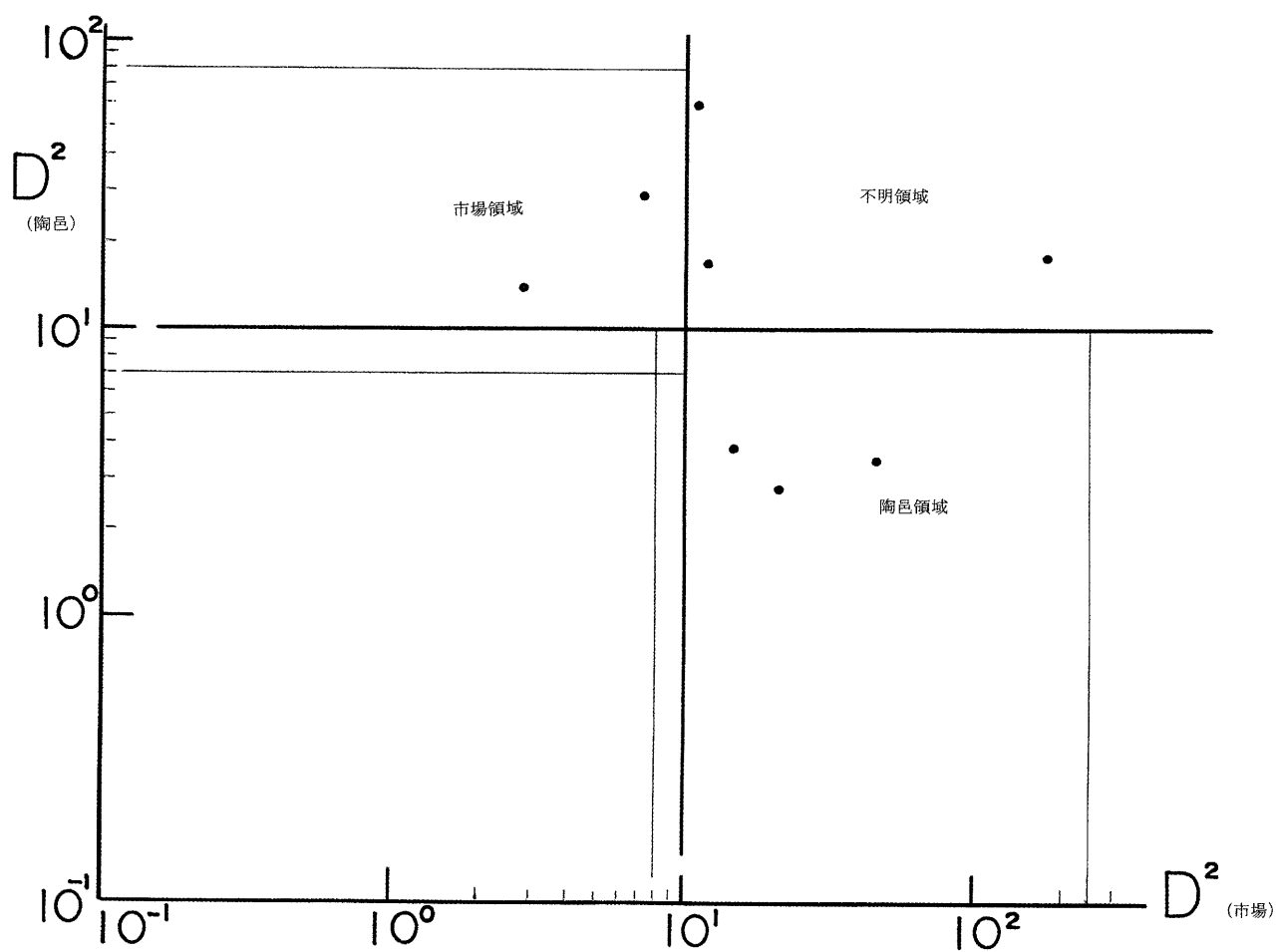
第9図 伊予市太郎丸遺跡出土須恵器の産地推定



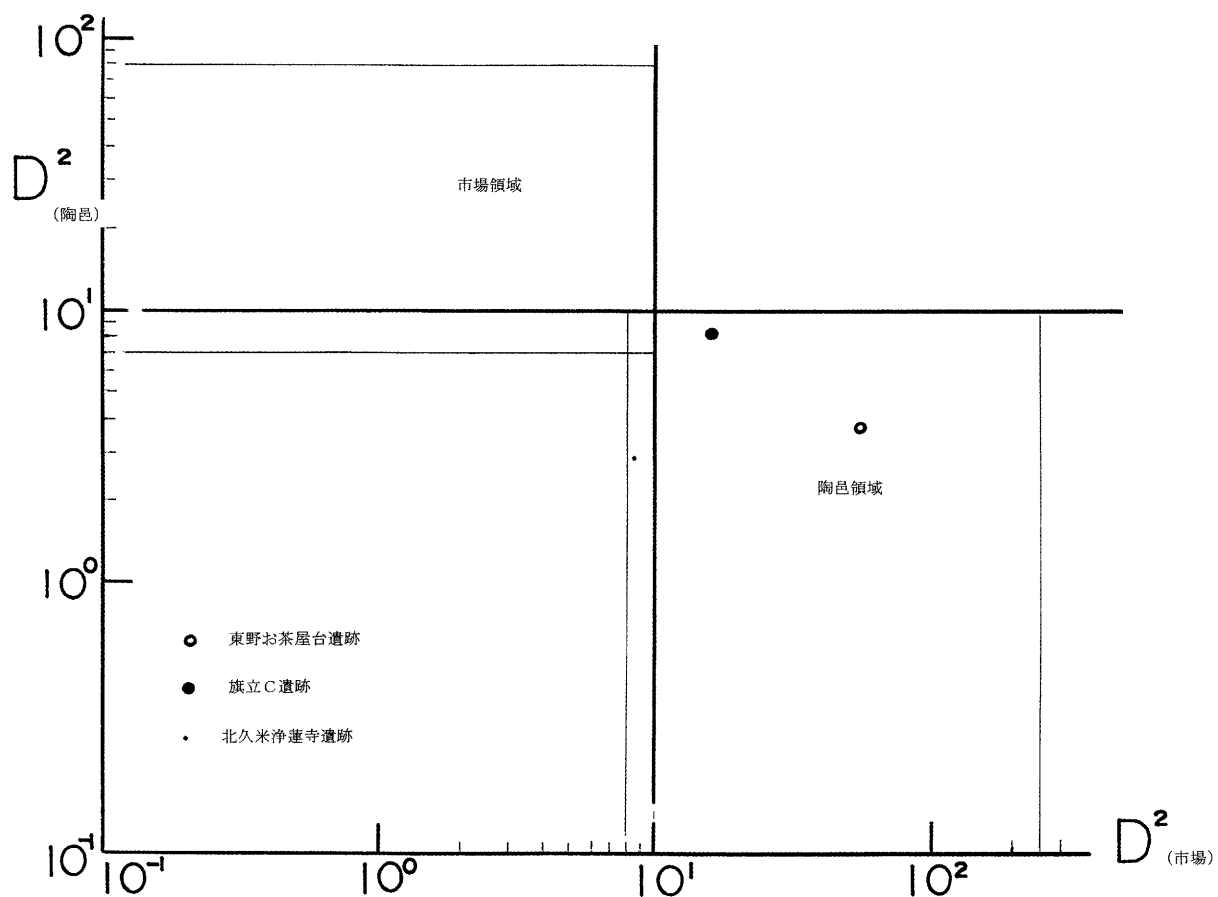
第10図 土壇原遺跡出土須恵器の産地推定



第11図 高橋湯ノ窪遺跡3次調査出土須恵器の産地推定

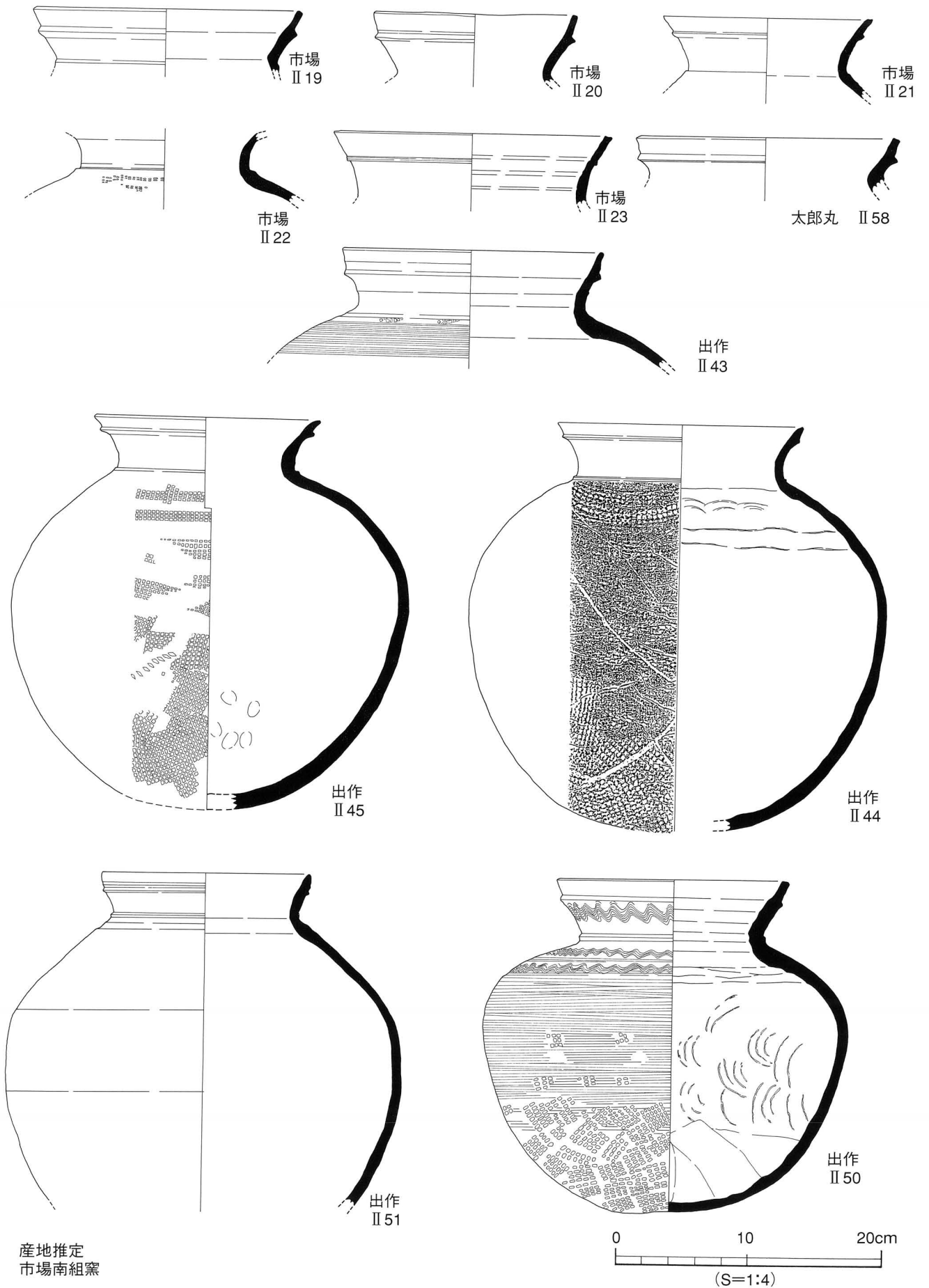


第12図 北井門遺跡出土須恵器の産地推定



第13図 東野お茶屋台遺跡、旗立C遺跡、北久米浄蓮寺遺跡出土須恵器の産地推定遺跡

自然科学分析Ⅱ

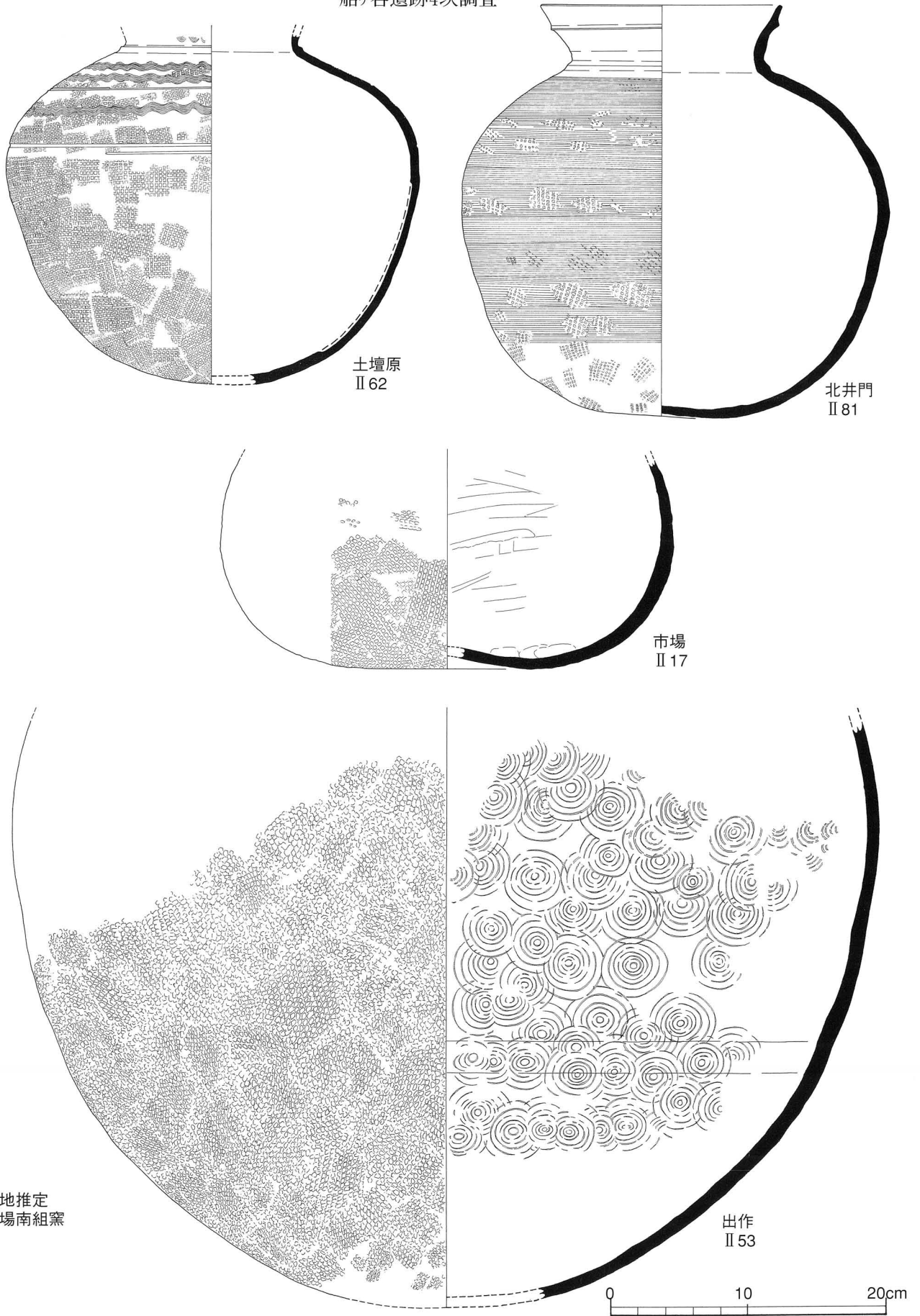


産地推定
市場南組窯

第14図 蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図(1)

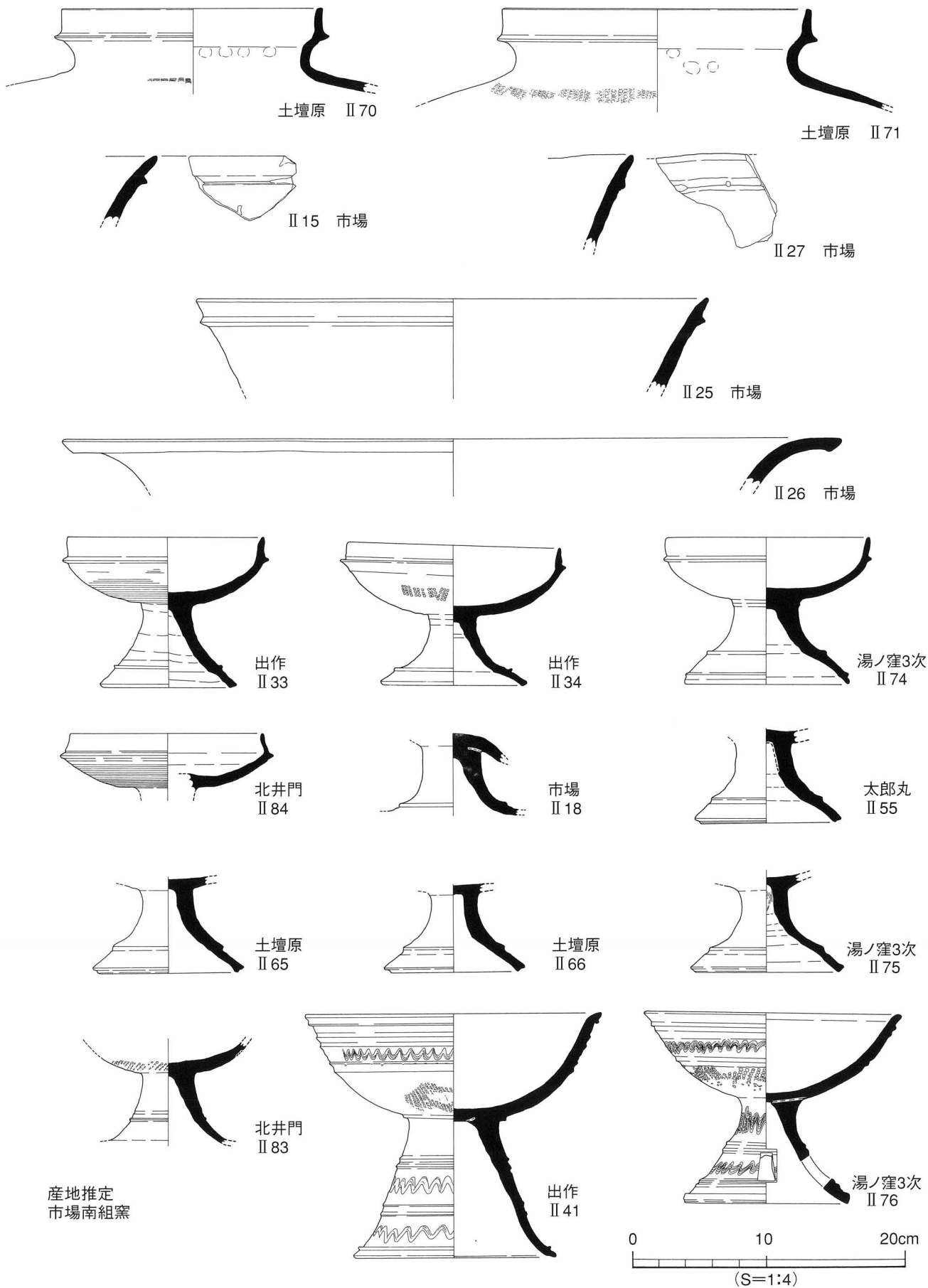
*挿図は高尾和長が作成した

船ヶ谷遺跡4次調査



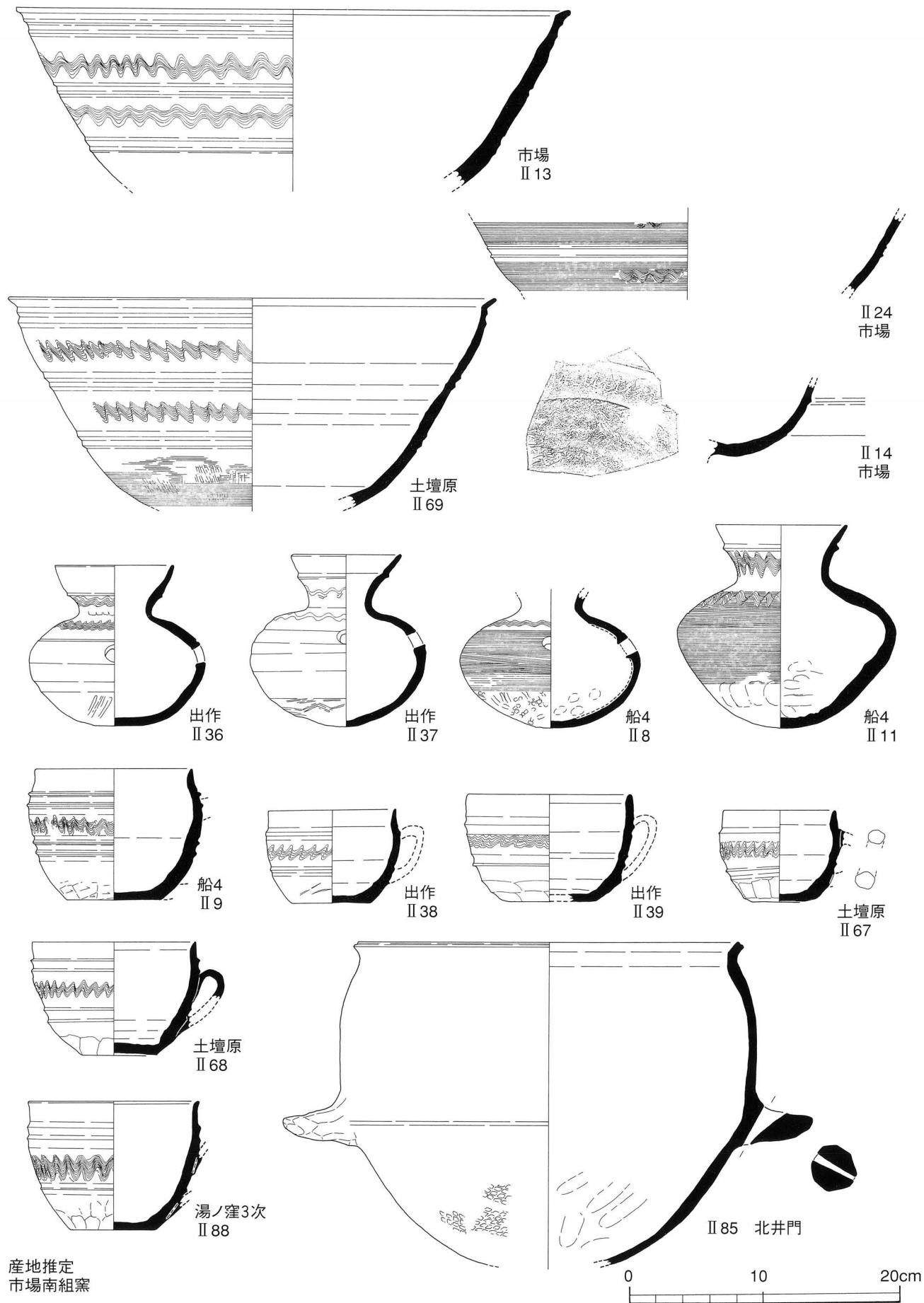
第15図 蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図(2)

自然科学分析Ⅱ



第16図 蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図(3)

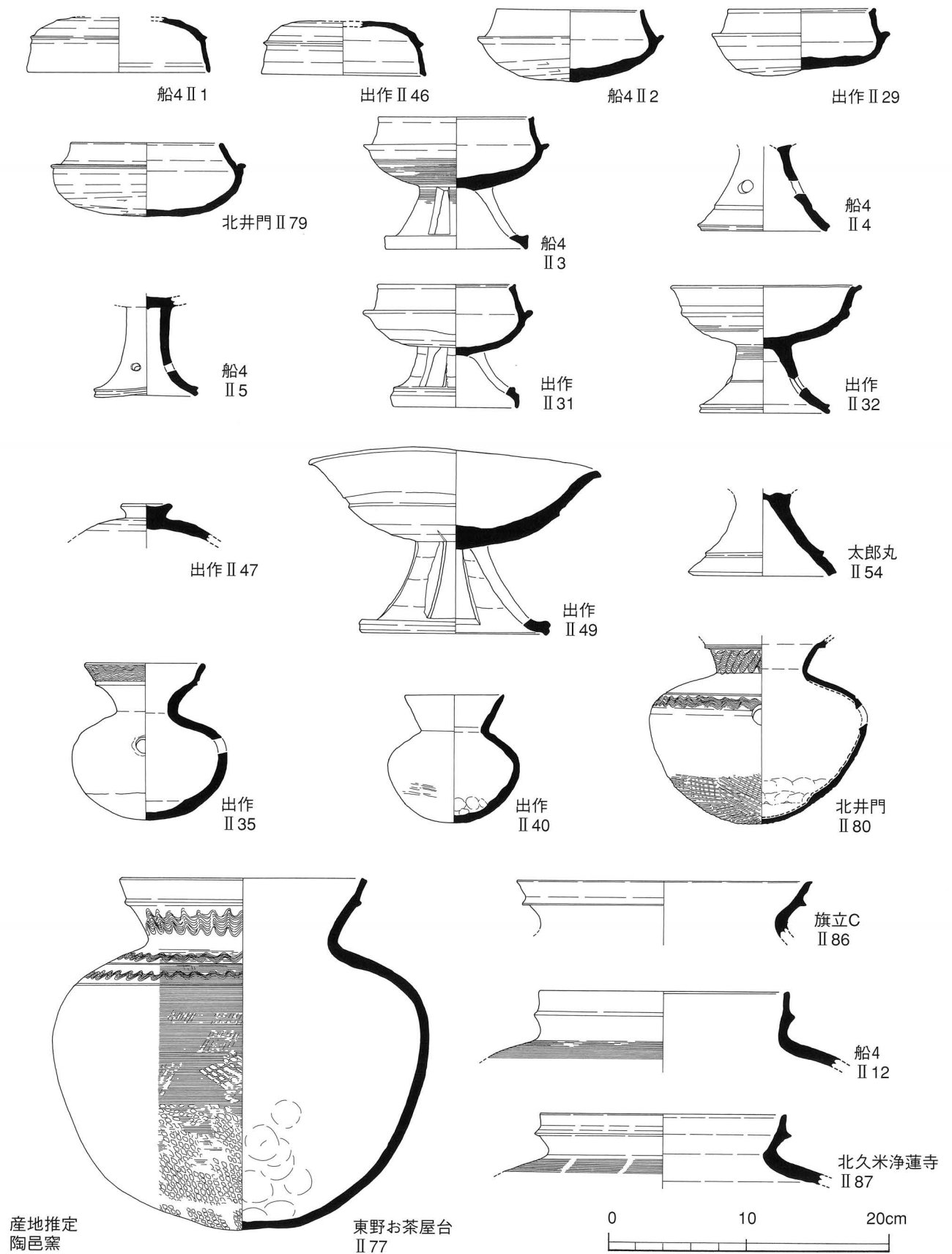
船ヶ谷遺跡 4次調査



産地推定
市場南組窯

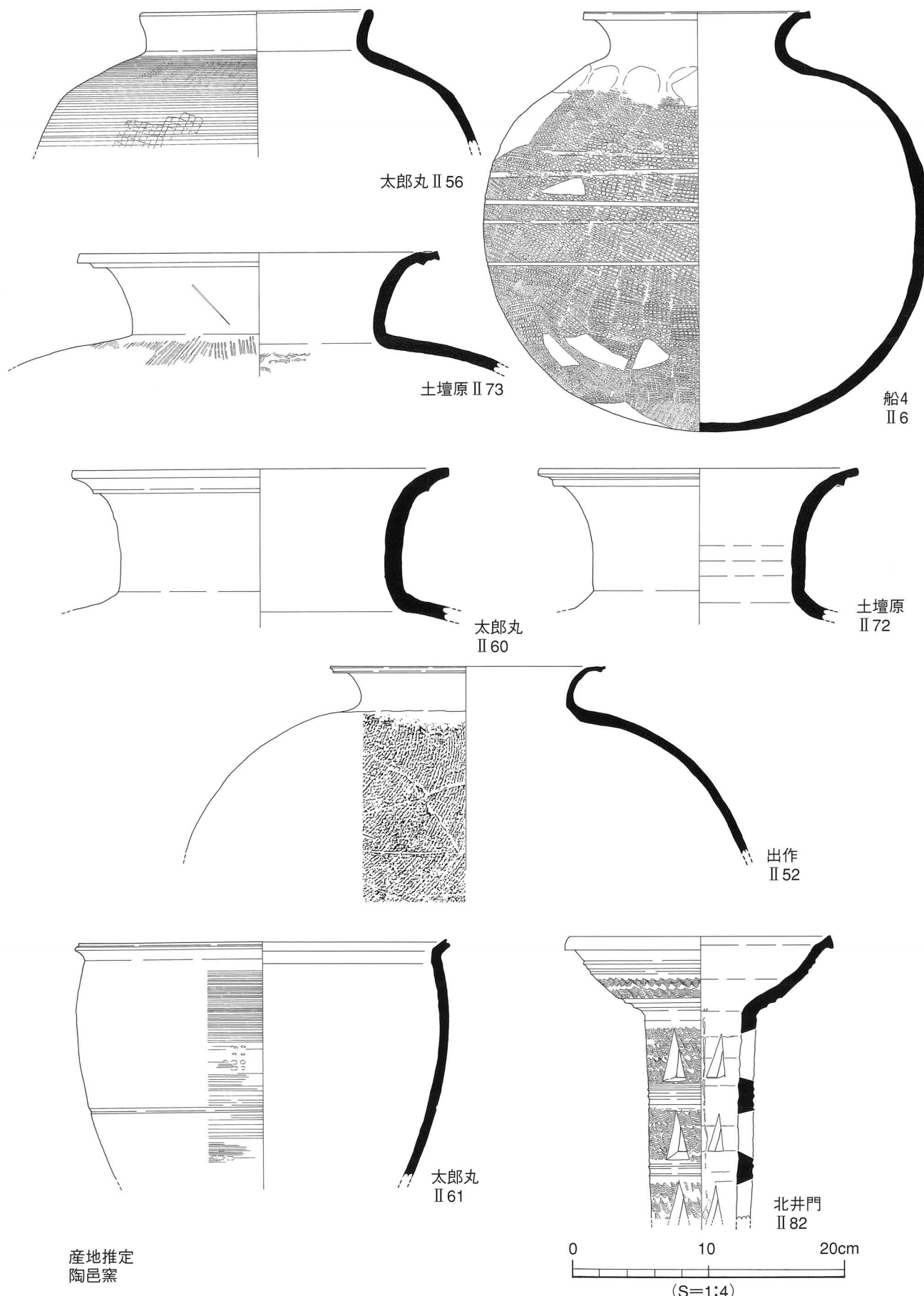
第17図 蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図(4)

自然科学分析Ⅱ



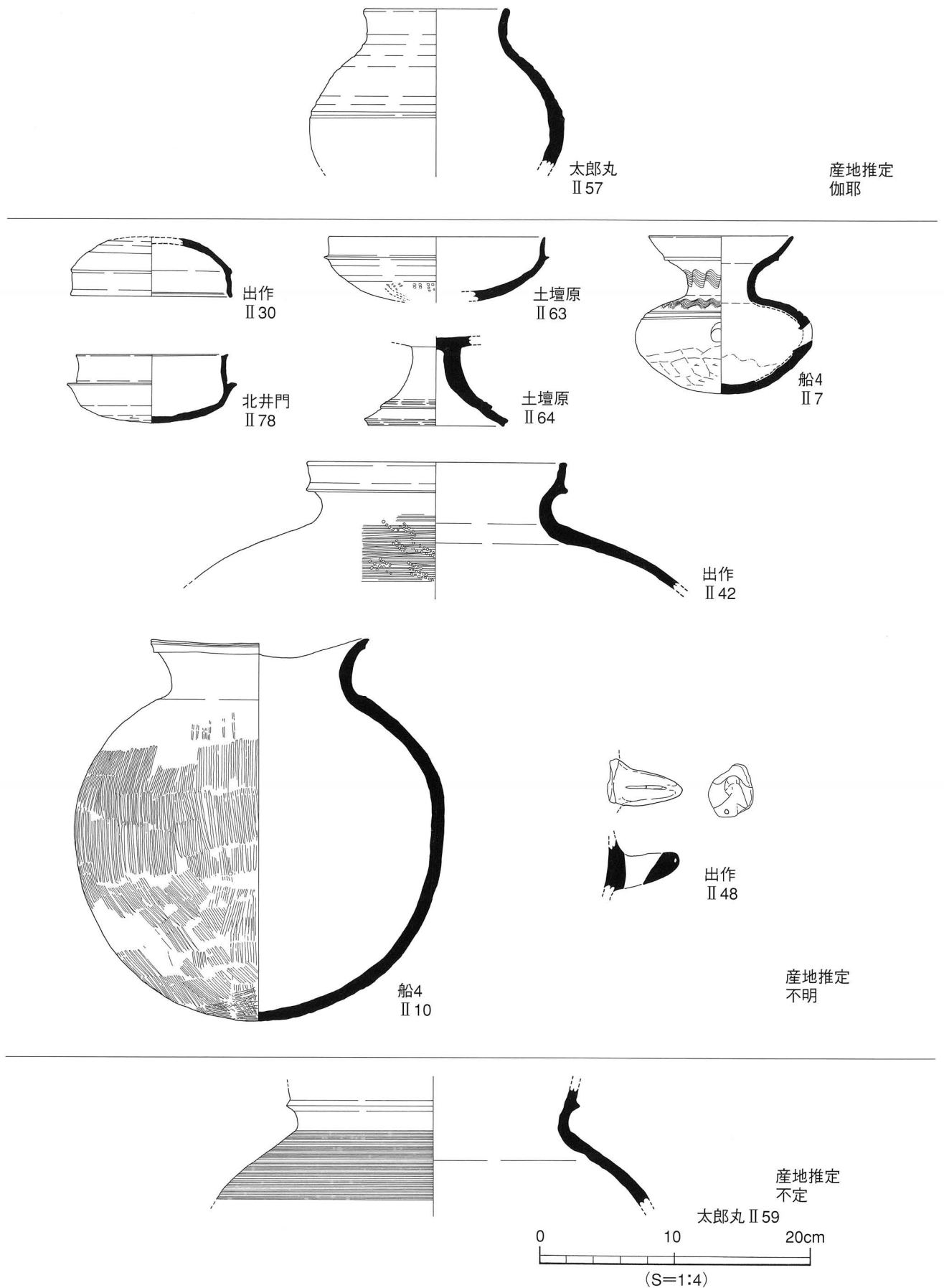
第18図 蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図(5)

船ヶ谷遺跡4次調査



第19図 蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図(6)

自然科学分析Ⅱ



第20図 蛍光X線分析Ⅱによる産地推定別出土遺物実測図(7)

船ヶ谷遺跡4次調査

表2 分析資料一覧

1. 分析資料Ⅰ・Ⅱ器種別一覧表

遺跡名	番号	点数	甕	壺	高坏	坏蓋	坏身	把手甕	甌	把手碗	埴	器台	甗	不明
市場南組窯	Ⅱ13~27	14	4	4	1							3	2	
船ヶ谷4次	Ⅰ1~53・Ⅱ1~12	65	3	23	15	6	3	1	2	1	1	6	3	1
出作	Ⅱ29~53	25	2	7	5	3	1		1	2		1	3	
伊予市太郎丸	Ⅱ54~61	8	1	4	2				1					
土壇原	Ⅱ62~73	12	2	3	4					2		1		
高橋湯ノ窪3次	Ⅱ74~76・88	4			2					1		1		
東野お茶屋台	Ⅱ77	1		1										
北井門	Ⅱ78~85	8		1	2		2	1				1	1	
旗立C	Ⅱ86	1		1										
北久米浄蓮寺	Ⅱ87	1		1										
	計	139	12	45	31	9	6	2	4	6	1	13	9	1

2. 市場南組窯と推定された器種別一覧表

遺跡名	番号	点数	甕	壺	高坏	坏蓋	坏身	把手甕	甌	把手碗	埴	器台	甗	不明
市場南組窯	Ⅱ13~27	14	4	4	1							3	2	
船ヶ谷4次	Ⅰ1~53・Ⅱ1~12	10	0	4	3	0	0	0	1	1	0	0	1	0
出作	Ⅱ29~53	13	1	5	2	0	0		0	2		1	2	
伊予市太郎丸	Ⅱ54~61	2	0	1	1				0					
土壇原	Ⅱ62~73	8	0	3	2					2		1		
高橋湯ノ窪3次	Ⅱ74~76・88	4			2					1		1		
東野お茶屋台	Ⅱ77	0		0										
北井門	Ⅱ78~85	4		1	2		0	1				0	0	
旗立C	Ⅱ86	0		0										
北久米浄蓮寺	Ⅱ87	0		0										
	計	55	5	18	13	0	0	1	1	6	0	6	5	0

3. 陶邑窯と推定された器種別一覧表

遺跡名	番号	点数	甕	壺	高坏	坏蓋	坏身	把手甕	甌	把手碗	埴	器台	甗	不明
市場南組窯	Ⅱ13~27	0												
船ヶ谷4次	Ⅰ1~53・Ⅱ1~12	27	0	10	7	3	3					3		1
出作	Ⅱ29~53	9	1	1	3	2	1							1
伊予市太郎丸	Ⅱ54~61	4	1	1	1				1					
土壇原	Ⅱ62~73	2	2											
高橋湯ノ窪3次	Ⅱ74~76・88	0												
東野お茶屋台	Ⅱ77	1		1										
北井門	Ⅱ78~85	3					1					1	1	
旗立C	Ⅱ86	1		1										
北久米浄蓮寺	Ⅱ87	1		1										
	計	48	4	15	11	5	5		1			4	2	1

4. 伽耶の窯と推定された器種別一覧表

遺跡名	番号	点数	甕	壺	高坏	坏蓋	坏身	把手甕	甌	把手碗	埴	器台	甗	不明
市場南組窯	Ⅱ13~27	0												
船ヶ谷4次	Ⅰ1~53・Ⅱ1~12	13	2	4	2	2		1	1					1
出作	Ⅱ29~53	0												
伊予市太郎丸	Ⅱ54~61	1		1										
土壇原	Ⅱ62~73	0												
高橋湯ノ窪3次	Ⅱ74~76・88	0												
東野お茶屋台	Ⅱ77	0												
北井門	Ⅱ78~85	0												
旗立C	Ⅱ86	0												
北久米浄蓮寺	Ⅱ87	0												
	計	14	2	5	2	2		1	1					1

5. 不明・不定の窯と推定された器種別一覧表

遺跡名	番号	点数	甕	壺	高坏	坏蓋	坏身	把手甕	甌	把手碗	埴	器台	甗	不明
市場南組窯	Ⅱ13~27	0												
船ヶ谷4次	Ⅰ1~53・Ⅱ1~12	15	1	5	3	1					1	3	1	0
出作	Ⅱ30・42・48	3		1		1			1					
伊予市太郎丸	Ⅱ59不定	1		1										
土壇原	Ⅱ63・64	2			2									
高橋湯ノ窪3次		0												
東野お茶屋台		0												
北井門	Ⅱ78	1					1							
旗立C		0												
北久米浄蓮寺		0												
	計	22	1	7	5	2	1		1		1	3	1	0

出土遺物観察表

凡例

遺物観察表

(1) 以下の表は船ヶ谷遺跡4次調査遺構遺物編に掲載した遺物観察表である。

(2) 各記載について

法量欄(): 復元推定

調整欄 土器の各部位名称を略記。

例) 口→口縁部、口端→口縁部端部、擬口→擬口縁、拵→拵張部、頸→頸部、肩→肩部、胴→胴部、胴上→胴部上半部、
 胴→胴部下半部、底→底部、坏→坏部、脚→脚部、天→天井部、つ→つまみ 胎土・焼成欄胎土欄では混和剤を略記。

例) 石→石英、長→長石、密→精製度。角→角閃石 赤→赤色酸化粒 金→金ウソモ

() 中の数値は混和剤粒子の大きさを示す。

例) 石・長(1~3) → 「1~3mm大の石英、長石を含む」

焼成欄の略記について。

◎→良好、○→良、△→不良

表3 SR1③層出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1	甕	口径(30.4) 残高 8.8	大型品。外反する口縁部の端部は「コ」の字状である。	①ヨコナデ ②ハケ(12本/cm)→ ナデ ③ハケ(5本/cm)→ ヘラミガキ	①ハケ ②ヘラミガキ	乳茶色 乳褐色	石・長(1~3) ◎	F9区	1
2	甕	口径(34.6) 残高 7.1	大型品。外反する口縁部の端部は丸味をもつ。	①ヨコナデ ②ハケ(8本/cm)	ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F4区	
3	甕	口径(19.2) 残高 8.2	外反する口縁部の端部は丸い。	①ナデ ②ナデ→ハケ(5本/cm)	①ハケ ②ナデ	黒褐色 淡褐色	石・長(1~3) ◎	F9区	
4	甕	口径(23.2) 残高 14.0	頸部内面に明確な稜をもち外反する口縁部。	ハケ(6本/cm)	①ハケ(5本/cm) ②ハケ(4本/cm) ③板ナデ→ナデ ④ハケ→ナデ	暗褐色 淡褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F4区	
5	甕	口径(25.4) 残高 6.2	「く」の字状口縁の端部は丸い。	①ヨコナデ ②ハケ(12本/cm)	①ハケ→ヨコナデ ②ハケ(10本/cm)	淡褐色 淡褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F4区	
6	甕	口径(15.2) 残高 4.0	「く」の字状口縁の端部は「コ」の字状に丸い。	①ヨコナデ ②ハケ→ヨコナデ ③ハケ(10本/cm)	ハケ(10本/cm)	乳褐色 淡茶色	石・長(1~2) ◎	F11区	
7	甕	口径(13.4) 残高 9.5	「く」の字状口縁の端部は「コ」の字状。	①ヨコナデ ②ハケ(4~5本/cm)	①ハケ(3本/cm) ②ナデ→ハケ(3本/cm)	乳茶色 乳茶色	石・長(1~3) ◎	E12区	
8	甕	口径(12.0) 残高 4.2	「く」の字状口縁。	①ヨコナデ	①ヨコナデ ②ハケ(6本/cm)	淡黄茶褐色 淡黄茶褐色	石・長(1~2) ◎	F11区	
9	甕	口径(14.2) 残高 6.9	「く」の字状口縁の端部は先細り。	①ヨコナデ ②タタキ	①ハケ(3本/cm) ②ハケ	茶褐色 黄褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F14区	
10	甕	底径(1.6) 残高 4.4	尖り気味に丸い底部。	マメツ	工具 ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1) ◎	黒斑	
11	甕	底径 2.1 残高 4.0	丸味をもつ小さな底部。	タタキ→ハケ(6~7本/cm) ナデ	ナデ→ハケ(5本/cm)	暗茶褐色 暗茶褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F16区 煤付着	
12	壺	口径(19.0) 残高 10.4	外反する擬口縁。端面に斜格子文。拵張部は内傾し6条、7条、4条の波状文。頸部に斜格子文の凸帯を貼付る。	①ヨコナデ ②ハケ(8本/cm) ③ハケ→ヨコナデ	④ハケ→ヨコナデ ハケ(6本/cm) ⑤ハケ(7本/cm) ハケ→ナデ	乳茶色 乳褐色	石・長(1~3) ◎	E9区 F11区 H14区 黒斑	
13	壺	口径 12.4 残高 9.9	外反する擬口縁。拵張部は内傾する。	①ヨコナデ ②ハケ(5本/cm) ③ハケ→ナデ ④ハケ(5本/cm)	⑤ハケ→ヨコナデ ⑥ナデ ⑦ハケ(5本/cm) ⑧ヨコナデ	橙褐色 灰茶褐色	石・長(1~3) ◎	F10区	1
14	壺	口径(14.4) 残高 11.6	外反する擬口縁。拵張部はわずかに内傾し端部は丸い。	①ヨコナデ ②ミガキ→ヨコナデ ③ミガキ	④ヨコナデ ⑤ナデ ⑥ヨコナデ	淡黄色 淡黄色	石・長(1~2) ◎	F11区 黒斑	1
15	壺	口径(21.2) 残高 3.7	短く内傾する拵張部。端部はナデにより凹む。3条の波状文を施す。	ナデ ハケ	ナデ ヨコナデ	暗茶褐色 茶褐色	石・長(1~2) ◎	E15区	
16	壺	残高 8.2	外反する擬口縁。拵張部は内傾し4条以上の波状文を施す。頸部に凸帯を貼付る。	ヨコナデ ハケ(5~6本/cm)	ヨコナデ ハケ(6本/cm) ハケ→ナデ	淡黄色 淡黄色	石・長(1~2) ◎	F11区	
17	壺	口径(13.4) 残高 3.0	外反する擬口縁。拵張部は短く内傾する。	ハケ(7本/cm)	ハケ→ナデ ハケ	淡灰色 淡灰色	石・長(1~2) ◎	F9区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1③層出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
18	壺	口径 (14.0) 残高 6.3	外反する口縁部。端部は「コ」の字状。頸部に斜格子文の凸帯を貼付る。	①ヨコナデ ②ハケ(10本/cm)→ ヨコナデ	ナデ	淡乳桃褐色 淡褐色	石・長(1~5) ◎	F9区	
19	壺	口径 (28.8) 残高 2.8	口縁部の小片。端部を上下に拡張し波状文を施す。	ヨコナデ ナデ	ナデ ヨコナデ	淡黄褐色 淡茶褐色	石・長(1) ◎	H13区	
20	壺	口径 (19.0) 残高 2.7	口縁部の小片。端部を下方に拡張し9条の波状文を施す。	ヨコナデ	ミガキ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F14区	
21	壺	口径 (9.0) 底径 3.3 残高 18.8	上げ底の底部より内湾して立ち上がる長い胴部。口縁部は短く外反し端部は丸い。	①ハケ→ナデ ②ナデ	ハケ→ナデ	乳白褐色 乳白褐色	石・長(1~4) ◎	F9区 黒斑	1
22	壺	口径 (11.2) 残高 8.5	外反する口縁部の端部は丸い。	①ヨコナデ ②ハケ→ヨコナデ ③タタキ→ハケ (7~10本/cm)	①ハケ(7本/cm) ②ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~5) ◎	F9区	
23	壺	残高 10.3	長い口頸部。頸部外面に沈線状の細い線1条。	ハケ→ヨコナデ ハケ(5本/cm)	ナデ→ハケ(5本/cm) ナデ ヨコナデ	乳茶褐色 淡黄褐色	石・長(1) 金 ◎	F11区	
24	壺	口径 (11.4) 残高 5.3	直線的に伸びる口縁部。	①ヨコナデ ②ハケ(7本/cm)→ ミガキ	ナデ ヨコナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1) 金 ◎	F4区	
25	壺	口径 (14.4) 残高 9.3	直線的に外上方に伸びる長い口縁部の端部は丸い。	①ハケ→ヨコナデ ②ハケ(10本/cm)	①ハケ→ヨコナデ ②ハケ(10本/cm)	淡茶褐色 淡茶褐色	砂 ◎	F10区	
26	壺	口径 (17.0) 残高 4.1	外反する口縁部の端部は丸い。	①ヨコナデ ②ミガキ	ナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	F12区	
27	壺	残高 4.6	胴部片。7条、5条、3条以上の波状文を施す。	施文	ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) 金 ◎	E13区	
28	壺	底径 3.6 残高 9.7	丸味のある平底より内湾して立ち上がる胴部。	①ハケ(10~12本/cm) ②ナデ	ハケ(10~12本/cm)	淡褐色 淡灰褐色	石・長(1~6) 金 ◎	F12区 黒斑	
29	鉢	口径 (22.6) 残高 8.8	外反する口縁部の端部は尖り気味に丸い。	①工具痕 ナデ ②ナデ	①ヨコナデ ②ナデ→ハケ(5本/cm) ③ナデ	淡褐色 暗褐色	石・長(1~2) ◎	F9区	1
30	鉢	残高 5.9	頸部内面に明確な稜をもつ「く」の字状口縁か?	①工具痕 ヨコナデ ②ミガキ	ミガキ	暗褐色 暗褐色	石・長(1~2) ◎	F4区 黒斑	
31	鉢	口径 (15.0) 残高 4.0	頸部のくびれが弱く短く直線的に伸びる口縁部。	①ヨコナデ ②ハケ→ナデ	①ミガキ→ヨコナデ ②ナデアゲ	淡茶褐色 淡茶色	石・長(1~2) ◎	F4区	
32	鉢	底径 2.4 残高 4.1	小さな丸味をもつ平底。	ハケ ナデ	ナデ	淡褐色 黒灰色	石・長(1~3) ◎	F4区 黒斑	
33	鉢	底径 1.9 残高 4.9	小さな丸味をもつ平底。	①ナデ ハケ(10本/cm) ②ナデ	①ハケ(7~8本/cm) ②ナデ	茶褐色 黒褐色	石・長(1)・砂 金 ◎	F10区 黒斑	
34	鉢	口径 (7.3) 残高 4.1	直口口縁。端部は先細りする。	ハケ(6~7本/cm)→ ナデ	ナデアゲ ミガキ	淡黄白褐色 淡黄褐色	石・長(1) ◎	F4区	
35	高杯	口径 (25.2) 残高 1.3	坏部の口縁部。口端面は拡張され半截竹管文を2列「逆S字状」に配列。	ハケ→ヨコナデ ナデ ヨコナデ	ヘラミガキ	乳灰褐色 乳灰褐色	石・長(1) 金 ◎	F4・5区	1
36	高杯	残高 1.0	坏部の口縁部。口端面は拡張され波状文5~6条を施す。	ヨコナデ	ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	F4区	
37	高杯	残高 6.4	柱部。坏部との接合は充填技法。	ハケ ナデ	ナデ 板ナデ	淡乳黄色 淡乳黄色	石・長(1~2) ◎		
38	高杯	残高 7.7	柱部上位は中実。円孔を4方向に施す。	ナデ ミガキ	②ナデ ③絞り痕	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1) ◎	F11区	
39	高杯	残高 2.9	組合せ技法。径1.9cm円孔を4方向に施す。	ハケ→ミガキ	②ミガキ ③ナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~5) 金 ◎	F10区	
40	高杯	残高 4.9	短く細い柱部から屈曲して裾部につづく。	ハケ→ヨコナデ ハケ(10本/cm)	②ハケ(10~12本/cm) ③工具ナデ ④ハケ(12本/cm)	淡褐色 黒灰色	石・長(1~3) ◎	G11区	
41	高杯	残高 3.4	有段の裾部。段上部に2列、下部に3列の半截竹管文と径2.1cmの円孔を施す。	マメツ	マメツ	淡乳黄色 淡乳黄色	石・長(1~3) ◎	E3・4区 F4区	
42	器台	残高 7.4	エンタシス状の柱部。	ミガキ	ナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2)・砂 ◎	F4区	

出土遺物観察表

SR1③層出土遺物観察表 土製品

(3)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
43	支脚	残高 10.0	中心部が貫通する径1.0cm。	タタキ		茶褐色 茶褐色	石・長(1~2) ◎	F14区	
44	支脚	残高 7.4	中空。	ナデ 握り痕	ナデ ヨコナデ	淡黄茶褐色 淡黄茶褐色	石・長(1) ◎	F16区	
45	支脚	底径(9.7) 残高 4.3	中空の底部。	タタキ タタキ→ナデ ナデ	ナデ	淡茶褐色 淡黄茶褐色	石・長(1) ◎	F14区	
46	支脚	口径 6.5 底径 6.0 器高 3.6	中実。器高が低く上下が凹む。 側面に面をもつ。	ナデ		淡褐色	石・長(1~3) ◎		
47	支脚	残高 12.5	受部は2本の角状突起をもち背面に 円孔をもつ。	ナデ	ナデ	淡褐色 灰褐色	石・長(1~4) 金 ◎	F16区 黒斑	
48	甌	底径(1.0) 残高 5.4	尖底の底部に径0.5cmの穿孔。	タタキ	絞り痕 ハケ(6本/cm)	乳灰色 乳白色	石・長(1~2) ◎	G14区 黒斑	
49	土製品	残高 3.9	把手状の土製品。	ナデ		淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	F11区	1
50	ニチュフ	残高 4.5	丸い底部。	ナデ	ナデ	褐色 褐色	石・長(1~4) 金 ◎	F5区 黒斑	1
51	ニチュフ	口径 4.2 底径 2.8 器高 2.8	くびれの上げ底。口端部は「コ」の 字状。	ナデ ハケ(10本/cm)	ナデ	茶褐色 茶褐色	石・長(1~2) ◎	F8区	1
52	壺	残高 2.7	胴部の小片。簾状文。	施文	ナデ	乳茶色 乳褐色	石・長(1~2) ◎	H14区	
53	高坏	残高 4.6	短い柱部に屈曲する裾部。裾部に 径1.5cmの円孔を2ヶ所。	ミガキ	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	C9区	
54	高坏	口径(14.7) 底径 10.3 器高 10.0	坏端部はわずかに外反し丸い。 三角錐状の柱部、裾部は屈曲し端 部は丸い。	①ヨコナデ ②ハケ→ヨコナデ ③ヨコナデ ④ハケ(12本/cm)→ ヨコナデ	⑤ヨコナデ ⑥工具によるヨコナデ ⑦ヨコナデ	橙褐色 橙褐色	石・長(1~4) 金 ◎	F9区	
55	鉢	口径(14.4) 残高 4.3	丸味のある口縁部。口端部は丸い。	ナデ	ナデ	暗褐色 暗褐色	石・長(1~2) ◎	H17区	
56	壺	口径 25.6 残高 17.4	複合口縁。擬口縁は端部手前で外 反し、拡張部は外上方に直線的に 伸び端部は「コ」の字状である。	①ヨコナデ ②ハケ→ヨコナデ ③ヨコナデ ④ハケ(12本/cm)→ ヨコナデ	⑤ヨコナデ ⑥ナデ ⑦ナデ ⑧ナデ上げ	乳灰褐色 乳茶色	石・長(1~2) ◎	G15区 H15区	2
57	壺	口径 11.2 残高 20.5	長胴の壺。口縁部は外傾し頸部は 太頸で短い。	①ナデ ②ハケ(7本/cm) ③ナデ ④ケズリ→ナデ ⑤ハケ→ミガキ ⑥ケズリ	⑦ナデ→ハケ ⑧ナデ ⑨ナデ ⑩ケズリ	乳茶褐色 淡灰褐色	石・長(1~3) ◎	F8区	2
58	甕	口径(13.0) 残高 10.6	肩部の張は弱く、口縁部は丸い。	①マメツ ②マメツ(一部ハケ) ③ハケ	④ナデ→ハケ ⑤ナデ ⑥ケズリ	白灰色 淡褐色	石・長(1~5) ○	F10区 黒斑	
59	甕	口径(14.8) 残高 6.0	「く」の字状口縁で端部は丸く。肩 が張る。	ハケ	マメツ	乳白色 暗灰色	石・長(1~3) ○	F9区 黒斑	
60	壺	口径(23.4) 残高 2.3	口縁部の小片。端部を上下に拡張 し3条の擬凹線文を施す。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳茶色 乳茶色	石・長(1~2) ◎		
61	壺	口径(14.8) 残高 2.5	口縁部の小片。口端面に2条の擬 凹線文を施す。	①ヨコナデ ②ミガキ	ヨコナデ	茶褐色 茶褐色	石・長(1~2) ◎	C5区	
62	壺	口径(17.4) 残高 5.2	直立する頸部に水平に開く口縁部。 端部は「コ」の字状。	①ヨコナデ ②ヨコナデ→ハケ ③ハケ(7本/cm)	④ヨコナデ ⑤ミガキ ⑥ナデ	黄橙色 黄橙色	石・長(1~2) ◎	F14区	
63	壺	口径(12.4) 残高 6.3	長頸壺。頸部に3条以上の沈線文を 施す。	①ヨコナデ ②ナデ	ナデ	淡乳褐色 淡乳褐色	石・長(1~3) ◎	F9区	
64	鉢	口径(39.4) 残高 10.1	大型品。「く」の字状口縁。端部は 「コ」の字状。	①ヨコナデ ②板状工具に よるナデ	③ヨコナデ ④板ナデ ⑤ヨコナデ	乳橙褐色 淡褐色	石・長(1~5) 金 ◎	F9区	2
65	甕	口径(22.0) 残高 2.8	折り曲げ口縁。口端部は「コ」の字 状に丸い。	①ヨコナデ ②マメツ	マメツ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	C7区	
66	甕	口径(23.6) 残高 3.7	折り曲げ口縁。口端部は丸い。	①ヨコナデ ②ハケ	③ヨコナデ ④ミガキ	淡黄褐色 淡黄褐色	石粒 ◎	F8区 黒斑	
67	甕	口径(34.4) 残高 3.1	貼付口縁。凸帯を1条貼付る。	ナデ	ヨコナデ ナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	F8区 黒斑	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1③層出土遺物観察表 土製品

(4)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
68	甕	残高 3.2	口縁部小片。指頭押圧の凸帯を1条貼り付ける。	ミガキ	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	D 6区	
69	甕	残高 4.7	頸部真下に指頭押圧された凸帯を貼り付ける。	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎	F12区	
70	壺	口径(14.0) 残高 3.7	外反する口縁部。	㊶ヨコナデ ㊷ナデ ミガキ	㊸ヨコナデ ㊹ナデ	淡乳褐色 淡乳褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F 4区	
71	壺	口径(9.0) 残高 3.1	外反する口縁部。端部は下方に垂れ丸い。頸部に沈線1条と凸帯を1条貼り付ける。	ヨコナデ	㊸ヨコナデ ㊹ミガキ	乳茶色 乳茶色	石・長(1~2) ◎	E 9区	
72	壺	口径(21.2) 残高 1.6	口縁部片。端部を下方に拡張し端面に斜格子文を施す。	ヨコナデ	ヨコナデ	灰褐色 灰褐色	石・長(1~2) ◎	E 4区	
73	壺	残高 2.2	口縁部片。端部を下方に拡張し端面に斜格子文を施す。	ヨコナデ	マメツ	淡乳白色 淡乳白色	石・長(1~2) 石粒多 ◎	E13区	
74	壺	口径(14.5) 残高 3.5	無頸壺。口縁部に沈線1条と径0.4cmの円孔を2ヶ施す。	ナデ	ナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	G13区	
75	壺	口径(11.0) 残高 2.7	無頸壺。口縁部に径0.3cmの円孔を2ヶ施す。	ナデ ミガキ	ナデ	灰褐色 灰褐色	石・長(1~2) ◎	E 5区	
76	壺	残高 4.9	胴部片。凸帯を2条貼り付ける。	マメツ	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~3) ◎	B 3区	
77	ジョッキ型	底径(13.0) 残高 3.7	平底の底部は外方に突出する。径0.5cmの穿孔を2ヶ所に施す。	ナデ	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	G16区	
78	ジョッキ型	底径(9.1) 残高 4.5	平底。径0.3cmの穿孔を施す。	ヘラミガキ ヨコナデ ナデ	工具による ナデ	乳灰色 黒色	石・長(1~2) ◎	E13区 黒斑	
79	高 杯	残高 3.9	組合せ技法。	ミガキ	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) 金 ◎	G 7区	
80	甕	底径 6.7 残高 6.0	くびれの上げ底。	ミガキ ナデ	マメツ	灰褐色 暗灰褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F 4区 黒斑	
81	分銅型 土製品	長 4.7 幅 4.1 厚 1.8	隅丸方形。顔面の表現はない。	ナデ		乳褐色 乳褐色	石・長(1~3) ◎	F12区	2
82	壺	残高 5.3	胴部片。21条以上の沈線文と4条の波状文を2段に施す。	マメツ	マメツ	淡黄色 淡黄色	石・長(1~3) ◎	F 8区	2
83	壺	残高 4.4	胴部片。竹管文と11条以上の櫛描き沈線文を施す。	ミガキ	マメツ	灰茶色 暗灰色	石・長(1~2) ◎	F11区	2
84	壺	残高 3.2	胴部片。3列の竹管文と4条の弧状の沈線文を施す。	ハケ	マメツ	乳灰茶褐色 乳灰褐色	石・長(1~2) 金 ◎	E 9区	2
85	甕	残高 6.3	くびれの上げ底。	ミガキ	ナデ ヨコナデ	淡黄白色 淡黄白色	石・長(1~2) ◎	F 4区 黒斑	
86	甕	口径(24.4) 残高 5.2	折り曲げ口縁。沈線文15条以上と縦方向の櫛描き直線文6本を施す。	ヨコナデ	ミガキ	暗灰褐色 茶褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F 8区 黒斑	
87	甕	口径(21.7) 残高 2.7	折り曲げ口縁。口縁部にキザミ、外面に12条以上の沈線文を施す。	ナデ ハケ	㊸ヨコナデ ㊹ナデ	淡茶褐色 淡褐色	石・長(1~3) ◎	E13区	
88	甕	口径(24.0) 残高 4.5	折り曲げ口縁。外面に櫛描き沈線文15条施す。	ヨコナデ	㊴ヨコナデ ㊵マメツ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎		
89	甕	残高 9.4	胴部片。20条以上の櫛描き沈線文と刺突文を施す。	ミガキ	ミガキ	茶褐色 茶褐色	石・長(1~2) ◎	F 7区	
90	甕	口径(22.4) 残高 4.2	貼付口縁。16条以上の沈線文を施す。	㊶ヨコナデ ㊷ハケ	㊸ヨコナデ ㊹ナデ ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	F 4区	
91	甕	口径(25.8) 残高 3.4	貼付口縁。13条以上の沈線文を施す。	ヨコナデ	㊸ヨコナデ ㊹ナデ	黄茶褐色 淡茶褐色	石・長(1) ◎	F 8区	
92	甕	口径(19.9) 残高 8.1	貼付口縁。櫛描き沈線文16条と刺突文1条を施す。	㊸ヨコナデ ㊹ハケ→ヨコナデ ㊺ハケ→ナデ	㊴ヨコナデ→ミガキ ㊵ナデ→ミガキ	乳灰褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F 8区	

出土遺物観察表

SR1③層出土遺物観察表 土製品

(5)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
93	甕	口径(28.0) 残高 6.0	貼付口縁。頸部真下に凸帯を貼付、キザミを施す。櫛による沈線文を9条以上施す。	ヨコナデ	㊶ヨコナデ ㊷ミガキ	淡茶褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	E 6 区	2
94	甕	残高 4.2	胴部片。15条以上の櫛描き沈線文と刺突文、縦方向の4条の直線文を施す。	ハケ	ミガキ	暗褐色 暗茶褐色	石・長(1~2)砂 ◎	E 6 区	2
95	甕	底径(5.6) 残高 4.2	わずかに丸味をもつ平底。	ミガキ ナデ	ナデ	茶褐色 暗茶褐色	石・長(1) ◎	H15区	
96	鉢	残高 2.7	口縁部の小片。	ヨコナデ ナデ	マメツ	黒褐色 淡褐色	石(1~2) ◎	E 6 区 黒斑	
97	壺	口径(13.2) 残高 2.5	外反する口縁部。内面に凸帯を貼付する。	㊸ヨコナデ ㊹ナデ	ヨコナデ	淡赤褐色 淡赤褐色	石・長(1~3) 金 ◎		
98	壺	残高 3.6	外反する口縁部の内面に凸帯を貼付する。	ミガキ→ナデ	ミガキ	暗褐色 暗褐色	石・長(1~3) ◎	E 6 区	
99	壺	残高 2.8	頸部に凸帯を貼付する。	ヨコナデ	マメツ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	E15区	
100	壺	残高 3.8	胴部片。指頭圧痕された貼付凸帯と6条1組の波状文を2列に施す。	ハケ	ミガキ	茶褐色 茶褐色	石・長(1~2) ◎	E11区	
101	壺	残高 3.3	胴部片。6条の沈線文と山形文と刺突文を施す。	施文	ナデ	乳灰褐色 乳灰褐色	石・長(1) ◎	E 5 区	
102	壺	残高 5.4	胴部片。5条の波状文、5条の沈線文、3列の刺突文を施す。	ハケ	ナデ	淡茶褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	D 6 区	
103	壺	残高 5.8	胴部片。4条以上と8条の沈線文、4条2列の波状文と刺突文を施す。	施文	ナデ	茶褐色 褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F14区	
104	壺	残高 3.9	胴部片。6条の波状文と沈線文、1列の刺突文を施す。	施文	ナデ	灰褐色 乳褐色	石・長(1~2) ◎	G13区	
105	壺	残高 7.1	胴部片。7条の沈線文を2ヶ所と4条2段の波状文を2ヶ所、2条以上の波状文を施す。	施文	ナデ	茶褐色 茶褐色	石・長(1~2) ◎	G13区	2
106	壺	残高 3.6	胴部片。3条の斜格子文と4条以上の沈線文を施す。	施文	ナデ	灰褐色 灰褐色	石・長(1) 金 ◎	H15区	
107	壺	残高 5.3	胴部片。3条以上と8条の沈線文、5条の山形文を施す。	施文	ナデ ミガキ	乳白色 乳白色	石・長(1~4) ◎	E 8 区 F 7 区	
108	壺	残高 5.3	胴部片。竹管文と沈線文を施す。	マメツ	ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2)砂粒 ◎	D 7 区	
109	甕	口径(27.8) 残高 6.5	折り曲げ口縁。口端部は先細りする。	㊺ヨコナデ ㊻ナデ ㊼ハケ→ミガキ	㊽ヨコナデ ㊾ナデ ㊿ナデ	灰褐色 淡褐色	石・長(1~3) 金 ◎	E 6 区 煤付着	
110	甕	口径(16.2) 残高 7.0	口縁部を水平に折り曲げる。端部は丸い。	㊽ヨコナデ ㊾ナデ ㊿ハケ(8本/cm) ㊻→ミガキ	㊽ヨコナデ ㊾ナデ→ミガキ	灰黄色 灰黄色	石・長(1~3) 金 ◎	E 5 区 黒斑	
111	甕	口径(29.0) 残高 4.2	口縁部を短く折り曲げ、端部にキザミと下部に8条以上の沈線文を施す。	ヨコナデ	㊽ヨコナデ ㊾ナデ	茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~3) ◎	E 6 区	
112	甕	残高 5.0	折り曲げ口縁。外面に4条と3条の沈線文を施す。	ナデ	ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~2) ◎	F 6 区 黒斑	
113	甕	口径(23.2) 残高 4.9	貼付口縁。端部は丸い。	㊽ヨコナデ ㊾ナデ ㊿ハケ(8本/cm) ㊻→ミガキ	㊽ヨコナデ ㊾ナデ→ミガキ	暗褐色 褐色	石・長(1~2) ◎	E 6 区 黒斑	
114	甕	口径(17.6) 残高 3.7	貼付口縁。口端部にキザミを施す。	㊽ヨコナデ ㊾ナデ ㊿ハケ(5本/cm)	㊽ハケ→ミガキ ㊾ミガキ	淡褐色 淡橙褐色	石・長(1~3) ◎	F 6 区	
115	甕	口径(24.4) 残高 6.3	貼付口縁。口端部にキザミ、下部に4~5条の沈線文を施す。	ナデ ハケ	㊽ヨコナデ ㊾マメツ	灰褐色 暗灰褐色	石・長(1~5) ◎	D 6 区 黒斑	
116	甕	口径(19.4) 残高 4.6	貼付口縁。口端部にキザミ、下部に10条の沈線文を施す。	㊽ヨコナデ ㊾ハケ	ミガキ	暗灰褐色 淡褐色	石・長(1~4) ◎	F 8 区 黒斑	
117	甕	口径(27.2) 残高 7.7	口縁端部にキザミ、口縁下部に4条、3条、4条の沈線文、沈線間に刺突文と縦方向の沈線(2条以上)を施す。	㊽ヨコナデ ㊾ナデ ㊿ハケ→ナデ	㊽ヨコナデ ㊾ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1) ◎	E 7 区	3

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1③層出土遺物観察表 土製品

(6)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
118	甕	口径 (31.2) 残高 5.9	口縁下部に断面「M」字状の凸帯を貼付、キザミを施す。凸帯下部に9条の沈線文と刺突文を施す。	㊦ヨコナデ	㊦ヨコナデ ㊧ミガキ	褐色 暗茶褐色	石・長(1~2) ◎	E 7 区	3
119	壺	口径 (23.2) 残高 2.3	口縁端部にキザミと沈線文、口縁内面にキザミを施した凸帯を1条巡らす。	㊦ヨコナデ ㊧ハケ(10本/cm)	ハケ ヨコナデ ナデ ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~3) ◎	F 6 区	
120	壺	残高 8.6	外反する口頸部、内面にキザミを施した凸帯を1条と外面に9条以上の沈線文を施す。	ヨコナデ ハケ→ナデ	ヨコナデ ナデ→ミガキ	淡白黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎	F6・7区	
121	壺	口径 (21.3) 残高 2.7	外反する口縁部。端面に斜格子文を施す。	ナデ	ナデ ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~3) 金 ◎		
122	壺	口径 (16.9) 残高 3.3	外反する口縁部。端面上下にキザミを施す。	㊦マメツ ㊧ミガキ→ヨコナデ	ミガキ	褐色 淡褐色	石・長(1~2) 金 ◎	E 5 区	
123	壺	口径 (15.8) 残高 4.2	外反する口縁部。端部にキザミを施す。	㊦ヨコナデ ㊧ナデ→ミガキ	㊦ヨコナデ ㊧ナデ→ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎		
124	壺	残高 5.3	外反する口頸部。頸部外面に幅広の刺突押圧された凸帯と沈線文を2条施す。	ナデ	ミガキ ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F10区	
125	壺	残高 2.6	胴部片。外面に押圧された凸帯を巡らす。	ナデ	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	E 8 区	
126	壺	残高 3.6	胴部片。外面に貝殻文を6条(貝殻の方向が違う)巡らす。	ナデ	ナデ ヨコナデ	灰褐色 暗灰褐色	石・長(1~5) 金 ◎	F 4 区	3
127	鉢	口径 (40.0) 残高 6.3	大型品。口縁部を短く折り曲げる。	㊦ヨコナデ ㊧ハケ(7本/cm)	ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~3) 金 ◎	E 6 区	
128	鉢	口径 (36.8) 残高 4.8	大型品。折り曲げ口縁。	㊦ヨコナデ ㊧ミガキ ㊨マメツ	ミガキ	淡灰褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	E 6 区	
129	鉢	残高 6.3	口縁部の小片。貼付口縁。	㊦ヨコナデ ㊧ナデ	ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~4) 赤 ◎	E 6 区	
130	鉢	底径 (7.6) 残高 3.6	くびれの上げ底。	ナデ ヨコナデ	ナデ	淡茶褐色 暗褐色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
131	甕	底径 6.0 残高 4.7	くびれの上げ底。	ミガキ ヨコナデ ナデ	ミガキ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	F 7 区 黒斑	
132	甕	底径 (4.4) 残高 4.3	上げ底。	ナデ ヨコナデ	ナデ	淡褐色 褐色	長(1~2) ◎	F 5 区	3
133	甕	底径 6.3 残高 4.9	厚みのある平底。	ハケ→ナデ ナデ	ナデ	淡乳黄色 淡乳黄色	石・長(1~3) ◎	H15区 黒斑	
134	高 坏	残高 3.9	柱部に凸帯を貼付る。	ヨコナデ	㊦ミガキ ナデ ㊧ナデ 工具痕	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F 7 区	
135	甕	口径 (28.1) 残高 3.0	貼付口縁。キザミ目を施す。	ヨコナデ	ヨコナデ	淡灰褐色 淡灰褐色	石・長(1~2) ◎	E 6 区	3
136	鉢	口径 (28.4) 残高 4.4	口端部に凸帯を貼付る。無文土器系。	㊦ヨコナデ ㊧ミガキ→ナデ	㊦ヨコナデ ㊧ナデ ㊨ミガキ→ナデ	褐色 褐色	石・長(1~3) ◎	F 9 区	3
137	壺	口径 (29.9) 残高 2.1	外反する口縁部の端部はナデによりわずかに凹む。頸部に段をもつ。	㊦ナデ ㊧ヨコナデ	ミガキ	乳褐色 乳褐色	石・長(1~2) 金 ◎	E14区	
138	壺	口径 (10.6) 残高 4.9	口縁部は短く外反し端部は丸い。口頸部境に2条の沈線文を施す。	㊦ヨコナデ ㊧ナデ ㊨ナデ→ミガキ	ナデ	灰褐色 灰褐色	石・長(1~4) 金 ◎		3
139	壺	残高 3.8	頸部の小片。沈線文を施す。	ヨコナデ	ヨコナデ	淡茶色 淡褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F12区	
140	壺	残高 7.0	胴部片。3条の沈線文と弧文を施す。	ミガキ	ナデ	乳白色 乳褐色	石・長(1~2) 金 ◎	G14区	3
141	壺	残高 6.0	胴部片。2条の沈線文を施す。	ナデ	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	F 8 区	
142	壺	残高 3.5	胴部片。2条以上の弧文を施す。	ミガキ	ミガキ	乳灰色 乳灰色	石・長(1~2) 金 ◎	E 5 区	

出土遺物観察表

SR1③層出土遺物観察表 土製品

(7)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
143	壺	底径 (9.1) 残高 5.3	厚みのある平底。	ナデ上ゲ ハケ ヨコナデ ナデ	ナデ	淡茶褐色 淡褐色	石・長(1~2) 金・角多 ○	大分から の搬入品?	3
144	壺	底径 6.2 残高 3.5	平底。外面に3条の貝殻文を施す。	ヨコナデ	マメツ	乳茶褐色 灰褐色	石・長(1~6) ○	G16区	3
145	甕	残高 3.2	口縁部片。口端部の下部に凸帯を貼付け、口端部と凸帯にキザミを施す。	ヨコナデ	ミガキ	乳白色 乳白色	石・長(1~4) ◎	F14区	
146	甕	残高 2.3	口縁部片。口端部の下部に凸帯を貼付ける。	マメツ	ナデ	暗褐色 暗褐色	石・長(1~2) ◎	E7区	
147	甕	残高 4.9	屈曲する胴部にキザミ目を施す。	マメツ	マメツ	乳褐色 乳褐色	石・長(1~2) 金 ○	E13区	
148	壺	口径(30.8) 残高 2.8	短く外上方に伸びる口縁部。頸部に1条の沈線。	ナデ	ナデ	淡乳黄褐色 淡乳黄褐色	長(1)・砂 金 ◎	E10区	
149	壺	残高 11.4	内傾する太い口頸部。胴部との境に沈線を施す。	ナデ マメツ ヘラミガキ	ナデ ナデ→工具 によるナデ	淡紫褐色 乳茶褐色	石・長(1~2) 金 ◎	E14区	3
150	深鉢	口径(36.8) 残高 4.4	直口する口縁部の端部は丸い。	ナデ	ヨコナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~2) ◎	E7区	4
151	浅鉢	残高 3.4	口縁部内面に2条の凹線が巡る。	ミガキ	ヘラミガキ	乳褐色 淡灰色	石・長(1) 金 ◎	E7区	4
152	浅鉢	残高 4.1	胴部が張る小片。	マメツ	マメツ	乳灰色 暗灰褐色	石・長(1~2) ◎	D8区	4

表4 SR1③層出土遺物観察表 石製品

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	最大厚 (cm)	重さ (g)		
153	石 錐	完 形		3.2	1.5	0.4	1.576	E 7 区	4
154	スクレイパー	完 形	サヌカイト	3.0	4.5	0.8	11.815	E 6 区	4
155	スクレイパー	完 形	サヌカイト	2.4	4.6	1.5	18.435	H 1 3 区	4
156	スクレイパー	完 形	サヌカイト	4.2	4.2	1.0	16.955	G 1 4 区	4
157	スクレイパー	完 形	サヌカイト	4.9	5.4	1.3	37.165	F 1 4 区	4
158	剥 片	完 形	サヌカイト	3.5	5.6	0.9	22.227	E 6 区	4
159	土 掘り 具	4 / 5		6.4	3.7	0.8	29.573	E 9 区	4
160	石 錐	完 形		8.7	7.4	4.7	355.00	D 1 3 区	4
161	石 錐	完 形	軽 石	16.5	8.5	3.8	445.00	D 9 区	4
162	石 錐	完 形		9.6	7.4	1.7	220.00	D 1 0 区	4
163	有 扶 石 錐	完 形		8.8	8.8	2.1	260.00	G 1 4 区	4
164	敲 石	完 形		11.4	11.9	6.6	1,190.00	E 3 区	
165	敲 石	完 形		10.5	9.2	3.9	546.00	F 1 4 区	4
166	敲 石	1 / 2	安 山 岩	11.5	5.1	5.5	405.00	F 1 2 区	
167	敲 石	完 形	安 山 岩	11.4	7.6	4.2	570.00	F 1 2 区	
168	敲 石	1 / 2		8.5	3.9	7.0	280.00	G 1 4 区	
169	敲・磨 石	完 形	安 山 岩	7.4	6.1	5.0	320.00	H 1 3 区	
170	磨 石	完 形		12.0	7.5	3.5	412.00	F 1 4 区	
171	磨 石		安 山 岩	11.2	5.4	7.3	545.00	E 1 2 区	
172	磨 石		安 山 岩	12.0	5.7	5.6	536.00	E 1 3 区	4
173	磨 石	完 形	安 山 岩	8.0	6.8	3.5	284.00	E 1 5 区	
174	磨 石	完 形	安 山 岩	6.6	4.7	4.0	184.00	D 7 区	
175	磨 石	完 形	安 山 岩	4.5	3.7	2.7	66.00	F 1 6 区	
176	磨 石	完 形	安 山 岩	6.1	5.4	2.4	135.00	F 8 区	
177	磨 石	完 形	安 山 岩	5.9	8.9	2.4	220.00	E 1 2 区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1③層出土遺物観察表 石製品

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)		
178	砥	石	安山岩	6.7	9.5	5.8	606.00	F 9 区	
179	砥	石	安山岩	9.7	6.1	4.2	347.00	F 4 区	
180	砥	石	石英粗面岩	6.4	5.9	5.7	325.00	H 1 3 区	
181	砥	石		6.5	6.0	2.4	135.00	H 1 5 区	
182	台	石		10.2	11.0	6.1	1,183.00	H 1 4 区	
183	台	石	安山岩	11.9	8.3	3.6	471.00	F 9 区	
184	台	石	安山岩	5.3	9.3	6.1	481.00	F 1 0 区	
185	台	石	完形 安山岩	17.4	21.0	3.9	2,450.00	H 1 7 区	
186	台	石	安山岩	20.0	15.1	7.1	3,350.00	D 1 5 区	
187	石	庖丁		4.2	4.2	0.7	18.729	F 7 区	
188	石	庖丁		6.6	3.9	1.1	42.166	F 9 区	
189	石	庖丁		7.8	5.0	1.0	57.289	E 5 区	
190	石	庖丁		6.0	7.2	1.0	59.102	E 1 4 区	
191	石	庖丁		5.1	4.0	0.9	26.342	D 1 2 区	
192	石	鎌		11.0	3.8	1.4	77.318	F 9 区	
193	石	鎌		9.5	4.7	1.2	82.963	H 1 4 区	
194	柱状片	刃石斧	綠色片岩	9.2	3.8	0.9	45.905	G 1 2 区	
195	石	斧		6.6	2.8	4.0	119.00	H 1 3 区	
196	石	斧		7.7	2.8	1.9	69.541	F 1 2 区	
197	鑿状片	刃石斧	完形	5.6	0.8	0.6	4.154	D 6 区	
198	扁平片	刃石斧	完形	6.1	2.6	0.5	16.088	G 1 6 区	
199	石	鎌		23.5	6.3	4.3	1,135.00	D 1 1 区	
200	石器	素材		8.8	13.1	2.5	425.00	G 1 4 区	
201	素	材	完形	11.1	6.6	2.2	220.00	G 1 4 区	
202	石器	素材	完形	7.4	6.6	2.5	213.00	F 1 2 区	
203	原	石	完形	4.7	4.9	0.8	30.060	O 9 区	
204	原	石	完形	4.3	8.8	1.9	116.00	G 1 3 区	

表5 SR1②層G6・7区出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
205	小型器台	口径 12.2 底径 10.3 器高 12.3	坏部は内湾し端部は内傾する面をもつ。坏内面に凸帯を巡らし中央部に穿孔。胴部は2条の凹線と1条の凸帯と三角形の透かしを施す。	回転ナデ	㊸回転ナデ ㊹ナデ ㊺絞り痕 ㊻回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	釉付着 G7区	5
206	小型器台	口径 10.2 底径 11.5 器高 12.3	坏部端面は外傾し、坏中央部に穿孔。柱部に三角形の透かし、裾部2ヶ所に凸帯、凸帯間に半円形の透かしを施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	釉付着 G7区	5
207	甗	口径 6.6 器高 9.8	外傾する口縁部の端部は尖り気味に丸い。口縁部外面に削り出しの凸帯1条。胴部は丸味をもち底部は尖り気味。胴部に径0.9cmの穿孔。	㊸回転ナデ ㊹ナデ	㊺回転ナデ ㊻ナデ	青灰色 青灰色	(1~3)の小石 ◎	G6区	5
208	坏蓋	口径(13.4) 残高 4.2	口縁部と天井部を分ける稜は、断面三角形で長い。口縁端部は内傾する面をもちわずかに凹む。	㊸回転ヘラケズリ ㊹回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	G6区	
209	坏蓋	口径 14.7 器高 4.4	丸味をもつ天井部。天井部と口縁部を分ける稜はあまい。口縁端部は内傾する面をもちわずかに凹む。完形品。	㊸回転ヘラケズリ ㊹回転ナデ	㊺同心円タタキ ㊻回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	G6区	5
210	坏身	口径 13.3 器高 4.3	受部は水平気味に伸び、立ち上がりは内傾し端部丸い。	㊸回転ナデ ㊹回転ヘラケズリ	㊺回転ナデ ㊻ナデ	灰色 灰色	密 ◎	G6区	5
211	甗	口径(13.8) 残高 4.9	口縁部は外傾し、端部は丸い。肩の張らない胴部。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	橙色 橙色	石・長(1~3) 金 ◎	G6区	
212	甗	口径(16.4) 残高 4.0	外傾する口縁部。端部は「コ」の字状である。	ヨコナデ	㊸ヨコナデ ㊹ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長(1~2) 金 ◎	G6区	
213	甗	口径(16.2) 残高 3.9	外傾する口縁部。端部は外方向にわずかに肥厚され丸い。	ヨコナデ	㊸ナデ(10~12本/cm) →ヨコナデ ㊹ナデ	黄灰色 黄灰色	石・長(1~2) ◎	G6区 黒斑	

出土遺物観察表

SR1②層G6・7区出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
214	甕	口径(16.2) 残高 3.9	内湾気味に立ち上がる口縁部。端部は「コ」の字状でわずかに凹む。	①ヨコナデ ②ナデ	①ヨコナデ ②ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長(1~3) ◎	G7区	
215	壺	口径(32.4) 残高 6.6	外傾する口縁部。端部は「コ」の字状に丸い。外面に段をもつ。大型品。	ヨコナデ	ヨコナデ→ミガキ ハケ(7本/cm)	乳灰黄色 乳茶橙色	石・長(1~4) ◎	G7区	
216	壺	口径(14.9) 残高 7.6	口縁部中央で段をもち直立気味に立ち上がる。端部は「コ」の字状でわずかに内側に肥厚される。肩が張る。	①ヨコナデ ②ハケ(5~6本/cm)	①ヨコナデ ②ナデ ③工具によるナデ	暗灰黄色 暗灰黄色	石・長(1~3) ◎	G7区	
217	壺	口径(16.5) 残高 4.8	口縁部は外反し中央部で屈曲し立ち上がる。口端部は「コ」の字状に丸い。	ヨコナデ	ヨコナデ	にぶい橙色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) ◎	G7区	
218	壺	口径(16.3) 残高 3.7	外反する口縁部は、屈曲して、立ち上がり端部は内傾する面をもつ。	①ヨコナデ ②ハケ→ヨコナデ	①ヨコナデ ②ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄褐色	石・長(1~3) ◎	G7区	
219	壺	口径(13.6) 残高 5.0	外反する口縁部は屈曲して立ち上がり端部は「コ」の字状に丸い。	ヨコナデ	①ヨコナデ ②ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~5)多 金◎	G6区	
220	壺	口径(15.6) 残高 3.7	段をもつ口縁部。端部は丸い。	①マメツ ②ハケ→ヨコナデ	マメツ	灰黄褐色 橙色	石・長(1~3) ○	G7区	
221	壺	口径 9.4 器高 11.5	段をもち外上方に伸びる口縁部。口縁端部は丸い。扁球形の胴部	①ヨコナデ ②ハケ(7本/cm)→ナデ ③ヨコナデ ④ハケ(7本/cm)ナデ	①ナデ ②ハケ(6~7本/cm) ③ナデ	にぶい橙色 にぶい橙色	石・長(1~2) 赤◎	G6区 黒斑	6
222	壺	口径(10.8) 残高 10.9	外上方に直線的に伸びる口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。	①ヨコナデ ②ハケ(4~5本/cm) ③ヨコナデ ④ナデ	①ヨコナデ ②ハケ(6~7本/cm) ③ナデ ④ケズリ	灰黄色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) 金・赤◎	G6区 黒斑	
223	壺	胴径 9.8 残高 11.2	丸底で球形の胴部。口縁部は外上方に長く伸びる。	①ヨコナデ ②ハケ(4~5本/cm) ③ナデ、ハクリ ④ナデ	①ハケ(4~5本/cm) ②ナデ	にぶい橙色 にぶい橙色	石・長(1~3) 金・赤◎	G7区	6
224	壺	胴径(13.7) 残高 8.6	頸部から胴部の残存。丸味のある胴部。	①ハケ→ヨコナデ ②ハケ(11本/cm) ③ナデ ④工具によるナデ	①工具によるナデ ②ナデ ③ナデ ④ケズリ	にぶい黄褐色 褐灰色	石・長(1~2) ◎	G7区 黒斑	
225	壺	胴径 9.3 残高 8.6	丸味のある胴部にわずかに尖り気味の底部。	ナデ	①ヨコナデ ②ナデ ③ナデ ④ナデ	淡黄色 橙色	石・長(1~3) 赤◎	G6区	
226	高坏	口径(21.2) 底径(13.3) 器高 13.5	大きく開く坏口縁部。端部は尖る。脚部は「ハ」の字状に開き端部は丸い。	①ヨコナデ ②マメツ ③ナデ ④ヨコナデ	①ヨコナデ ②マメツ ③ナデ ④ヨコナデ	橙色 橙色	石・長(1~3) ○	G7区	6
227	高坏	口径(19.2) 残高 5.5	段をもち開く坏部。端部は外反し尖る。	①ヨコナデ ②ナデ	①ヨコナデ ②ナデ	橙色 橙色	石・長(1) ◎	G7区	
228	高坏	口径(17.1) 残高 6.1	段をもち開く坏部。端部は丸い。	ヨコナデ ハケ(7~8本/cm)	①ヨコナデ ②ナデ ③工具痕	灰白黄色 にぶい灰白黄色	石・長(1~2) 金・赤◎	G6区	
229	高坏	口径(16.3) 残高 10.7	段をもち開く坏部。端部はわずかに外反し丸い。	①ヨコナデ ②ナデ ③マメツ	①ヨコナデ ②ナデ ③ナデ ④ナデ	黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~4) ◎	G6区	
230	高坏	口径(15.7) 残高 6.1	水平な坏底部に段をもちわずかに外反し外上方に伸びる口縁部。	①ヨコナデ ②ナデ	①ヨコナデ ②マメツ	浅黄褐色 浅黄褐色	石・長(1~4) 赤◎	G6区	
231	高坏	口径(14.8) 残高 4.1	外上方に伸びる口縁部。端部は丸い。	マメツ	マメツ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~3) ○	G6区	
232	高坏	残高 8.4	水平な坏底部に外上方に伸びる口縁部。	①ヨコナデ ②ハケ(10~12本/cm) ③ハケ(7~8本/cm) ④ナデ	①ヨコナデ ②ハケ(7~8本/cm)ナデ ③ハケ→ナデ ④ナデ	にぶい橙色 にぶい黄褐色	石・長(1~3) 赤◎	G6区	
233	高坏	残高 3.5	段をもち開く坏部。	①ヨコナデ ②ナデ	ヨコナデ	橙色 赤褐色	石・長(1~3) ◎	G6区	
234	高坏	底径(17.0) 残高 9.0	太く丸味をもつ柱部、裾部は屈曲し開き、端部は丸い。	①ナデ ②ナデ ③ヨコナデ	①ナデ ②ナデ ③ナデ ④ナデ	浅黄褐色 淡褐色	石・長(1~4) 金◎	G6区	
235	高坏	底径 10.8 残高 9.0	三角錐状の柱部。裾部は屈曲して水平気味に伸び端部は丸い。	①ナデ ②ナデ ③ナデ ④ナデ	①ナデ ②ナデ ③ケズリ ④ヨコナデ	浅黄褐色 淡褐色	石・長(1~4) ○	G7区 黒斑	
236	高坏	底径 10.9 残高 7.9	水平気味の坏底部、柱部は三角錐状で裾部で屈曲し端部は丸い。	①ナデ ②ハケ(7~8本/cm) ③マメツ	①ハケ(9~10本/cm) ②工具によるケズリ ③マメツ	淡赤褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) 赤◎	G6区	
237	高坏	底径 11.0 残高 5.8	柱部は三角錐状で裾部で水平気味に屈曲し端部は尖り気味である。	①ヨコナデ ②ナデ ③ヨコナデ	①ナデ ②ケズリ ③ヨコナデ	橙色 橙色	石・長(1~2) ○	G7区	
238	高坏	底径(10.5) 残高 6.4	柱部上部は、しぼられる。裾部は屈曲し端部は丸い。	①ハケ ②マメツ	①ケズリ ②ナデ ③ナデ	橙色 にぶい橙色	石・長(1~3) ○	G7区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層G6・7区出土遺物観察表 土製品

(3)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
239	高坏	残高 7.4	柱部の裾は屈曲する。	㉑ ナデ ㉒ ヨコナデ	㉑ ケズリ ㉒ ナデ ㉓ ヨコナデ	にぶい橙色 にぶい橙色	石(1~2) 石粒多、金 ◎	G6区	
240	高坏	残高 9.0	厚みのある坏底部と柱部。	㉑ ハケ(6~7本/cm) ㉒ ナデ ㉓ ハクリ	㉑ ナデ ㉒ 絞り痕 ㉓ マメツ	にぶい橙色 にぶい橙色	石・長(1~3) 金 ◎	G6区	
241	高坏	残高 9.3	裾部は屈曲し、器壁が薄くなる。	㉑ ナデ ㉒ ハケ ㉓ ナデ	㉑ ナデ ㉒ ナデ ㉓ マメツ	浅黄橙色 浅黄橙色	石・長(1~2) 赤 ○	G7区	
242	高坏	残高 7.1	「ハ」の字状に開く柱部。裾部は屈曲し、円孔を施す。	㉑ ナデ ㉒ ハケ(9本/cm) ㉓ ハケ→ヨコナデ ㉔ ハケ	㉑ ハケ→ナデ ㉒ ナデ ㉓ 工具痕 ㉔ ナデ	にぶい黄褐色 にぶい橙色	石・長(1) ◎	G7区	
243	高坏	残高 8.0	柱部は器壁が厚く裾部は屈曲する。	㉑ ナデ ㉒ ハケ ㉓ ヨコナデ	㉑ 工具によるナデ ㉒ ケズリ ㉓ 絞り痕 ㉔ ヨコナデ	明橙褐色 明橙褐色	密、石・長(1~3) 金 ◎	G6区	
244	高坏	残高 3.8	水平気味な坏底部は段をもつ。	㉑ ヨコナデ ㉒ ナデ	㉑ マメツ ㉒ ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石(1~4)多 ○	G7区	
245	高坏	残高 3.2	厚みのある坏底部と基部。	ヨコナデ	ナデ	灰黄褐色 明黄褐色	石・長(1~3) 金 ◎	G7区	
246	高坏	残高 4.2	柱部。	㉑ ヨコナデ ㉒ ナデ	ケズリ	明橙赤褐色 明橙赤褐色	石・長(1~2) ◎	G6区	
247	脚	底径 (8.4) 残高 2.1	「ハ」の字状に開く脚部。端部は尖り気味に丸い。	㉑ ハケ ㉒ ナデ	㉑ ナデ ㉒ ヨコナデ	橙色 にぶい橙色	石・長(1) ◎	G7区 黒斑	
248	ミチュア	底径 4.8 残高 5.4	平たい底部に肩の張る胴部。口縁部は欠。	ヨコナデ ハケ ナデ	ナデ	浅黄褐色 にぶい褐色	石・長(1~2) ○	G7区 黒斑	
249	ミチュア	口径 (5.6) 残高 4.1	外傾する短い口縁部の端部は尖り気味に丸い。胴部は肩が張らない。	ナデ	ナデ 指おさえ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1) 金 ○	G7区	
250	ミチュア	残高 4.9	丸味をもつ胴底部。外面は凸凹である。口縁部欠。	ナデ ハケ 指おさえ	ナデ 指おさえ	灰黄色 黒色	石・長(1~2) ◎	G7区 黒斑	
251	ミチュア	口径 (3.1) 器高 4.8	球形の胴部。口縁部は指おさえにより作り出す。完形品。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	暗灰茶色 暗灰茶色	石・長(1~3) ◎	G6区 黒斑	6・11
252	ミチュア	口径 3.5 器高 5.0	球形の胴部。口縁部は指おさえにより作り出す。完形品。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	暗灰茶色 暗灰茶色	石・長(1~3) ◎	G6区 黒斑	6・11
253	ミチュア	口径 4.0 器高 3.7	直立する短い口縁部は指おさえにより作り出す。端部は丸い。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	灰黄褐色 灰黄褐色	石・長(1~3) 金 ◎	G6区 黒斑	
254	ミチュア	口径 (2.9) 残高 3.6	口縁部は内傾し端部は尖る。	ナデ	ナデ 指おさえ	にぶい褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) ○	G7区	
255	ミチュア	口径 4.1 器高 3.9	球形の胴底部。口縁部は尖り気味に丸い。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	淡黄色 黄灰色	石・長(1~2) ◎	G7区	6・11
256	ミチュア	口径 4.8 底径 2.0 器高 4.8	指おさえにより口縁部を作り出す。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	淡橙色 淡橙色	石・長(1~3)多 金・赤 ◎	G7区	6・11
257	ミチュア	口径 (5.6) 器高 3.9	塊状の器形。端部は丸い。器壁は厚い。	ナデ	ナデ 指おさえ	にぶい橙色 浅黄褐色	石・長(1~4) ○	G7区	
258	ミチュア	口径 4.5 器高 3.4	尖り気味の底部。口縁部はわずかに外傾し端部は尖り気味に丸い。器壁は薄い。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	暗灰茶色 暗灰茶色	石・長(1~2) ◎	G6区	6・11
259	ミチュア	残高 2.2	丸底の底部片。	マメツ	マメツ	にぶい黄褐色 灰黄褐色	石・長(1~2) ○	G7区	
260	ミチュア	底径 2.6 残高 2.8	くびれの平底の底部片。	ナデ 指おさえ	ナデ	にぶい褐色 にぶい赤褐色	石・長(1~2) ◎	G7区	
261	ミチュア	残高 2.8	丸味のある胴部片。	ナデ	ナデ	にぶい褐色 にぶい橙色	石・長(1~3) 赤 ◎	G7区	
262	甌	口径(18.0) 残高 7.5	短く外反する口縁部。端部は「コ」の字状である。把手が付く胴部に沈線を施す。軟質土器。	㉑ 回転ナデ ㉒ 格子タタキ →ナデ	㉑ 回転ナデ ㉒ ナデ	乳黄桃色 乳黄桃色	密、石・長(1~2) ◎	G6区	6
263	甌	残高 5.9	軟質土器の胴部片。	格子タタキ→ナデ	ナデ 指おさえ	乳黄桃色 乳黄桃色	密、石・長(1~2) ◎	G6区	6

出土遺物観察表

SR1②層G6・7区出土遺物観察表 土製品

(4)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
264	不明	残高 7.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	暗黄茶色 暗黄茶色	石・長(1~3) ◎	G6区	6
265	不明	残高 2.7	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳灰茶色 茶白色	石・長(1~2) ◎	G6区	6
266	不明	残高 2.5	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	灰茶色 乳黄色	石・長(1) ◎	G7区	6

表6 SR1②層G6・7区出土遺物観察表 装身具

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)		
267	勾玉	完形	土製	3.6	1.2	0.3	8.121	G7区	6

表7 SR1②層出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
268	甕	口径(13.8) 残高 13.7	外傾する口縁部の端部は「コ」の字状である。胴部は球形状である。	① ヨコナデ ② 工具痕 ③ ハケ	④ ナデ ⑤ ハケ(8本/cm) ⑥ ヨコナデ ⑦ ナデ ⑧ ケズリ	にぶい黄色 灰黄褐色	石・長(1~2) ◎	G8区	7
269	甕	口径(26.8) 残高 6.1	外反する口縁部の端部は先細りし丸い。	マメツ (一部ヨコナデ)	マメツ	橙色 橙色	石・長(1~5) 金・赤 ◎	F5区	
270	甕	口径(29.2) 残高 5.1	外傾する口縁部の端部は丸い。	① ナデ ② ハケ(8本/cm)	ナデ 指頭痕	淡黄灰色 淡橙灰色	石・長(1~3) ◎	E5区	
271	甕	口径(16.9) 残高 7.6	外反する口縁部の端部は丸い。	ヨコナデ (ハケ痕)	① ヨコナデ ② ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1) 金・赤 ◎	F6区	
272	甕	口径(28.6) 残高 9.7	外傾する口縁部の端部はわずかに凹む。	① ナデ ② ハケ→ヨコナデ ③ ハケ(9~11本/cm)	④ ハケ(9~10本/cm) ⑤ 板ナデ ⑥ ナデ	淡黄灰褐色 淡黄灰褐色	石・長(1~7) ◎	F5区	
273	甕	口径(20.1) 残高 4.6	外傾する口縁部の端部は丸い。	① ヨコナデ ② ハケ(7本/cm)	① ヨコナデ ② ナデ 指頭痕	浅黄色 にぶい黄橙色	石・長(1~2) ◎	F7区	
274	甕	口径(16.1) 残高 5.1	わずかに内湾する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。	ヨコナデ	① ヨコナデ ② ナデ	にぶい黄橙色 にぶい橙色	石・長(1~4) 金 ◎	F6区	
275	甕	口径 14.8 残高 4.8	外傾する口縁部の端部はわずかに外反し丸い。	① ヨコナデ ② ハケ	① ヨコナデ ② ナデ	暗灰黄褐色 黄褐色	石・長(1~2) ◎	G17区	
276	甕	口径(15.0) 残高 3.4	外傾する口縁部の端部はわずかに外反し丸い。	① ヨコナデ ② ナデ	① ヨコナデ ② ナデ	黄褐色 黄褐色	石・長(1~2) ◎	G16区	
277	甕	口径(14.0) 残高 6.6	外傾する口縁部の端部は肥厚される。	① ヨコナデ ② ナデ ハケ	① ヨコナデ ② ナデ→ハケ (7~8本/cm)	淡黄褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	G8区	
278	甕	口径(10.9) 残高 3.5	外傾する口縁部の端部は丸い。	ヨコナデ	① ヨコナデ ② ナデ ハケ痕	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F6区	
279	甕	口径(16.2) 残高 3.9	外反する口縁部の端部は先細りし丸い。	ヨコナデ	① ヨコナデ ミガキ ② ケズリ	淡褐色 淡褐色	石・長(1) ◎	F6区	
280	甕	口径(13.7) 残高 1.9	内湾する口縁部の端部は凹み内傾する。	ヨコナデ	ヨコナデ	褐色 褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F6区	
281	甕	口径(16.0) 残高 5.4	内湾する口縁部の端部は丸い。頸部下に「N」状の線刻あり。	① ヨコナデ ② ナデ ③ ハケ(8本/cm)	① ヨコナデ ② ナデ 指頭痕	乳灰黄茶色 乳灰黄茶色	石・長(1~3) ◎	F6区	7
282	甕	口径(18.9) 残高 4.7	内湾する口縁部の端部は内傾する。	ヨコナデ	① ヨコナデ ② ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) 金・赤 ◎	F7区	
283	甕	口径(18.1) 残高 6.7	内湾する口縁部の端部は内傾する。	① ヨコナデ ② ナデ ③ ハケ(9本/cm)	① ヨコナデ ② ナデ	灰黄褐色 灰黄褐色	石・長(1~2) ◎		
284	甕	口径(20.0) 残高 6.5	内湾する口縁部の端部は丸い。	① ヨコナデ ② ハケ(6本/cm)	① ヨコナデ ② ハケ(6本/cm) ナデ 指頭痕	乳黄褐色 乳黄褐色	石・長(1~3) ◎	F7区	
285	甕	口径(18.9) 残高 4.9	内湾する口縁部。口端部の内面にわずかに段をもつ。	① ヨコナデ ② ハケ(6本/cm)	① ヨコナデ 指頭痕 ② ハケ(6本/cm) ナデ	黄褐色 黄褐色	石・長(1~2) ◎	F7区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
286	甕	口径 (21.0) 残高 5.0	内湾する口縁部の端部は内傾する面をもつ。	㊦ヨコナデ ㊧ハケ(4~5本/cm)	㊦ヨコナデ 指頭痕 ハケ	灰黄褐色 灰黄褐色	石・長(1~2) ◎	F 4 区	
287	甕	口径 (22.7) 残高 5.9	内湾する口縁部の端部は内面に段をもち内傾する面をもつ。	㊦ヨコナデ ㊧ハケ(5本/cm) ㊨ハケ(8本/cm)	㊦ヨコナデ ハケ(5本/cm) 指頭痕 ナデ	黄褐色 黄褐色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
288	甕	口径 (20.0) 残高 5.3	内湾する口縁部の端部は内傾する面をもつ。	㊦ヨコナデ ㊧ナデ	㊦ヨコナデ 指頭痕 ナデ	黒褐色 灰黄褐色	石・長(1) 金 ◎	F 4 区	
289	甕	口径 (20.7) 残高 4.9	大きく外傾する口縁部の端部は丸い。	㊦ヨコナデ ㊧ハケ(13~14本/cm)	㊦マメツ 指頭痕 ナデ	乳黄褐色 乳黄褐色	石・長(1~3) ◎	F 5 区	
290	甕	口径 (19.8) 残高 3.8	内湾する口縁部の端部はわずかに凹み内傾する。	ヨコナデ	ヨコナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) 金・茶色粒土 ◎	G14区	
291	甕	口径 (16.2) 残高 4.5	内湾する口縁部の端部は内傾する面をもつ。	㊦ヨコナデ ㊧ハケ(9~10本/cm)	㊦ヨコナデ ㊧ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~4) 金 ◎	F 6 区	
292	甕	口径 (16.4) 残高 5.4	内湾する口縁部の端部は内傾する面をもつ。	ヨコナデ	㊦ヨコナデ ㊧ナデ	灰褐色 灰褐色	石・長(1~2) ◎	D 5 区	
293	甕	口径 15.2 残高 4.8	内湾する口縁部の端部は凹み内傾する。	ヨコナデ	㊦ヨコナデ ㊧マメツ	褐灰色 褐灰色	石・長(1~2) ◎	F 4 区	
294	甕	口径 (28.2) 残高 8.0	内湾する口縁部。外面に段をもち、口端部は内傾する面をもつ。	㊦ヨコナデ ㊧ナデ	㊦ヨコナデ ㊧ハケ→ナデ	にぶい黄色 にぶい黄褐色	石・長(1~4) ◎		
295	甕	口径 (31.2) 残高 4.9	内湾する口縁部は外面に段をもち、口端部は丸い。	㊦マメツ ㊧ヨコナデ	ヨコナデ	にぶい橙色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) ◎	G15区	7
296	甕	口径 (31.6) 残高 5.1	内湾する口縁部は外面に段をもち、口端部は内傾する面をもつ。	㊦マメツ ㊧ヨコナデ	㊦マメツ ㊧ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~6) ◎	F 7 区	
297	甕	口径 (29.8) 残高 6.1	外面に段をもち内湾する口縁部。口端部は水平な面をもつ。	マメツ	㊦ヨコナデ ㊧マメツ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F 7 区	
298	甕	口径 (29.0) 残高 12.5	内傾する口縁部の端部「コ」の字状に丸い。	㊦ヨコナデ ㊧ハケ	㊦ヨコナデ ㊧ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) ◎		
299	甕	口径 (29.2) 残高 7.4	外面に段をもち内湾する口縁部。口端部は水平な面をもつ。	㊦ヨコナデ ㊧ハクリ	㊦マメツ ㊧ヨコナデ	黒褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~4) ◎		
300	甕	口径 (27.2) 残高 4.8	内湾する口縁部の外面は大きく凹む。口端部はわずかに内傾する面をもつ。	㊦ヨコナデ ㊧マメツ ㊨ハケ(6本/cm)	㊦ヨコナデ ㊧ハケ(6本/cm)	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	7
301	甕	口径 (25.0) 残高 6.1	外面に段をもち内湾する口縁部。口端部は内傾する面をもつ。	㊦ヨコナデ ハケ ㊧ヨコナデ	㊦ヨコナデ ナデ 指頭痕	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~5) ◎		
302	甕	口径 (23.0) 残高 5.1	内湾する口縁部は外面にわずかに段をもつ。口端部は内面に段をもつ。	㊦ヨコナデ ㊧ハケ	㊦ヨコナデ ㊧ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1) 金 ◎		
303	甕	残高 3.1	外面に段をもつ口縁部。	ヨコナデ	マメツ	にぶい黄褐色 にぶい黄色	石・長(1~4) ◎		
304	甕	口径 (14.4) 残高 4.7	外面に段をもち内湾する口縁部。口端部は凹む。	㊦ヨコナデ ㊧ナデ	㊦ハケ→ヨコナデ ナデ 指頭痕	にぶい黄褐色 にぶい黄色	石・長(1~5) ◎	E10区	
305	甕	口径 (16.3) 残高 3.4	外面に段をもち内湾する口縁部。	ヨコナデ	ヨコナデ	灰黄色 暗灰黄色	石・長(1~2) ◎	F 8 区	
306	甕	口径 (11.8) 残高 3.1	外面に段をもち内湾する口縁部。	ヨコナデ	ヨコナデ	黄褐色 褐灰色	石 (1) ◎	F10区	7
307	甕	残高 5.5	口縁部片。外面にわずかに段をもち内湾する。	マメツ	ヨコナデ	灰黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) ◎	H16区	
308	甕	残高 4.3	口縁部片。外面に段をもち内湾する。	ヨコナデ	㊦マメツ ㊦ヨコナデ	黒褐色 黒褐色	石・長(1~4) ◎	E 7 区	
309	壺	口径 (26.2) 残高 17.2	二重口縁壺の大型品。口縁部は外反して、屈曲し端部につづく。端部「コ」の字状に丸い。	㊦ヨコナデ ㊧ハケ(8~11本/cm)	㊦ヨコナデ ハケ(4本/cm) ㊧ミガキ ハケ(6~10本/cm)	淡黄灰色 淡黄灰色	石 (1 ~ 5) 金 ◎	F 9 区	7
310	壺	口径 (19.8) 残高 10.9	二重口縁壺の大型品。口縁部は外反し屈曲して直立する。	㊦ヨコナデ ㊧ナデ	㊦ヨコナデ ㊧ナデ	白灰黄褐色 淡灰茶褐色	石・長(1~6) 赤 ◎	G 7 区	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(3)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
311	壺	口径 (14.7) 残高 4.6	二重口縁壺。口縁部は外反し、屈曲し口縁部につづく。端部は「コ」の字状に丸い。	ヨコナデ	ヨコナデ	淡褐色 淡黄灰色	石・長 (1~2) ◎		
312	壺	口径 (21.4) 残高 6.0	外反する口縁部は段をもち内湾して口端部につづく。口端部はわずかに凹む。	①ヨコナデ ②ハケ(8本/cm)→ナデ ③ヨコナデ	①ヨコナデ ②ハケ(7本/cm) ③ナデ	灰黄橙色 灰黄色	石・長 (1~6) 金・赤 ◎	H14区	
313	壺	口径 (17.2) 残高 6.7	口縁部は直立し段をもち開く。端部は水平な面をもつ。	ヨコナデ	ヨコナデ ハケ(7本/cm)	淡黄橙色 淡黄灰色	石・長 (1~4) 金 ◎	E5区	
314	壺	口径 (17.1) 残高 4.6	口縁部外面に段をもち内湾する。	マメツ	①ヨコナデ ②マメツ	淡黄橙色 淡黄灰色	石・長 (1~4) 金 ◎	F4区	
315	壺	口径 (18.6) 残高 5.8	内湾する口縁部の端部は直立し丸い。	①ハクリ ②ヨコナデ ③ハケ(5~6本/cm)	①ハクリ ②ヨコナデ ③ハケ(5~6本/cm) ナデ	にぶい黄橙色 にぶい橙色	石・長 (1~3) 金 ◎	F7区	
316	壺	残高 11.6	二重口縁壺。拡張部欠、口縁部は外反し外面に竹管文を施す。肩部に竹管文を1ヶ所施す。	②ヨコナデ ③ミガキ→ナデ	①ミガキ ②ヨコナデ ③ナデ ④ヘラケズリ	淡茶褐色 淡黄灰色	石・長 (1~2) 金・砂粒 ◎	H14区 H15区 黒斑	7
317	壺	口径 (13.9) 残高 6.7	外傾する口縁部の端部は丸い。外面にわずかに段をもつ。	①ハケ→ヨコナデ ②ハケ(10~12本/cm)	①ハケ(8~9本/cm) →ナデ ②ナデ ケズリ	にぶい橙色 にぶい黄橙色	石・長 (1~3) 赤 ◎	H15区	
318	壺	口径 (15.8) 残高 3.4	外反する口縁部の端部は丸い。	ヨコナデ	ヨコナデ	淡橙褐色 淡黄橙色	石・長 (1~3) 金 ◎	C12区	
319	壺	口径 (11.4) 残高 4.3	外傾する口縁部の端部は丸い。	①ヨコナデ ②ハケ(8~9本/cm)→ヨコナデ ③ヨコナデ	①ヨコナデ ②ナデ	淡黄橙色 淡黄橙色	石・長 (1~4) 赤 ◎	F10区	
320	壺	口径 (9.5) 残高 4.7	内傾する口縁拡張部。端部は丸い。	ヨコナデ	①ヨコナデ ②ナデ	灰白色 灰黄色	石・長 (1) 金 ◎		
321	壺	残高 2.9	頸部から胴部片。頸部に凸帯を巡らす。	ヨコナデ ハケ(5本/cm)	ハケ(4本/cm)	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長 (1~2) ◎	E3区 黒斑	8
322	壺	残高 4.7	肩部の小片。肩部に線刻を施す。	ヨコナデ ハケ(5本/cm)	ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長 (1~2) 金 ◎	H14区	8
323	壺	残高 3.4	胴部の小片。線刻を施す。	マメツ (ハケ)	ナデ	橙色 にぶい黄橙色	石・長 (1~2) ◎	F15区	8
324	壺	口径 (9.2) 残高 13.2	球形の胴底部に外傾する口縁部が付く。端部は、尖り気味に丸い。	①ヨコナデ ②ナデ	①ヨコナデ ②ナデ 指頭痕	乳赤橙色 乳黄橙色	石・長 (1) 褐色粒 ◎	F3区 黒斑	8
325	壺	胴部径14.6 残高 11.7	球形の胴底部。胴中央部がやや張る。口縁部は直立気味に立ち上がる。	②ヨコナデ ③ナデ	②マメツ ③ナデ ④板状工具による ナデ	浅黄橙色 乳橙灰色	石・長 (1~2) 金 ◎	G14区 黒斑	
326	壺	口径 (12.1) 残高 11.1	球形の胴部に外傾する口縁部。口縁部は丸味をもつ。	①ヨコナデ (強いハケ) ②ハケ(10~12本/cm) →ヨコナデ ③ナデ	①ヨコナデ→ナデ ②ナデ	褐灰色 褐灰色	石・長 (1~3) ◎	F17区	
327	壺	口径 (10.5) 残高 6.7	外傾する口縁部の端部は丸い。	①ヨコナデ ②マメツ	①ヨコナデ ②マメツ	にぶい褐色 にぶい橙色	石・長 (1~5)多 金・赤 ◎		
328	壺	残高 4.4	頸部の小片。	ヨコナデ	ヨコナデ	灰褐色 明褐灰色	石・長 (1~2) ◎		
329	壺	胴部径11.5 残高 11.3	球形の胴底部。口縁部欠。	①ヨコナデ ②平行タタキ ③ハケ(9本/cm) ④ハケ(6本/cm)	①ナデ ②ケズリ ③ナデ	淡黄橙色 灰白色	石・長 (1~4) ◎	C8区 黒斑	
330	壺	口径 9.9 器高 9.3	完形品。扁球形の胴底部に外傾する口縁部。口縁部は尖り気味である。	①ヨコナデ ②ナデ ③ケズリ	①ヨコナデ ②ナデ	乳黄橙色 乳黄橙色	石・長 (1~3) ◎	G17区	
331	壺	口径 9.2 残高 8.5	扁球形の胴部に外傾する口縁部。口縁部は尖り気味に丸い。	①ヨコナデ ②ナデ ③ケズリ	①ヨコナデ ②ナデ	乳黄橙色 乳黄橙色	石・長 (1~2) ◎	G17区	8
332	壺	口径 (6.3) 器高 10.0	球形の胴底部に内湾する口縁部。口端部は丸い。頸部は細い。	①ハケ(5本/cm)→ヨコナデ ②ハケ(5本/cm)	①ハケ(5本/cm) ②ナデ ③ケズリ ④ナデ	橙色 橙色	石・長 (1~4) 赤 ◎	F7区	
333	壺	胴部径8.9 残高 8.7	扁平な胴部。口端部は外傾する。	①ナデ ②ハケ(8~9本/cm) ③ナデ ④ケズリ	①ヨコナデ ②紋り痕 ③ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長 (1~4) 金 ◎	G5区 黒斑	
334	壺	口径 10.5 器高 7.6	丸底の底部に頸部は広い。口縁部は外傾し、胴部より開き端部は先細りする。	①ヨコナデ ②ナデ ③ケズリ	①ヨコナデ ②工具によるナデ →ナデ	灰黄色 灰黄色	石・長 (1) ◎	G14区 G16区	8
335	壺	口径 (9.2) 残高 5.4	内湾する口縁部の端部は尖り気味である。	①ヨコナデ ②マメツ	①ヨコナデ ②ナデ	灰白色 灰白色	石・長 (1~3) ◎	F15区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(4)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
336	壺	頸部径(6.2) 残高 6.7	丸い胴部に外傾する口縁部。	㊶ナデ ㊷ケズリ	㊶ナデ ㊷ヨコナデ ㊸ナデ	浅黄橙色 浅黄橙色	石・長(1~3) 赤 ◎	F16区	
337	壺	口径(8.8) 残高 3.8	広い頸部に内湾する口縁部。	ナデ	マメツ (一部ナデ)	にぶい赤褐色 にぶい黄褐色	石・長(1) 金・赤 ◎	G14区	
338	壺	頸部径(7.0) 残高 3.6	内湾する口縁部。	ナデ	㊶ナデ (一部ハケ) ㊷ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1) 赤 ◎	G8区	
339	壺	胴部径(9.6) 残高 4.4	肩の張る胴部。	ヨコナデ	㊷ヨコナデ ㊸ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~3) ◎	E7区	
340	壺	残高 2.5	丸味のある胴部。	㊷ヨコナデ ㊸ナデ	㊸ナデ ㊷ヨコナデ	にぶい橙褐色 橙色	石・長(1~3) 金 ◎	G14区	
341	壺	口径(7.8) 残高 4.5	口縁部はナデにより作り出し、端部は尖り気味である。	ナデ	ナデ	橙色 橙色	石・長(1~3) ◎	H13区	
342	壺	口径(7.4) 残高 3.5	短く外反する口縁部の端部は細く丸い。	㊶ナデ ㊷ヨコナデ ㊸ナデ	ナデ	橙色 橙色	石・長(1~4) 金 ◎	H13区	
343	壺	口径(6.8) 残高 3.9	口縁部はナデにより作り出し、端部は尖る。	㊶ヨコナデ→ナデ ㊷ナデ	ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~10) ◎	E13区	
344	壺	口径(7.0) 残高 2.9	直立する口縁部の端部は尖り気味に丸い。	ナデ	工具によるナデ	灰白色 灰白色	石・長(1) ◎	E14区	
345	壺	残高 5.0	丸味のある胴部片。	粗いナデ	㊶ナデ ㊷ヨコナデ→ナデ	灰黄褐色 灰黄褐色	石・長(1~3) 金 ◎	E9区	
346	壺	残高 6.5	扁平な胴部。器壁は厚い。	㊷ナデ ㊸ケズリ→ナデ	ナデ 指頭痕	灰黄色 灰黄色	石・長(1~2) 金 ◎	E3区 F3区 赤色顔料	
347	壺	残高 9.4	長い胴部。器壁は厚い。	ナデ 絞り痕	ナデ 指頭痕	黄褐色 明黄褐色	石・長(1~3) 金 ◎	E4区	
348	壺	残高 7.4	下ぶくれの胴部。底部は平坦である。	㊷ナデ ㊸マメツ	㊷ヨコナデ 指頭痕 ㊸ナデ	灰黄色 灰黄色	石・長(1~4) ◎		
349	壺	残高 4.3	丸味のある丸底。	ナデ	ナデ 指頭痕	黒斑 乳褐色	石(1) ◎	F5区	
350	壺	胴部径9.3 残高 7.0	扁球形の胴部。	㊷ハケ→ナデ ㊸ナデ	㊷ヨコナデ ㊸ナデアゲ ㊸ハケ	黄茶褐色 黄茶褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F6区 黒斑	
351	壺	胴部径7.6 残高 5.6	胴中央部が張る。頸部は細かい。	㊷ハケ→ミガキ ㊸マメツ	㊷ナデ ㊸ハケ ㊸ナデ	淡黄灰色 淡黄灰色	石・長(1~2) ◎	E14区	8
352	壺	口径(4.4) 底径2.9 器高10.3	口縁部は二重口縁状である。胴部は長く平底である。器壁は厚い。	㊶ヨコナデ ㊷ナデ	ナデ	灰色 灰色	石・長(1~4) 金 ◎	F8区 黒斑	8
353	甗	残高 6.2	丸い胴部に径1.5cmの穿孔を施す。	㊷ハケ(9~10本/cm) →ヨコナデ ㊸ハケ(8~9本/cm)	㊷ヨコナデ ㊸ナデ	淡橙色 淡橙色	石・長(1~3) 赤 ◎	F4区	8
354	高 坏	口径22.4 底径15.2 器高15.7	大きく外反する口縁部。体部に段をもつ。脚柱部と裾部の境は明瞭。	㊶ヨコナデ ㊷ナデ ㊸ナデ ㊹ヨコナデ	㊶ヨコナデ ㊷ナデ ㊸ケズリ ㊹マメツ	乳橙褐色 乳橙褐色	石・長(1~2) ◎	F17区	9
355	高 坏	口径(19.7) 残高 4.7	段をもち外反する口縁部の端部は先細りする。	㊶ハケ(7本/cm) →ヨコナデ ㊸ハケ→ナデ	ヨコナデ	茶褐色 橙色	石・長(1~3) ◎	E8区	
356	高 坏	口径17.3 残高 5.9	大きく外反する口縁部。体部に稜をもつ。円板充填技法。	ヨコナデ	ヨコナデ ナデ	橙色 にぶい橙色	石・長(1~2) ◎	G8区	
357	高 坏	口径17.1 残高 4.7	外反する口縁部。口端部は丸い。	ハケ(6本/cm) →ナデ ヨコナデ	ハケ(6~7本/cm) →ヨコナデ	淡橙色 淡橙色	石・長(1~3) 赤 ◎	F9区	
358	高 坏	口径17.2 残高 6.3	外反する口縁部。体部に段をもつ。口端部は先細りし尖る。	㊶マメツ ㊷ハケ(4本/cm) ㊸ハケ	㊶ハケ(5本/cm) ヨコナデ ㊸ナデ	浅黄褐色 浅黄褐色	石・長(1) ◎	G8区 黒斑	
359	高 坏	口径(20.0) 残高 11.4	外反する口縁部の端部は丸い。脚柱部は三角錐状である。	㊶ヨコナデ ㊷ナデ ㊸ヨコナデ	㊶ヨコナデ ㊷ナデ ㊸ケズリ ナデ	灰黄褐色 暗褐色	石・長(1~3) ◎	H14区	
360	高 坏	口径(16.5) 残高 5.3	外反する口縁部。体部に段をもつ。口端部は丸い。	ヨコナデ	ヨコナデ ナデ	橙色 淡橙色	石・長(1~3) 金・赤 ◎		

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(5)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
361	高 坏	口径 17.2 残高 5.7	外反する口縁部。体部に段をもつ、口端部は薄い。	① ハケ(6-7本/cm) →ヨコナデ ② ナデ ③ ハケ→ヨコナデ	① ハケ(5-6本/cm) ② ヨコナデ	橙褐色 赤 黄橙色	石・長(1~3) 赤 ◎	F 8 区	
362	高 坏	口径(16.4) 残高 5.2	外反する口縁部。口端部は先細りする。体部にあまい稜をもつ。	① ヨコナデ ② ナデ	① 工具による ヨコナデ ② ナデ	橙色 浅橙色	石・長(1~4) 赤 ◎	F17区	
363	高 坏	口径(16.7) 残高 5.4	外反する口縁部。口端部はナデにより凹む。体部に段をもつ。	① ヨコナデ ② ナデ	① ナデ ヨコナデ→ナデ ② ナデ	にぶい橙色 淡橙色	石・長(1~3) ◎	F13区	
364	高 坏	口径(15.8) 残高 4.7	外反する口縁部の端部は先細りする。体部にわずかに段をもつ。	ヨコナデ	ヨコナデ	灰黄褐色 灰白色	石・長(1) ◎	G16区	
365	高 坏	口径(15.6) 残高 4.1	外反する口縁部の端部は先細りで尖る。体部に段をもつ。	マメツ	マメツ	浅黄褐色 浅黄褐色	石・長(1~3) 赤 ◎	E14区	
366	高 坏	口径(14.3) 残高 5.1	外反する口縁部の端部は先細りで丸い。体部に段をもつ。	① ヨコナデ ② ナデ	① ヨコナデ ② マメツ	橙色 淡黄褐色	石・長(1~3) 金・赤 ◎	F 9 区	
367	高 坏	口径(13.2) 残高 4.1	外反する口縁部の端部は丸い。体部に段をもつ。	① ヨコナデ ② ナデ	ヨコナデ	橙色 橙色	石・長(1~4) ○		
368	高 坏	口径(14.0) 残高 5.3	外反する口縁部の端部は先細りで丸い。体部にあまい稜をもつ。	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
369	高 坏	口径 16.0 残高 6.3	碗状の坏部。口端部は尖り気味に丸い。体部にあまい稜をもつ。	① ヨコナデ ② ヨコナデ→ナデ	① ヨコナデ ② ハケ→ナデ ナデ	橙色 浅黄褐色	石・長(1~2) ◎	G 8 区 黒 斑	
370	高 坏	口径(16.6) 残高 11.3	外反する口縁部。体部に段をもつ。	① ヨコナデ ② ナデ ③ 工具→ナデ ④ ハケ(6本/cm)	① ナデ ② ヨコナデ ③ ハケ→ナデ ④ 工具によるヨコナデ	茶褐色 茶褐色	石・長(1) 金 ◎	F 4 区	
371	高 坏	口径(18.4) 残高 4.1	外反する口縁部の端部は尖り気味である。	① ヨコナデ ② ハケ→ヨコナデ	① ナデ ② ハケ→ヨコナデ ハケ(6-7本/cm)	淡茶色 淡黄茶色	石・長(1~2) ◎	F 6 区	
372	高 坏	底径 10.5 残高 8.9	坏部に段をもつ。三角錐の柱部にゆるやかに外反する裾部。	ナデ	① 絞り痕 ② ケズリ ③ ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~2) ◎	G17区	
373	高 坏	残高 9.8	坏部に段をもつ。脚柱部は三角錐である。	① ヨコナデ ② ナデ ③ マメツ	① ナデ ② ナデ ③ ケズリ	乳褐色 乳灰褐色	石・長(1~4) ◎	F 4 区	
374	高 坏	残高 4.9	水平な坏底部をもつ。	① ヨコナデ ② ナデ	ナデ	明褐色 明褐色	石・長(1~2) 金 ◎	G17区	
375	高 坏	残高 5.1	坏部に段をもつ。円板充填技法。	① ハケ(5本/cm) ② ヨコナデ	ヨコナデ	淡橙色 橙色	石・長(1~3) 赤 ◎	G17区	
376	高 坏	残高 4.1	坏部にあまい稜をもつ。円板充填技法。	マメツ	① ミガキ ② ナデ	浅橙色 浅黄色	石・長(1~3) 金・赤 ◎	F16区 放射状の 木口痕	
377	高 坏	残高 3.5	坏部にあまい稜をもつ。	① 工具によるヨコナデ →ナデ ② ハケ(9本/cm) →ヨコナデ	① ヨコナデ ② ハケ→ナデ ハケ(7本/cm) ③ ナデ	橙色 浅黄褐色	石・長(1~2) 赤 ◎	D 7 区 木口痕	
378	高 坏	残高 3.9	坏部にあまい稜をもつ。	① ヨコナデ ナデ ② ヨコナデ	ナデ	橙色 浅橙色	石・長(1~4) 赤 ◎	H13区 放射状の 木口痕	
379	高 坏	残高 3.0	坏底部は丸味をもつ。	ハケ(7本/cm)	マメツ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~3) 金 ◎	H15区 木口痕	
380	高 坏	底径 10.6 残高 7.0	ゆるやかに外反する裾部。	① ナデ ② ハケ(9本/cm) ③ ナデ	① ケズリ ② ナデ	淡褐色 淡黄褐色	石・長(1~5) ◎	F 6 区	
381	高 坏	底径(12.9) 残高 7.0	短い柱部に長く水平気味に伸びる裾部。	① ナデ ② ヨコナデ	① 絞り痕 ② ケズリ ③ ヨコナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎	G17区	
382	高 坏	底径 11.2 残高 7.2	三角錐の柱部にゆるやかに外反する裾部。薄い作り。	① ナデ ② ヨコナデ	① ナデ 絞り痕 ② ケズリ ③ ハケ(4-5本/cm) →ナデ	橙色 橙色	密 ◎	G15区	
383	高 坏	底径 9.3 残高 5.7	外反する裾部の端部は丸い。	① ナデ ② ヨコナデ	① ケズリ ② ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) ◎	E 4 区	
384	高 坏	底径 9.3 残高 7.0	三角錐の柱部。裾部は屈曲しわずかに内湾する。	① ナデ ② ヨコナデ	① ケズリ ② ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) ◎	G12区	
385	高 坏	底径 9.9 残高 7.3	三角錐の柱部。外反する裾部。	マメツ	① ケズリ ② ヨコナデ	橙色 橙色	石・長(1) ◎	G17区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(6)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
386	高坏	底径 (10.2) 残高 6.8	短い柱部にゆるやかに外反する裾部。	㊦ ナデ ㊧ ヨコナデ	㊦ ナデ ㊧ ナデ ㊨ ケズリ ㊩ ヨコナデ	橙色 橙色	石・長(1~3) ◎	F 9 区	
387	高坏	底径 (9.9) 残高 6.3	短い柱部に水平気味に短く伸びる裾部をもつ。	㊦ ナデ ㊧ ヨコナデ	㊦ 絞り痕 ナデ ㊧ ヨコナデ	橙色 橙色	石・長(1~4) ◎	F 7 区	
388	高坏	底径 9.8 残高 6.5	三角錐の柱部。ゆるやかに外反する短い裾部。	㊦ ナデ ㊧ ヨコナデ	㊦ ナデ ㊨ ケズリ ㊩ ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~2) ◎	H14区	
389	高坏	底径 15.2 残高 8.6	三角錐の柱部にゆるやかに外反する短い裾部。	マメツ	㊦ ナデ ㊧ 絞り痕 マメツ ㊩ ヨコナデ	乳橙色 橙色	石・長(1~4) ◎	F 5 区	
390	高坏	底径 (12.4) 残高 6.3	三角錐の柱部にゆるやかに外反する短い裾部をもつ。	ナデ	㊦ ナデ ㊨ ケズリ ㊩ ナデ	灰褐色 灰褐色	石・長(1~4) ◎	D 4 区	
391	高坏	底径 (11.6) 残高 6.2	中実の柱部に外反する裾部。	ナデ	ナデ	乳赤橙色 乳赤橙色	石・長(1~3) ◎	G10区	
392	高坏	底径 (10.9) 残高 1.9	短く外反する裾部。	ヨコナデ	㊦ ケズリ ㊧ ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
393	高坏	底径 (8.8) 残高 7.9	柱部から裾部。	㊦ ナデ ㊧ ヨコナデ	㊦ ナデ ㊧ 絞り痕 ㊨ ケズリ ㊩ ヨコナデ	にぶい橙色 にぶい橙色	石・長(1~3) ◎	F 7 区 黒斑	
394	高坏	残高 8.1	三角錐の柱部。	ハケ→ナデ	㊦ ナデ ㊧ 板ナデ ㊩ ナデ	茶褐色 乳褐色	石・長(1~2) ◎	F 6 区 黒斑	
395	高坏	残高 4.7	短い柱部。裾部に径0.8cmの円孔を施す。	ナデ	ナデ ハケ	淡灰褐色 白灰褐色	石・長(1~3) ◎	F 6 区	
396	高坏	残高 6.1	坏底内面に線刻。	㊦ ハケ(8本/cm) 指頭痕 ㊧ ナデ ㊨ 工具痕	㊦ ナデ ㊧ ナデ ㊨ 工具によるケズリ ナデ	明赤褐色 灰褐色	石・長(1~2) ◎	G 8 区	
397	高坏	残高 8.7	中実の柱部。	㊦ ナデ ㊧ ヨコナデ	㊦ ケズリ→ナデ ヨコナデ	乳赤橙色 乳赤橙色	石・長(1) ◎	F 5 区	
398	鉢	口径(14.1) 器高 10.7	深いタイプ。内湾する体部に短くわずかに外反する口縁部。	㊦ ヨコナデ ㊧ 板状工具による強いナデ→ナデ	㊦ ヨコナデ ㊧ ハクリ	にぶい橙色 にぶい橙色	石・長(1) 金・赤 ◎	E 7 区	
399	鉢	口径(12.0) 器高 6.0	内湾する体部に短く外反する口縁部の端部は尖り気味である。	㊦ ヨコナデ ㊧ ナデ 指頭痕	㊦ ヨコナデ ㊧ マメツ	淡橙色 橙色	石・長(1~4) 金 ◎	F17区	
400	鉢	口径 (8.8) 器高 3.7	短く外反する口縁部の端部は丸い。	㊦ ヨコナデ ㊧ ハケ(6本/cm)→ ヨコナデ ハケ→ナデ	㊦ ヨコナデ ㊧ ナデ	にぶい橙色 にぶい橙色	石・長(1~2) 金 ◎	H 8 区	
401	鉢	口径(13.2) 残高 1.5	外反する口縁部。端部は尖り気味である。	ヨコナデ	ヨコナデ	にぶい橙色 にぶい橙色	密・赤 ◎	G14区	
402	鉢	口径(13.2) 残高 4.4	内湾する体部に短く外反する口縁部の端部は丸い。	㊦ ヨコナデ ㊧ マメツ	㊦ ヨコナデ ㊧ マメツ	淡橙色 橙色	石・長(1~2) 金・赤 ◎		
403	鉢	口径(12.8) 残高 2.8	短く外反する口縁部の端部は尖り気味である。	㊦ ヨコナデ ㊧ ミガキ	マメツ	灰黄色 にぶい黄橙色	密・金 ◎	F 5 区 赤色顔料	
404	鉢	口径(11.2) 残高 4.2	扁平な体部。口縁部は強いナデにより作り出す。	㊦ ヨコナデ ㊧ マメツ	㊦ ヨコナデ ㊧ マメツ	淡橙色 淡橙色	石・長(1~2) 赤 ◎	F 7 区	
405	鉢	口径(11.6) 残高 4.4	内湾する口縁部の端部は尖り気味である。	㊦ ヨコナデ ㊧ ナデ	㊦ ヨコナデ ㊧ ナデ	浅黄橙色 橙色	石・長(1~2) 金 ◎	F 4 区	
406	鉢	口径(12.1) 残高 4.9	内湾する口縁部の端部は尖り気味である。	㊦ ヨコナデ ㊧ マメツ	㊦ ヨコナデ ㊧ マメツ	浅黄橙色 浅黄橙色	密 ◎	E10区 黒斑	
407	鉢	口径(15.2) 残高 4.7	内湾する口縁部の端部は尖り気味である。	㊦ ヨコナデ ㊧ ナデ 指頭痕	㊦ ヨコナデ ㊧ 工具痕	浅黄橙色 浅黄橙色	密 ◎	E 6 区 黒斑	
408	鉢	口径(12.2) 残高 5.4	内湾する口縁部の端部は尖り気味である。	㊦ ヨコナデ ㊧ ナデ	㊦ ヨコナデ ㊧ ナデ	乳黄橙色 乳黄橙色	石・長(1~3) ◎	G16区	
409	鉢	残高 4.5	底部に葉脈状の線刻を施す。	ナデ	ナデ	灰褐橙色 灰褐橙色	石・長(1~2) ◎	黒斑	9
410	鉢	口径(13.6) 残高 5.4	内湾する口縁部の端部は尖り気味である。	㊦ ヨコナデ ㊧ ナデ ㊨ マメツ	㊦ ヨコナデ ㊧ ナデ	にぶい橙色 乳赤橙色	石・長(1~2) 金 ◎	G17区	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(7)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
411	鉢	口径 (12.2) 残高 2.5	口縁部はナデにより作り出す。	㊶ヨコナデ ㊷ハケ(8本/cm)	ヨコナデ	橙色 橙色	石・長(1~2) ◎	H13区	
412	鉢	口径 (6.4) 残高 4.4	内湾する口縁部の端部は内傾する面をもつ。	マメツ	マメツ	灰白色 灰白色	石・長(1~4) ○	G14区	
413	鉢	残高 1.4	丸味をもつ底部。内面に放射状の暗文。	ナデ	ミガキ	灰黄白色 灰黄白色	石・長(1~2) 金 ◎	F7区 黒斑	
414	鉢	残高 3.7	丸底。	ナデ	ナデ 指おさえ	浅黄色 浅黄色	石・長(1~3) ◎	C7区	
415	鉢	口径 (13.6) 底径 8.5 器高 8.2	内湾する口縁部の端部は丸い。脚部は短く「ハ」の字状に開く。	ナデ	ナデ	橙褐色 橙褐色	石・長(1~2) ◎	F8区	9
416	鉢	口径 14.0 残高 6.9	内湾する口縁部の端部は丸い。脚が付く。	ヨコナデ	ナデ	褐色 淡黄灰色	石・長(1~5) ◎	F8区	
417	鉢	口径 (11.0) 残高 4.1	内湾する口縁部の端部は尖り気味に丸い。	マメツ	㊶ヨコナデ ㊷マメツ	淡橙灰褐色 橙褐色	石・長(1~3) ◎	F17区	
418	鉢	残高 4.8	内湾する体部に脚が付く。	㊸ナデ ㊹ミガキ	ナデ	黄褐色 黄褐色	石・長(1~3) ◎	F8区	
419	鉢	底径 (7.8) 残高 3.2	「ハ」の字状の脚部の端部は「コ」の字状に丸い。	㊸ナデ ㊹ハケ ㊺ハケ→ナデ	㊸マメツ ㊹ハケ(6本/cm) ㊺ナデ	にぶい橙色 赤橙色	石・長(1~4) ◎	F13区	
420	鉢	底径 8.9 残高 2.5	「ハ」の字状に開く脚部。	ヨコナデ	㊻工具によるナデ ㊼ヨコナデ	淡橙色 淡橙褐色	石・長(1~3) ◎	F8区 黒斑	
421	甌	口径 (27.0) 残高 8.8	直線的に伸びる口縁部。端部は「コ」の字状である。	ヨコナデ ハケ(7本/cm)	ハケ(7本/cm) ハケ(5~6本/cm)	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長(1~2) 金 ◎	G13区	
422	甌	口径 (21.4) 残高 5.9	直線的に伸びる口縁部。端部は「コ」の字状に丸い。	ハケ(6~7本/cm)	ヨコナデ ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長(1~2) ◎		
423	甌	残高 6.0	把手。断面は楕円形で上面に2本の線刻を施す。	ナデ	ナデ	淡黄灰白色 淡黄灰白色	石・長(1~3) ◎	E7区	9
424	甌	残高 5.0	把手。断面は楕円形で上面に2本の線刻を施す。	ナデ ハクリ	ナデ	にぶい浅黄灰色	石・長(1~3) ◎	E10区 黒斑	9
425	甌	残高 3.6	把手。端部は面をもつ。断面は円形に近い。上面に深い溝を1条施す。	ナデ		浅黄橙色	石・長(1~3) ◎	E13区 黒斑	9
426	甌	残高 4.3	把手。端部は面をもつ。断面は円形。上面に深い「V」字状の溝を1条施す。	ナデ ハクリ	ナデ	灰黄白色 灰黄白色	石・長(1~4) 金 ◎	D7区	9
427	甌	残高 4.6	把手。断面は円形。端面に径3mm、深さ1.8cmの円孔を施す。	ナデ	ハケ(7~8本/cm)	灰黄色 灰黄色	石・長(1~4) ◎	E13区	
428	甌	残高 6.4	把手。端部は面をもつ。断面は円形。下面に四角い孔を施す。	ナデ 指頭痕 工具痕	ナデ 指頭痕	浅黄橙色 灰色橙色	石・長(1~5) 金・赤 ◎	H14区	
429	甌	残高 4.6	把手。断面は円形。端面に2ヶ所の円孔を施す。	ナデ ハクリ	ナデ	淡黄灰色	石・長(1~3) ◎	E8区	
430	甌	残高 8.2	把手。断面は円形。	ナデ ハクリ	ナデ	浅黄橙色 灰白色	石・長(1~3) ○	F14区	
431	甌	残高 8.0	把手。断面は楕円形。	ハケ(6本/cm)→ ナデ	ハケ(6本/cm)→ ナデ	灰黄褐色 灰黄褐色	石・長(1~3) ◎	G16区	
432	甌	残高 8.1	把手。断面は円形。	ナデ ハケ	ナデ 工具によるナデ	浅黄橙色 浅黄橙色	石・長(1~3) ◎	F4区	
433	甌	残高 4.6	把手。断面は楕円形。	ナデ		灰黄褐色	石・長(1) ◎	G16区	
434	甌	残高 7.1	把手。断面は楕円形。	ナデ ハクリ	ナデ	灰黄色 灰黄色	石・長(1~2) 金 ◎	D10区	
435	甌	残高 3.2	把手。断面は円形。	ナデ ハクリ	ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長(1~2) ◎	G10区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(8)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
436	甌	残高 6.8	把手。断面は扁平な楕円形。	ナデ ハケ(7~8本/cm)	ナデ	橙色 にぶい橙色	石・長(1~4) 金・赤 ○	F 5 区	
437	甌	残高 4.6	把手。断面は楕円形。	ナデ	ナデ	灰白色 灰黄白色	石・長(1~3) ◎	F 7 区	
438	甌	残高 7.2	把手。断面は楕円形。	ナデ ハケ(8~9本/cm) 指頭痕	マメツ	橙色 浅橙色	石・長(1~4) 金・赤 ◎	F 5 区	
439	甌	残高 4.0	把手。断面は楕円形。	ナデ		にぶい黄橙色 赤灰色	石・長(1~2) 金・赤 ○	G15区	
440	甌	残高 4.9	把手。断面は楕円形。	ナデ		浅黄橙色 浅黄橙色	石・長(1~3) 石粒多・赤 ◎	E 4 区	
441	甌	残高 1.1	底部片。円孔が2ヶ所。	ナデ	ナデ ハクリ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長(1~3) ◎	G17区	
442	甌	残高 2.6	底部片。円孔有り。	ナデ	ナデ	褐灰色 黄灰色	石・長(1) ◎	H14区	
443	製塩 土器	口径(4.7) 残高 3.2	直立する口縁部。端部は尖り気味である。	平行タタキ	ナデ	暗灰黄色 褐灰色	石・長(1~3) ◎	H13区	
444	製塩 土器	口径(4.5) 残高 2.7	直立する口縁部。端部は尖り気味である。	平行タタキ	ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長(1) ◎	F 4 区	
445	製塩 土器	口径(3.6) 残高 2.7	直立する口縁部。端部は尖る。	平行タタキ	ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長(1~2) ◎	F 8 区	
446	製塩 土器	口径(3.9) 残高 2.3	直立する口縁部。端部は尖り気味である。	平行タタキ	ナデ	橙色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) ◎	G15区	
447	製塩 土器	口径(4.8) 残高 4.0	直立する口縁部。端部は尖り気味である。	ナデ	ナデ	にぶい橙色 橙色	石・長(1) 赤 ◎	F16区	
448	製塩 土器	口径(4.8) 残高 3.8	直立する口縁部。端部は尖り気味に丸い。	ナデ	ナデ 指おさえ	明褐色 にぶい褐色	石・長(1~3) 金・石粒 ◎	G13区	
449	製塩 土器	口径(4.0) 残高 2.9	直立する口縁部。端部はわずかに内湾する。	マメツ	工具痕	褐灰色 褐灰色	石・長(1) ◎	G16区	
450	製塩 土器	口径(4.6) 残高 2.7	内湾する口縁部。端部は丸い。	ナデ	ナデ	にぶい橙色 橙色	長(1) 赤 ◎	G15区	
451	製塩 土器	残高 5.7	胴部片。	ナデ タタキ	ナデ	にぶい褐色 にぶい赤褐色	密 ◎	G 4 区	
452	製塩 土器	残高 3.5	胴部片。	マメツ	ナデ	にぶい橙色 灰黄色	密・石・長(1) 赤 ○	F 7 区	
453	製塩 土器	残高 2.4	胴部から底部の小片。	ナデ	ナデ ヨコナデ	にぶい橙色 橙色	石・長(1~2) 赤 ◎	F 5 区	
454	ミニチュア	口径(5.7) 器高 5.9	手捏ね土器。丸味のある胴底部。口縁部は外傾し器壁は薄く端部は丸い。	ナデ	工具によるナデ ナデ 指頭痕	黄灰色 黒褐色	石・長(1~5) ◎	E 5 区 黒斑	
455	ミニチュア	口径 5.6 器高 5.4	手捏ね土器。丸味のある底部。口縁部は外反し端部は尖り気味である。	ナデ 指押さえ	ナデ 指おさえ	浅黄色 黄灰色	石・長(1~3) ◎	E 6 区	
456	ミニチュア	口径 5.0 器高 5.0	手捏ね土器。尖り気味に丸い底部。口縁部はわずかに外反し端部は尖り気味である。	指おさえ ナデ	ナデ	浅黄色 浅黄橙色	石・長(1~4) 赤 ◎	E 6 区	
457	ミニチュア	口径(4.9) 器高 4.3	手捏ね土器。凹凸のある底部。口縁部はわずかに外反し端部は尖り気味である。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	灰茶色 灰茶色	石・長(1~4) ◎	F 6 区	
458	ミニチュア	口径 3.3 器高 5.0	手捏ね土器。丸い底部。口縁部は内傾し端部は尖る。	ナデ 指おさえ ハケ(4本/cm)→ナデ	ナデ	黄橙色 黄橙色	石・長(1~4) 金 ◎	F 5 区 黒斑	
459	ミニチュア	口径 4.7 器高 4.1	手捏ね土器。丸味のある小さな平底。口縁部は直立し丸い。	ナデ	ナデ	灰黄色 灰黄茶色	石・長(1~4) 赤 ◎	F 7 区	
460	ミニチュア	口径 4.0 器高 4.0	手捏ね土器。丸い底部。口縁部は直立し端部は尖る。	ナデ	ナデ	淡黄灰色 淡黄灰色	石・長(1~3) ◎	F 7 区 黒斑	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(9)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
461	ミニチュア	口径 2.9 器高 4.2	手捏ね土器。胴部は長く、底部は尖り気味に丸い。口縁部は内傾し端部は尖る。	指おさえ ナデ	ナデ 指おさえ	灰黄褐色 灰黄色	石・長(1~5) 金・赤 ◎	E 6 区 黒斑	
462	ミニチュア	口径 4.7 器高 4.7	手捏ね土器。バケツ状、口縁部は歪む。	ナデ	ナデ	淡灰黄色 淡灰黄色	密・石・長(1~3) 金 ◎	F 7 区 黒斑	9・11
463	ミニチュア	口径(3.3) 底径 3.4 器高 5.4	手捏ね土器。口縁部から底部は「U」字状で口端部は尖る。脚部は短く開く。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	乳灰黄茶色 乳灰黄茶色	石・長(1~3) ◎	E 8 区 黒斑	9・11
464	ミニチュア	口径(3.8) 残高 3.6	手捏ね土器。胴部はわずかに内傾し口縁部は短く外傾する。端部は尖り気味に丸い。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	灰黄褐色 にぶい黄橙色	石・長(1~3) 金・赤 ◎	F 7 区 黒斑	
465	ミニチュア	口径(6.0) 残高 2.8	手捏ね土器。口縁部はわずかに外反し端部は尖り気味に丸い。	指おさえ ナデ	ナデ	橙色 にぶい黄橙色	石・長(1~3) ◎	G 5 区	
466	ミニチュア	口径(5.8) 残高 2.9	手捏ね土器。口縁部は外反して内湾する。口端部は尖る。器台形土器か。	ナデ 指おさえ	ナデ	にぶい橙色 にぶい橙色	石・長(1~3) ◎	G14区	
467	ミニチュア	底径 1.6 残高 2.9	手捏ね土器。小さなくびれの上げ底に内湾する胴部。	ナデ	ナデ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~4) ◎	F12区	
468	ミニチュア	残高 4.2	底部中央がわずかに突出する丸い底部。胴部は球形で外反する口縁部は器壁が薄い。	ナデ	ナデ	浅黄褐色 黒褐灰色	石・長(1~6) 金 ◎	F16区	
469	ミニチュア	底径 2.4 残高 3.2	丸味のある平底。	ナデ ハケ(8本/cm)	ナデ 工具痕	黄白色	密 ○	F 7 区 煤付着	
470	ミニチュア	残高 2.4	丸底で中央部がわずかに凹む。	指おさえ ナデ	ナデ	灰黄褐色 にぶい黄橙色	石・長(1~5) ◎	G 5 区	
471	ミニチュア	残高 3.4	手捏ね土器。わずかに外反する口縁部。	ナデ	ナデ	灰黄色 にぶい黄橙色	石・長(1~4) ◎	H15区	
472	ミニチュア	残高 1.8	不明土製品。片面に線刻あり。	ナデ	ナデ	灰白色	石・長(1~2) ○	E 7 区	9
473	ミニチュア	残高 2.9	断面が円形状の把手か。	ナデ		橙色	石・長(1) ◎	G15区	
474	ミニチュア	残高 2.3	把手か。	ナデ		褐灰色	石・長(1~2) ◎	G15区	
475	冑	長 5.0 幅 3.8 高 3.3	前面部が尖る衝角付冑、裾部に粘土を貼付ける。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	乳灰黄色 乳灰黄色	石・長(1~2) ◎	G 8 区	10・11
476	短甲	口径 5.0 底径 6.2 器高 6.8 厚 1.5	押付板は隅丸方形、裾部は開く。上部側面と前面にえぐりを施す。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	灰茶色 灰茶色	石・長(1~3) ◎	F 9 区 黒斑	10・11
477	短甲	口径 5.2 底径 5.9 残高 5.6 厚 1.1	裾部は開く。上部側面と前面にえぐりを施す。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	乳灰茶色 乳灰茶色	石・長(1~4) ◎	F 8 区 黒斑	10・11
478	短甲	残高 3.3 厚 1.1	上下部を欠失する。上部前面のえぐりが残る。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	灰茶色 灰茶色	石・長(1~2) ◎	F 8 区	10・11
479	盾	長 8.9 幅 7.1 厚 0.9	隅丸の長方形で背面に粘土紐で把手を付ける。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	乳灰黄茶色 乳灰黄茶色	石・長(1~2) ◎	G 8 区	11
480	紡錘車	上面径3.1 下面径4.1 器高 2.6	台形状。径0.8cmの穿孔。外面に1条の沈線が巡る。	ナデ		赤橙色	石・長(1~2) ◎	G12区 黒斑	
481	土錘	径 3.8~5.5	断面円形状である。端部に斜方向の穿孔径0.6cm。	ナデ		灰黄色	石・長(1~2) ○	H15区	9
482	土錘	長 8.3 径 3.1 孔径 1.5	筒状の土錘。孔径1.5cm、完形品。	ナデ		乳茶色	石・長(1~2) ◎	F 5 区	
483	土錘	長 6.1 幅 2.5 厚 2.2	棒状。端部に径0.5cmの穿孔。	ナデ		黒灰色	石・長(1) ◎	F15H	
484	土錘	長 5.1 幅 2.6 厚 1.7	棒状。端部に径0.5cmの穿孔。	ナデ		灰黄褐色	石・長(1~2) 金 ◎	G16区	
485	ふいご (羽口)	長 4.1 幅 3.4 厚 2.1	小片。鉄滓付着。			灰色	石・長(1~3) ◎	F 4 区 鉄滓付着	9

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(10)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
486	円筒 埴輪	残高 7.6	断面「M」字状のタガをもつ。	ハケ(7~9本/cm) ヨコナデ	ナデ	にぶい黄橙色 灰黄色	密 ◎	D14区	
487	坏蓋	口径(12.7) 残高 3.9	扁平な天井部と長い口縁部を分ける稜は断面三角形状である。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	乳灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	F7区	
488	坏蓋	口径(12.4) 器高 4.7	扁平な天井部と長く直立する口縁部を分ける稜は断面三角形状である。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	㊸ ナデ ㊹ 回転ナデ	灰色 青灰色	密・石・長(1) ◎	F8区	
489	坏蓋	口径(13.2) 器高 4.3	内湾気味に接地する口縁部はわずかに凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・石・長(1) ◎	F4区	
490	坏蓋	口径(12.9) 器高 3.8	扁平な天井部と口縁部を分ける稜は断面三角形状である。口端部は内面に凹線が巡る。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	灰褐色 灰色	密 ◎	E7区	
491	坏蓋	口径(12.7) 器高 4.7	丸味をもつ天井部。口縁部は内湾気味に接地し端部は凹む。	㊸ マメツ ㊹ ヨコナデ	回転ナデ	青灰色 灰色	密・石・長(1) ◎	E4区 釉付着	
492	坏蓋	口径(12.1) 器高 4.0	扁平な天井部。口縁部はやや内傾気味に接地し端部は凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密・長(1) ◎	H13・14区	
493	坏蓋	口径 13.2 器高 4.2	扁平な天井部。口縁部はわずかに開き気味で端部は内傾する面をもつ。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	㊸ ナデ ㊹ 回転ナデ	茶灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	F7・8区	
494	坏蓋	口径(12.4) 器高 4.7	丸味をもつ天井部。口縁部は直立気味で端部は凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	H13区	
495	坏蓋	口径(12.9) 器高 4.4	丸味をもつ天井部。口縁部はわずかに開き気味で端部は内傾する面をもつ。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 灰色	密 ◎	E3区	
496	坏蓋	口径(12.8) 器高 4.9	丸味をもつ天井部。口縁端部は丸味をもち内面は凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	㊸ ナデ ㊹ 回転ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1) ◎	E7区	
497	坏蓋	口径 13.0 器高 5.0	丸味をもつ天井部。口縁端部は凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	㊸ ナデ ㊹ 回転ナデ	青灰色 青灰色	密・石・長(1) ◎	F4区	
498	坏蓋	口径(12.6) 器高 4.8	扁平な天井部。口縁部は直立気味で端部は内傾する面をもち凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	㊸ ナデ ㊹ 回転ナデ	乳灰色 青灰色	密・石・長(1) ◎	F4区	
499	坏蓋	口径(12.8) 器高 4.8	扁平な天井部。口縁部はわずかに開き気味で端部は凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 乳灰色	密・石粒(5) ◎	E4区	
500	坏蓋	口径 12.0 器高 4.6	丸味をもつ天井部。口縁部は直立し端部は凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F8区	
501	坏蓋	口径(12.0) 残高 4.8	天井部は丸味をもち、口縁部は直立し端部は尖り気味で内面に段をもつ。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	㊸ ナデ ㊹ 回転ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	F8区	
502	坏蓋	口径 11.4 残高 4.4	天井部は歪んでいる。口縁部は開き気味に接地し端部は凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	㊸ ナデ ㊹ 回転ナデ	灰色 灰色	密・長(1~3) ◎	E13区	
503	坏蓋	口径(11.5) 残高 4.3	丸味のある天井部。口縁部は内湾気味に下り、端部は凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 灰色	密・石・長(1~5) ◎	H13区	
504	坏蓋	口径(13.6) 残高 4.8	天井部は丸味をもち、口縁部は内湾気味に下り、端部内面に段をもつ。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 青灰色	密 ◎	E4区	
505	坏蓋	口径(13.9) 残高 4.4	扁平な天井部。口縁部は開き気味に下り端部は凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	㊸ ナデ ㊹ 回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	E15区	
506	坏蓋	口径(14.2) 残高 3.7	口縁部は開き気味に接地し端部は凹む。	回転ナデ	回転ナデ	暗灰色 暗灰色	密・長(1) ◎	G13区	
507	坏蓋	口径(14.0) 残高 3.8	口縁部は直立気味に接地し端部は内傾する面をもち凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	C13区	
508	坏蓋	口径(14.8) 残高 4.5	口縁部はわずかに開き気味に接地し、端部は尖り気味に丸く、内面に段をもつ。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	乳灰色 乳灰色	密・長(1)・石粒(3) ◎	E5区	
509	坏蓋	口径(12.3) 残高 3.0	口縁部は内湾気味に接地し、端部内面に段をもち、外面にはキザミ目を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1) ◎	H14区	12
510	坏蓋	口径(11.5) 残高 4.4	天井部は丸く、口縁部は直立気味で端部は内傾する面をもち凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1) ◎	F5区	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(11)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
511	坏蓋	口径(14.2) 器高 4.4	天井部は丸味をもち、口縁部は内湾して下がる。端部は丸い。	㊦ 回転ヘラケズリ ㊧ 回転ナデ	㊦ ナデ ㊧ 回転ナデ	灰色 灰色	密・石長(1~5) ◎	F 5 区	
512	坏蓋	口径(13.4) 器高 3.8	内湾して下がる口縁部。端部はあいまいな内傾面。	㊦ 回転ヘラケズリ ㊧ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密・長(1) ◎	G10区	
513	坏蓋	口径(13.8) 器高 3.8	ゆるやかに内湾して下がる口縁部。端部は先細りし丸い。	㊦ 回転ヘラケズリ ㊧ 回転ナデ	㊦ ナデ ㊧ 回転ナデ	灰色 灰色	密・長(1~3) ◎	H10区	
514	坏蓋	残高 3.2	天井部と口縁部を分ける稜は小さく「コ」の字状でシャープである。	回転ナデ	回転ナデ	乳灰茶色 乳黄茶色	密 ◎	E14区	12
515	坏蓋	残高 2.6	天井部と口縁部を分ける稜は断面三角形状である。	㊦ 回転ヘラケズリ →ナデ ㊧ 回転ナデ	㊦ 回転ナデ →ナデ ㊧ 回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F14区	12
516	蓋	残高 2.2	天井部と口縁部を分ける稜は断面が丸味をもつ三角形状である。天井部に板状工具による細かいナデ。	㊦ 板状工具による ナデ ㊧ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F 6 区 高靈タイプ	12
517	坏身	口径(9.9) 残高 5.0	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し、受部・立ち上がりともに端部は丸い。重ね焼きの痕跡。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ナデ →ナデ	灰色 灰色	密 ◎	G10区	12
518	坏身	口径 10.0 器高 4.7	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は丸い。底部は浅く、外面にヘラ記号有り。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	㊦ 回転ナデ ㊧ ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F 7 区	
519	坏身	口径 10.4 器高 5.2	短く外上方に伸びる丸い受部。立ち上がりは内傾し長く端部は丸い。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	㊦ 回転ナデ ㊧ ナデ	灰色 灰色	長(1~3) ◎	F16区	
520	坏身	口径(11.8) 残高 3.9	直立気味の立ち上がりは長く端部は丸い。	㊦ 回転ナデ ㊧ 拵指(6~7本/cm) 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	G16区	
521	坏身	口径(10.4) 残高 4.0	短く水平に伸びる受部。外反し内傾する立ち上がりの端部は尖り気味に丸い。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	長(1~2) ◎	C 9 区	
522	坏身	口径(10.0) 器高 4.6	平たい底部。受部は水平気味に伸び立ち上がりは内傾し端部は凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・石粒(4) ◎	F 6 区	
523	坏身	口径(12.0) 器高 5.7	短く水平に伸びる厚みのある受部。立ち上がりは内傾し端部は凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	㊦ 回転ナデ ㊧ ナデ	灰白色 灰白色	長(1~2) 石粒(8) ◎	H13区	
524	坏身	口径(11.6) 器高 5.9	水平気味に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	㊦ 回転ナデ ㊧ ナデ	灰色 灰色	長石 (1~2) 粒多 ◎	H13区	
525	坏身	口径(11.2) 残高 4.7	水平気味に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 乳灰色	密 ◎	G14区	
526	坏身	口径(11.6) 残高 3.9	水平気味に伸びる受部の端部は丸い。立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	D12区	
527	坏身	口径(10.0) 器高 4.8	水平気味に長く伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は凹む。底部内面に同心円のあて具痕。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	㊦ 回転ナデ ㊧ 同心円のタキ あて具痕	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	G13区	
528	坏身	口径 10.0 器高 5.1	外上方に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。底部にヘラ記号有り。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F 4 区	
529	坏身	口径(10.4) 器高 4.6	水平に伸びる厚い受部。立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。底部に十字状のヘラ記号有り。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	E 4 区	
530	坏身	口径(10.0) 器高 4.4	扁平で浅い底部。受部は外上方に伸び立ち上がりは内傾し端部は凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・石粒(1~5) ◎	F 6 区	
531	坏身	口径(10.2) 器高 4.6	受部は外上方に伸び、立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	密・石粒多 ◎	H13区	
532	坏身	口径(10.4) 器高 4.9	受部は外上方に伸び、立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ ナデ	灰色 灰色	長(1~3) ◎	E 6 区	
533	坏身	口径(10.4) 器高 5.0	扁平な底部。受部は水平気味に外上方に伸び、立ち上がりは内傾し端部は凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	㊦ 回転ナデ ㊧ ナデ	灰色 灰色	長(1~3) ◎	F 6 区	
534	坏身	口径(10.5) 器高 5.3	短く水平に伸びる厚い受部。立ち上がりは直立し端部は凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・石粒(5) ◎	F 4 区	
535	坏身	口径(11.0) 残高 3.9	外上方に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は凹む。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	G13区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(12)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
536	坏身	口径(10.6) 残高 3.4	外上方に伸びる受部。立ち上がりは直立気味で端部は凹む。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	E12区	
537	坏身	口径(10.0) 器高 4.4	外上方に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は凹む。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	①回転ナデ ②ナデ	灰色 青灰色	密 ◎	E5区	
538	坏身	口径(10.6) 器高 4.3	水平に短く伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は凹む。重ね焼きの痕跡有り。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	①回転ナデ ②ナデ	青灰色 青灰色	長(1~5) ◎	E4区	
539	坏身	口径(10.0) 残高 4.2	外上方に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は凹む。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 緑灰色	密 ◎	G13区	
540	坏身	口径(10.0) 残高 4.3	短く水平気味に伸びる受部。立ち上がりは直立気味で、端部は内傾する面をもち凹む。	②回転ナデ ③回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F5区	
541	坏身	口径(10.6) 残高 4.4	外上方に短く伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	D13区	
542	坏身	口径(12.6) 器高 4.6	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は凹む。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	①回転ナデ ②ナデ	灰色 灰色	石・長(1~3) ◎	E8区	
543	坏身	口径(13.2) 残高 5.2	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	①回転ナデ ②ナデ	灰色 灰色	長(1~2) ◎	G15区	
544	坏身	口径(11.8) 残高 3.7	水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部内面が凹む。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	E3区	
545	坏身	口径(12.0) 残高 3.7	短く水平に伸びる厚い受部。立ち上がりは内傾し端部は先細り。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	長(1) ◎	F5区	
546	坏身	口径(12.8) 器高 3.4	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは短く内傾し端部は先細り。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	①回転ナデ ②ナデ	灰色 灰色	石・長(1~5) ◎	H10区	
547	坏身	残高 4.5	外上方に伸びる受部。立ち上がりは内傾する。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	①回転ナデ ②ナデ	灰色 灰色	長(1~2) 石粒多 ◎	C9区	
548	坏身	残高 1.5	平坦な底部に「X」状のヘラ記号有り。	不明 回転ヘラケズリ	回転ヨコナデ ナデ	乳灰色 青灰色	石・長(1) ◎	E14区	
549	高坏蓋	つまみ径2.4 残高 3.2	丸味をもつ天井部に中央部がわずかに凹むつまみが付く。	②回転ナデ ③回転ヘラケズリ ④回転ナデ	回転ナデ	乳灰色 青灰色	密・長(1) ◎	F5区	
550	高坏蓋	つまみ径2.8 残高 3.0	丸い天井部に中央部が凹むつまみが付く。	②回転ナデ ③回転ヘラケズリ	ナデ 回転ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1) ◎	F5区	
551	高坏蓋	つまみ径2.8 残高 1.7	中央部が凹むつまみが付く。	②回転ナデ ③回転ヘラケズリ	ナデ	灰色 青灰色	密 ◎	E11区	
552	高坏蓋	つまみ径3.6 残高 1.8	中央部が凹むつまみが付く。	②回転ナデ ③回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 乳灰色	密 ◎	F5区	
553	高坏	口径(10.8) 底径(9.8) 器高 9.4	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は凹む。脚部に長方形透かしを3方向に施す。	①回転ヨコナデ ②回転ナデ ③回転ヘラケズリ ④カキ目 ⑤回転ナデ	①回転ナデ ②ナデ ③回転ナデ	青灰色 青灰色	長(1~3) ◎	F15区	
554	高坏	口径 10.2 底径 8.2 器高 9.6	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。脚部に3方向の透かし。ヘラ記号。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ ③回転ナデ	①回転ナデ ②ナデ ③回転ナデ	青灰色 青灰色	石・長(1~3) ◎	F6区	
555	高坏	口径(9.8) 底径(8.6) 器高 8.8	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。脚部に3方向の透かし。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ ③回転ナデ	①回転ナデ ②ナデ ③回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1) ◎	E15区	
556	高坏	口径(11.2) 残高 4.9	水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は内傾する面をもち凹む。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ ナデ ③カキ目(9本/cm)	①回転ナデ ②ナデ ③ナデ	灰色 灰色	密 ◎	H14区	
557	高坏	口径(16.6) 残高 7.2	平坦な坏底部。口縁部は直立気味に立ち上がり端部は尖り気味に丸い。2条の凸帯と波状文を施す。把手欠。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	④釉付着の為不明 ⑤ナデ	灰色 釉(オリブ色)	密・石・長(1~4) ◎	F13区 釉付着	12
558	高坏	口径(16.4) 残高 5.4	外傾する口縁部の端部は先細りし丸い。外面に2条の凸帯と波状文を施す。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 釉(濁った白釉)	密 ◎	F4・5区 釉付着	
559	高坏	残高 5.4	坏部外面に2条の凸帯と波状文を施す。把手欠。	回転ナデ ナデ	回転ナデ	灰色 青灰色	長(1~2) ◎	G17区	
560	高坏	口径(16.2) 残高 5.5	坏部、端部は外傾する。外面に1条の凸帯を施す。	①回転ナデ ②回転ヘラケズリ	①回転ナデ ④釉付着の為不明	青灰色 灰白色	石・長(1~5) ◎	E13区 釉付着	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表

土製品

(13)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
561	高 坏	口径 (14.2) 残高 5.8	丸味をもつ坏底部。口縁部は直立気味で端部は丸い。外面に1条の凸帯を施す。	㊶回転ナデ ㊶回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 灰色	石・長(1~3) ◎	F 6 区	
562	高 坏	口径 (9.5) 残高 4.5	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は先細りする。	㊶回転ナデ ㊶回転ヘラケズリ ㊶回転ナデ	㊶回転ナデ ㊶ナデ	青灰色 灰色	密・長(1) ◎	H10区	
563	高 坏	口径 (10.2) 残高 3.4	口縁部。外面に2条の凸帯と波状文を施す。	回転ナデ	不明	黒色 黒色	密 ◎	G16区	12
564	高 坏	口径 (10.0) 残高 2.5	口縁部片。端部は先細りする。外面に1条の低い凸帯を施す。	回転ナデ	回転ナデ	暗紫色 暗紫色	密 ◎	酸化ぎみに焼成 F15区	12
565	高 坏	口径 (9.6) 残高 2.3	口縁部の小片。端部は先細りする。外面に1条の低い凸帯を施す。	回転ナデ	回転ナデ	暗紫色 暗紫色	密・白色粒 ◎	酸化ぎみに焼成 H14区	12
566	高 坏	口径 (14.3) 残高 2.8	坏部。端部は直立し尖る。断面三角形の凸帯を巡らす。	回転ナデ	釉付着の為不明	青灰色 青灰色	密 ◎	G11区 釉付着	12
567	高 坏	口径 (13.6) 残高 2.7	坏部。端部は直立し尖る。断面三角形の凸帯を巡らす。	回転ナデ	釉付着の為不明	青灰色 青灰色	密・白色粒 ◎	D13区 釉付着	12
568	高 坏	口径 (13.6) 残高 3.0	坏部。端部は直立し尖る。断面三角形の凸帯を巡らす。	回転ナデ	釉付着の為不明	青灰色 青灰色	密・白色粒 ◎	F 8 区 H14区 釉付着	12
569	高 坏	底径 (8.1) 残高 3.1	「ハ」の字状に短く開く脚部。	回転ナデ	㊶ナデ ㊶回転ナデ	灰色 灰色	密・長(1) ◎	D11区	
570	高 坏	底径 6.2 残高 3.0	「ハ」の字状に短く開く脚部。脚端部は内側が接地する。	回転ナデ	㊶回転ナデ ㊶回転ナデ→ナデ ㊶回転ナデ	灰色 灰色	密・長(1~3) ◎	H13区 釉付着	
571	高 坏	底径 8.6 残高 7.5	短く水平に伸びる受部。脚部の透かしは3方向に施す。	㊶回転ナデ ㊶カキ目 ㊶回転ナデ ㊶カキ目(7本/cm) ㊶回転ナデ	㊶ナデ ㊶回転ナデ	灰色 灰色	長(1~4) ◎	F 7 区	
572	高 坏	底径 (8.8) 残高 7.4	短く水平に伸びる厚い受部。脚部の透かしは3方向に施す。	㊶回転ナデ ㊶回転ヘラケズリ ㊶回転ナデ	㊶回転ナデ ㊶ナデ ㊶回転ナデ	灰色 灰色	長(1~2) 石粒(8) ◎	E 3 区	
573	高 坏	底径 9.1 残高 5.7	脚部片。長方形の透かしを施す。	回転ナデ	回転ナデ	暗灰色 灰色	密 ◎	F 4 区	
574	高 坏	底径 8.9 残高 5.5	脚部片。3方向に透かしを施す。	㊶回転ヘラケズリ ㊶回転ナデ	㊶回転ナデ ㊶ナデ ㊶回転ナデ	乳灰色 乳灰色	密 ◎	F 5 区	
575	高 坏	底径 8.0 残高 4.9	脚部片。3方向に透かしを施す。	回転ナデ	㊶ナデ ㊶回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	G16区	
576	高 坏	底径 8.4 残高 5.5	脚部片。3方向に透かしを施す。	㊶回転ナデ ㊶カキ目(7本/cm) ㊶回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F10区	
577	高 坏	底径 (9.0) 残高 5.6	脚部片。脚端部は上下に拡張する。3方向の透かしを施す。	㊶回転ナデ ㊶カキ目(6本/cm) ㊶回転ナデ	㊶ナデ ㊶ナデ ㊶回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	H16区	
578	高 坏	残高 3.7	脚部片。端部が内湾する。3方向の透かしを施す。	回転ナデ	㊶ナデ ㊶回転ナデ	灰茶色 灰色	石・長(1~2) ◎	G13区	
579	高 坏	底径 (7.9) 残高 3.1	脚部の小片。端部は直立して接地する。	㊶カキ目(5本/cm) ㊶回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	D13区	
580	高 坏	底径 (7.0) 残高 4.8	脚部片。端部は丸味をもつ。巾の広い透かしを3方向に施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	G13区	
581	高 坏	底径 7.3 残高 5.2	脚部片。端部は内湾し尖り気味である。透かしを3方向に施す。	回転ナデ	㊶ナデ ㊶ナデ ㊶回転ナデ	灰色 灰色	密・石粒多 ◎	F 7 区	12
582	高 坏	底径 (8.6) 残高 4.3	脚部片。端部は内湾し丸味をもつ。透かしを3方向に施す。	カキ目(13本/cm) 回転ナデ	㊶ナデ ㊶回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	F 5 区	
583	高 坏	底径 (7.4) 残高 4.8	脚部片。端部は内湾し尖り気味に丸い。透かしを3方向に施す。	㊶カキ目(7~9本/cm) ㊶回転ナデ	㊶ナデ ㊶回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F 8 区	
584	高 坏	底径 (6.6) 残高 4.0	脚部片。端部は内湾し先細りする。透かしを施す。	㊶カキ目(9本/cm) ㊶回転ナデ	㊶回転ナデ ㊶ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F13区	
585	高 坏	底径 (9.3) 残高 4.7	脚部片。端部は内湾し尖り気味に丸い。3方向の透かしを施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F 3 区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(14)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
586	高坏	底径(12.6) 残高 5.8	脚部片。3方向の透かしを施す。透かしは面取りを行なう。	㉞ 回転ナデ ㉟ カキ目(6本/cm) ㊱ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	石・長(1~2) ◎	F4区	
587	高坏	底径(11.0) 残高 5.0	脚部片。内外面に面取りを行なった透かしを施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 青灰色	石・長(1~2) ◎	E3区	
588	高坏	底径(11.0) 残高 6.9	脚部片。端部は上下に拡張する。脚中に1条の沈線。4方向の透かしを施す。	回転ナデ	㉞ ナデ ㉟ ナデ ㊱ 回転ナデ	灰色 青灰色	密・石・長(1~2) ◎	C4区	
589	高坏	底径(10.4) 残高 6.8	脚部片。端部は内湾する。透かしは4方向に施す。	回転ナデ	㉞ ナデ ㉟ 回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1) ◎	G16区	
590	高坏	底径(9.8) 残高 6.7	脚部片。端部は直立して接地する。3方向に透かしを施す。	回転ナデ	㉞ ナデ ㉟ 回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1) ◎	C8区	
591	高坏	底径(8.4) 残高 5.8	脚部片。端面が凹む。外面に沈線が2条残る。透かしを3方向に施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F12区 袖付着	
592	高坏	残高 9.5	長脚で2段に3方向の透かしと2条の沈線を施す。	回転ナデ	㉞ 絞り痕 ㉟ 回転ナデ	乳灰色 乳灰色	密・石・長(1) ◎		
593	高坏	底径(8.8) 残高 6.1	脚部片。脚端部が凹む。	回転ナデ	回転ナデ 絞り痕	灰色 灰色	密・石・長(1) ◎	G15区	
594	高坏	残高 4.4	脚部から基部の小片。基部上面が滑らか、二次的な使用痕か。	回転ナデ	㉞ ナデ ㉟ 回転ナデ	灰色 灰色	密・長(1~2) ◎	C12区	
595	高坏	底径 8.8 残高 6.1	脚部片。端部は凹む。外面に沈線1条と円孔を3方向に施す。	回転ナデ	回転ナデ	乳灰色 乳灰色	密・石粒(4) ◎	F7・9区	12
596	高坏	底径 7.1 残高 7.1	脚部片。細い柱部に小さく開く裾部は凹む。3方向に円孔を施す。	回転ナデ	㉞ ナデ ㉟ 回転ナデ	灰色 灰色	密・長(1) ◎	E5区	12
597	高坏	残高 1.5	基部の小片。	回転ナデ	回転ナデ	乳灰色 乳灰色	密・長(1) ◎	F9区	
598	高坏	底径(11.0) 残高 1.4	脚部の小片。端部は「コ」の字状である。	㉞ 不明 ㉟ カキ目	カキ目→ナデ	暗紫色 暗紫色	密・白色粒 ◎	H14区 酸化ぎみに焼成	12
599	高坏	底径(8.2) 残高 2.7	脚部の小片。凸線が2条巡る。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	H14区 袖付着	12
600	高坏	底径 8.8 残高 2.0	脚部の小片。端部は丸い。透かしを施す。	袖付着の為不明	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F13区 袖付着	12
601	高坏	残高 4.4	凸帯が1条巡る柱部。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・白色粒 ◎	G12区 袖付着	12
602	高坏	残高 3.5	柱部の小片か。円孔が2ヶ所に残る。	不明	回転ナデ	暗紫色 暗紫色	密・白色粒 ◎	H14区 酸化ぎみに焼成	12
603	高坏	底径(9.4) 残高 6.1	脚部の裾部に段をもつ。基部径は太い。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・白色粒 ◎	F5区	12
604	高坏	底径 9.3 残高 7.4	脚中に段をもつ。端部は凹む。厚みがある。	回転ナデ	㉞ 袖付着の為不明 ㉟ ナデ ㊱ 回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F12区 袖付着	12
605	甕	口径 22.8 器高 44.4	大型品。胴部は肩が張る。口縁部は外反し端部は上下に拡張する。口端下部に凸帯が巡る。底部内面に「十」字の線刻。	㉞ ヨコナデ ㉟ ハケ→ヨコナデ ㊱ タタキ→カキ目 ㊲ タタキ	㉞ ヨコナデ ㉟ 同心円タタキ→ナデ	灰色 灰色	密 ◎	E3・4区 袖付着	13
606	甕	口径 24.8 器高 45.0	大型品。口縁部は外反し端部は凹む。口端下部に凸帯1条と波状文を施す。胴部に螺旋状のカキ目を施す。	㉞ 回転ナデ ㉟ 平行タタキ→カキ目 ㊱ (6~7本/cm) ㊲ 平行タタキ	㉞ 回転ナデ ㉟ ナデ ㊱ 指頭痕	青灰色 青灰色	密 ◎	E9区 肩部から下はSK24出土	13
607	甕	口径 18.1 器高 28.4	完形品。胴部に1条の沈線と波状文を施す。頸部にわずかに段をもち口縁部は外反し凸帯をもつ。	㉞ 回転ナデ ㉟ タタキ→ナデ	ヨコナデ	灰色 灰色	密 ◎	D4 E6・7区 F3・6	14
608	甕	口径 16.1 器高 28.2	ほぼ完形品。頸部にわずかに段をもち口縁部は外反し口端手前に凸帯をもつ。	㉞ 回転ナデ ㉟ タタキ→ナデ ㊱ 平行タタキ	㉞ 回転ナデ ㉟ ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	C10区 D10	14
609	甕	残高 19.8	丸い底部。胴部に浅い沈線を施す。	縄席タタキ	㉞ 回転ナデ→ナデ ㉟ ナデ	暗灰黄色 暗灰黄色	密 ◎	F9・13区	15
610	甕	口径 20.8 残高 37.0	底部は平坦気味である。頸部にわずかに段をもち口縁部は外反し端部手前に凸帯をもつ。	㉞ 回転ナデ ㉟ 平行タタキ(8本/cm) (一部回転ナデ)	㉞ 回転ナデ ㉟ 回転ナデ→ナデ	黒灰色 黒灰色	石・長(1~3) ◎	E15 袖付着	14

出土遺物観察表

SRI②層出土遺物観察表 土製品

(15)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
611	甕	残高 5.6	胴部片。器壁が薄い。	平行タタキ(3~4本/cm)	ナデ	茶色 茶色	白色粒 ◎	G15区 酸化ぎみに焼成	15
612	甕	残高 4.5	胴部片。器壁が薄い。	カキ目(6本/cm) 平行タタキ(4本/cm)	ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F7区	15
613	甕	残高 5.1	胴部片。器壁が薄い。	カキ目(6本/cm) 平行タタキ(4本/cm)	ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	G16区	15
614	甕	残高 4.1	胴部片。	斜格子タタキ→ ナデ 斜格子タタキ	回転ナデ ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	D6区	15
615	甕	残高 6.5	胴部片。	格子タタキ	ナデ 指おさえ	青灰色 青灰色	密 ◎	E5区	15
616	甕	口径(40.6) 残高 11.5	外反する口縁部。口縁下に凸帯を1条外面にナデによる凸線を5条、波状文を3条施す。	回転ヨコナデ	回転ヨコナデ	青灰色 青灰色	石・長(1~2) ◎	F5.7区 釉付着	
617	甕	口径(26.2) 残高 12.1	外反する口縁部。口端下部に2条の凸帯を巡らす。	① 回転ナデ ② 平行タタキ→回転 ナデ ③ 平行タタキ(6本/cm)	① 回転ナデ ② ハケ(8本/cm) ナデ	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	G16区	15
618	甕	口径(16.6) 残高 8.4	外反する口縁部は凹む。口縁部の上部と下部に凸帯を巡らし、口縁部と上部凸帯間に8~9条の波状文、凸帯間に4条の波状文を施す。	回転ナデ	① 回転ナデ ② タタキ→回転 ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	E5区 F15-16区	
619	甕	口径(17.3) 残高 5.1	外反する口縁部。口端下部に凸帯1条、中位に2条の凸帯、口縁上位に11~12条下部に6条の波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	F3区	
620	甕	口径(18.4) 残高 4.8	外反する口縁部。口端下部と口縁中位に凸帯を1条巡らし、口縁上位と下位に波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 灰白色	密・石・長(1) ◎	F13区 釉付着	
621	甕	口径(13.4) 残高 2.1	外反する口縁部。口端下部に凸帯1条、凸帯下位に波状文を施す。	回転ナデ	不明	灰色 釉(オリブ色)	密 ◎	D13区 E12区 釉付着	15
622	甕	残高 3.4	外反する口縁部。端部は丸い。外面にあまい凸帯が2条巡る。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F5区	
623	甕	口径(16.0) 残高 1.7	外反する口縁部。端部はナデにより凹む。外面に14条以上の細い波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 乳灰色	密 ◎	D13区 釉付着	15
624	甕	口径(20.6) 残高 7.6	外反する口縁部。端部はナデにより上下に拡張する。口端下部と口縁中位にナデによる凸帯を作り出し、波状文を2段に施す。	① 回転ナデ ② カキ目(9本/cm) 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	石・長(1~3) ◎	G14区	
625	甕	口径(16.6) 残高 8.3	外反する口縁部。端部は上下に拡張する。	① 回転ナデ ② 平行タタキ→ カキ目(6本/cm)	① 回転ナデ ナデ ② 同心円タタキ→ ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	D13区 E13区	
626	甕	口径(18.1) 残高 4.4	外反する口縁部。端部は上下に拡張する。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	E9区	
627	甕	口径(17.7) 残高 5.2	外反する口縁部。口端下に凸帯を1条巡らす。	① 回転ナデ ② カキ目(5~10本/cm)	① ナデ ② マメツ	灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	E8区 釉付着	
628	甕	口径(16.0) 残高 6.5	外反する口縁部。口端下に凸帯を1条巡らす。	① 回転ナデ ② カキ目(7本/cm) ③ カキ目→回転ナデ	回転ナデ	青灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	E4 F4区 H13	
629	甕	口径(16.2) 残高 3.8	外反する口縁部。口端下に凸帯を1条巡らす。	① 回転ナデ ② カキ目(11本/cm) →回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1) ◎	E12区	
630	甕	口径(17.4) 残高 5.9	外反する口縁部。口端部は上下に拡張する。外面に8条の波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	B14 E14区 E15	
631	甕	口径(18.4) 残高 4.6	外反する口縁部。口端部は上下にわずかに拡張し凹む。外面に8条の波状文を施す。	① 回転ナデ ② カキ目(8本/cm) 回転ナデ	回転ナデ	灰色 青灰色	密 ◎	F12区	
632	甕	口径(16.6) 残高 4.2	外反する口縁部。端部は上下に拡張する。外面に8条の波状文を施す。	回転ナデ	不明	青灰色 灰白色	石・長(1~2) ◎	C12区 釉付着	
633	甕	残高 6.2	外反する口縁部。端部は上下に拡張する。外面に13条の波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰白色	密 ◎	F5区	
634	甕	口径(19.0) 残高 6.9	外反する口縁部。端部は上下に拡張する。	① 回転ナデ ② 平行タタキ	① 回転ナデ ② 同心円タタキ→ 回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1~3) ◎	G4区 釉付着	
635	甕	口径(20.0) 残高 4.4	外反する口縁部。端部は上下に拡張する。	回転ナデ	不明	青灰色 灰色	密 ◎	E13区 釉付着	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(16)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
636	甕	口径 (15.9) 残高 4.8	外反する口縁部。端部はナデにより 凹み上下に拡張する。	㊶回転ナデ ㊶カキ目(10本/cm)	回転ナデ	暗灰色 灰色	密 ◎	F14区 G14区 H14区	
637	甕	口径 (16.2) 残高 5.7	外反する口縁部。端部は上下に拡張する。	不明	回転ナデ	釉(オリーブ色)	石・長(1~4) ◎	G13区	釉付着
638	甕	口径 (16.2) 残高 3.6	外反する口縁部。端部は上下に拡張する。	㊶回転ナデ ㊶カキ目(7~10本/cm) →回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	G13区	
639	甕	口径 (19.0) 残高 3.8	外反する口縁部。口端部は上下に拡張する。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 乳灰色	密・石(1) ◎	F4区	
640	甕	口径 (18.9) 残高 5.6	外反する口縁部。口端部は上下にわずかに拡張する。外面にヘラ記号を施す。	回転ナデ	回転ナデ	乳灰色 灰色	密 ◎	E9区	
641	甕	口径 (21.0) 残高 7.4	外反する口縁部。口端部は下方に拡張する。	㊶回転ナデ ㊶カキ目(7本/cm) ㊶回転ナデ ㊶平行タタキ→カキ目	㊶回転ナデ ㊶同心円タタキ	灰色 灰色	密・石長(1~2) 石粒(4) ◎	D14区	
642	甕	口径 (17.4) 残高 10.7	外反する短い口縁部。端部は丸い。外面に2本の線刻。口縁部は垂む。	㊶回転ナデ ㊶平行タタキ→カキ目(9本/cm)	㊶回転ナデ ㊶同心円タタキ	灰色 灰色	密・石長(1~2) 石粒(9) ◎	F4-6区	
643	甕	口径 (21.4) 残高 3.6	外反する口縁部。口端部は丸い。	㊶回転ナデ ㊶カキ目(6~7本/cm)	回転ナデ	灰色 乳褐色	密・石(1) ◎	F9区	
644	甕	口径 (16.0) 残高 4.3	外反する口縁部の端部は丸い。	回転ナデ	回転ナデ	乳灰色 灰色	密・石(1) ◎	D13区	
645	甕	口径 (15.0) 残高 2.9	外反する口縁部の端部は丸く凹む線が巡る。	回転ナデ	回転ナデ ハケ	灰色 茶灰色	密 ◎	C11区	
646	甕	残高 2.6	外反する口縁部片。端部は上下に拡張する。	回転ナデ	回転ナデ	茶灰色 灰色	密・石・長(1) ◎	C12区	釉付着
647	甕	残高 4.2	外反する口縁部片。口端部は丸い。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 茶灰色	密・石・長(1) ◎	F9区	
648	鍋	口径 (25.0) 器高 22.6	胴部中央に沈線が巡り把手が付く。把手は貫通する切込み。胴上部は内傾し口縁部は短く外反し端部に沈線が巡る。	㊶回転ナデ ㊶カキ目(7本/cm) ㊶格子タタキ→カキ目 ㊶格子タタキ→ナデ	㊶回転ナデ ㊶ナデ	褐色 灰色	密 ◎	E8区	15
649	甕	口径 (26.0) 残高 10.1	短く外反する口縁部の端部に沈線が巡る。	㊶回転ナデ ㊶カキ目(6~9本/cm)	回転ナデ	灰色 灰白色	密 ◎		15
650	甕	残高 10.8	胴部片。胴部に沈線が1条巡る。	カキ目(8~9本/cm) 格子タタキ	回転ナデ 同心円タタキ→ナデ	灰白色 灰色	密・白色粒 ◎	G17区	15
651	甕	残高 5.9	胴部片。	格子タタキ→カキ目(8本/cm)	回転ナデ	灰色 青灰色	密・白色粒 ◎	E5区	15
652	壺	口径 (21.6) 残高 39.3	短い頸部に外反する口縁部は歪んでいる。口端部は丸い。	㊶回転ナデ ㊶平行タタキ(3本/cm)→カキ目(6~7本/cm) ㊶格子タタキ	㊶回転ナデ ㊶ナデ ㊶同心円タタキ	青灰色 灰色	密 ◎	F6-7区	
653	壺	口径 16.4 器高 31.2	短く外湾する口縁部。端部は「コ」の字状でナデにより凹む。胴中位にナデによる沈線5条。	㊶回転ナデ ㊶格子タタキ	㊶回転ナデ ㊶ナデ	灰色 灰色	石・長(1) ◎	F11区	16
654	壺	残高 53.1	肩の張る胴部。口縁部は外反し削出し凸帯2条と波状文2条施す。	㊶回転ナデ カキ目(8~9本/cm) ㊶平行タタキ→カキ目(9本/cm)	㊶回転ナデ ㊶同心円タタキ	灰色 青灰色	密・長(1) ◎	F5区	釉付着
655	壺	残高 5.0	丸味をもつ底部近くの小片。外面に沈線が3条残る。	平行タタキ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	E13区	16
656	壺	口径 (18.1) 残高 6.3	外傾する口縁部の中位に断面三角状の段をもつ。頸部に低い凸帯が巡る。	㊶回転ナデ ㊶格子タタキ→カキ目(9本/cm)	回転ナデ	紫灰色 灰色	密・白色粒 ◎	F7区	
657	壺	口径 (20.0) 器高 34.6	球形の胴部。口縁部は外傾し口縁中位に凸帯が巡る。	㊶回転ナデ ㊶格子タタキ→カキ目(7本/cm) ㊶格子タタキ→ナデ	㊶回転ナデ ㊶同心円タタキ →ナデケン	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	H13区	16
658	壺	残高 4.0	外反する口縁部。端部は凹む。凸帯が1条巡る。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰白色	密 ◎	E10区	16
659	壺	残高 3.5	外反する口縁部。凸帯が1条巡る。	回転ナデ	マメツ	灰白色 灰白色	密 ◎	G16区	16
660	壺	残高 4.3	外反する口縁部。凸帯が1条巡る。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 黒緑色	密・白色粒 ◎	E12区	16

出土遺物観察表

SRI②層出土遺物観察表 土製品

(17)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
661	壺	残高 2.6	外反する口縁部。凸帯1条と波状文が巡る。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	G16区	16
662	壺	口径 (21.2) 器高 27.1	丸い胴部の底部は凹む。口縁部は外反し端部は丸い口端下と中位に凸帯と波状文を施す。	① 回転ナデ ② タタキ→ナデ	① 回転ナデ ② ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1~2) 石粒(6) ◎	F7区	17
663	壺	口径 (13.8) 残高 21.1	球形の胴部。口縁部は中位に凸帯を巡らせ二重口縁とする。端部は「コ」の字状で凹む。	① 回転ナデ ② ハケ ③ 板状工具によるナデ	① 回転ナデ ② ナデ ③ 板状工具によるナデ	灰色 青灰色	密 ◎	G14・15区 H14区 釉附着	17
664	壺	口径 9.8 器高 15.2	外反する口縁部の中位に凸帯を巡らし凸帯下に波状文、肩部に波状文と沈線を巡らす。ほぼ完形。	① 回転ナデ ② カキ目 ③ ケズリ ④ ナデ	① 回転ナデ ② ナデ ③ 指頭痕	灰色 灰色	密 ◎	F4区 釉附着	17
665	壺	胴部径 (15.8) 残高 12.5	肩の張る丸い胴部。頸部に波状文、肩部に4条の沈線と2条の波状文を施す。	回転ナデ	① 回転ナデ ② 押圧痕 ③ ヘラナデ ④ ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1~2) ◎	D5区	17
666	壺	残高 16.5	頸部にわずかに段をもち肩部に沈線2条と波状文2条を、口縁部に波状文を施す。	① 格子タタキ→ナデ ② カキ目 ③ 格子タタキ→平行タタキ→ナデ	① 回転ナデ ② ナデ	灰色 灰色	密 ◎	H15区	17
667	壺	胴部径 (20.0) 残高 15.8	肩の張る胴部。外傾する口縁部の外面に2条の沈線と波状文を施す。	① 回転ナデ ② タタキ(3本/cm)→カ相(6~7本/cm)	① 袖付着の為不明 ② 回転ナデ ③ 同心円タタキ	灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	E7・8区 釉附着	
668	壺	残高 3.9	頸部にわずかに段をもち肩部に沈線1条と波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	G10区	
669	壺	胴部径 14.2 残高 10.1	扁球形の胴部。胴中位に2条1組の沈線を2ヶ所に施し沈線間にナデにより上下に分かれた波状文。	① 回転ナデ ② カキ目(5本/cm) ③ 回転ヘラケズリ ④ ナデ	回転ナデ	暗灰色 暗灰色	石・長(1~4) ◎	E~G8区 釉附着	
670	壺	胴部径 13.8 残高 9.9	扁球形の胴部。胴中位に2条の沈線、沈線間にハケ状工具による刺突文を施す。	① 袖付着の為不明 ② カキ目 ③ ヨコナデ ④ ハケ→ナデ	① ヨコナデ ② ナデ ③ 袖付着の為不明	灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	E9区 釉附着	
671	壺	胴部径 14.0 残高 10.1	肩の張る胴部。底部は丸い。	① 回転ナデ ② ヘラケズリ→タタキ ③ ナデ	① ナデ ② 回転ナデ	灰色 暗青灰色	密・石・長(1) ◎	H15区	
672	壺	底径 4.7 残高 8.9	肩の張る胴部に平坦な底部。頸部は外反する。	① 回転ナデ ② ケズリ ③ ナデ	① 回転ナデ ② 指頭痕	黒褐色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	F9区	18
673	壺	口径 9.4 器高 10.3	短く直立する口縁部。口端部は凹む。完形品。	① 回転ナデ ② カキ目 ③ ナデ	① 回転ナデ ② 袖付着の為不明	灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	E4区 釉附着	
674	壺	口径 (7.8) 残高 5.9	短く直立する口縁部の端部は内傾する面をもち凹む。	① 回転ナデ ② 回転ヘラケズリ	① 回転ナデ	灰色 青灰色	密 ◎	G14区	
675	壺	口径 (6.7) 残高 4.4	短く内傾する口縁部の端部は内傾する面をもち凹む。	① 回転ナデ ② 袖付着の為不明	① 回転ナデ	灰白 灰色	密 ◎	F14区	
676	壺	口径 (9.4) 器高 8.4	内傾する口縁部の端部は丸い。底部は丸い。	① 回転ナデ ② 回転ヘラケズリ	① 回転ナデ ② カキ目 ③ あて具痕	灰色 青灰色	密・石・長(1~2) ◎	E5区	
677	壺	口径 (8.2) 器高 8.6	短い口縁部の端部は丸い。肩部に2条の沈線。頸部に輪状の痕跡、蓋と一緒に焼成か。	① 回転ナデ ② 回転ヘラケズリ	① 回転ナデ ② ナデ	灰色 灰色	密・石・長(1) ◎	E6区 F6・8区	
678	壺	口径 (9.3) 残高 4.2	内傾する口縁部の端部は丸い。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	E4区	
679	壺	口径 (9.9) 器高 7.9	外上方に短く伸びる口縁部。端部は「コ」の字状で凹む。	① 回転ナデ ② カ相(8~10本/cm) ③ 格子タタキ→ナデ	① 回転ナデ ② 袖付着の為不明	灰色 灰色	密 ◎	G16区 釉附着	18
680	壺	口径 (10.0) 器高 9.4	短く外反する口頸部。端部は「コ」の字状で凹む。	① 回転ナデ ② 平行タタキ→ナデ	① 回転ナデ ② 袖付着の為不明	灰色 灰色	密 ◎	F5区 釉附着	
681	壺	口径 (8.5) 残高 4.4	直立する口縁部の端部は凹む。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F14区	
682	壺	口径 (9.1) 残高 4.7	外傾する口縁部の外面に2条の凸帯端部は尖り気味に丸い。	回転ナデ	回転ナデ	黒灰色 黒灰色	密 ◎		
683	壺	口径 (5.4) 残高 4.5	外反する口縁部の端部は凹む。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・白色粒 ◎	G8区	
684	壺	口径 (9.0) 残高 2.6	二重口縁状に段をもち外反する口縁部。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	E12区 釉附着	18
685	壺	残高 1.4	口縁端部に凸帯1条。	袖付着の為不明	袖付着の為不明	暗灰色 暗灰色	密 ◎	H14区 釉附着	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(18)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
686	壺	残高 2.2	胴部片。	回転ナデ	ナデ	暗紫色 暗紫色	密・白色粒 ◎	E12区 酸化ぎみに 焼成	18
687	壺	底径(21.4) 残高 4.5	脚部。凸帯2条と透かしを施す。	不明	回転ナデ	黒緑色 黒色	密・白色粒 ◎	H14区	18
688	壺	底径(10.4) 残高 3.5	屈曲する脚部片。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	G9-10区 釉付着	
689	壺蓋	口径(9.6) 器高 3.9	丸い天井部。口端部は内傾する面をもつ。	釉付着、ハクリの為不明	回転ナデ	褐灰色 乳灰色	密 ◎	F5区 釉付着	
690	壺蓋	口径(11.0) 残高 3.4	口縁端部は内傾する面をもつ。	㊦ 回転ヘラケズリ ㊧ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密・長(1) ◎	C11区	
691	壺蓋	口径(10.6) 残高 2.9	丸い天井部。口端部は凹む。	㊦ 回転ヘラケズリ ㊧ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 乳灰色	密 ◎	F4区	
692	壺蓋	口径(11.8) 残高 2.7	平坦な天井部。	㊦ ナデ ㊧ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・白色粒 ◎	F5区	
693	埴	底径 4.1 器高 5.1	平底の底部。扁平な胴部に広い頸部。口縁部は外反する。	㊦ 回転ナデ ㊧ 板状工具によるナデ ㊨ ナデ	回転ナデ	暗紫色 暗紫色	密・白色粒 ◎	H14区 酸化ぎみに 焼成	18
694	甗	胴部径 10.4 残高 11.3	球形の胴部。胴中央部に波状文と径1.4cmの穿孔。頸部は広く口縁部は外反し段をもつ。外面に波状文31条。ヘラ記号「十」	㊦ 回転ナデ ㊧ ヘラケズリ →ナデ	回転ナデ 指頭痕	灰色 灰色	密 ◎	E7区	
695	甗	胴部径(25.8) 残高 10.6	大型品。肩の張る胴部。肩部に凹線、頸部と胴部に波状文を施す。	ナデ カキ目(8本/cm)	㊦ ハケ(5本/cm) ㊧ 回転ナデ	青灰色 青灰色	石・長(1) ◎	G16区	
696	甗	口径 10.5 器高 11.5	扁球形な胴部。口縁部は外反し段をもつ。胴部に径1.4cmの穿孔、胴上部に沈線2条と波状文、頸部に波状文。	㊦ 回転ナデ ㊧ ヘラケズリ →ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F15区	18
697	甗	口径(9.2) 器高 11.2	球形の胴部。胴部に2本の凹線と波状文、径1.2cmの穿孔。口縁部は外反し段をもつ外面に波状文を施す。	㊦ 回転ナデ ㊧ 平行タタキ →ナデ	㊦ 回転ナデ 指頭痕 ㊧ あて具痕	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	H16区	18
698	甗	胴部径 11.5 残高 7.7	扁平の胴部。胴部に凹線2条と刺突列点文。径1.2cmの穿孔を施す。	㊦ 回転ナデ ㊧ ナデ (一部ケズリ)	㊦ 回転ナデ 指頭痕	青灰色 青灰色	密 ◎	F8区	
699	甗	胴部径 13.1 残高 10.1	扁球形の胴部。胴中上位に径1.2cmの穿孔。胴上位に波状文を施す。	㊦ 回転ナデ ㊧ カキ目(8-9本/cm) ㊨ 格子目タタキ→ナデ	㊦ ナデ ㊧ 回転ナデ ナデ 指頭痕	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	F15区	
700	甗	胴部径(10.0) 残高 6.0	扁平な胴部。胴中位に波状文と径1.3cmの穿孔を施す。	㊦ 回転ナデ ㊧ ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	E12区	
701	甗	胴部径 9.9 残高 9.2	胴部はやや長く中位に波状文と穿孔を施す。	㊦ ヨコナデ ㊧ 回転ナデ ㊨ 回転ナデ ㊩ ヘラケズリ→ナデ	㊦ 回転ナデ ㊧ 工具によるナデ	灰色 灰色	長(1) ◎	E15区 釉付着	
702	甗	胴部径(10.2) 残高 8.4	胴部中位に凹線2条と刺突列点文径1.5cmの穿孔を施す。	㊦ 回転ナデ ㊧ ナデ	㊦ 回転ナデ ㊧ 釉付着の 為不明	灰色 灰色	密 ◎	E7区 F6-7区 釉付着	
703	甗	口径(13.6) 器高 16.4	小さな球形の胴部。口縁部は大きく外反し口端部手前で段をもつ。口縁部に波状文、胴部に刺突列点文を施す。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ →ナデ	回転ナデ 絞り痕	青灰色 青灰色	密・白色粒 ◎	F6区 G6区 釉付着	
704	甗	胴部径(9.1) 器高 13.2	平坦気味に丸い底部。口縁部は大きく外反し沈線を6条施す。胴部に径1.3cmの穿孔。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	㊦ 回転ナデ 絞り痕 ㊧ 指頭痕 ㊨ 回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1~2) ◎	F4-5区	
705	甗	胴部径 10.0 残高 13.8	平坦気味に丸い底部。口縁部は大きく外反し段をもつ。胴部に径2.0cmの穿孔。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1) ◎		
706	甗	胴部径 10.0 残高 7.7	球形の胴部。頸部は細い。胴部中位に径1.6cmの穿孔。	㊦ 回転ナデ ㊧ ヘラケズリ→ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	G16区	
707	甗	胴部径 10.3 残高 7.5	扁平な胴部の中位に径2.0cmの穿孔。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎		
708	甗	胴部径 10.8 残高 8.5	球形の胴部。胴中位に径1.5cmの穿孔。頸部にわずかに段をもつ。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	D14区 釉付着	
709	甗	胴部径 9.4 残高 7.8	球形の胴部。胴中位に径1.5cmの穿孔。	㊦ 回転ナデ ㊧ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1) ◎	H10区	
710	甗	胴部径 9.9 残高 6.0	扁球形な胴部。胴中位に径1.5cmの穿孔。	㊦ カキ目(6-7本/cm) ㊧ 回転ナデ ㊨ カキ目 ㊩ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F12区	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(19)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
711	甗	胴部径9.9 残高 5.1	胴部片。胴部に凹線1条と穿孔を施す。	㊸ 回転ナデ ㊹ 回転ヘラズリ	㊸ 回転ナデ ㊹ ナデ ㊺ 指頭痕ナデ ㊻ 回転ナデ	青灰色 青灰色	石・長(1~3) ◎	E3区 F3・4区	
712	甗	胴部径7.7 残高 7.9	小さな球形の胴部。外反する口縁部。胴中上位に径1.4cmの穿孔。	㊸ 回転ナデ ㊹ 回転ヘラズリ ㊺ ナデ ㊻ 回転ヘラズリ	回転ナデ 絞り痕	青灰色 青灰色	密 ◎	F9区	
713	甗	残高 2.8	胴部片。径1.3cmの穿孔。	カキ目(10~11本/cm)	回転ナデ	灰白色 灰白色	密 ◎	F9区	
714	甗	胴部径(12.8) 残高 10.6	球形の胴部。	㊸ 回転ナデ ㊹ 不明 ㊺ 平行タタキ	㊸ 回転ナデ ㊹ 指おきえ→回転ナデ ㊺ カデ ㊻ 回転ナデ ㊼ あて具痕	青灰色 青灰色	密 ◎	E12・13区	
715	甗	胴部径(10.4) 残高 6.6	胴部片。胴中上位に波状文を施す。	㊸ カキ目(8本/cm) ㊹ 回転ヘラズリ ㊺ ナデ	㊸ ナデ ㊹ 回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1) ◎	F6区 釉附着	
716	甗	胴部径(11.4) 残高 5.0	扁平な胴部片。胴中位に2条の凹線と刺突列点文を施す。	㊸ 釉附着の為不明 ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F10区 釉附着	
717	甗	残高 2.7	肩の張る胴部片。胴部に櫛状工具による刺突列点文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	E3区	
718	甗	残高 4.0	胴部の小片。外面に2条の凹線と8~10条の波状文と刺突列点文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰白色	密 ◎	G12区	
719	甗	口径(9.6) 残高 3.4	口縁部の小片。端部は尖り気味である。外面に2条の凸帯を施す。	回転ナデ	釉附着の為不明	灰色 灰色	密 ◎	H14区 釉附着	
720	甗	残高 2.3	細い頸部に外反する口縁部は段をもつ。外面に11条の波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	H15区	
721	甗	残高 4.6	外反する口縁部。外面に2条の凹線を施す。	ハケ目 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 灰色	密 ◎	E15区	
722	把手付碗	口径(11.4) 底径(7.0) 器高 9.8	平底の底部から内湾する口縁部。口端部は直立し尖る。外面に4条の凸帯と8条の波状文を施す。把手欠。	㊸ 回転ナデ ㊹ ケズリ ㊺ ナデ	㊸ 回転ナデ ㊹ ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	H13区	19
723	碗	残高 3.7	胴部片。外面に凸帯1条と4条の波状文を施す。	回転ナデ	釉附着の為不明	青灰色 灰緑色	密・白色粒 ◎	C4区 釉附着	
724	碗	口径(10.6) 残高 10.9	内傾する口縁部に長い胴底部。口縁部は尖り気味で胴部には2条の凹線。脚か付き4方向の透かしを施す。	㊸ 回転ナデ ㊹ 釉附着の為不明	㊸ 回転ナデ ㊹ ナデ	灰色 灰色	石・長(1) ◎	G9区 釉附着	
725	碗	口径(10.4) 残高 8.8	内湾する口縁部。端部は尖り気味に丸い。胴部に凹線3条、凹線間に刺突列点文を2条施す。	回転ナデ	㊸ 回転ナデ ㊹ ナデ	灰色 灰色	密・黒色粒 ◎	F9区	
726	器台	口径(24.9) 残高 7.2	外反する口縁部。外面に凸帯2条凹線1条、6条1組の波状文を2ヶ所に施す。	回転ナデ	釉附着の為不明	灰色 オリーブ色	密・長(1) ◎	F4区 釉附着	19
727	器台	残高 6.0	外反する口縁部。外面に2条の凸帯と5条1組の波状文を3ヶ所に施す。	施文	釉附着の為不明	灰色 乳灰色	密 ◎	F7区 釉附着	
728	器台	口径(30.8) 残高 9.6	外反する口縁部の端部は上下に拡張する。外面に2条1組の凸帯を2ヶ所に施し、凸帯間に4条の波状文を施す。	㊸ 回転ナデ ㊹ カキ目(7本/cm) ㊺ 回転ナデ ㊻ カキ目→ナデ	回転ナデ	青灰色 灰色	石・長(1) ◎	F6区	
729	器台	残高 9.9	坏部の小片。外面に凸帯2条、凹線1条、波状文を2ヶ所に施す。	格子タタキ 格子タタキ→ナデ 回転ナデ	タタキ (釉附着)	灰色 乳白色	密・石粒(1) ◎	G7区 釉附着	
730	器台	残高 6.4	坏部の小片。外面に波状文を施す。	回転ナデ	ナデ	黒色 暗灰茶色	密 ◎	H14区	19
731	器台	底径(20.0) 残高 9.9	脚部。外面に凸帯5条と2ヶ所に波状文と長方形の透かしを施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	F5区	
732	器台	底径(30.6) 残高 31.3	脚部。凹線により6区画し波状文と4段の三角形透かしと円形透かしを施す。	施文	㊸ 同心円文 ㊹ 回転ナデ	青灰色 青灰色	密・石・長(1~2) ◎		19
733	器台	底径(26.0) 残高 28.5	脚部。凹線により4区画し波状文と3段の三角形透かしを施す。	カキ目 回転ナデ	回転ナデ	暗緑灰色 暗緑灰色	密 ◎	釉附着	
734	器台	残高 7.1	脚部。2条の凸帯と三角形透かしを施す。	回転ナデ ナデ	マメツ	灰茶色 灰茶色	石・長(1~3) ◎	H13区	
735	器台	残高 6.9	脚部片。凹線2条と7条1組の波状文を2ヶ所に施す。	カキ目(7本/cm)	回転ナデ	青灰色 青灰色	石・長(1~2) ◎	C12区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(20)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
736	器台	残高 4.6	脚部片。長方形の透かし2段と、凹線2条と波状文を施す。	カキ目(7本/cm) →ナデ カキ目	回転ナデ	青灰色 青灰色	石・長(1~3) ◎	D11区	
737	器台	残高 6.2	坏部片。外面に甘い段をもち、竹管文を2段と斜格子文を施す。	マメツ	回転ナデ	灰白色 灰白色	長(5)白色粒 △	F 6 区	19
738	器台	残高 3.7	坏部片。外面に段をもち、竹管文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰白色	長(3)白色粒 △	C12区	19
739	器台	残高 4.6	坏部片。竹管文を3段と斜格子文を施す。	マメツ	回転ナデ	灰白色 灰白色	白色粒 △	F 5 区	19
740	器台	残高 2.4	坏部の小片。沈線2条と4条の線刻を施す。	回転ナデ	不明	暗紫色 乳紫色	密 ◎	C 5 区	19
741	器台	残高 4.0	脚部の小片。透かしあり。	回転ナデ	マメツ	灰白色 灰白色	石・長(1~2) ◎	H15区	
742	甕	口径(21.8) 残高 9.6	外反する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。軟質土器。	㊤ヨコナデ ㊦格子タタキ	㊤ヨコナデ ㊦ヨコナデ	乳黄橙色 乳黄橙色	石・長(1~3) ◎	F 7 区	19
743	甕	口径(21.8) 残高 6.5	外反する口縁部の端部は「コ」の字状。軟質土器。	㊤回転ナデ ㊦格子タタキ	㊤回転ナデ ㊦ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) ◎	G 9 区	19
744	甕	残高 14.1	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ上げ	黄茶色 乳灰黄茶色	石・長(1~3) ◎	F 4 区 G 9 区	
745	甕	残高 8.6	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) ◎	G 9 区	
746	甕	残高 6.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	マメツ	乳黄茶色 乳黄茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
747	甕	残高 5.6	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ上げ	乳黄橙色 乳灰黄色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
748	甕	残高 4.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ上げ 板状工具痕	乳灰黄茶色 乳灰茶色	石・長(1) ◎	F10区	
749	甕	残高 4.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳茶色 乳茶色	石・長(1~2) ◎	G 6 区	
750	甕	残高 3.4	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	マメツ	乳橙色 乳灰茶色	石・長(1~3) ◎	F 9 区	
751	甕	残高 3.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳橙茶色 乳橙茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
752	甕	残高 4.4	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳黄茶色 灰黄色	石・長(1~3) ◎	F 9 区	
753	甕	残高 3.7	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳黄茶色 乳黄茶色	石・長(1~4) ◎	F 9 区	
754	甕	残高 3.6	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	板状工具による ナデ上げ	乳黄灰色 灰色	石・長(1~3) ◎	F 9 区	
755	甕	残高 3.7	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
756	甕	残高 4.0	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳茶橙色 乳灰黄色	石・長(1) ◎	G 9 区	
757	甕	残高 3.4	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	板状工具による ナデ上げ	乳灰黄色 乳灰黄色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
758	甕	残高 3.0	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ上げ	灰茶色 乳茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
759	甕	残高 3.0	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ上げ	乳橙色 乳灰黄色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
760	甕	残高 3.2	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳灰茶色 乳灰茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(21)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
761	甕	残高 3.4	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳橙色 灰黄色	石・長(1~3) ◎	F 9 区	
762	甕	残高 3.3	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳黄茶色 乳灰黄色	石・長(1~2) ◎	トレンチ	
763	甕	残高 3.2	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳橙色 乳黄茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
764	甕	残高 3.6	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳茶橙色 乳灰黄色	石・長(1) ◎	F 8 区	
765	甕	残高 3.3	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳黄茶色 乳黄茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
766	甕	残高 2.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳橙色 乳灰茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
767	甕	残高 2.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳灰黄色 乳灰黄色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
768	甕	残高 2.4	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ヨコナデ	橙茶色 乳黄茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
769	甕	残高 2.9	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ上げ	乳橙色 灰茶色	石・長(1~3) ◎	F10区	
770	甕	残高 2.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳黄茶色 乳黄茶色	石・長(1) ◎	F 8 区	
771	甕	残高 2.7	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1) ◎	F 9 区	
772	甕	残高 2.3	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	マメツ	乳灰茶色 乳灰茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
773	甕	残高 2.2	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	マメツ	乳橙色 乳灰茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
774	甕	残高 2.5	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳橙色 乳灰黄色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
775	甕	残高 2.5	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	マメツ	乳橙色 乳灰茶色	石・長(1) ◎	F 9 区	
776	甕	残高 2.3	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	橙茶色 灰茶色	石・長(1~3) ◎	F 9 区	
777	甕	残高 1.7	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳橙色 乳灰黄色	石・長(1) ◎	F 9 区	
778	甕	残高 2.2	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳黄茶色 灰黄色	石・長(1~4) ◎	F 9 区	
779	甕	残高 2.0	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳茶色 乳茶色	石・長(1) ◎	H13区	
780	甕	残高 9.4	軟質土器の胴部片。甕の可能性。	⑧Lケズリ→ナデ ⑧D格子タタキ	⑧Dヨコナデ ⑧Dナデ (工具痕が残る)	灰茶橙色 黒色	石・長(1~3) ◎	G 8 区 黒斑	19
781	甕	残高 5.4	軟質土器の把手部。端部下に貫通しない穿孔あり。甕の可能性	ナデ		灰茶橙色 黒色	石・長(1~3) ◎	G 8 区	19
782	甕	残高 3.8	軟質土器の頸部近くの小片。	⑧ヨコナデ ⑧格子タタキ	ヨコナデ	乳灰茶色 乳灰茶色	石・長(1~4) ◎	F 9 区	
783	甕	残高 3.1	軟質土器の胴部片。壺?	⑧ヨコナデ ⑧ナデ 格子タタキ	ナデ	灰茶色 灰茶色	石・長(1~2) ◎	F 8 区	
784	甕	残高 5.0	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ上げ 工具痕	乳茶色 乳茶色	石・長(1~3) ◎	F 8 区	
785	甕	残高 3.2	軟質土器の胴部片。壺?	ナデ 格子タタキ	ヨコナデ ナデ 指頭痕	乳桃色 乳桃色	石・長(1~2) ◎	D14区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(22)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
786	甕	残高 5.2	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	暗灰茶色 乳灰茶色	石・長(1~3)多 ◎	E 6 区 煤付着	
787	甕	残高 4.9	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ヨコナデ→ナデ	黄桃色 暗灰色	石・長(1~4) ◎	H15区	
788	甕	残高 4.0	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ 指頭痕	乳灰茶色 灰白色	密・白色粒 ◎	G 5 区	
789	甕	残高 2.5	軟質土器。口縁部の小片。外傾する口縁部の端部は「コ」の字状。	格子タタキ	不明	白桃色 白桃色	石・長(1) ◎	H15区	19
790	甕	残高 3.2	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳茶色 乳茶色	石・長(1~2) ◎	F 8 区	
791	甕	残高 3.5	軟質土器の胴部片。器壁が厚い。	格子タタキ→ナデ	ハクリ ナデ	灰茶色 灰茶色	石・長(1~3)多 ◎	G15区	
792	甕	残高 2.5	軟質土器の胴部片。	ナデ 格子タタキ	回転ナデ ナデ	乳灰茶色 乳灰茶色	石・長(1~3) ◎	E 3 区	
793	甕	残高 2.7	軟質土器の胴部片。	ナデ 格子タタキ	ナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) ◎		
794	甕	残高 2.7	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	マメツ	赤茶色 乳茶色	石・長(1~3)多 ◎		
795	甕	残高 2.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	マメツ	灰色 白色	密 ◎	E 7 区	
796	甕	残高 2.0	軟質土器の胴部片。	ヨコナデ 格子タタキ	ナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
797	甕	残高 5.3	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	暗灰茶色 灰茶色	石・長(1~4) ◎	G 7 区	
798	甕	残高 4.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	灰色 乳茶色	石・長(1~4)多 ◎	G 6 区	
799	甕	残高 4.7	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳茶色 乳茶色	石・長(1~3) ◎	G 6 区	
800	甕	残高 4.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	暗灰茶色 乳茶色	石・長(1~4)多 ◎	F 6 区	
801	甕	残高 3.5	軟質土器の胴部片。	格子タタキ 格子タタキ→ナデ	ナデ	黒灰色 乳茶色	石・長(1~2) ◎		
802	深鉢	残高 4.6	口縁部の小片。端部は丸い。	条痕	マメツ	灰色 淡黄灰色	石・長(1~3) 金 ◎	C10区	
803	深鉢	残高 5.3	口縁部の小片。外面に幅広の沈線文を施す。	施文	ナデ	灰黄褐色 灰色	石・長(1~2) ◎	C 6 区	
804	甕	残高 5.3	折り曲げ口縁。口縁下部に6条と2条以上の沈線文を施す。	ハケ→ミガキ ミガキ	ミガキ	淡灰褐色 乳褐色	石・長(1~2) 金 ◎	E 4 区	
805	甕	口径(20.6) 残高 5.3	貼付口縁。口端部にキザミ目、口縁下部に沈線文と山形文を施す。	ヨコナデ ハケ(6本/cm)	ミガキ	乳褐色 乳褐色	石・長(1~2) ◎	F 5 区 黒斑	
806	甕	口径(20.2) 残高 4.9	貼付口縁。口端部にキザミ目、口縁上面に2条の山形文、口縁下部に沈線文を施す。	ナデ	ナデ ハケ ミガキ	淡茶灰色 淡茶灰色	石・長(1~2) ◎	G 4 区	
807	甕	口径(24.8) 残高 3.4	断面三角形の凸帯を貼付ける。口縁下に竹管文と沈線文を施す。	ヨコナデ	ヨコナデ ミガキ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎	H13区	
808	甕	口径(22.6) 残高 3.8	口縁端部に断面三角形の凸帯を貼付ける。	ヨコナデ ハケ(7~8本/cm)	ヨコナデ ミガキ	淡灰黄色 淡灰黄色	石・長(1~2) ◎	E 6 区	
809	甕	口径(16.2) 残高 2.9	口縁端部に断面三角形の凸帯を貼付ける。	ヨコナデ	マメツ	乳白色 乳白色	石・長(1~4) ◎	G10区	
810	甕	口径(18.8) 残高 4.0	口縁端部やや下に断面三角形の凸帯を貼付ける。凸帯端部にキザミ目を施す。	ハケ ヨコナデ	ヨコナデ ミガキ	乳白色 乳白色	石・長(1~2) ◎	F17区	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(23)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
811	甕	口径 (26.4) 残高 3.9	口縁端部や下に断面三角形の凸帯を貼付ける。凸帯端部と口縁端部にキザミ目を施す。	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ ミガキ	淡茶褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	G16区	
812	壺	残高 7.0	外反する厚い口縁部の端部は丸く沈線1条と縦方向の沈線を施し内面に凸帯を貼付ける。	ヨコナデ ミガキ	ヨコナデ ミガキ	淡黄白色 淡黄白褐色	石・長(1~3) ◎	F 5 区	
813	壺	残高 9.2	頸部片。外面に4条の沈線文と1条の刺突文を施す。	ハケ ミガキ	ミガキ	淡灰褐色 淡褐色	石・長(1~5) ◎	E 4 区	
814	壺	口径 (21.9) 残高 7.2	外反する口縁部の下端部にキザミ目、口縁内面に押圧された凸帯を貼付ける。頸部に3条の沈線文。	◎ハケ ◎ハケ(3~5本/cm) ◎ミガキ	ハケ→ナデ ハケ ミガキ	淡黄灰色 淡黄灰色	石・長(1~4) ◎	F 4 区	
815	壺	口径 (15.6) 残高 5.0	短く外反する口縁部は「コ」の字状に丸く端部に斜格子文、頸部に押圧された凸帯を貼付ける。	ハケ(5本/cm) ヨコナデ	ヨコナデ ミガキ	乳白褐色 乳白褐色	石・長(1~4) ◎	H14区	
816	壺	残高 1.6	口縁部の小片。口端部に2条の沈線文と上下にキザミ目、口縁内面にキザミ目凸帯文を3条施す。	ハケ(7本/cm)	ナデ	淡黄灰色 淡黄灰色	石・長(1~3) ◎	D 6 区	
817	壺	口径 (33.6) 残高 1.8	外反する口縁部の端部に2条の沈線文と上下にキザミ目、口縁内面にキザミ目凸帯文を3条施す。	ナデ ハケ→ナデ	ナデ	淡黄灰色 白灰黄色	石・長(1~2) ◎	F13区	
818	壺	残高 4.5	頸部片。外面に幅広の刺突された凸帯を貼付ける。	ハケ(6~7本/cm)	ミガキ	乳灰褐色 乳灰褐色	石・長(1~2) ◎	E11区	
819	壺	残高 4.1	耳か?径0.4cmの円孔を3ヶ所に施す。	ナデ		淡橙褐色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
820	壺	底径 7.7 残高 7.3	平底。	◎ミガキ ◎ナデ	マメツ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~3)多 ◎	F 5 区	
821	鉢	口径 (31.4) 残高 7.1	貼付口縁。口縁部は短く丸い。	◎ヨコナデ ◎ナデ	ミガキ	白灰色 白灰色	石・長(1~2) ◎	E 6 区 黒斑	
822	鉢	底径 6.2 残高 4.8	明瞭な段をもちくびれ、上げ底である。	◎ミガキ ◎ナデ	ミガキ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎	G 7 区 黒斑	
823	鉢	口径 (17.4) 残高 5.2	直口口縁。端部は丸く、外面に7条の沈線文を施す。	ナデ	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	E13区	
824	鉢	口径 (12.0) 残高 4.8	直口口縁。口端面は内傾する。口縁部外面の手前に稜をもち、稜下に径0.4cmの円孔を2ヶ所に施す。	マメツ	ヨコナデ ナデ	乳褐色 乳褐色	石・長(1~2) ◎	F17区	
825	蓋	残長 3.2 残幅 3.8 厚さ 0.8	外面に線刻を施す。	ナデ 指頭痕	ナデ	灰黄色 灰黄色	石・長(1) ◎	G 8 区	
826	土製品	残長 5.2 残幅 3.8 厚さ 0.8	径1.4cmの押圧された凹みをもつ。	マメツ	マメツ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	D 4 区	
827	甕	口径 (29.8) 残高 6.8	口縁端部に断面三角形の凸帯を貼付ける。口縁下部に櫛描きによる20条の沈線文と8条の波状文を施す。	ナデ	ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	E 6 区	
828	甕	口径 (29.8) 残高 2.5	口縁端部に凸帯を貼付ける。口縁下部にキザミ目を施す。	ナデ	ミガキ	淡黄灰色 淡黄灰色	石・長(1~4) ◎	F17区	
829	甕	残高 4.3	貼付口縁。口縁下部に2条以上の沈線文を施す。	ナデ	ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) 金 ◎	G 8 区	
830	甕	残高 3.4	口縁端部に板状の凸帯を貼付け折り曲げる。凸帯外面に波状文と下部に6条の沈線文を施す。	ナデ	ナデ ヨコナデ	灰茶褐色 淡黄灰褐色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
831	甕	残高 3.7	口縁部は折り曲げ、口縁下部に凸帯を貼付け、端部にキザミ目を施す。	ヨコナデ ハケ(8本/cm)	ミガキ	淡橙灰茶色 淡橙灰茶色	砂 ◎	G15区	
832	壺	口径 (8.6) 残高 3.7	短く外反する口縁部。端部は水平気味の面をもつ。	ハケ(5本/cm) ハケ→ミガキ	ヨコナデ ミガキ	茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	G13区	
833	壺	口径 (16.0) 残高 1.7	外反する口縁部。端部は下方に拡張する。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳褐色 乳褐色	石・長(1~2) ◎	G14区	
834	壺	残高 2.8	「ハ」の字状の頸部。12条の沈線文と6条の波状文を施す。	施文	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) 金 ◎	E 7 区	
835	壺	残高 9.0	外反する口縁部。頸部に波状文と斜格子文の凸帯文を貼付ける。	◎ハケ→ヨコナデ ◎ハケ→ミガキ	◎ハケ (10~12本/cm) ◎ナデ上げ	黒褐色 黒褐色	石・長(1~3) ◎	F 5 区 安芸	20

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(24)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
836	壺	残高 2.8	頸部の小片か。外面に竹管文が5条残る。	施文	ヨコナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	H14区	
837	高坏	残高 7.8	中実の柱部に凸帯文を施す。	ヨコナデ ミガキ	ナデ	淡黄茶灰色 淡黄茶灰色	石・長(1~2) ◎	F7区	20
838	台形土器	残高 4.7	厚みをもち、突出する。	マメツ	マメツ	淡褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) 金・砂多 ◎	E12区	
839	台形土器	口径(18.0) 残高 4.8	厚みをもち、突出する。	ナデ ヨコナデ	ナデ	淡黄褐色 淡橙褐色	石・長(1~3) ◎	F16区 黒斑	
840	高坏	口径(20.3) 残高 4.9	坏部の口縁端部は内外方に拡張され上面が垂平である。	マメツ	ナデ	淡黄灰色 淡黄茶灰色	石・長(1~2) ◎	F16区	
841	甕	口径(8.0) 残高 6.4	くびれの上げ底。径0.7cmの円孔を施す。	ミガキ ナデ	ナデ	淡橙褐色 淡黄灰色	石・長(1~3) ◎	F12区	
842	分銅型土製品	長幅厚 6.3 7.1 1.5	丸い形状。左右対称に上部1ヶ所、下部3ヶ所の穿孔。竹管文により眉毛を表現している。	ナデ		乳灰茶色	石・長(1~5) ◎	E10区 黒斑	20
843	分銅型土製品	長幅厚 6.8 6.0 1.1	2ヶ所の穿孔と櫛状工具による文様を施す。	ミガキ		乳橙色	石・長(1~3) ◎	C12区	20
844	甕	口径(16.6) 残高 23.2	外反する口縁部。端部は「コ」の字状である。大型品。	①ヨコナデ ④ハケ(6本/cm)	①ヨコナデ ⑥ハケ→ナデ ⑥⑦ヘラケズリ	暗褐色 淡褐色	石・長(1~3) ◎	F5区 煤付着 多量	
845	甕	口径 14.7 残高 15.7	外反する口縁部。端部は尖り気味である。大型品。	①ヨコナデ ④ハケ(6本/cm)	⑥⑦ハケ(6本/cm) ⑥⑦ナデ上げ ⑥⑦ハケ(10~11本/cm)	茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F6区	
846	甕	口径(21.4) 残高 8.9	外反する口縁部。端部は尖り気味である。	①ヨコナデ ④ハケ(4本/cm)	①ヨコナデ ①ハケ(4本/cm) ④ハケ(8本/cm)	淡褐色 淡褐色	石・長(1~4) 金 ◎	F6区	
847	甕	口径(19.4) 残高 8.5	外反する長い口縁部。端部は「コ」の字状である。	①ヨコナデ ④ハケ(7本/cm)	①ナデ ①ハケ ④ナデ ハケ(9本/cm)→ナデ	乳黄褐色 乳茶褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F5区	
848	甕	口径(21.6) 残高 6.1	外反する口縁部。端部は丸い。	①ヨコナデ ④ナデ ④ヨコナデ ④ハケ(5本/cm)	①ハケ(4本/cm) ④ナデ	橙褐色 橙褐色	石・長(1~3) 金・赤 ◎	F5区	
849	甕	口径(18.6) 残高 13.3	外反する口縁部。端部は丸い。	①ヨコナデ ④ハケ(7~8本/cm)	①ハケ(6本/cm)→ ヨコナデ ④工具によるナデ	淡黄灰褐色 淡黄灰褐色	石・長(1~2) ◎	F5区	
850	甕	底径 3.7 残高 28.4	長い胴部に丸味のある平底。	④⑤工具によるナデ ④⑤ハケ(7~8本/cm) ④⑤ナデ	④⑤ナデ→ハケ ④⑤ハケ(7~8本/cm) ④⑤ハケ→工具によるナデ上げ	淡茶褐色 褐色	石・長(1~3) ◎	F5区 煤付着	
851	甕	底径 3.2 残高 25.1	胴部は中位がやや張り、底部は丸味のある小さな平底。	④ハケ(11~18本/cm) ④ナデ	④⑤ハケ(11本/cm) ④⑤指頭痕 ④⑤ケズリ ④⑤ハケ ④⑤ナデ	淡黄灰色 淡黄灰色	石・長(1~4) ◎	F6区 黒斑	
852	甕	底径(3.6) 残高 11.6	小さな丸味をもつ底部と胴部。	ハケ(6本/cm)	④ハケ(4~5本/cm) ④ナデ	淡灰褐色 淡黄灰褐色	石・長(1~4) ◎	F5区 黒斑	
853	甕	底径 4.1 残高 13.9	わずかに上げ底の底部と外傾する胴部。	④ハケ(8本/cm) ④ナデ	④板ナデ ④ナデ	淡褐灰色 淡黄灰色	石・長(1~5) ◎	F5区 黒斑	
854	甕	口径(14.0) 底径(3.4) 器高 24.1	外反する口縁部の端部は「コ」の字状。胴部はやや張り底部は丸味をもつ小さな平底。中型品。	④⑤ハケ→ナデ ④⑤タタキ→ハケ ④⑤ナデ	①ヨコナデ ④ヨコナデ・ナデ ④ケズリ ④ケズリ・ナデ	茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~4) ◎	F5区 煤付着 多量	
855	甕	口径(14.1) 底径 3.1 器高 21.5	外反する口縁部の端部は「コ」の字状。底部はわずかに凹む。胴部に2次焼成時の剥離が一部見られる。	④⑤ハケ ④⑤ハケ(8~9本/cm) ④⑤ナデ	①ハケ(8本/cm) ④⑤ナデ ④⑤ハケ(8本/cm)	淡黄灰褐色 淡黄灰色	石・長(1~4) ◎	F5区 煤付着 多量	
856	甕	口径(14.4) 底径 2.6 器高 19.8	外反する口縁部の端部は丸い。底部は小さな平底。	④⑤ヨコナデ ④⑤ハケ(7本/cm) ④⑤ハケ ④⑤ナデ	ハケ(4~5本/cm)	茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~5) 金 ◎	F6区 黒斑	
857	甕	口径(14.8) 残高 14.4	外反する口縁部の端部はナデによりわずかに凹む。	④⑤ヨコナデ ④⑤ハケ→ヨコナデ ④⑤タタキ→ハケ (5本/cm) ④⑤ナデ	④⑤ハケ→ヨコナデ ④⑤ハケ(5本/cm) →カキ取状	黒褐色 暗褐色	石・長(1~5) 金 ◎	煤付着 黒斑	
858	甕	口径(15.8) 残高 12.1	外反する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。胴部径は口径より張る。	①タタキ ④⑤タタキ→ハケ (5~6本/cm) ④⑤タタキ	①ハケ(5~6本/cm) ④ケズリ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F4区 煤付着	
859	甕	口径(16.0) 残高 9.5	外反する口縁部の端部はナデによりわずかに凹む。	④⑤ヨコナデ ④⑤ハケ→ナデ ④⑤ハケ(8本/cm)	ハケ(5本/cm)	灰褐色 灰褐色	石・長(1~3) ◎	F5区 煤付着 黒斑	
860	甕	口径(14.4) 残高 18.3	外反する口縁部の端部は「コ」の字状である。	④⑤ナデ ④⑤ハケ→ナデ ④⑤ハケ(5~8本/cm)	④⑤ハケ→ナデ ④⑤ハケ→ナデ 指頭痕 ④⑤ナデ	淡黄灰褐色 橙褐色	石・長(1~5) ◎	F5区 煤付着 黒斑	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(25)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
861	甕	口径(12.8) 残高 12.8	短く外反する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(7本/cm)	㊶ ヨコナデ ㊷ ナデ ㊸ 板状工具によるケズリ	茶褐色 茶褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F 4 区	
862	甕	口径(14.6) 残高 5.7	直立気味に外反する口縁部の端部は丸い。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(7本/cm)	㊶ ヨコナデ ㊷ ナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1) ◎	F 6 区	
863	甕	口径(14.6) 残高 4.1	外反する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。	㊶ ヨコナデ ㊷ ナデ	㊶ ヨコナデ ㊷ ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F 5 区	
864	甕	口径(16.8) 残高 4.0	外反する口縁部の外面はナデによりわずかに稜をもつ。端部は丸い。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(10本/cm)	㊶ ヨコナデ ㊷ ナデ	暗褐色 暗褐色	石・長(1) 金 ◎	F 6 区	
865	甕	口径(16.7) 残高 5.6	頸部内外面に稜をもち外傾する口縁部。口縁部は1条の沈線文を施す。	㊶ ヨコナデ ㊷ タタキ→ハケ タタキ	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(12~14本/cm) ㊸ ナデ ㊹ ハケ	暗褐色 暗褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F 5 区	
866	甕	底径 2.3 残高 21.9	砲弾状の胴部にわずかにくびれる小さな平底。	タタキ→ハケ (10本/cm)	㊶ ハケ(10本/cm) ㊷ ナデ	黒褐色 淡褐色	石・長(1~5) 金 ◎	F 6 区 煤付着 黒斑	
867	甕	底径 3.5 残高 15.7	砲弾状の胴部に肥厚された丸味のある小さな底部。	㊶ タタキ→ハケ (12~14本/cm) ㊷ ハケ	㊸ ケズリ ㊹ ナデ	黒褐色 褐色	石・長(1~5) 金 ◎	F 5 区 煤付着 黒斑	
868	甕	口径(15.1) 残高 12.2	外反する口縁部の端部は丸い。	ハケ	マメツ	暗褐色 黒褐色	石・長(1~2) ◎	F 7 区 煤付着	
869	甕	口径 12.5 底径 2.7 残高 18.2	内面に強い稜をもち外反する口縁部の端部は「コ」の字状である。底部は丸味をもつ小さな平底。小型品。	㊶ ナデ ㊷ ハケ(5本/cm) ㊸ ハケ(6本/cm) ㊹ ナデ	㊶ ハケ(5~6本/cm) ㊷ ハケ(7~7本/cm) ㊸ ハケ(4本/cm) ㊹ ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~4) ◎	F 5 区 黒斑	
870	甕	口径 10.6 底径 2.5 器高 14.2	直立気味にわずかに外反する短い口縁部の端部は尖り気味に丸い。底部はわずかに上げ底で小さい。	㊶ ハケ(10本/cm) ㊷ ナデ	㊶ ハケ(10本/cm) ㊷ ナデ ㊸ ハケ→工具痕 ㊹ 工具痕	乳褐色 暗灰褐色	石・長(1~7) ◎	F 6 区 黒斑	
871	甕	残高 13.5	胴部片。胴部は張らない。	㊶ ヨコナデ ㊷ タタキ→ハケ (7本/cm) ㊸ ナデ	㊶ ハケ ㊷ ハケ→ケズリ ㊸ ケズリ ㊹ ナデ	黒褐色 褐色	石・長(1~6) 金 ◎	F 5 区 煤付着 黒斑	
872	甕	底径 3.0 残高 7.4	丸味のある平底。	㊶ タタキ→ハケ (7本/cm) ㊷ ハケ	㊸ ケズリ ㊹ ナデ ㊺ ナデ	暗茶褐色 褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F 5 区 煤付着	
873	甕	残高 8.7	胴部片。	ナデ	ナデ	茶褐色 淡褐色	石・長(1) ◎	F 5 区 煤付着 黒斑	
874	甕	口径(15.4) 残高 4.8	短く外反する口縁部の端部はナデによりわずかに凹む。讃岐(下川津B類)搬入品。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(13本/cm)	㊶ ヨコナデ ㊷ ナデ ヘラケズリ	茶褐色 暗茶褐色	石・長(1~2) 角・金 ◎	F 4 区 煤付着	20
875	甕	底径 6.0 残高 4.0	「ハ」の字状に短く開く脚部。	ナデ	ナデ ヨコナデ	暗褐色 暗褐色	石・長(1)角 ◎	G 7 区 黒斑	
876	壺	口径(30.2) 残高 7.1	複合口縁。擬口縁端部に羽状文、上面に半截竹管文、拡張部に6条の波状文を施す。	㊶ ナデ ㊷ ハケ(7~8本/cm) ㊸ ナデ	㊶ ナデ ㊷ ハケ(6本/cm) ㊸ ナデ	淡黄橙色 灰色	石・長(1~4) ◎	F 6 区 G 7 区	
877	壺	残高 7.8	複合口縁。短く頸部に大きく外反する擬口縁。頸部下に刺突文を施す。	㊶ ハケ(10本/cm) ㊷ ヨコナデ ㊸ ハケ→ミガキ	㊶ 工具によるナデ ㊷ ナデ	白褐色 白褐色	石・長(1~3) ◎	F10区 黒斑	
878	壺	残高 4.2	複合口縁。擬口縁端部は「コ」の字状で4条の波状文、拡張部に沈線文と波状文を施す。	ハケ(14本/cm)	ハケ(14本/cm) ハケによるナデ上げ	褐色 灰色	石・長(1~3) 金 ◎	F 4 区 黒斑	
879	壺	残高 4.7	複合口縁。擬口縁端部から拡張部にかけて6条以上の波状文を施す。	ヨコナデ ハケ(7本/cm)	ハケ(7本/cm)	淡橙褐色 淡橙褐色	長(1~2) ◎	F 6 区 黒斑	
880	壺	口径(22.8) 残高 5.2	複合口縁。拡張部は内傾し8条と6条の波状文を施す。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ→ヨコナデ	ヨコナデ ハケ	淡橙褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	F 5 区	
881	壺	口径(16.7) 残高 6.0	複合口縁。拡張部は内傾し波状文を16条施す。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(16本/cm)	㊶ ナデ ㊷ ハケ(16本/cm) ㊸ ナデ	淡黄灰茶色 淡黄灰茶色	石・長(1~4) ◎	F 4 区	
882	壺	口径 13.8 残高 27.5	複合口縁。短い頸部、内傾する拡張部。	㊶ ハケ(12本/cm) ㊷ ハケ(5本/cm)	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(5~12本/cm) ㊸ ナデ ㊹ ハケ(14本/cm)	茶褐色 茶褐色	石・長(1~4) 金 ◎	F 6 区 黒斑	
883	壺	口径(16.2) 残高 6.3	複合口縁。拡張部は内傾し端部はわずかに肥厚する。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ→ヨコナデ 工具痕 ㊸ ハケ(20本/cm)	㊶ ヨコナデ ㊷ ナデ ハケ(12本/cm)	茶褐色 茶褐色	石・長(1~4) 金 ◎	F10区	
884	壺	口径(17.6) 残高 4.7	複合口縁。わずかに内傾する拡張部の端部は丸い。	㊶ ハケ ㊷ ナデ	㊶ ナデ ㊷ ハケ(4~6本/cm) ㊸ ハケ(7~9本/cm) →ナデ	淡灰黄色 淡灰黄色	石・長(1~3) ◎	F 6 区	
885	壺	口径(16.2) 残高 7.5	複合口縁。わずかに内傾する拡張部の端部は「コ」の字状に丸い。頸部に斜格子文の幅広の凸帯を貼付ける。	㊶ ハケ(5~10本/cm) ㊷ ハケ	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(5本/cm) ㊸ ハケ(6本/cm)	淡乳褐色 淡褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F 5 区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(26)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
886	壺	口径 8.8 残高 5.2	複合口縁。内傾する拡張部に刺突文と波状文を施す。	㊸ ナデ ㊸㊹ マメツ	ナデ	淡灰茶黄色 淡灰茶黄色	石・長(1~5) ◎	F 4 区	
887	壺	残高 2.6	複合口縁の拡張部の小片。斜線充填の山形文を施す。	ナデ	ヨコナデ ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~2) ◎	H16区	
888	壺	残高 2.8	複合口縁の拡張部の小片。斜線充填の山形文を施す。	ナデ	ヨコナデ ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1) 金 ◎	G 4 区	
889	壺	口径(14.0) 残高 10.7	複合口縁。直立気味の拡張部。5条1組の波状文を2組施す。	㊸㊹ ナデ ㊸㊹ ハケ(5~6本/cm) →ナデ ㊸㊹ ハケ→ミガキ	㊸㊹ ナデ ㊸㊹ ハケ(5~6本/cm) →ナデ ㊸㊹ ナデ、ハケ	淡橙褐色 淡黄褐色	石・長(1~5) ◎	F 6 区	
890	壺	口径(19.2) 残高 4.5	複合口縁。短く内傾する拡張部の端部は丸い。頸部は短い。無文。	ヨコナデ ナデ	㊸㊹ヨコナデ ㊸ ハケ(7本/cm)	淡橙褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎	F 7 区	
891	壺	口径(19.6) 残高 11.2	複合口縁。拡張部に波状文5条、沈線文6条、波状文6条。頸部に幅広い斜格子文の凸帯を貼付ける。	㊸ ハケ(6本/cm) ㊸㊹ ハケ(9~10本/cm) ナデ ㊸ ハケ(7本/cm)	㊸㊹ヨコナデ ㊸ ハケ ㊸㊹ナデ ㊸ ハケ(6本/cm)	淡黄褐色 淡橙褐色	石・長(1~2) 赤多 ◎	F 5 区	
892	壺	口径(13.6) 残高 9.2	複合口縁。直立気味の拡張部。端部は丸く頸部は短い。	㊸ ハケ→ヨコナデ ㊸㊹ ナデ ㊸ ミガキ	㊸㊹ヨコナデ ㊸㊹ ナデ→ ハケ(16本/cm)	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) 金 ◎		
893	壺	残高 6.0	複合口縁。接合部に2条の沈線文。	ナデ	ヨコナデ	淡黄褐色 淡茶灰色	石・長(1~5) ◎	E15区	
894	壺	口径(10.2) 残高 6.0	複合口縁。袋状口縁。須玖式土器。	㊸㊹ ミガキ→ヨコナデ ㊸ ミガキ ㊸㊹ ミガキ→ヨコナデ ㊸ ミガキ	㊸㊹ヨコナデ ㊸ ミガキ ナデ ㊸㊹ミガキ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~4) ◎	F 4 区 黒斑	20
895	壺	口径(11.7) 残高 14.0	複合口縁。直立気味に短く外反する口縁部。端部は尖り気味に丸い。外面に波状文。	㊸㊹ヨコナデ ㊸㊹ナデ ㊸ ハケ(20本/cm)	㊸㊹ヨコナデ ナデ ㊸ ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~3) ◎	E 4 区	
896	壺	口径(19.0) 残高 2.9	複合口縁。直立気味の短い拡張部。外面に竹管文を施す。	ナデ ハケ	ナデ	淡灰褐色 淡灰褐色	石・長(1~4) ◎	E 4 区	
897	壺	口径(32.4) 残高 4.5	複合口縁。短く外傾する拡張部。外面に6条の波状文と竹管文を施す。	ヨコナデ ハケ→ヨコナデ	ナデ	乳灰色 乳茶白色	石・長(1~2) ◎	F12区	
898	壺	口径(13.7) 残高 3.2	複合口縁。短く外傾する拡張部。外面に14条の波状文と竹管文を施す。	ナデ	ハケ(12本/cm)	淡白灰橙色 淡白灰橙色	石・長(1~6) ◎	H14区	
899	壺	口径(12.9) 残高 10.4	複合口縁。短く外反する拡張部の端部は丸い。頸部は短い。	㊸ヨコナデ ㊸㊹ハケ→ナデ ㊸㊹ハケ(10本/cm) ㊸㊹ハケ→ミガキ	㊸ヨコナデ ㊸ハケ ㊸ナデ ㊸ハケ(5本/cm)→ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~3) ◎	F17区 黒斑	
900	壺	口径(12.8) 残高 6.2	複合口縁。直立気味に外反する拡張部の端部は丸い。	㊸ ハケ→ヨコナデ ㊸㊹ハケ(7本/cm)	㊸㊹ヨコナデ ㊸㊹ハケ(7本/cm) →ヨコナデ ㊸ヨコナデ	乳灰褐色 乳灰褐色	石・長(1~2) 金 ◎	G16区	
901	壺	残高 4.8	複合口縁。外反する擬口縁。頸部に刺突文の凸帯を貼付ける。	㊸ヨコナデ ㊸㊹ハケ→ナデ	㊸ヨコナデ ㊸㊹ハケ(9~11本/cm) ㊸ナデ	茶褐色 茶褐色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	
902	壺	口径(19.2) 残高 7.6	複合口縁。接合部はタガ状、拡張部は内傾し外面に上から波状文7条、沈線文7条、波状文7条、波状文6条を施す。	ヨコナデ ハケ(8本/cm)	㊸㊹ヨコナデ ㊸ハケ→ナデ ナデ ㊸㊹ハケ	淡橙褐色 淡橙褐色	石・長(1~2) ◎	D13区	
903	壺	口径(21.0) 残高 4.5	複合口縁。内傾する拡張部。外面に上から5条、2条、5条の波状文と竹管文を施す。	施文	㊸㊹ヨコナデ ㊸ ナデ ヨコナデ	淡灰褐色 淡灰褐色	石・長(1~2) 金 ◎	G 6 区	
904	壺	残高 1.6	複合口縁。接合部上面に波状文と竹管文を施す。	ナデ	ヨコナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	F 7 区 G7-13区	
905	壺	残高 9.5	頸部に斜格子文の凸帯を貼付ける。複合口縁と思われる。	ミガキ	㊸㊹ハケ(12本/cm) ㊸ ナデ ㊸㊹ハケ(12本/cm)	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~4) ◎	F 5 区	
906	壺	残高 6.8	頸部に斜格子文の凸帯を貼付ける。複合口縁と思われる。	ハケ(8~12本/cm)	ナデ ハケ(8~11本/cm) ヨコナデ	淡黄褐色 暗灰褐色	石・長(1~3) ◎	F 5 区	
907	壺	口径(24.6) 残高 3.0	外反する口縁部の端部は拡張し端面に5条の波状文を施す。	㊸㊹ヨコナデ ㊸ ハケ(7本/cm)	㊸㊹ヨコナデ ㊸ ハケ	淡黄白色 淡黄白色	石・長(1~2) ◎	F 8 区	
908	壺	口径(20.8) 残高 2.8	口縁端部は垂下し端面に波状文を施す。	ナデ	ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~3) ◎	F 5 区	
909	壺	口径(17.8) 残高 2.3	外反する口縁部の端部は垂下し端面に波状文を施す。	ヨコナデ→ハケ	ハケ→ミガキ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F 4 区	
910	壺	残高 1.7	垂下する口縁部片。端面に波状文を施す。	ヨコナデ	ヨコナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	F 6 区	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(27)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
911	壺	口径(24.1) 残高 2.1	外反する口縁部の端部は上下に拡張し端面に斜線充填による山形文を施す。	ヨコナデ	ナデ	灰茶黄色 灰茶黄色	石・長(1~2) 金 ◎	G15区	
912	壺	口径(20.7) 残高 3.7	外反する口縁部の端部は上下に拡張し端面に5条の波状文を施す。	①ナデ ②ハケ(6本/cm) →ナデ	①ナデ ②ハケ(5~7本/cm)	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~3) ◎		
913	壺	口径(17.1) 残高 4.8	外反する口縁部の端面は「コ」の字状に丸い。頸部に斜格子文の凸帯を貼付ける。	①ヨコナデ ②ハケ→ヨコナデ ハケ(13~14本/cm)	ハケ→ナデ	黄茶褐色 黄茶褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F6区 黒斑	
914	壺	口径(9.8) 残高 7.8	直立する短い口縁部の端部は丸い。	①ナデ ②タキ→板状 工具によるナデ	①板ナデ→ナデ ②ナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~4) 金 ◎	F5区 黒斑	
915	壺	残高 6.0	頸部から肩部の小片。外面に円形の刺突文と波状の線刻を施す。	ハケ(8本/cm) ナデ	指頭痕 ナデ	茶橙色 灰色	石・長(1~4) ◎	F6区	
916	壺	口径(14.5) 底径 7.4 器高 31.9	完形品。口縁部は短く外反する。底部はわずかに丸味をもつ。	①ヨコナデ ②ハケ ③ハケ→ミガキ ④ナデ	①ヨコナデ ②ナデ ③ハケ(5~6本/cm) ④ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~5) 赤・金 ◎	黒斑	
917	壺	口径 13.6 残高 25.4	短く外反する口縁部の端部は「コ」の字状である。	①ヨコナデ ②ハケ (一部ナデ)	①ヨコナデ ②ハケ ③ヨコナデ ④ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~4) ◎	黒斑	
918	壺	口径 14.8 残高 34.9	外反する短い口縁部。頸部は締り胴部は長い。底部は欠く。	①ハケ(6本/cm) ②タキ→ハケ	①ハケ(6本/cm) ②ハケ→ナデ	茶褐色 茶褐色	石・長(1~5) 金 ◎	F6区 黒斑	
919	壺	口径(8.6) 底径 2.3 器高 20.5	長頸壺。口縁部は直立気味にわずかに外反し端部は尖り気味に丸い。胴部は長く、底部は丸味をもつ小さな平底。	①ハケ(10本/cm) ②ハケ(6~7本/cm)	①ヨコナデ ②ハケ→ナデ ③ハケ(10本/cm)→ナデ ④ナデ	淡黄灰色 淡橙褐色	石・長(1~5) ◎	F5区	
920	壺	口径(10.8) 残高 7.4	長頸壺。わずかに外傾する口縁部端部は「コ」の字状。	①ヨコナデ ②ハケ(7本/cm)	ハケ(7本/cm)	茶褐色 茶褐色	石・長(1~3) ◎	F3区	
921	壺	口径(10.6) 残高 8.1	長頸壺。長い頸部に外反する口縁部。	①ヨコナデ ②ハケ(14本/cm) ③ハケ	①ハケ(14本/cm) ②ナデ	乳白褐色 乳白褐色	石・長(1~4) ◎	F6区	
922	壺	口径 11.7 残高 15.3	長頸壺。外傾する長い口縁部。端部は尖り気味である。	①ヨコナデ ②ハケ(7本/cm)	①ヨコナデ ②ハケ(9本/cm) ③ナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~3) ◎	F3区	
923	壺	底径 7.0 残高 17.2	丸味のある平底より内湾しながら立ち上がる胴部。	①タキ→ハケ (板ナデ状)	①ハケ(5本/cm) ②ナデ	橙褐色 橙褐色	石・長(1~5) ◎	F5区 黒斑	
924	壺	底径 6.1 残高 10.2	丸味のある平底はナデによりわずかに段をもつ。	①タキ→ハケ (12~13本/cm) ②ナデ	ナデ	淡褐色 褐色	石・長(1~2) ◎	F5区 黒斑	
925	壺	底径 6.7 残高 3.0	丸味のある平底。外面に線刻あり。	①ハケ→ミガキ ハケ	ナデ	淡灰黄褐色 淡橙褐色	石・長(1~2) ◎	F15区 黒斑	
926	壺	底径 1.7 器高 11.8	ボタン状の小さな底部に扁球形な胴部に締った頸部。口縁部は外反する。	①ミガキ ②ナデ	①マメツ ②ハケ→ヨコナデ ③ハケ(7本/cm)→ナデ ④ナデ→ハケ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~7) ◎	F5区	
927	壺	残高 8.6	丸い胴部に外反する口縁部。	①ヨコナデ ②ナデ	①ヨコナデ ②ナデ ③ヨコナデ ④ナデ・ナデ上げ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎	E10区	
928	鉢	口径(36.5) 残高 19.2	大型品。肩の張る胴部、口縁部は外反し端部は「コ」の字状に丸い。	①ヨコナデ ②ハケ(8本/cm)	ハケ(8~10本/cm)	橙褐色 橙褐色	石・長(1~4) ◎	E4区	
929	鉢	口径(39.4) 残高 8.6	大型品。外反する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。	①ヨコナデ ②ハケ(5本/cm)→ナデ ③ハケ(5本/cm)	①ハケ(6本/cm) ②ナデ ③ハケ(12~13本/cm)	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~3) ◎	E4区	
930	鉢	口径(31.4) 残高 7.5	大型品。短く外反する口縁部の端部は「コ」の字状である。	①ヨコナデ ②ハケ ③ヨコナデ ④ハケ	①ハケ→ヨコナデ ②ハケ(7本/cm) ③ヨコナデ ④ハケ(7本/cm)	赤茶褐色 赤茶褐色	石・長(1~3) ◎	F6区	
931	鉢	口径(42.2) 残高 14.3	大型品。外反する口縁部の端部は「コ」の字状である。頸部に斜格子文の凸帯を貼付ける。	①ナデ ②ハケ ③ハケ	①ナデ ②ハケ(9~12本/cm)	淡黄茶灰色 淡黄茶灰色	石・長(1~4) ◎	F4・7区	
932	鉢	口径(21.1) 底径(3.3) 器高 17.2	外反する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。底部は小さい平底。	①ヨコナデ ②ハケ(6本/cm)	①ハケ(4~5本/cm) ②ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~4) ◎	F5区 黒斑	
933	鉢	口径(19.6) 底径(1.4) 器高 10.3	ボタン状の底部。頸部は広く、口縁部は大きく外反する。	①ミガキ ②ナデ	①ミガキ→ナデ ②ミガキ	淡黄茶灰色 淡黄灰色	石・長(1~4) ◎	F5区	
934	鉢	口径 13.4 器高 6.9	丸底の底部。口縁部はナデによりわずかに外反する。端部は丸い。	①ナデ ②ハケ(6本/cm) ③ハケ	①ナデ ②ハケ(5~10本/cm) ③ナデ	淡黄褐色 淡橙褐色	石・長(1~4) ◎	F5区	
935	鉢	口径(16.1) 底径 10.0 残高 9.8	外反する短い口縁部。端部は尖り気味に丸い。脚部は短く開く。	①ヨコナデ ②ハケ(6本/cm)→ ミガキ ③ハケ(10本/cm) ④ヨコナデ	①ヨコナデ ②ミガキ ③ハケ→ミガキ ④ハケ(10本/cm)	淡褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	F6区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(28)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
936	鉢	口径(19.9) 残高 7.5	直口口縁。端部は「コ」の字状に丸い。	①ヨコナデ ②板ナデ ③ナデ	④ヨコナデ ⑤ミガキ	淡黄褐色 淡橙褐色	石・長(1~2) ◎	F 6 区	
937	鉢	口径(24.5) 残高 4.9	直口口縁。端部は丸い。	①ヨコナデ ②ハケ(10本/cm)	ハケ(10本/cm) →ミガキ	淡褐色 灰色	石・長(1~2) 金 ◎	F 6 区 黒 斑	
938	鉢	口径(17.4) 残高 4.9	内湾する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。	①ヨコナデ ②ハケ(5~6本/cm)	①ハケ→ヨコナデ ②ハケ(5~6本/cm)	淡黄灰色 淡黄灰色	石・長(1~3) ◎	F 6 区	
939	鉢	口径(17.0) 残高 5.3	直口口縁。口縁部外面に2条の沈線を施す。	ナデ	①ヨコナデ ②ミガキ	淡灰褐色 淡灰褐色	石・長(1~3) ◎	F 6 区 黒 斑	
940	鉢	口径(21.2) 残高 5.2	短くわずかに外反する口縁部。端部にキザ目を施す。	タタキ	ハケ(6本/cm)	淡灰褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	F 6 区	
941	鉢	口径(19.2) 残高 3.0	段をもち直立気味に短く外反する口縁部。端部は尖り気味である。讃岐産。	ヨコナデ	ヨコナデ	暗茶褐色 暗茶褐色	石・長(1) 金・角 ◎	F16区 下川津V	20
942	鉢	底径 5.3 残高 8.5	丸味のある平底。	タタキ	ハケ(6~7本/cm)	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F 6 区 黒 斑	
943	鉢	口径(11.2) 底径 1.7 器高 8.9	丸味のある小さな底部に直口口縁。端部は丸い。小型品。	①ナデ ②ハケ(8本/cm) ③ナデ	④ハケ(8本/cm) ⑤ハケ→ナデ ⑥ナデ	橙褐色 橙褐色	石・長(1~4) 金 ◎	F 6 区 黒 斑	
944	鉢	口径 7.3 底径 2.4 器高 7.2	丸味のある小さな底部に直口口縁。端部は丸い。小型品。	①ハケ(4本/cm) ②ナデ	③ハケ(4本/cm) ④ナデ	淡褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) 金 ◎	E 3 区 黒 斑	
945	鉢	口径(10.7) 残高 4.1	直口口縁。端部は丸い。	ナデ	ナデ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎	F 6 区	
946	鉢	底径 4.2 残高 3.4	丸味をもち突出する底部。	ハケ(10本/cm)	ハケ→ナデ	淡灰黄色 淡灰褐色	石・長(1~4) ◎	F 5 区 黒 斑	
947	鉢	底径 3.0 残高 6.2	肥厚する小さな底部。	①タタキ→ナデ ②ナデ	③ハケ(8本/cm) ④ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~3) ◎	D10区	
948	高 坏	底径(15.3) 残高 12.8	段をもち環部。短い柱部に「ハ」の字状に開く裾部。裾部に径0.7cmの円孔を3ヶ所。	①ナデ ②ハケ→ナデ ③ハケ(6本/cm) ④ヨコナデ	⑤ミガキ ⑥ナデ ⑦ハケ(6~8本/cm) ⑧ナデ	淡灰褐色 淡灰褐色	石・長(1~4) ◎	F 6 区	
949	高 坏	口径 26.6 残高 7.6	段をもち大きく外反する坏口縁部。端部は「コ」の字状に丸い。充填技法。	①ヨコナデ ②ミガキ	③ヨコナデ ④ミガキ ⑤ナデ ⑥ミガキ	褐色 褐色	石・長(1~3) ◎	D 4 区 黒 斑	
950	高 坏	残高 3.9	段をもち外反する坏部。	①ヨコナデ ②ハケ	③ハケ→ヨコナデ ④ミガキ	淡茶褐色 茶色	石・長(1~2) ◎	F 7 区	
951	高 坏	底径(16.7) 残高 12.6	「ハ」の字状に開く脚部。径0.8cmの円孔。組合せ技法。	①ナデ ②ハケ(8本/cm)	③ミガキ ④ナデ、ハケ ⑤ハケ(4~6本/cm)	乳白色 乳白色	石・長(1~5) ◎	F 6 区	
952	高 坏	残高 7.8	直立する柱部に径1.7cmの円孔。	①ハケ→ヨコナデ ②ハケ→ミガキ	絞り痕	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎	F 6 区 黒 斑	
953	高 坏	底径(9.0) 残高 6.6	中空の短い柱部。裾部は短く開く。	①ミガキ ②ヨコナデ	③ナデ ④ナデ ⑤ヨコナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1) ◎	F 5 区	
954	高 坏	底径(19.0) 残高 10.8	脚部。裾部はラッパ状に開く。径1.6cmの円孔が2段に残る。	①ハケ(5本/cm) →ミガキ ②ナデ	③ナデ ④ヨコナデ	淡黄灰色 淡黄灰色	石・長(1~4) ◎	F 8 区	
955	器 台	残高 23.0	エンタシス状の柱部。径2.2cmの円孔が4段残る。	①マメツ ②ハケ(6本/cm) →ミガキ	③ナデ ④ハケ→ナデ ハケ(6本/cm)	橙褐色 茶褐色	石・長(1~4) 金 ◎	D 7 区 F 5 区	
956	器 台	残高 11.9	柱部。径1.6cmの円孔を3段に施す。	ミガキ	ナデ	淡茶灰色 淡褐色	石・長(1~6) ◎	E 3 区 黒 斑	
957	甌	底径 3.9 残高 2.7	底部中央に焼成前の穿孔。径0.8cm。	タタキ ナデ	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	F 5 区	
958	甌	底径 2.0 残高 11.3	尖底の底部に焼成前の穿孔。径1.3cm。	①ハケ(6本/cm) ②ハケ→ミガキ	③ハケ(5本/cm) ④ナデ	乳褐色 乳褐色	石・長(1~3) ◎	D 9 区 黒 斑	
959	蓋	口径 8.0 残高 2.4	わずかに凹む天井部。端部に穿孔が2ヶ所残る。	ナデ ハケ(8~9本/cm)		乳茶色 乳灰色	石・長(1~3) ◎	G 8 区	
960	不明	残高 5.0	接合面が残る。	タタキ→ナデ 板ナデ	板ナデ→ナデ ケズリ	茶褐色 茶褐色	石・長(1~2) 金 ◎	H14区 黒 斑	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(29)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
961	ミニチュア	口径 (4.3) 器高 4.0	丸い底部。口縁部は尖り気味である。	ナデ 工具によるナデ	ヨコナデ ミガキ ナデ	淡茶褐色 暗茶褐色	石・長(1~2) ◎	F 6 区	
962	注口土器	口径長4.0 口径短2.9 器高 4.5	上部に楕円形の口縁が付き、胴部を左右に突出させ片方に穿孔。	タタキ→指おさえ ナデ	指おさえ ナデ 絞り痕	乳茶色 乳茶色	石・長(1~3) ◎	F 8 区 黒斑	21
963	さじ	残高 2.9	平坦な底部に短く内湾する口縁部。	ナデ	ナデ	乳白色	石・長(1~3) ◎	D 6 区	
964	さじ	長 12.1 幅 2.2 厚 2.3	断面円形の長い把手部。	ハケ(5~6本/cm)	ナデ	乳白色	石・長(1~2) ◎	E 3 区	21
965	分銅型 土製品	長 5.8 幅 4.8 厚 2.6	厚みのある方形。側面に3ヶ所の穿孔。	ナデ		乳茶色	石・長(1~4) ◎	F10区	21
966	支脚	底径 (11.5) 器高 14.8	2本の角状突起をもつ。裾部は中空。	ナデ タタキ→ナデ タタキ	ナデ 指頭痕	淡黄灰褐色 淡黄灰褐色	石・長(1~2) ◎	F 6 区	
967	支脚	底径 (10.3) 器高 11.8	2本の角状突起をもつ。裾部は中空。	ナデ ハケ(6本/cm) →ナデ	ナデ	淡黄灰褐色 淡黄灰褐色	石・長(1~5) ◎	F17区 黒斑	
968	支脚	底径 9.9 器高 12.6	2本の角状突起をもつ受部。裾部は中空。	ナデ	ナデ	淡褐色 淡褐色	石・長(1~5) ◎	E 8 区 黒斑	
969	支脚	底径 (11.9) 器高 15.8	2本の角状突起をもつ受部。裾部は中空。	ナデ	ナデ	淡茶褐色 褐色	石・長(1~2) ◎	G12区 黒斑	
970	支脚	残高 14.5	2本の角状突起をもつ受部。	ナデ	ナデ	茶褐色 黒灰色	石・長(1~2) ◎	F 5 区 黒斑	
971	支脚	残高 8.4	2本の角状突起をもつ受部。背部に小突起をもつ。	ナデ	絞り痕	暗褐色 暗褐色	石・長(1~3) 金 ◎	F 5 区	
972	支脚	底径 10.5 残高 14.2	受部は「U」字状に傾斜する。	ナデ→板ナデ 工具によるナデ	ヨコナデ 板ナデ	淡褐色 淡灰色	石・長(1~2) 金 ◎	E 3 区 黒斑	
973	支脚	底径 (12.6) 残高 12.3	受部は「U」字状。裾部は中空。	ナデ ハケ→ナデ	ナデ 板ナデ	淡茶褐色 暗茶褐色	石・長(1~2) ◎	F16区 黒斑	
974	支脚	底径 10.9 残高 12.0	中空。裾部はわずかに開く。	ナデ タタキ	ナデ ヨコナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	F 5 区 黒斑	
975	支脚	口径 5.9 残高 5.7	中空。受部を短く外反させ端部に刻目を施す。	ナデ	ナデ 工具によるナデ	暗茶褐色 茶褐色	石・長(1) ◎	F13区	
976	支脚	底径 (7.8) 器高 7.6	中実。受部は傾斜し凹み背部に小突起をもつ。	ナデ 押圧痕		淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	F11区	
977	支脚	底径 6.0 残高 7.5	中実。受部は傾斜し凹み背部に小突起。	ナデ		淡橙褐色	石・長(1~2) ◎	E12区 黒斑	
978	支脚	底径 8.2 器高 6.8	中実。受部は凹む。	ナデ		淡茶褐色	石・長(1~3) 金 ◎	E10区 黒斑	
979	支脚	底径 5.5 器高 6.0	中実。背部に小突起をもつ。ほぼ完形。	ナデ		淡黄灰色	石・長(1~4) ◎	G16区	
980	支脚	底径 7.3 器高 7.7	中実。受部は傾斜し背部に小突起をもつ。	ナデ		淡黄灰色	石・長(1~4) ◎	G 8 区	
981	支脚	口径 (7.1) 底径 (7.0) 器高 5.7	受部、底部ともに凹み中央に径1.0cmの穿孔。	ナデ	ナデ 板ナデ	暗茶褐色 暗茶褐色	石・長(1~2) ◎	F 6 区	
982	支脚	口径 3.7 底径 7.4 器高 5.1	中空。底部は「ハ」の字状に短く開き低い。	ナデ	ナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎	E 7 区 黒斑	
983	支脚	口径 6.6 底径 8.5 器高 4.8	台形状で中央に径2.0cmの円孔。	ナデ	ナデ	淡黄灰褐色 淡黄灰褐色	石・長(1~3) ◎	C 7 区	
984	支脚	口径 7.8 底径 8.1 器高 6.7	中実。受部は「U」字状に傾斜する。	ナデ		淡乳褐色	石・長(1~4) ◎	F 5 区	
985	支脚	口径 6.8 底径 7.8 器高 6.0	中実。受部は凹む。	ナデ		黄灰褐色	石・長(1~2) ◎		

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 土製品

(30)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
986	支脚	底径 6.9 残高 4.7	中実。受部はわずかに凹む。	ナデ		淡黄褐色	石・長(1~2) ◎	G13区 黒斑	
987	支脚	口径 6.2 底径 8.0 器高 6.5	台形状。中央に径1.2cmの穿孔。	ナデ		茶褐色	石・長(1~2) ◎	E13区 黒斑	
988	支脚	口径 6.6 底径 7.7 器高 4.2	中実。底部が凹む。	ナデ		淡黄褐色	石・長(1) ◎	G7区	
989	支脚	口径 6.2 底径 7.8 器高 3.3	中実。受部がわずかに傾斜する。	ナデ		茶褐色	石・長(1~2) ◎	B4区	
990	支脚	口径 5.1 底径 6.2 器高 4.1	中実。底部がわずかに凹む。	ナデ		淡乳橙色	石・長(1~6) ◎	E9区	

表8 SR1②層出土遺物観察表 石製品

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	最大厚 (cm)	重さ (g)		
991	スクレイパー	完形	安山岩	7.7	7.9	1.3	83.23	アズキ色 G10区	
992	粗製剥片刃器		安山岩	8.0	9.1	1.7	173.27	E12区	
993	粗製剥片刃器	完形	安山岩	7.1	8.2	1.2	82.73	D4区	
994	粗製剥片刃器	完形	安山岩	11.8	6.5	1.7	99.63	F5区	
995	粗製剥片刃器		緑色片岩	6.4	3.5	1.9	54.68	G13区	
996	粗製剥片刃器	完形		5.4	4.9	1.0	33.75	F8区	
997	石 鍬	完形	安山岩	9.2	6.5	1.8	121.20	アズキ色 D13区	
998	石 鍬		安山岩	5.4	8.6	2.0	108.28	アズキ色	
999	石 鍬		サヌカイト	4.3	4.2	1.6	25.76	E7区	
1000	碇石		緑色片岩	13.5	21.1	3.2	1,395.00	G16区	21
1001	石 錘	完形	安山岩	15.3	7.7	3.9	660.00		
1002	石 錘	完形	安山岩	16.1	7.7	3.2	580.00	H15区	
1003	石 錘	完形	安山岩	13.2	8.1	6.9	1,100.00	C5区	
1004	石 錘	完形	安山岩	12.8	8.2	6.5	950.00	F6区	
1005	石 錘	完形	安山岩	11.3	5.8	2.9	247.12		
1006	石 錘		緑色片岩	11.0	7.0	2.0	234.36	G6区	
1007	石 錘	完形	安山岩	15.9	6.4	5.9	870.00	F5区	
1008	石 錘	完形	安山岩	13.0	6.0	4.7	590.00	E8区	
1009	石 錘	完形	安山岩	12.1	6.7	3.7	390.00	D13区	
1010	石 錘		安山岩	9.7	7.8	6.3	690.00	G12区	
1011	石 錘	完形	緑色片岩	9.0	6.9	1.9	200.26	G13区	
1012	石 錘	完形	安山岩	8.0	6.9	1.7	143.31	F13区	
1013	石 錘		安山岩	9.2	9.7	5.8	660.00	F6区	
1014	石 錘	完形	安山岩	12.3	4.4	2.8	213.79	G16区	
1015	石 錘	完形	安山岩	10.8	6.0	3.2	310.00	E4区	
1016	石 錘	完形	安山岩	10.3	3.3	2.6	143.90	E3区	
1017	石 錘	完形	安山岩	9.9	3.9	3.8	243.04		
1018	石 錘	完形	安山岩	9.4	4.0	2.6	152.87		
1019	石 錘	完形	緑色片岩	5.8	4.2	1.1	46.70		
1020	石 錘		緑色片岩	8.2	6.5	1.7	152.67	H5区	
1021	石 錘		安山岩	10.4	6.8	3.0	320.00	F6区	
1022	石 錘	完形	緑色片岩	7.4	3.7	0.7	32.36	E15区	
1023	石 錘		緑色片岩	7.6	6.6	1.4	67.60	C11区	
1024	石 錘	完形		6.2	2.1	1.3	19.81	E12区	
1025	石 棒		安山岩	15.3	9.7	7.9	1,625.00	G12区	

出土遺物観察表

SR1②層出土遺物観察表 石製品

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1026	石 棒	完 形	緑 色 片 岩	18.9	5.2	3.7	680.00	F 8 区	
1027	男根状石製品	完 形	硬 質 砂 岩	14.4	4.8	5.5	525.00	F 8 区	
1028	男根状石製品	完 形	結 晶 片 岩	11.7	6.0	2.7	274.28		
1029	敲 石	完 形	安 山 岩	18.0	6.1	3.6	510.00	H 1 4 区	
1030	敲 石	完 形	安 山 岩	12.5	3.7	2.6	209.72	F 6 区	
1031	敲 石	完 形	安 山 岩	13.3	7.2	5.2	775.00	F 8 区	
1032	敲 石	完 形		13.8	7.1	3.4	520.00	E 1 5 区	
1033	敲 石	完 形	安 山 岩	10.8	4.2	3.8	240.08	E 1 1 区	
1034	敲 石		緑 色 片 岩	10.2	6.8	3.3	420.00	G 7 区	
1035	敲 石	完 形		11.5	11.8	4.6	1,065.00	H 1 4 区	
1036	敲 石	完 形	安 山 岩	10.9	8.3	6.4	805.00	F 1 7 区	
1037	敲 石	完 形	安 山 岩	10.0	8.0	4.0	515.00	D 1 4 区	
1038	敲 石		安 山 岩	10.4	8.8	4.4	610.00	D 1 0 区	
1039	敲 石	完 形	安 山 岩	11.2	9.9	7.3	1,380.00	F 1 3 区	
1040	敲 石	完 形	花 崗 岩	10.4	8.6	3.5	500.00	F 1 3 区	
1041	磨 石	完 形		8.8	6.6	6.0	530.00	G 1 3 区	
1042	敲・磨石	完 形		7.2	5.0	2.9	158.28	F 1 1 区	
1043	磨 石	完 形		4.1	3.5	0.8	17.18	G 1 4 区	
1044	砥 石		石 英 粗 面 岩	13.9	6.1	4.7	500.00	G 1 2 区	
1045	砥 石		石 英 粗 面 岩	11.1	5.7	4.1	262.12	G 7 区	
1046	砥 石	完 形		11.7	3.3	2.9	167.26	F 1 2 区	
1047	台 石		安 山 岩	20.0	14.7	5.1	2,150.00	G 6 区	
1048	台 石		安 山 岩	9.8	14.2	3.5	910.00	H 9 区	
1049	石 庖 丁	2/3	緑 色 片 岩	6.7	4.0	0.8	35.23	C 1 0 区	
1050	石 庖 丁		緑 色 片 岩	7.0	4.2	0.7	32.64	D 1 1 区	
1051	石 庖 丁		緑 色 片 岩	8.0	4.4	0.8	41.41	E 1 5 区	
1052	石 庖 丁		緑 色 片 岩	5.6	3.8	0.8	23.06	C 1 1 区	
1053	石 庖 丁		緑 色 片 岩	4.5	2.2	0.5	6.60	C 1 1 区	
1054	石 庖 丁	完 形	緑 色 片 岩	8.4	5.2	0.7	48.01	G 1 5 区	
1055	石 庖 丁	完 形	緑 色 片 岩	9.8	4.5	1.1	75.28	H 1 0 区	
1056	石 庖 丁	完 形	緑 色 片 岩	8.1	4.4	0.7	38.73	G 1 4 区	
1057	石 鎌		緑 色 片 岩	18.0	5.5	1.5	181.439	D 1 4 区	
1058	石 鎌		緑 色 片 岩	8.2	4.9	1.2	50.16	G 1 3 区	
1059	石 鎌		緑 色 片 岩	14.6	4.7	2.1	242.999	F 9 区	
1060	石 剣		緑 色 片 岩	15.5	4.6	1.5	167.453	F 5 区	
1061	石 剣	完 形	緑 色 片 岩	11.2	2.8	1.3	73.189	F 1 5 区	
1062	石 剣		緑 色 片 岩	7.0	3.0	1.5	49.744	F 8 区	
1063	両 刃 石 斧	完 形	安 山 岩	11.1	6.1	4.1	460.00	F 1 3 区	
1064	両 刃 石 斧	完 形		13.6	7.1	4.6	630.00	G 1 6 区	
1065	両 刃 石 斧		安 山 岩	6.0	5.9	3.7	200.46	C 1 2 区	
1066	両 刃 石 斧		みかぶ緑色岩類	6.5	4.3	2.6	86.72	F 6 区	
1067	両 刃 石 斧		緑 色 片 岩	15.5	6.9	5.0	710.00		
1068	両 刃 石 斧		みかぶ緑色岩類	11.8	3.6	4.1	278.15	F 7 区	
1069	柱状片刃石斧		緑 色 片 岩	10.4	2.7	1.7	88.68	F 1 3 区	
1070	柱状片刃石斧			3.8	2.9	2.9	28.13	H 1 4 区	
1071	扁平片刃石斧		緑 色 片 岩	7.7	4.5	1.2	72.22	D 1 2 区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1②層出土遺物観察表 石製品

(3)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1072	扁平片刃石斧	完形	緑色片岩	4.0	3.1	7.8	15.96	E 3 区	
1073	扁平片刃石斧		緑色片岩	5.1	4.9	0.7	33.72	F 6 区	
1074	紡錘車	完形	滑石	(径) 3.9	(孔径) 0.9	1.4	27.59	H 1 5 区	22
1075	紡錘車	完形	緑色片岩	(径) 5.2	(孔径) 0.9	1.4	48.08	F 4 区	22
1076	紡錘車	完形		(径) 4.4	(孔径) 0.6	1.1	29.58	E 1 2 区	22
1077	紡錘車	完形	滑石	(径) 3.5	(孔径) 0.6	1.0	19.09	D 1 3 区	22
1078	紡錘車	完形	滑石	(径) 4.9	(孔径) 0.8	0.8	26.34	E 4 区	22
1079	紡錘車	完形	滑石	(径) 5.8		2.6	134.07	H 1 4 区	22
1080	有孔門板	1/2	滑石	2.6	1.5	0.3	1.94	円孔1.5mm区	21
1081	勾玉			3.4	1.6	0.5	4.28	円孔2.0mm区	21
1082	残核	完形	滑石	9.6	5.8	1.9	116.38	G 1 2 区	
1083	板状剥片素材		緑色片岩	13.5	7.4	1.9	305.00	F 6 区	
1084	原石	完形	紅廉片岩	4.9	3.7	1.2	36.70	F 1 4 区	
1085	原石	完形	緑色片岩	8.5	12.0	1.9	350.00	F 9 区	
1086	原石	完形	紅廉片岩	13.1	3.2	3.3	175.96	G 7 区	
1087	原石		サヌカイト	18.8	12.2	5.0	1,720.00	F 6 区	

表9 SR1②層出土遺物観察表 装身具

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1088	垂飾品		骨	2.5	1.2	0.5	1.14	G 6 区	21

表10 SR1②層出土遺物観察表 木製品

番号	器種	遺存状態	樹種	法量				木取り	備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	直径(cm)			
1089	板材		コウヤマキ	21.6	26.2	2.7				
1090	板材		ヒノキ	35.3	5.1	0.4				
1091	杭		ヒノキ	27.4	5.5	3.9				
1092	杭		ヒノキ	35.7	4.2	2.2				

表11 SR1②層出土遺物観察表 金属製品

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)		
1093	刀		鉄	5.7	1.9	0.2	17.533		22
1094	不明		鉄	6.0	1.3	0.9	12.308		22
1095	鏃		鉄	4.9	2.3	0.4	25.976		22

表12 SR1①層出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1096	坏蓋	口径(12.4) 残高 4.0	天井部と口縁部を分ける稜は断面 三角形である。口縁端部は、内傾 する面をもち凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1~4) ◎	F 6 区	
1097	坏蓋	口径(11.8) 残高 3.7	口縁部は直立し、端部は凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	黒灰色 青灰色	密・長(5) ◎	E13区	
1098	坏蓋	口径(12.0) 残高 4.4	天井部は丸く、口縁端部は内傾する 面をもち凹む。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	㊸ 回転ナデ→ナデ ㊹ 回転ナデ	灰色 青灰色	長(1~4) ◎	F 4 区	
1099	坏蓋	口径(11.2) 残高 4.0	口縁部は直立し、口端部は内傾する 面をもち沈線状の凹みあり。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰白色	密 ◎		
1100	坏蓋	口径(13.8) 残高 2.7	口端手前の外面に段をもち端部は丸い。 口端外面にキザミ目、内面に細い沈線、 ヘラ記号あり。	回転ナデ	回転ナデ	黒灰色 黒灰色	密 ◎	F 4 区	
1101	坏蓋	口径(13.2) 残高 2.9	天井部に凹線状の凹み。口縁端部 外面にキザミ目、内面に細い沈線。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F 6 区	

出土遺物観察表

SR1①層出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1102	坏蓋	口径(15.2) 残高 3.7	なだらかに内湾する天井部から口縁部。口端部は丸い。	㊸ 回転ヘラケズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1~2) ◎		
1103	坏蓋	口径(16.7) 残高 3.4	天井部と口縁部を分ける稜は不明瞭。口縁端部の外面にキザミ目。	㊸ 回転ナデ→ナデ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	黄灰色 黄灰色	密・長(1) ◎	F 4 区	
1104	坏蓋	口径(13.6) 残高 2.2	丸い口縁部の外面にキザミ目。		回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎		
1105	坏蓋	口径(13.9) 器高 4.4	丸い天井部から口縁部。口端部は先細りである。	㊸ 回転ヘラケズリ ㊹ 回転ナデ	㊸ 回転ナデ→ナデ ㊹ 回転ナデ	灰色 黄灰色	長(1~2) ◎		
1106	坏身	口径(11.8) 残高 3.2	受部は短く水平気味に伸び沈線状の凹みあり。立ち上がりは内傾し端部は丸い。		回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1) ◎	E 4 区	
1107	坏身	口径(13.5) 残高 4.0	受部は短く水平気味に伸び立ち上がりは内傾し端部は丸い。	㊹ 回転ナデ ㊸ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1) ◎	F12区	
1108	坏身	口径(12.6) 残高 3.5	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは短く外反気味に内傾する。	㊹ 回転ナデ ㊸ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	暗灰色 青灰色	密 ◎	F 4 区 釉付着	
1109	坏身	口径(12.0) 器高 4.0	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾する。	㊹ 回転ナデ ㊸ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1~2) ◎	F 4 区	
1110	坏身	口径(12.4) 残高 3.4	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は尖り気味に細い。	㊹ 回転ナデ ㊸ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1~4) ◎	F 6 区	
1111	坏身	口径(11.3) 残高 3.9	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは短く内傾する。	㊹ 回転ナデ ㊸ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	長(1~3) ◎	F 5 区	
1112	坏身	口径(11.5) 残高 2.3	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は尖る。	㊹ 回転ナデ ㊸ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	黒灰色 黒灰色	密 ◎	E 4 区	
1113	坏	口径 13.0 底径 8.3 器高 3.3	底部はヘラ切り。口縁部は外傾し端部は丸い。内面の口縁部と底部との境界に明瞭な稜をもつ。	㊹ 回転ナデ ㊸ 回転ヘラ切り →ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密・長(1~3) ◎		
1114	坏	底径(12.0) 残高 2.5	細く短い高台。端部はわずかに内傾し凹む。	㊸ 回転ナデ ㊹ 回転ナデ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	茶灰色 茶灰色	密 ○		
1115	高坏蓋	つまみ径 2.9 残高 2.4	丸い天井部に中央部がわずかに突出するつまみが付く。	㊹ 回転ナデ ㊸ 回転ヘラケズリ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 灰色	密 ◎		
1116	高坏蓋	つまみ径 3.0 残高 1.5	中央部がわずかに突出するつまみ部。	㊹ 回転ナデ ㊸ ハクリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F 5 区 釉付着	
1117	高坏蓋	つまみ径 3.6 残高 1.6	中央部が凹むつまみ部。		回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(2) ◎	F 4 区	
1118	高坏	口径(18.0) 残高 4.8	強いナデにより凸帯を作り出し、口縁部は外上方に伸び端部は丸い。波状文8条を施す。無蓋。		回転ナデ	青灰色 黄灰色	密 ◎	F 6 区	
1119	高坏	口径(17.0) 残高 5.3	無蓋。把手の痕跡あり。波状文8条を施す。		回転ナデ	黒灰色 灰色	密 ◎	F 5 区	
1120	高坏	口径(14.9) 残高 4.9	無蓋。強いナデにより凸帯を作り出す。波状文8条を施す。		回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(5) ◎	F 4 区	
1121	高坏	口径(14.7) 残高 2.8	無蓋。段をもちわずかに外反する口縁部の端部は尖り気味。波状文6条を施す。		回転ナデ	灰色 黒灰色	密 ◎	F 4 区	
1122	高坏	口径(14.4) 残高 3.2	無蓋。ナデにより段をもち、口縁部は、先細りする。波状文あり。		回転ナデ	灰色 青灰色	密 ◎	F 4 区	
1123	高坏	残高 2.8	段をもつ坏部。波状文5条を施す。		回転ナデ	赤茶色 黄灰色	密・長(1) ○	E 3 区	
1124	高坏	口径(15.3) 残高 4.8	坏部。口縁部はわずかに外反し端部は先細りする。	㊹ 回転ナデ ㊸ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	黒灰色 灰黄色	密・長(1~7) ◎	F 5 区	
1125	高坏	底径(10.4) 残高 6.6	脚部。端部は屈曲して接地する。4方向に透かしを施す。	㊸ カキ目 ㊸ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1) ◎	F 5 区	
1126	高坏	底径(10.2) 残高 3.0	脚部の小片。端部は屈曲して接地する。	㊸ カキ目 ㊸ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	長(2) ◎	F 5 区	

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1①層出土遺物観察表 土製品

(3)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1127	高坏	底径 (9.3) 残高 4.7	脚部。端部は内湾して接地し尖り気味である。透かしを施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰黄色 灰黄色	密 ◎	F13区	
1128	高坏	底径 (8.4) 残高 5.0	低い脚部。端部は先細りし尖る。台形状の透かしを3方向に施す。	㊸カキ目 ㊹回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1~2) ◎	F13区	
1129	高坏	底径 (9.7) 残高 4.0	脚部。端部は内湾し先細りする。4方向に透かしを施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(2) ◎		
1130	高坏	残高 4.6	低い脚部。4方向に透かしを施す。	㊸カキ目 ㊹回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F4区	
1131	高坏	底径 (8.1) 残高 6.3	坏底部に1条の沈線、脚部は端部が屈曲して接地し尖り気味である。径0.5~0.6cmの円孔を3方向に施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 黒灰色	密・長(4) ◎	C12区	
1132	高坏	底径 (15.0) 残高 5.2	脚部。大きく開く脚部の端部は外反する。2条の沈線と3方向の透かしを施す。	㊸回転ナデ ㊹回転ナデ →ナデ	回転ナデ→ナデ	灰黄色 灰黄色	密 ◎	F6区	
1133	高坏	底径 (8.8) 残高 3.0	小さく開く脚部。4方向の透かしを施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	E14区	
1134	高坏	底径 (9.5) 残高 2.8	段をもちわずかに屈曲する脚部。透かしは4方向か。	回転ナデ	回転ナデ	灰黒色 青灰色	密・長(2) ◎	F4区	
1135	高坏	底径 (9.8) 残高 1.7	脚部の小片。端部付近まで透かしを施し面取をする。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F12区 釉付着	
1136	高坏	底径 (14.8) 残高 1.9	脚裾部。端部は丸い。透かしを施す。	回転ナデ	回転ナデ	赤褐色 赤褐色	密・石・長(1) ○	D13区	
1137	高坏	底径 (10.3) 残高 1.7	脚部の小片。ナデによる凸帯を作り出す。端部はわずかに凹む。透かしあり。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 青灰色	密 ◎	F6区	
1138	高坏	残高 4.3	基部。脚部に2ヶ所円孔が残る。	㊸回転ヘラケズリ ㊹回転ナデ	㊸回転ナデ→ナデ ㊹回転ナデ	青灰色 青灰色	密・長(1) ◎	F4区	
1139	高坏	残高 2.0	脚部の小片。ナデにより凸帯を作り出す。	回転ナデ	回転ナデ	暗紫灰色 暗灰茶色	密 ◎	F13区	
1140	高坏	残高 5.6	脚部、柱部は細い。	回転ナデ	回転ナデ 絞り痕	灰色 灰色	密 ◎		
1141	甕	口径 (28.0) 残高 47.6	外反する口縁部。端部はナデにより凹む。波状文と凹線。	㊸回転ナデ ㊹カキ目→平行 タタキ	㊸回転ナデ ㊹円弧タタキ	灰黄色 灰色	密・長(2) ◎		
1142	甕	口径 (21.0) 残高 4.4	外反する口縁部。端部は上下に拡張する。	カキ目	釉付着の為不明	灰褐色 釉	長(3) ◎	F13区 釉付着	
1143	甕	口径 (15.0) 残高 1.7	外反する口縁部。端部は上下方に拡張し端面に2条の凹線、口端下部に8条以上の波状文。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F4区	
1144	甕	口径 (22.6) 残高 9.7	外反する口縁部の端部は上方につまみ出す。	㊸回転ナデ ㊹カキ目 ㊺平行タタキ→カ相	㊸回転ナデ ㊹円弧タタキ	青灰色 青灰色	石・長(2~4) ◎	F12区	
1145	甕	口径 (26.0) 残高 5.3	外反する口縁部の端部は上方につまみ出す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	長(2) ◎	E14区	
1146	甕	口径 (18.2) 残高 6.2	外反する口縁部の端部は上下方に拡張する。	㊸マメツ ㊹平行タタキ→カ相	㊸マメツ ㊹タタキ	灰白色 灰白色	長(2) ◎	F6区	
1147	甕	口径 (19.0) 残高 6.4	外反する口縁部。端部は肥厚する。	㊸回転ナデ ㊹カキ目 ㊺平行タタキ→カ相	回転ナデ	灰色 青灰色	石・長(1~4) ◎	E13区	
1148	甕	口径 (13.2) 残高 6.2	外反する口縁部。端部は上下方に拡張する。	㊸回転ナデ ㊹カキ目 ㊺マメツ	回転ナデ	青灰色 青灰色	長(2) ◎	F7区	
1149	甕	口径 (18.2) 残高 4.5	外反する口縁部。端部は肥厚し丸味をもつ。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 黒青灰色	密 ◎	D11~12区 E13区	
1150	甕	口径 (20.0) 残高 4.7	外反する口縁部。端部は肥厚し丸い。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1~7) ◎	D12区	
1151	甕	口径 (17.8) 残高 5.1	外反する口縁部。端部はナデにより凹む。	㊸回転ナデ ㊹カキ目 ㊺平行タタキ→カ相	㊸回転ナデ ㊹円弧タタキ	乳白橙色 乳白橙色	石・長(1~5) ○	F4区	

出土遺物観察表

SR1①層出土遺物観察表 土製品

(4)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1152	甕	残高 3.4	頸部片。	回転ナデ カキ目	回転ナデ	乳白橙色 乳白橙色	石 (1) ◎	F 4 区	
1153	壺	口径 23.4 器高 51.5	やや肩の張る胴部。口縁部は外傾し端部は内傾する面をもつ。頸部下部に3方向の耳を付ける。	① 回転ナデ ② 平行タタキ ③ ハケ(5本/cm) ④ 平行タタキ ⑤ ハケ	① 回転ナデ ② 同心円タタキ	灰色 灰色	密・石・長(1~2) ◎	F 5 区 釉付着	23
1154	壺	口径(19.8) 残高 2.6	口縁部小片。外面に凸線1条と波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	黒褐色 黒褐色	密 ◎	H 7 区	
1155	壺	残高 15.8	球形の胴部。口縁部欠。	① 上カキ目 ② 中平行タタキ ③ 下カキ目 ④ 平行タタキ	① 回転ナデ ② 同心円タタキ	青灰色 青灰色	密 ◎	F13区	
1156	壺	口径(12.0) 残高 14.7	外反する口縁部。端部は丸い。胴部は肩が張る。縦沈線1条、ヘラ記号か。	① 回転ナデ ② 回転カキ目 ③ 回転ヘラケズリ	回転ナデ→ナデ	青灰色 灰色	長(1~3) ◎		
1157	壺	口径 9.4 器高 10.1	短く直立する口縁部。端部は内傾する面をもつ。底部内面に粘土紐巻き上げ痕が顕著に残る。	① 回転ナデ ② カキ目 ③ 回転ナデ ④ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	長(1~4) 金 ◎	F13区	
1158	壺	口径(6.2) 器高 9.4	短く直立する口縁部の端部は丸い。肩の張る胴部、底部に「十」字のヘラ記号あり。	① 回転ナデ ② 回転ヘラケズリ ③ 同心円タタキ ④ ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	D12区	
1159	壺	残高 4.5	胴部片。	① 回転ナデ ② 上カキ目 ③ 下カキ目	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F13区	
1160	壺	残高 5.5	扁平な胴部の小片。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	C12区 釉付着	
1161	壺	残高 4.4	丸味のある底部の小片。	① 回転ナデ ② 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰黄色 黄灰色	密・長(1) ◎	E 4 区 釉付着	
1162	壺	残高 4.2	丸い底部。	回転ナデ ハケ	回転ナデ	灰色 灰白色	長(2) ◎	F 4 区	
1163	壺	底径 6.0 残高 6.1	平底の厚い底部。	釉付着の為不明	回転ナデ ナデ	釉(深緑色) 青灰色	密・長(1) ◎	D13区 釉付着	
1164	壺	残高 2.6	肩の張る胴部の小片。	回転ナデ カキ目	回転ナデ	灰色 灰色	石(2) ◎		
1165	壺	残高 2.1	頸部片。沈線と波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F13区	
1166	壺	残高 7.5	肩の張る胴部。外面にヘラ記号か。	回転ナデ ヘラミガキ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	E 4 区	
1167	壺	底径(10.8) 残高 4.8	長頸壺の脚部。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1~4) ◎	F 6 区	
1168	甕	胴部径 16.7 残高 12.3	肩の張る扁平な胴部。2条の凹線、幅広の刺突文、径1.5cmの円孔。	① 回転ナデ ② カキ目 ③ 回転ナデ ④ ハケ(6本/cm)	① 回転ナデ ② ナデ	灰色 青灰色	密 ◎		
1169	甕	口径(14.4) 残高 4.3	段をもち開く口縁部。端部は丸い。1条の凹線。径1.4cmの円孔。	回転ナデ	① 回転ナデ ② マメツ	黒灰色 灰褐色	石・長(1~3) ◎	E 4 区	
1170	甕	胴部径 9.6 残高 12.7	扁球形の小さな胴部。頸部は細く口縁部は外反する。	① 回転ナデ ② カキ目 ③ 回転ナデ ④ 回転ヘラケズリ	① 回転ナデ ② 回転ナデ →工具圧痕	青灰色 青灰色	密・長(1~5) ◎		
1171	甕	胴部径 9.0 残高 7.6	肩の張る小さな胴部。径1.5cmの円孔。	① 回転ナデ ② 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F12区 釉付着	
1172	甕	胴部径 10.3 残高 11.6	扁球形の胴部に外反する口縁部。	① 回転ナデ ② 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰黒色 灰黒色	長(1~3) ◎	F 6 区	
1173	甕	胴部径 8.4 残高 6.5	細い頸部に小さな胴部の中位に凹線3条と幅広の刺突文を施す。	回転ナデ	① 回転ナデ ② ナデ	暗青灰色 青灰色	密 ◎	F 4 区	
1174	甕	残高 4.1	外傾する口縁部は段をもつ。	回転ナデ	回転ナデ	黒灰色 灰白色	長(1~4) ◎	F13区	
1175	横瓶	口径 12.0 胴部径 33.1 残高 24.0 25.9	外反して屈曲する短い口頸部。口縁外面にナデによる凹線。	① 回転ナデ ② 上カキ目 ③ 平行タタキ	① 回転ナデ ② 円弧タタキ	青灰色 黒青灰色	密・長(1~3) ◎	F 4 区 G13・15区 H15区	23
1176	提瓶	口径(7.9) 胴部径 20.8 残高 10.0 15.1	外反して屈曲する短い口頸部。端部はナデにより凹み丸い。	① 回転ナデ ② カキ目	① 回転ナデ ② 円弧タタキ	灰褐色 灰色	長(2) ◎		

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1①層出土遺物観察表 土製品

(5)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1177	埴瓶	残高 10.0	カギ状の短い把手。	カキ目	回転ナデ	灰色 青灰色	密 ◎	F 4 区	
1178	瓶	口径(9.4) 残高 5.0	外傾する口縁部の端部は細く丸い、外面に凸線1条。	回転ナデ	回転ナデ	黒灰色 黒灰色	長(2) ◎	F13区	
1179	器台	口径(39.0) 残高 3.5	外反する口縁部。凸線2条と波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F 7 区	
1180	器台	底径(26.0) 残高 12.5	脚部。2条1組の凸線を3ヶ所。10条の波状文を4ヶ所。三角形の透かしが6方向3段残る。	カキ目	回転ナデ	青灰色 青灰色	長(1~4) ◎	G14区	
1181	器台	底径(23.2) 残高 3.8	脚部の小片。2条の凸線と波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰褐色	長(1~2) ◎	F 6 区	
1182	壺	残高 12.0	丸い底部。胴部は粘土巻上げ痕が顕著で凸凹している。口縁部欠。	◎ヨコナデ ◎ナデ	ナデ 指頭痕	赤橙色 浅赤橙色	石・長(1~2) 褐色粒・金 ◎	D13区	
1183	壺	底径 3.0 残高 6.6	手捏風で外面に凸凹がある。	ヨコナデ ナデ 指おさえ	ヨコナデ ナデ 指おさえ	乳褐色 乳灰褐色	石・長(1~2) 赤・金 ◎	F 5 区 赤色顔料	
1184	鉢	口径(12.4) 残高 4.1	「く」の字状の口縁。端部は丸い。器壁が薄い。	◎ヨコナデ ◎ヨコナデ→ 工具痕	◎ナデ ◎ヨコナデ ミガキ	橙灰褐色 橙灰褐色	密 ◎	E13区	
1185	高坏	底径 9.2 残高 8.3	中実の柱部は面取をし八角柱状である。	マメツ	マメツ	乳橙色 乳白橙色	石(3) 金 ◎	F 5 区 赤色顔料	
1186	高坏	残高 9.9	中実の柱部は面取をしている。	ミガキ 面取り痕	ケズリ	橙黄褐色 橙黄褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F 6 区	
1187	高坏	残高 10.8	中実の柱部は面取をしている。	マメツ 面取り痕	マメツ	橙黄色 橙黄色	長(1~2)砂 ◎	F 5 区	
1188	高坏	残高 8.3	中実の柱部。	不明	ナデ	乳黄色 乳橙色	石・長(1) 赤 ◎		
1189	甌	残高 5.5	内湾する把手の上部に溝あり。	ナデ 指おさえ ナデ・ハケ(p=7cm)	ナデ	暗灰褐色 暗褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F13区	
1190	製塩土器	残高 4.0	直立する胴部。	タタキ	ナデ 指おさえ	乳黄灰褐色 褐色	石・長(1~2) ◎	F13区	
1191	甕	残高 3.9	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	乳赤白色 乳黄色	石・長(1) 赤・金 ◎	F 6 区	
1192	甕	残高 3.4	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	黄灰褐色 黄橙褐色	長(1~2) ◎	F 5 区	
1193	甕	残高 3.0	軟質土器の胴部片。	斜格子タタキ	平行タタキ→ナデ	乳黄褐色 乳黄褐色	石・長(1) 赤 ◎	F 6 区	
1194	甕	残高 2.3	軟質土器の胴部片。	斜格子タタキ	ナデ	灰黄褐色 黄橙褐色	長(1~2) ◎	F 6 区	
1195	甕	残高 2.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	灰橙褐色 橙灰色	密 ◎	E 4 区	
1196	フイゴ羽口	長軸 4.8 短軸 6.0 孔径 2.0	小片。器面に鉄滓が付着している。	不明	不明	黒褐色 乳橙色	長(1~2) ◎	E 3 区 F 4 区	
1197	フイゴ羽口	長軸 5.0 短軸 3.6 孔径 2.8	小片。内面に線状痕が有る。	不明	不明	灰白色 乳黄色	石・長(1) ◎	F 4 区	
1198	土錘	長軸 9.2 短軸 3.7 孔径1.8~1.9	外面に粘土をにぎりしめて成形した指形が見られる。中空の大型品か。	ナデ 指おさえ	ナデ	乳赤白色 乳赤白色	石・長(1~2) 赤・金 ◎		
1199	土錘	長軸 4.6 短軸 3.2 孔径1.0~1.2	中空の大型品か。	ナデ ハクリ		乳灰褐色 灰褐色	石・長(1~2)角 ◎	F 6 区 黒斑	
1200	土錘	長軸 5.5 短軸 2.9	紐をかける袂り有り。	ナデ 指おさえ		褐色	石・長(1~2) 金 ◎	E13区	
1201	分銅型土製品	長軸 6.0 短軸 3.3 器厚 1.4	完形品。小型の長方形を指おさえによりくびれ部を作り出す。	ナデ 指おさえ		乳灰白色	石・長(1) 赤 ◎	F 6 区	23

出土遺物観察表

SR1①層出土遺物観察表 土製品

(6)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1202	壺	口径 (8.4) 残高 9.1	長頸壺の口縁部片。端部は先細りする。8~10条の沈線文を4ヶ所に施す。	㊸ ナデ ㊹ ハケ→ミガキ	㊺ マメツ ㊻ ナデ	淡黄褐色 淡黄白色	石・長(1~2) ◎		
1203	甕	口径(15.0) 残高 4.0	屈曲して外反する口縁部。山陰系。	ヨコナデ	㊼ ヨコナデ ㊽ ケズリ	淡茶色 淡灰黄色	石・長(1~2) ◎		23

表13 SR1①層出土遺物観察表 石製品

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	最大厚 (cm)	重さ (g)		
1204	スクレイパー		サヌカイト	3.9	3.0	0.9	11.720	F 1 3 区	
1205	石 錘	完 形	緑 色 片 岩	13.0	7.0	0.9	144.00	F 1 2 区	
1206	石 棒		緑 色 片 岩	9.1	6.7	3.6	248.95	E 1 5 区	
1207	敲 石	完 形		12.4	6.2	4.2	450.00	F 5 区	
1208	敲 石			8.3	6.8	4.3	368.00	F 7 区	
1209	磨 石	完 形		10.8	6.5	2.8	347.00	F 5 区	
1210	砥 石			4.5	6.0	4.4	220.00	F 5 区	
1211	台 石		安 山 岩	10.6	10.9	3.3	518.00	F 5 区	
1212	残 核	完 形	緑 色 片 岩	13.1	6.6	2.7	271.00	F 7 区	
1213	石 核	完 形	サヌカイト	4.4	3.0	2.3	39.661	F 6 区	
1214	素 材		チャート	3.9	2.3	1.1	14.653	F 4 区	
1215	石 庖 丁		緑 色 片 岩	5.4	1.4	0.7	7.41		
1216	両 刃 石 斧			9.1	5.9	3.5	316.00	C 1 3 区 <small>(石質不明)</small>	
1217	両 刃 石 斧		緑 色 片 岩	12.2	6.5	2.0	265.64	F 6 区	
1218	扁平片刃石斧		結 晶 片 岩	2.7	2.6	1.0	11.608	F 7 区	
1219	扁平片刃石斧?		緑 色 片 岩	8.0	3.8	0.7	23.442	F 4 区	
1220	柱状片刃石斧		緑 色 片 岩	9.4	4.3	3.3	246.36	F 6 区	
1221	紡 錘 車	完 形	滑 石	(径) 3.5	(穴径) 0.7	1.8	31.064	F 3 区	23
1222	勾 玉	完 形	滑 石	4.9	2.4	0.9	17.421	D 1 3 区	23

表14 SK1出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1223	壺	胴部径 48.4 残高 21.0	胴部と口縁部を分ける頸部に段をもち、口縁部は内傾する。底部は打ち欠いている。	ミガキ	マメツ	乳白黄色 乳白黄色	石・長(1~3) 金 ◎	黒斑	24

表15 SK10出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1224	蓋	底径(39.2) 残高 24.7	鉢の転用品。口縁部はゆるやかに外上方に折曲げ、端部は「コ」の字状に丸味をもつ。	ミガキ	ミガキ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) 金・赤 ◎		24
1225	壺	底径(13.6) 残高 67.3	内傾する頸部に1条の沈線文。胴部に3条の沈線文を施す。	ミガキ	ミガキ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~5) 金 ◎		24

表16 SR1-SD1出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1226	甕	底径 (3.9) 残高 2.6	上げ底の小さな底部。	マメツ	マメツ	乳白色 乳白色	石・長(1~4) ◎		

表17 SR1-SD3出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1227	甕	口径(24.6) 残高 3.8	口縁部ははがれている。口縁下部に沈線文が10条残る。	ナデ	ナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~4) ◎		

船ヶ谷遺跡4次調査

SR1-SD3出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1228	甕	底径 5.0 残高 7.3	上げ底。	㊸ミガキ ㊹ナデ	マメツ	乳橙色 乳褐色	石・長(1~5) ◎		
1229	壺	残高 6.8	なで肩の胴部。外面に刺突文を1条施す。	不明	絞り痕 ナデ	乳白色 乳灰白色	石・長(1~2) 赤 ◎		
1230	壺	残高 7.1	外反する口縁部。頸部に貼付け凸帯が1条残る。	ナデ	ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~2) 角・赤 ◎		
1231	壺	残高 3.8	頸部片。外面に沈線文と刺突文を施す。	ハケ→ナデ	ナデ	乳白黄色 乳白黄色	石・長(1~2) ◎		

表18 SK11出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1232	壺	底径(6.0) 残高 5.2	平底。	㊸ミガキ ㊹ナデ	ミガキ	褐色 乳赤橙色	石・長(1~3) ◎		
1233	鉢	残高 1.9	水平に短く折り曲げる口縁部。	マメツ	マメツ	乳黄橙色 乳白色	石・長(1) 赤 ◎		

表19 SR1-SD2出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1234	壺	口径(17.6) 残高 2.8	外傾する口縁部の小片。口端面にキザミ目を施す。	ナデ	ナデ	乳白色 乳白色	粗石・長(1~2) 赤 ◎		
1235	壺	口径(16.4) 残高 3.9	外反する口縁部。口端面に沈線文1条を施す。	㊸ヨコナデ ㊹マメツ	㊸ヨコナデ ㊹マメツ	乳白色 乳白色	石・長(1~4) 金 ◎		
1236	壺	残高 2.5	口縁部の小片。外面に沈線文を施す。	マメツ	マメツ	乳黄色 乳黄色	長(3) ◎		

表20 SK9出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1237	甕	残高 2.5	頸部外面に櫛描きによる波状文を1条施す。	ハケ(6本/cm)	ナデ 指頭痕	乳灰黄色 暗灰黒色	石・長(1~5) ◎		24
1238	甕	底径(3.2) 残高 3.6	平底。	㊸タタキ→ハケ (11本/cm) ㊹タタキ	ハケ ナデ	茶褐色 茶褐色	石・長(1~3) ◎		
1239	壺	底径 5.5 残高 21.9	平底の底部より内湾しながら立ち上がる胴部。	㊸ハケ→ヘラミガキ ㊹指おさえ	㊸上ヘラケズリ ㊸下ナデ 指頭痕	乳黄橙色 乳黄色	石・長(1~5) ◎		黒斑
1240	壺	残高 4.4	肩部小片。外面に櫛描き沈線文と竹管状の工具による刺突文を施す。	施文	ナデ	乳灰白色 灰白色	石・長(1~2) 赤 ◎		
1241	高坏	残高 16.8	直立する柱部。円孔を4方向、2段に施す。	㊸上ヨコナデ マメツ ㊸下ハケ→ミガキ	㊸ナデ ㊸上絞り痕 ㊸下ナデ ヨコナデ	乳黄赤色 乳黄灰色	石・長(1~3) ◎		黒斑 24

表21 SK4出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1242	甕	残高 2.6	外反する口縁部。端部は丸味をもつ。	ヨコナデ	ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~3) ◎		
1243	壺	口径(16.2) 残高 3.6	大きく外反する口縁部。端部は肥厚され端面は凹む。	ハケ→ヨコナデ ハケ(10本/cm)	㊸ヨコナデ ㊹ナデ	乳黄色 乳白色	石・長(1~3) ◎		
1244	壺	底径 3.5 残高 8.0	丸味をもつ小さな平底。	ハケ(4~5本/cm)	ナデ	乳黄色 灰褐色	石・長・角(1~5) 赤 ◎		黒斑
1245	壺	残高 3.5	複合口縁壺の拡張部。外面に沈線文と波状文を施す。	施文	指頭痕 ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~2) 赤 ◎		
1246	高坏	残高 1.5	坏底部。	ナデ	ナデ	乳黄色 乳白色	石・長・角(1) 金・赤 ◎		
1247	高坏	残高 7.3	脚部。円形(径1.5cm)透かしを4方向に施す。	ナデ ミガキ→ナデ	㊸マメツ ㊸上絞り痕 ㊸下ナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) ◎		

出土遺物観察表

表22 SK4出土遺物観察表 石製品

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1248	磨石	完形		3.6	2.7	2.1	30.719		

表23 SK18出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1249	壺	底径 7.3 残高 12.9	平底。	①上ハケ(8本/cm) ②下ミガキ ③ナデ	ケズリ	乳黄灰色 乳黄色	石・長(1~5) 金 ◎		

表24 SK7出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1250	壺	口径(11.4) 残高 4.9	直線的に伸びる口縁部は端部手前で外反する。口端部は先細りする。	①ヨコナデ ②ハケ(6本/cm)→ ミガキ	①ヨコナデ ②ハケ(6本/cm)	乳白色 乳黄色	石・長(1)・赤 ◎		
1251	壺	口径(12.0) 残高 4.8	直線的に伸びる口縁部は端部手前で外傾する。口端部は指おさえにより外方に肥厚さす。	①指おさえ ②指おさえ、ナデ ハケ(7~9本/cm)	ナデハケ(6~9本/cm) 指頭痕	乳黄色 乳黄色	密・石・長(1~3) 赤 ◎		
1252	壺	口径(17.1) 残高 4.9	「く」の字状の複合口縁。口端部は平坦な面をもつ。	①ヨコナデ ②ハケ→ナデ ③ハケ(5本/cm)	①ハケ→ナデ ②ハケ(6本/cm)	乳黄色 乳黄色	石・長(1~3) ◎	黒斑	
1253	甕	口径(18.0) 残高 3.9	外傾する口縁部。	ヨコナデ	マメツ	乳赤色 乳灰白色	石・長(1~2) 赤 ◎		

表25 SK7出土遺物観察表 石製品

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1254	磨石	完形	結晶片岩	3.3	3.3	2.2	32.021		
1255	台石	ほぼ完形	結晶片岩	16.2	15.5	8.7	2,350.00		

表26 SK7出土遺物観察表 木製品

番号	器種	遺存状態	樹種	法量				木取り	備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	直径(cm)			
1256	泥よけ	ほぼ完形	コナラ属 アカガシ亜属	48.1	25.1	4.7			25	

表27 SK15出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1257	甕	口径(17.2) 残高 15.0	外傾する口縁部に肩の張らない胴部。口端部は先細りでシャープな作り。	①ナデ ②ハケ(6~9本/cm) ③タタキ→ハケ (6~9本/cm)	①ナデ ②ハケ(6~8本/cm) 指頭痕	乳白色 乳黄色	石・長(1~4) ◎	黒斑	
1258	甕	口径(15.7) 残高 8.0	外反する口縁部の端部はわずかに凹む。	①ヨコナデ ②ハケ(8~13本/cm) →ナデ ③タタキ	①ヨコナデ ②ハケ(11~14本/cm) →ナデ ③指頭痕	乳褐色 乳褐色	石・長(1~2) 金 ◎		
1259	甕	底径(2.7) 残高 4.9	丸味をもつ平底。	①ハケ(5~8本/cm) ②指おさえ ナデ	①ハケ(6本/cm) ②指おさえ ナデ	灰褐色 暗黒褐色	石・長(1~2) 金 ◎	煤付着	
1260	甕	底径 4.9 残高 3.8	平底。	①ハケ(6~8本/cm) ②ハケ→ナデ ハケ(7本/cm)	①ケズリ ②ナデ	乳黄茶色 乳黄茶色	石・長(1~2) 金 ◎	黒斑	
1261	甕	底径 3.3 残高 2.8	小さな平底。	①タタキ ②ナデ	ハケ(7本/cm)	乳黄色 乳黄色	石・長(1~6) ◎		
1262	壺	口径(14.4) 残高 3.9	外反する口縁部の端部は丸い。	①ヨコナデ ②ハケ(4~5本/cm) →ヨコナデ	①ハケ→ナデ ②ハケ(4~5本/cm)	乳黄色 乳黄色	長(1~2) 赤 ◎		
1263	壺	残高 2.8	頸部に斜格子文を施した凸帯を1条貼付ける。	ハケ(5本/cm)	ハケ(5~7本/cm) ハケ→指頭痕	乳黄色 乳黄色	石・長(1~2) 金 ◎		
1264	壺	底径 5.1 残高 5.9	丸味をもつ平底。	①タタキ→ハケ (7~9本/cm) ②ナデ	①ハケ(9~11本/cm) ②ハケ→指頭痕 ナデ	黒灰色 乳黄色	石・長(1~3) 金・赤 ◎	黒斑	
1265	壺	底径(4.6) 残高 2.5	平底。	①ミガキ ②ナデ	ナデ	乳黄色 乳白色	石・長(1~3) 赤 ◎		
1266	鉢	口径(17.6) 残高 2.2	外反する口縁部の端部は「コ」の字状である。	①ナデ ②タタキ→ナデ ハケ(9~10本/cm)	①ハケ(10本/cm) ②ナデ	乳橙褐色 乳橙褐色	石・長(1~4) 金・赤 ◎		
1267	鉢	口径 13.1 器高 6.2	直口口縁。口端部はわずかに凹む。	①ナデ ②タタキ→ナデ ③タタキ→ヘラ状 工具によるナデ	ハケ(6~7本/cm)	乳白色 乳黄色	密・石・長(1) 赤 ◎	黒斑	

船ヶ谷遺跡4次調査

SK15出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1268	鉢	口径 (19.2) 残高 4.4	直口口縁。口端部は外方向に面をもつ。	① ナデ ② ハケ→ヨコナデ ハケ(5本/cm)	① ナデ ② ハケ(4~6本/cm) →ミガキ	乳黄色 乳白橙色	石・長(1~3) ◎		
1269	鉢	口径 (10.9) 残高 2.6	直口口縁。口端部はやや内傾しわずかに凹む。	① ヨコナデ ② ハケ→ヨコナデ ハケ(8~11本/cm)	① ヨコナデ ② ハケ→ヨコナデ ハケ(10本/cm)	褐色 褐色	石・長(1~2) ◎		

表28 SK13出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1270	甕	口径 18.7 残高 7.7	外反する口縁部の端部は外方向に面をもつ。	① ヨコナデ ② ハケ(4~5本/cm)	① ヨコナデ ② ハケ(4本/cm) ナデ→ハケ	黒色 乳黄色	石・長(1~4) ◎	煤付着	
1271	甕	口径 (16.6) 残高 7.9	口縁部は外傾し胴部は張り出さない。口端部は外方向に肥厚される。	① ヨコナデ ② ハケ(3本/cm) ③ ハケ(3本/cm)	① ハケ(3~4本/cm) ② ハケ(3~4本/cm) →ナデ	褐色 乳黄色	石・長(1~5) ◎		
1272	甕	口径 (13.8) 残高 7.8	外傾する口縁部の端部は丸味をおびる。	① ヨコナデ ② ハケ→ナデ ③ マメツ	① ヨコナデ ② ハケ(11本/cm) ③ ケズリ	橙褐色 乳橙褐色	石・長(1~4) 金 ◎		
1273	甕	口径 (17.0) 残高 5.2	外傾する口縁部の端部は丸くおさめる。	① ヨコナデ ② ハケ(4~5本/cm) →ヨコナデ ③ ハケ(4~5本/cm)	① ハケ→ヨコナデ ② ハケ(4~5本/cm)	乳白色 乳白色	石・長(1~3) 金・赤 ◎		
1274	甕	口径 (21.4) 残高 4.2	外傾する口縁部の端部は肥厚する。	① ヨコナデ ② 指おさえ ③ ハケ(5~6本/cm) ヨコナデ	① ヨコナデ ② ハケ(5~6本/cm)	乳黄色 乳黄色	石・長(1~4) 金 ◎	黒斑	
1275	甕	口径 (15.2) 残高 4.7	頸部内面に明瞭な稜をもち外傾する口縁部。端部は外方向に平坦面をもつ。	① ヨコナデ ② ハケ(10~13本/cm) ③ ハケ(5本/cm) ④ ハケ(10~13本/cm)	ハケ(6~11本/cm)	黒灰色 乳白色	石・長(1~5) 金 ◎	煤付着	
1276	甕	口径 (17.6) 残高 4.3	外反する口縁部。	① ヨコナデ ② ハケ(5~6本/cm)	ハケ(5~7本/cm)	淡茶褐色 赤褐色	石・長(1~3) 金 ◎		
1277	甕	口径 (19.8) 残高 4.3	口縁端部は外方向に面をもつ。	① ナデ ② ハケ(6~8本/cm)	ハケ(7本/cm) ナデ	乳灰黄色 乳黄色	石・長(1~2) 金 ◎		
1278	甕	口径 (15.3) 残高 2.4	外反する口縁部。端部は面をもちやや凹む。	① ヨコナデ ② 指頭痕 ③ ハケ(11~15本/cm)	① ヨコナデ ② ハケ(10本/cm) →ヨコナデ	乳褐色 乳褐色	石・長(1~2) ◎	煤付着	
1279	甕	底径 3.1 残高 18.0	小さな平底からゆるやかに立ち上がる胴部。	① ハケ(5~7本/cm) ② ナデ	① ハケ→ナデ ② ナデ 指頭痕	乳黄色 乳黄灰色	石・長(1~2) 金 ◎	煤炭化物付着	
1280	甕	底径 3.1 残高 19.6	わずかに段をもつ小さな平底からゆるやかに立ち上がる胴部。	① タタキ→ハケ (8~12本/cm) ② ハケ(8~12本/cm) ③ ナデ ④ ナデ	① ハケ(8~13本/cm) ② ナデ	乳黄灰色 乳黄色	石・長(1~5) 赤 ◎	煤付着	
1281	甕	底径 (3.0) 残高 7.1	小さな平底。	① ハケ ② ハケ(6本/cm) ③ タタキ ④ ナデ	ナデ 指頭痕	乳黄色 乳黄色	石・長(1~3) ◎	黒斑	
1282	甕	底径 (2.4) 残高 5.3	丸味をもつ小さな底部。	タタキ	① ハケ(8本/cm) →ナデ ② ナデ	乳灰黄色 黒灰褐色	石・長(1~6) 金 ◎		
1283	壺	口径 (11.5) 底径 (4.4) 器高 32.9	丸味をもつ平底の底部にやや長めの胴部に内湾気味に直線的に立ち上がる短い口縁部。	① ヨコナデ ② ハケ(5本/cm) ③ マメツ (一部ハケ)	① ハケ(9~10本/cm) ヨコナデ ② ナデ	暗褐色 暗褐色	石・長(1~3) 金 ◎	黒斑	26
1284	壺	口径 (16.4) 残高 28.1	肩の張る胴部に直線的に立ち上がり端部手前で外反する口縁部をもつ。	① ハケ(8本/cm) →ヨコナデ ② タタキ→ハケ (11~15本/cm)	① ヨコナデ ② ナデ ③ ケズリ	乳白色 乳白色	石・長(1~3) 金・赤 ◎	黒斑	
1285	壺	口径 (17.0) 残高 2.9	外反する口縁部。	ハケ→ヨコナデ	ハケ→ヨコナデ	乳白色 乳白色	石・長(1) ◎		
1286	壺	口径 (17.4) 残高 5.9	わずかに外反する口縁部。	① ヨコナデ ② ナデ ハケ(5~15本/cm)	① ヨコナデ ② ハケ(6~9本/cm)	灰褐色 灰褐色	石・長(1~2) 金 ◎		
1287	壺	口径 (12.0) 残高 4.2	直立する口縁部の端部は水平な面をもつ。	ハケ(8~10本/cm) →ヨコナデ	① ハケ(7~8本/cm) →ヨコナデ ② ハケ	乳橙褐色 乳褐色	石・長(1~3) 金 ◎		
1288	壺	口径 (12.2) 残高 8.4	直線的に伸びる長い口縁部。	① ヨコナデ ② ハケ→ミガキ	① ハケ→ヨコナデ ② ハケ→ヨコナデ ハケ(9~10本/cm)	乳黄色 乳黄灰白色	石・長(1~5) 赤 ◎		
1289	壺	残高 13.3	頸部から肩部はなだらかな曲線を描く。	ミガキ	① ナデ ② 指頭痕 ナデ上げ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~3) ◎	黒斑	
1290	壺	残高 5.7	頸部に1条の貼付凸帯を施し櫛状工具による斜格子文を施す。	ハケ(4~5本/cm)	ハケ(5~7本/cm)	乳黄褐色 暗褐色	石・長(1~3) 金 ◎		
1291	壺	残高 2.0	口端部を上下に拡張し端面に波状文を施す。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳橙色 乳黄色	石・長(1~2) 赤 ◎		

出土遺物観察表

SK13出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1292	壺	口径 (13.5) 残高 5.9	「く」の字状に短く伸びる複合口縁壺。	⑩ヨコナデ ⑪ハケ(8本/cm) →ナデ	⑫ハケ→ナデ ⑬ナデ ⑭ハケ(7本/cm) ⑮ナデ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~3) 金 ◎		
1293	壺	口径 (10.0) 残高 11.4	球形の胴部に短く内湾する口縁部。	⑩ヨコナデ ⑪ハケ(5~6本/cm) →ナデ	⑩ヨコナデ ⑪ハケ(5~6本/cm) 板状工具によるナデ	赤橙色 乳灰白色	石・長(1~5) 金・赤 ◎	煤付着	
1294	壺	残高 2.4	口縁部小片。口端面上下に貝殻によるキザミ目文を施す。	ヨコナデ ナデ ハケ	ヨコナデ	乳黄色 乳黄茶色	石・長(1~2) ◎		
1295	壺	残高 2.1	複合口縁壺。口縁部小片。外面に波状文を施す。	施文	ハケ	乳白色 乳白色	石・長(1~3) 金 ◎		
1296	壺	残高 2.2	肩部小片。貝殻による弧文を施す。	ハケ(6本/cm)	不明	乳黄色 乳黄色	石・長(1~2) ◎		
1297	壺	底径 (4.6) 残高 22.9	わずかに突出する平底。胴部はゆるやかに立ち上がる。	ハケ(4~5本/cm) →ミガキ	ハケ(4~5本/cm)	乳褐色 黒灰褐色	石・長(1~4) ◎	黒斑	
1298	壺	底径 7.2 残高 9.2	丸味のある底部。	⑭タタキ→ハケ (5~6本/cm) ⑮指頭痕 ナデ	⑯ハケ(5~7本/cm) ⑰指頭痕 ナデ	褐色 褐色	石・長(1~4) ◎	黒斑	
1299	壺	底径 (8.2) 残高 8.0	やや上げ底気味の底部。大きく開いて立ち上がる胴部。	ハケ(15本/cm) →ミガキ	⑱ハケ(10~11本/cm) ⑲ハケ(10~11本/cm) →ナデ	乳白色 乳黄色	石・長(1~5) ◎		
1300	壺	底径 8.3 残高 8.0	丸味のある底部。大きく開いて立ち上がる胴部。	⑳ハケ(6本/cm) ㉑ナデ	㉒ハケ(9~10本/cm) ㉓ハケ→ナデ 指頭痕	乳茶色 乳灰色	石・長(1~4) ◎	黒斑	
1301	鉢	口径 (35.6) 残高 5.6	頸部内面に明瞭な稜をもち、強く外反する口縁部。	㉔ナデ ㉕ハケ(5~7本/cm)	ハケ(3~5本/cm)	乳黄色 乳黄橙色	石・長(1~2) 赤 ◎		
1302	鉢	口径 (26.6) 残高 8.6	外反する口縁部。頸部に貼付け凸帯を施しハケ工具による斜格子目文を施す。	㉖ヨコナデ ㉗ハケ(6本/cm) →ヨコナデ ㉘ハケ(6本/cm)	㉙ハケ(5~6本/cm) ヨコナデ ㉚ハケ(4~6本/cm)	乳黄褐色 乳黄褐色	石・長(1~2) 金・赤 ◎		
1303	鉢	残高 14.2	外反する口縁部をもつ。	ハケ(6~8本/cm)	㉛ハケ(リ) ㉜ハケ→ミガキ ㉝ハケ(6~7本/cm)	乳黄色 乳黄色	石・長(1~2) 金 ◎		
1304	鉢	残高 6.8	頸部に斜格子文を施した凸帯を1条貼付ける。	㉞ヨコナデ ㉟ハケ(6~8本/cm)	㊱ナデ ㊲ハケ(7~8本/cm)	乳黄色 乳黄色	石・長(1~3) ◎		
1305	鉢	口径 (20.1) 残高 5.1	外反する口縁部の端部は丸味をおびる。	㊳ヨコナデ ㊴ハケ→ナデ ㊵ミガキ	㊶ヨコナデ ㊷ミガキ	乳茶色 乳褐色	石・長(1~3) ◎		
1306	鉢	口径 (19.8) 残高 3.4	短く外反する口縁部。	㊸ハケ(6本/cm) →ヨコナデ ㊹ハケ→ミガキ	ミガキ	乳褐色 乳黄灰色	石・長(1) 赤 ◎		
1307	鉢	頸部径 (11.0) 残高 6.2	外反する口縁部は長い。	㊺ハケ(6本/cm) →ミガキ ㊻ハケ(6~7本/cm)	㊼ハケ→ヨコナデ ㊽ハケ	乳黄色 乳灰白色	石・長(1~3) ◎	赤色塗彩	
1308	鉢	頸部径 (12.0) 残高 5.5	外反する口縁部。	㊾ミガキ ㊿ミガキ→ナデ	ミガキ	乳黄色 乳色	石・長(1~5) 金 ◎		
1309	鉢	残高 4.7	頸部の屈曲が弱い外反口縁。	ハケ(8~9本/cm)	㊿ハケ(8本/cm) ㊿ハケ(8~9本/cm) →ナデ	乳灰白色 乳灰白色	石・長(1~2) ◎		
1310	鉢	口径 (23.4) 残高 6.4	直口口縁。端部はわずかに内傾する。	㊿ヨコナデ ㊿ミガキ ハケ→ミガキ	㊿ヨコナデ ㊿ハケ→ミガキ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~2) ◎	黒斑	
1311	鉢	口径 (21.0) 残高 7.4	直口口縁。	ハケ(4~5本/cm) →ナデ	ハケ(4~6本/cm) →ミガキ	乳褐色 乳褐色	石・長(1~2) 金 ◎		
1312	鉢	口径 (24.0) 残高 3.2	直口口縁。口端面は内傾する。	㊿ヨコナデ ㊿ハケ(10本/cm)	㊿ヨコナデ ㊿ハケ→ミガキ	乳灰褐色 灰褐色	石・長・角(1~2) ◎		
1313	鉢	口径 (18.3) 器高 9.3	丸味のある底部。口縁部は短くわずかに外反する。	㊿ナデ ㊿タタキ→ハケ (6~9本/cm)	ハケ(5~8本/cm)	乳褐色 乳褐色	石・長(1~5) 金・赤 ◎	黒斑	26
1314	鉢	口径 (14.4) 残高 4.3	直口口縁。口端部は肥厚さす。	㊿ヨコナデ ㊿タタキ	㊿ヨコナデ ㊿ハケ(5~6本/cm)	乳黄色 乳黄橙色	石・長(1~2) ◎		
1315	鉢	口径 10.4 底径 2.8 器高 6.3	直口口縁。底部は丸味をもちわずかに突出する。	㊿ハケ(4~8本/cm) ナデ ㊿指頭痕	㊿ハケ(6~7本/cm) ㊿ナデ	乳白色 乳黄色	長(1~4) ◎		26
1316	鉢	底径 3.5 残高 8.7	底部は指おさえにより上げ底状である。	㊿ドマメツ ㊿ハケ(4本/cm) ㊿ハケ→タタキ 指頭痕	㊿ヘラ状工具によるケズリ ㊿ナデ	赤褐色 乳黄褐色	石・長(1~3) ◎	黒斑	

船ヶ谷遺跡4次調査

SK13出土遺物観察表 土製品

(3)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1317	鉢	底径 4.2 残高 4.0	丸味をもち突出する底部。	⑧ ナデ ⑨ タタキ→ナデ ⑩ ナデ	ナデ	乳黄色 黒茶色	石・長(1~3) ○	煤付着	
1318	鉢	底径(2.0) 残高 3.5	小さく突出する底部。	⑧ ハケ(7本/cm) ⑨ ナデ	ハケ(6本/cm)	暗茶色 黒色	石・長(1~2) 金 ◎	黒斑	
1319	鉢	底径 1.3 残高 3.5	尖底状に丸い底部。	ハケ(6~7本/cm)	⑧ ハケ(5~8本/cm) ナデ ⑨ 指頭痕	乳黄色 乳灰黄色	石・長(1~4) 金 ◎	煤付着	
1320	鉢	底径 1.2 残高 2.9	小さく突出する底部。	⑧ ハケ(8本/cm) ⑨ 指頭痕	⑧ ハケ(8本/cm) ⑨ 指頭痕	乳色 乳色	石・長(1~2) 金 ◎		
1321	鉢	底径(2.8) 残高 3.4	丸底。	⑧ ハケ(13本/cm) ⑨ ナデ	⑧ ハケ ⑨ 指頭痕 ナデ	乳白色 乳灰白色	石・長(1~2) 赤 ◎		
1322	鉢	残高 7.0	櫛描沈線文(6条1組)2段と竹管文を3段に施す。	ミガキ ハケ	ミガキ	暗褐色 黒褐色	石・長(1~2) ◎		
1323	高坏	底径(25.4) 残高 1.6	大きく開く脚端部片。	⑧ ミガキ ⑨ ヨコナデ	ハケ→ヨコナデ	乳灰白色 乳白色	石・長(1~3) 赤 ◎		
1324	高坏	残高 12.8	柱部。円孔を3段以上4方向に施す。	ミガキ	ナデ 絞り痕	乳白橙色 乳白橙色	石・長(1~2) 赤 ◎		
1325	高坏	残高 14.3	柱部。円孔を3段に施す。	⑧ ハケ ハケ→ナデ ⑨ ハケ→ミガキ	⑨ ミガキ ⑩ 絞り痕 ナデ	乳茶色 乳色	石・長(1~3) 金 ◎	黒斑	
1326	甌	残高 14.8	頸部は弱い屈曲。	ハケ(5~7本/cm)	⑧ ハケ(3~5本/cm) →ミガキ ⑨ ケズリ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~3) 金・赤 ◎	煤付着	
1327	支脚	底径(12.8) 残高 6.8	「ハ」の字状に開く脚部。	⑧ ナデ ⑨ タタキ ⑩ ナデ ⑪ 指頭痕	⑧ ケズリ ナデ ⑨ 指頭痕	乳茶灰色 暗茶灰色	石・長(1~2) ◎		
1328	支脚	残高 4.6	角部。	指おさえ ナデ ハケ(6~9本/cm)		乳灰白色	石・長(1~4) ◎		
1329	甕	口径(17.6) 残高 2.5	内湾気味に立ち上がる口縁部。口端面は内傾する。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1) ◎	煤付着	
1330	甕	口径 12.8 器高 27.2	球形の胴部から底部に直立気味に内湾する口縁部の端部は丸味をもつ。	⑧ ヨコナデ ⑨ ハケ→ナデ ⑩ ハケ(5~6本/cm) ⑪ ハケ→ナデ	⑧ ヨコナデ ⑨ ケズリ	黄褐色 黄褐色	石・長(1~2) ◎	黒斑	26
1331	壺	胴部径(9.8) 残高 8.2	球形の胴部。口縁部は直線的に立ち上がる。	⑧ マメツ ⑨ ケズリ	⑧ ヨコナデ ⑨ 指頭痕→ナデ ⑩ ケズリ	乳灰白色 黒灰色	石・長(1~3) ◎		
1332	高坏	口径(19.9) 残高 7.5	段をもち外上方に伸びる坏部。口端部は先細りし丸い。	⑧ ヨコナデ ⑨ マメツ	⑧ ヨコナデ ⑨ マメツ	乳白色 乳白色	石・長(1~3) ◎		
1333	高坏	口径(19.8) 残高 5.4	不明瞭な稜をもち外上方に伸びる坏部。端部はナデにより面をもつ。	⑧ ヨコナデ ⑨ マメツ	⑧ ヨコナデ ⑨ ミガキ→ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~3) 金 ◎		
1334	高坏	口径(20.2) 残高 4.1	坏部。口端部は丸味をもつ。	⑧ ヨコナデ ⑨ ハケ→ナデ	⑧ ヨコナデ ⑨ ハケ(8~9本/cm)	乳黄色 乳黄色	石・長(1~3) 金 ◎		
1335	高坏	底径 9.8 残高 6.8	脚部。脚裾部で稜をもち短く開く。	⑧ ヨコナデ ハケ ⑨ ナデ ⑩ ヨコナデ	⑧ 絞り痕 ⑨ ケズリ ⑩ ヨコナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~3) 金 ◎		
1336	壺	胴部径 8.7 残高 8.3	球形の胴部。ミニチュアか?	⑧ ナデ ⑨ ハケ(7本/cm) ナデ ⑩ ハケ(3本/cm)	⑧ ナデ ⑨ 指頭痕 ⑩ ナデ・指頭痕	乳黄色 乳黄灰色	石・長(1~3) 金 ◎	黒斑	
1337	ミニチュア	口径(7.8) 残高 2.9	外傾する口縁部。口端部は丸味をもつ。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳灰褐色 乳灰褐色	石・長(1~2) ◎		
1338	ミニチュア	口径 5.9 器高 7.8	頸部から口縁部は指おさえで成形する。口端部は尖り気味である。手握土器。	指おさえ ナデ	指おさえ→ヨコナデ ナデ上げ→ヨコナデ	灰褐色 灰褐色	石・長(1~4) 金 ◎	炭化物	
1339	ミニチュア	口径 4.6 器高 5.4	口縁端部は尖り気味である。手握土器。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~3) 金 ◎	炭化物	
1340	ミニチュア	口径 5.2 器高 4.6	手握土器。鉢形。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	乳黄褐色 乳黄色	石・長(1~2) 金 ◎	黒斑	
1341	ミニチュア	口径 6.2 器高 3.7	平底。手握土器。鉢形。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~2) 赤 ◎	黒斑	

出土遺物観察表

SK13出土遺物観察表 土製品

(4)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1342	ミチユフ	口径 (5.8) 器高 2.2	手捏土器。鉢形。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~2) ◎		

表29 SK13出土遺物観察表 石製品

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版	
				長さ (cm)	幅 (cm)	最大厚 (cm)	重さ (g)			
1343	敲	石	完形	11.0	8.5	7.0	865.00			
1344	石	鎌	結晶片岩	8.4	5.3	0.8	41.211		26	
1345	砥	石	完形	結晶片岩	16.8	9.2	6.6	1,605.00		
1346	残	核		サヌカイト	4.3	3.3	3.5	54.259		
1347	残	核		サヌカイト	4.4	4.9	1.6	35.60		

表30 SK13出土遺物観察表 木製品

番号	器種	遺存状態	樹種	法量				木取り	備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	直径 (cm)			
1348	鍬		コナラ アカガシ属	21.1	6.0	1.1			26	
1349	鍬		コナラ アカガシ属	19.65	5.75	0.8			26	
1350	不明		コナラ アカガシ属	46.8	20.0					

表31 SK19出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1351	壺	口径 (13.9) 残高 2.0	外反する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。	㊶ヨコナデ ㊷ナデ 指頭痕	㊸ヨコナデ ㊹ハケ→ナデ	乳茶色 乳色	石・長(1~2) 金 ◎		
1352	壺	口径 (15.1) 残高 1.2	口縁部片。口端部強いナデにより凹む。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳褐色 乳褐色	石・長(1~2) ◎		
1353	鉢	口径 (21.8) 残高 3.7	直口口縁。口端面は外傾する。	マメツ	ナデ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~2) ◎		
1354	鉢	口径 (14.0) 残高 4.0	短く外反する口縁部。口端部は丸味をもつ。	㊺ヨコナデ ㊻ハケ→ナデ ㊼ハケ(4~5本/cm)	㊽ヨコナデ ㊾ハケ→ナデ ㊿ハケ(3~6本/cm)	乳褐色 乳褐色	石・長(1~2) 金 ◎		
1355	鉢	底径 (2.2) 残高 2.5	ボタン状に突出する底部。	㊽板状工具によるナデ ㊾ハケ→ナデ	ハケ→ミガキ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~2) 金・赤 ◎		
1356	高 坏	残高 8.9	柱部。円孔を施す。	㊿ハケ→ナデ ㊽ハケ→ミガキ	㊾ミガキ ㊿絞りの痕 ナデ→ヨコナデ ナデ→ヨコナデ ハケ→ナデ	乳橙褐色 乳褐色	石・長(1~3) 金 ◎		

表32 SK20出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1357	甕	口径 (20.0) 残高 10.5	外反する口縁部。口端部は強いナデにより下方に肥厚さす。	㊶ヨコナデ ㊷ハケ(6~7本/cm) ㊸ヨコナデ ㊹タタキ→ハケ (6~7本/cm)	㊺ヨコナデ ㊻ハケ(5~6本/cm)→ ヨコナデ(指頭痕) ㊼ハケ(5~6本/cm)	乳黄褐色 乳灰白色	石・長(1~3) 金・赤 ◎		
1358	甕	口径 (13.7) 残高 2.6	外反する口縁部。口端部は「コ」の字状である。	ハケ(7本/cm)	㊽ハケ(8本/cm) ㊾ナデ	黄灰色 黄灰色	石・長(1~2) ◎		
1359	甕	底径 3.7 残高 5.3	丸味をもつ平底。	ハケ(11本/cm)	ハケ→ケズリ	黄黒色 黒色	砂・長(1~2) ◎	煤付着 黒斑	
1360	甕	底径 3.9 残高 5.5	丸味をもつ平底。	㊽ヨコナデ ㊾板状工具による タタキ ナデ	ナデ	黒色 黒茶褐色	石・長(1~2) ◎	煤付着	
1361	壺	残高 2.8	複合口縁壺。拡張部は剥離している。	ヨコナデ ハケ(5本/cm)	ハケ(5本/cm)	黄褐色 黄褐色	石・長(1~2) ◎		
1362	壺	残高 2.3	外反する口縁部の小片。	ナデ	マメツ	淡黄褐色 淡黄褐色	石・長(1~2) ◎		
1363	壺	残高 7.3	内傾する頸部に凸帯を1条貼付ける。	ハケ(4本/cm) ハケ→ミガキ	ハケ→ナデ ハケ(4~5本/cm)	乳白色 乳黄色	石・長(1~2) 金 ◎		
1364	高 坏	口径 (18.0) 残高 1.1	大きく開く口縁部。端部は拡張され波状文を施す。	ハケ(10本/cm)→ ミガキ	㊽ナデ ㊾ハケ→ミガキ	黄茶褐色 黄茶褐色	長(1~3) ◎		

船ヶ谷遺跡4次調査

SK20出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1365	高坏	底径(13.7) 残高 2.2	「ハ」の字状に開く脚裾部。	㊶ ハケ(8本/cm) →ミガキ ㊷ ヨコナデ	㊸ ハケ(7-8本/cm) →ヨコナデ ナデ	黄褐色土 黒黄褐色土	密 ◎	黒斑	
1366	高坏	残高 6.3	柱部。円形透かしが2段に残る。	ハケ→ミガキ	ハケ(11本/cm) ミガキ(マメツ)	乳黄色 乳白色	石・長(1~3) 金・赤 ◎		

表33 SK21出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1367	甕	口径(18.0) 残高 3.4	折り曲げ口縁。口縁下部にヘラ描沈線が9条残る。	ナデ	ナデ 指頭痕	黄灰褐色 黄茶褐色	砂・長(1~2) ◎		

表34 SK6出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1368	甕	口径(27.2) 残高 12.0	肩の張らない胴部。口縁部はわずかに外反して立ち上がり端部は丸味をもつ。	㊶ ハケ→ナデ ㊷ タタキ→ ハケ(5本/cm)	㊸ ハクリ ㊹ ナデ	乳黄橙色 乳黄橙色	石・長(1~2) 金 ◎		
1369	甕	残高 3.1	短く外反する口縁部。	ハケ→ナデ ハケ(8本/cm)	ヨコナデ	暗褐色 暗褐色	石・長(1~3) ◎		
1370	甕	残高 4.7	短く外反する口縁部。端部は「コ」の字状に丸い。	マメツ	マメツ	乳赤色 乳赤色	石・長(1~3) ◎		
1371	壺	口径(18.2) 残高 2.9	外反する口縁部の端部は拡張され端面に斜格子文を施す。	ヨコナデ ハケ(4本/cm)	ヨコナデ	乳白色 乳白橙色	石・長(1~3) ◎		
1372	壺	残高 1.9	複合口縁壺。	不明	ナデ	乳橙色 乳灰白色	長(1~4) 金・赤 ◎		
1373	壺	底径 6.8 残高 13.5	丸味をもつ底部から胴部。	㊶ ハケ(4-7本/cm) →ミガキ ㊷ マメツ・ハクリ	ハケ(7本/cm) →ナデ	乳黄橙色 乳黄橙色	石・長(1~2) 赤 ◎		
1374	壺	残高 3.8	底部。	タタキ→ナデ ナデ	ハケ(7本/cm)	乳黄色 灰褐色	石・長・角(1~4) ◎		
1375	鉢	口径(31.2) 残高 4.5	短く外反する口縁部。頸部内面に稜をもつ。	㊸ ヨコナデ ㊹ ハケ(5本/cm) →ナデ	㊺ ヨコナデ ハケ(4本/cm) →ナデ ㊻ ハケ(3本/cm)	暗褐色 黄灰色	石・長(1~3) ◎	黒斑	
1376	鉢	底径 3.8 残高 1.9	底部がやや突出する。	ハケ(10本/cm) →ナデ ナデ	ハケ(7本/cm) →ナデ	乳橙色 黒灰色	石・長(1~3) ◎		
1377	鉢	底径 12.3 残高 8.2	短く「ハ」の状に開く台部。端部は「コ」の字状に丸い。	㊼ ハケ(5本/cm) ㊽ ハケ→ナデ ㊾ 指頭痕	マメツ	褐色 乳赤色	石・長(1~4) ◎	黒斑	27
1378	支脚	口径 6.0 底径 4.8 器高 4.7	中実。やや凹みがある底部。受部は中央部が凹んでいる。	指おさえ →指ナデ		乳橙色	石・長(1~2) ◎		27
1379	支脚	底径 10.7 器高 14.2	角部をもつ。上部の穿孔は上部から下部に向かって貫通さず。	指頭痕 タタキ	指頭痕 ナデ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~5) 赤 ◎		27
1380	鉢	口径(13.2) 残高 3.5	わずかに内湾気味に立ち上がる口縁部。端部は面をもち「コ」の字状に丸い。	ヨコナデ ハケ→ヨコナデ	ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~2) ◎		
1381	坏身	口径(11.7) 残高 2.9	受部は短く水平に伸び、立ち上がりは外反気味に内傾する。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎		

表35 SK8出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1382	甕	口径(16.2) 残高 5.4	外反する口縁部の端部は面をもつ。器壁は薄い(2mm)。	㊿ ヨコナデ ㊽ ハケ(7-8本/cm) →ヨコナデ	㊾ ヨコナデ ㊿ ケズリ	乳白色 乳白色	石・長・角(1) 金 ◎		
1383	甕	口径(13.4) 残高 4.9	外傾する口縁部の端部は肥厚され面をもちナデによりやや凹む。	マメツ	㊿ ヨコナデ ㊽ ケズリ	乳白色 乳白色	石・長・角(1~2) 金・赤 ◎	黒斑	
1384	甕	口径(17.6) 残高 2.8	わずかに外反する口縁部の端部は丸味をもつ。	㊿ ヨコナデ ㊽ ハケ(6-7本/cm) →ナデ	ハケ→ナデ	乳褐色 乳橙褐色	石・長(1~3) ◎		
1385	甕	残高 5.6	胴部片。外面に沈線文、波状文と刺突文を施す。	ハケ→ミガキ	ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~2) ◎	黒斑	

出土遺物観察表

SK8出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1386	壺	口径 (15.2) 残高 2.6	外上方に開く口縁部。端部は肥厚され面をもちやや凹む。	①ヨコナデ ②ハケ(4本/cm) →ヨコナデ	ヨコナデ	赤橙色 乳白色	石・長・角(1) 金 ◎		
1387	壺	残高 3.9	頸部から胴部の小片。外面に櫛描き沈線文と斜方向の櫛描文を施す。	施文	ナデ	乳橙色 乳白橙色	石・長(1~3) ◎		
1388	壺	残高 2.5	肩部の小片。外面に断面「M」字状の凸帯を1条貼り付ける。	ミガキ ナデ	ハクリ	乳灰白色 乳灰白色	石・長(1) ◎		
1389	壺	底径 3.1 残高 4.5	丸味をもつ底部。	④ハケ(7~9本/cm) ⑤ハケ(7~8本/cm)	ハケ(7本/cm) ナデ 指おさえ	乳白色 乳黄色	石・長(1~3) 赤 ◎	黒斑	
1390	壺	底径 1.5 残高 6.0	丸味をもつ底部。	④タタキ→ハケ (7本/cm) ⑤ナデ	ハケ(5本/cm) →ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~5) 赤 ◎		
1391	鉢	残高 5.0	直立する口縁部。端部外面に刻目を施す。	ミガキ ナデ	ナデ	乳白色 乳黄色	石・長(1~2) 金・赤 ◎		
1392	鉢	底径 (3.6) 残高 2.5	底部。	④タタキ→ハケ (4本/cm) ⑤ハケ(4本/cm)	不明	褐色 黒灰色	石・長(1) ◎	煤付着	
1393	鉢	残高 3.8	脚付き。	ハケ(7本/cm) ナデ	板状工具による ミガキ ⑤ハケ ⑥ナデ	乳褐色 乳橙褐色	石・長(1~4) ◎		
1394	支脚	底径 (14.2) 残高 8.6	「ハ」の字状の脚部。	④ハケ→タタキ ⑤ナデ	ナデ 指頭痕	乳灰白色 乳橙色	石・長(1~2) 赤 ◎	黒斑	
1395	支脚	底径 (11.6) 残高 3.1	「ハ」の字状に開き端部は外反する脚部片。	ナデ 指頭痕	ナデ 指頭痕	乳黄橙色 乳黄橙色	石・長(1~2) ◎		
1396	支脚	底径 (14.2) 残高 1.9	「ハ」の字状に開き端部は外反する脚部片。	ナデ 指頭痕	ナデ 指頭痕	乳白色 乳橙色	石・長(1) 赤 ◎	黒斑	

表36 SK8出土遺物観察表 石製品

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	最大厚 (cm)	重さ (g)		
1397	磨石			3.8	3.2	2.9	55.622		

表37 SK14出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1398	甕	口径 16.2 器高 28.2	球形の胴部。口縁部と胴部の境にシャープな稜をもつ。	①ハケ(5~7本/cm) →ヨコナデ ②ハケ(5~7本/cm) ③ハケ(5~7本/cm) →ナデ	①ハケ(6本/cm) →ヨコナデ ④ケズリ	乳白色 乳灰白色	石・長(1~2) 金 ◎	煤付着 黒斑	27
1399	甕	口径 13.8 器高 16.0	球形の胴部に外傾する口縁部。口端部は丸くおさめる。	①ヨコナデ ④ハケ(8~9本/cm)	①ハケ(8本/cm) →ナデ ④ケズリ	乳灰褐色 乳灰白色	石・長(1~3) 金 ◎	煤付着	27
1400	甕	口径 13.1 器高 11.4	肩の張らない胴部。口縁部は直立気味に立ち上がり、口端部は面をもちナデにより凹む。	①ハケ(4~5本/cm)	①ハケ(5~6本/cm) ②ナデ ④ケズリ	乳白色 乳白色	石・長(1~3) 金 ◎	煤付着	
1401	甕	口径 (13.8) 残高 6.6	外反する口縁部。端部内面はナデにより凹む。	①ヨコナデ ②ハケ(5~6本/cm) →ヨコナデ ④ハケ(5~6本/cm)	①ヨコナデ ②ハケ→ヨコナデ ④ケズリ	乳白色 乳白色	石・長(1~3) 金・赤 ◎		
1402	甕	口径 (17.0) 残高 5.4	わずかに内湾気味の口縁部。	①ヨコナデ ④ハケ(7本/cm)	①ヨコナデ ②ハケ→ナデ	乳黄橙色 乳黄色	石・長(1~2) 金 ◎		
1403	甕	口径 (14.8) 残高 2.9	外傾する口縁部の端部は丸い。	①ヨコナデ ①ナデ ④ハケ(5本/cm) →ナデ	①ヨコナデ ①ハケ→ナデ	黒色 乳黄色	石・長(1~2) 金 ◎	煤付着	
1404	甕	残高 7.1	丸底。器壁は薄い。	④ハケ(6~7本/cm) ⑤ハケ→ナデ	ケズリ	黒褐色 乳黄褐色	石・長(1~4) 金・赤 ◎	煤付着	
1405	甕	残高 13.1	丸底。	④タタキ→ハケ (6本/cm) ⑤ハケ→ナデ	ケズリ	乳褐色 褐色	石・長(1~5) 金 ◎	黒斑	
1406	甕	残高 7.5	丸底。	④ハケ ⑤ナデ 指頭痕	④ケズリ ⑤指頭痕	乳赤黄色 乳黄色	石・長(1~3) 金 ◎	煤付着	
1407	壺	口径 (9.6) 器高 9.0	球形の胴部。わずかに外反する口縁部の端部は尖り気味である。	①ヨコナデ ②ハケ→ナデ	①ヨコナデ ②ハケ→ナデ ④ケズリ ⑤ナデ 指頭痕	乳黄色 乳黄色	石・長(1~2) ◎	黒斑	27
1408	壺	口径 8.5 器高 9.0	球形の胴部。口縁部は外傾し端部は丸くおさめる。	①ハケ→ヨコナデ ④ハケ(7~8本/cm)	①ハケ(7~8本/cm) →ヨコナデ ④ケズリ ⑤ナデ	乳白色 黒灰色	石・長(1~3) 金・赤 ◎	黒斑	27

船ヶ谷遺跡4次調査

SK14出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1409	壺	口径 (9.8) 器高 8.5	丸底の底部。口縁部は外傾し端部は丸くおさめる。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(5~6本/cm) ㊸ ナデ	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ→ナデ ㊸ ヘラケズリ	乳黄灰色 乳黄灰色	石・長(1~5) 金 ◎	黒斑	28
1410	壺	口径 7.3 器高 9.1	扁球形な胴部に直立する口縁部の端部は先細りし丸くおさめる。	㊶ ハケ→ヨコナデ ㊷ ナデ	㊶ ヨコナデ ㊷ ケズリ→ヨコナデ	乳赤橙色 乳橙色	石・長(1~3) 赤 ◎	赤色塗彩	28
1411	壺	口径(10.8) 残高 6.9	外傾する口縁部の端部は丸い。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(7本/cm) →ナデ ㊸ ハケ(7~10本/cm)	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(9~11本/cm) ㊸ 指頭痕 ㊹ ケズリ	乳褐色 乳黄色	石・長(1~4) 金 ◎		
1412	壺	口径 (9.0) 残高 5.4	直線的に伸びる口縁部の端部は内傾する面をもつ。	㊶ ヨコナデ 指頭痕 ㊷ ハケ	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(4本/cm) →ヨコナデ ㊸ ハクリ、マメツ	乳橙色 乳黄橙色	石・長(1) 金 ◎		
1413	壺	口径(16.8) 残高 3.8	外反する口縁部の端部は先細りし丸い。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳黄色 乳黄色	長(1~2) 赤 ◎		
1414	高 杯	口径(17.0) 残高 5.6	段をもち外上方に伸びる杯部。口端部は丸味をもつ。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(5本/cm) ヨコナデ ㊸ ハケ	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~4) ◎		
1415	鉢	口径(12.8) 残高 3.5	短く外反する口縁部。	㊶ ヨコナデ ㊷ ハケ(8本/cm) ナデ 指おさえ	㊶ ヨコナデ ㊷ ナデ	乳橙色 乳橙灰色	石・長(1~2) 金 ◎		
1416	製塩土器	口径 (5.9) 残高 4.6	直立する口縁部。	ナデ 指頭痕	ナデ 指頭痕	淡灰赤色 淡灰赤色	石・長(1~3) 金 ◎		28
1417	不明	残高 5.5	胴部片。朝鮮系軟質土器。	タタキ	ナデ	黒色 にぶい橙色	石・長(1~2) 金 ◎	黒斑	28
1418	不明	残高 5.8	胴部片。朝鮮系軟質土器。	タタキ	ナデ	黒色 淡黒茶色	長(1~2) ◎		28
1419	壺	底径 (3.8) 残高 2.6	丸味をもつ底部。底部外面に記号有り。	㊶ タタキ ㊷ ハケ→ナデ	ハケ(6~7本/cm)	乳灰褐色 乳灰白色	石・長(1~3) 赤 ◎		

表38 SK14出土遺物観察表 木製品

番号	器種	遺存状態	樹種	法量				木取り	備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	直径 (cm)			
1420	柱		カヤ	62.7	16.7	10.5			28	

表39 SK22出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1421	壺	口径 (7.1) 残高 2.6	短く直立する口縁部。端部は尖り気味に丸い。	ヨコナデ	ヨコナデ	黄茶褐色 黄茶褐色	密 ◎		
1422	甕	残高 2.3	外傾する口縁部の小片。	ヨコナデ	ヨコナデ	橙茶褐色 橙茶褐色	長(1~2) 砂 ◎		

表40 SK22出土遺物観察表 木製品

番号	器種	遺存状態	樹種	法量				木取り	備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	直径 (cm)			
1423	柱		カヤ	61.8	13.9	9.2			28	

表41 SK16出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1424	高 杯	口径(19.4) 残高 4.9	段をもちわずかに外反気味に伸びる杯口縁部。	ハクリ マメツ	㊶ ヨコナデ ㊷ ミガキ	乳白色 乳白色	石・長(1) ◎		

表42 SK23出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1425	高 杯	口径(15.5) 残高 2.1	脚裾部。端部はナデによりわずかに凹む。	ヨコナデ	㊶ ケズリ ㊷ ヨコナデ	乳白色 乳褐色	石・長(1~4) ◎	黒斑	
1426	碗	口径(12.3) 器高 6.0	内湾する口縁部の端部は尖り気味に丸い。	㊶ ヨコナデ ㊷ ミガキ	㊶ ヨコナデ ㊷ ミガキ	乳白褐色 乳白褐色	石・長(1~3) 金・赤 ◎		

出土遺物観察表

表43 掘立3出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1427	甕	残高 4.2	口縁端部手前で段をもち、端部は丸い。	ヨコナデ	①ヨコナデ ②ハケ→ヨコナデ ハケ(5本/cm)	茶灰色 茶灰色	石・長(1~2) 金 ◎		
1428	高 環	残高 3.4	環口縁部小片。端部は先細りする。	ヨコナデ	ヨコナデ	茶橙色 乳茶色	石・長(1) ◎		
1429	碗	口径(12.7) 残高 2.8	内湾する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳茶色 乳茶褐色	石・長(1) ◎		
1430	環 蓋	口径(12.1) 残高 3.2	天井部と口縁部を分ける稜は明瞭である。口縁部は内傾する面をもつ。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密・石(2) ◎		
1431	環 蓋	残高 3.1	口縁部の小片。口縁端部は内傾する面をもつ。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 乳灰色	密 ◎		
1432	環 身	口径(10.9) 残高 5.4	丸味をもつ底部。受部は水平に伸び端部は尖る。口縁部は内傾し凹む。	① 回転ナデ ② 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密・石・長(1~5) ◎		
1433	環 身	口径(10.4) 残高 3.5	短く水平に伸びる受部。口縁部の端部は内傾する面をもち凹む。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密・長(2) ◎		
1434	環 身	口径(10.2) 残高 3.9	立ち上がりは内傾し、口端部は丸い。受部は水平気味に伸び端部は尖り気味である。	① 回転ナデ ② 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰褐色 青灰色	密 ◎		
1435	環 身	口径(9.8) 残高 3.1	外上方に短く伸びる受部。立ち上がりは内傾し口端部は凹む。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎		
1436	高 環	底径(7.8) 残高 4.5	短脚。裾部は段をもち内湾する。長方形の透かしを施す。	① 針目(針/cm) ② 回転ヨコナデ	回転ナデ	灰色 青灰色	密 ◎		

表44 掘立5出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1437	高 環	残高 7.0	柱部。	マメツ	マメツ	茶白色 茶白色	石・長(1~2) ◎		
1438	鉢	残高 3.4	口縁部の小片。口端部は短く外反する。	①ヨコナデ ②ミガキ	①ヨコナデ ②ヨコナデ→ミガキ	茶橙色 茶橙色	石・長(1) ◎		

表45 SK24出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1439	甕	口径(15.6) 残高 7.3	頸部内面に不明瞭な稜をもち外傾する口縁部。口端部は内傾する面をもつ。	①ヨコナデ ②ヨコナデ→ ハケ(8本/cm)	①ヨコナデ ②ヘラケズリ ③ナデ	乳黄褐色 乳黄色	密・砂・金 ◎		
1440	甕	口径(15.0) 残高 5.2	短く外傾する口縁部。	①ヨコナデ ②ヨコナデ→ ハケ(8本/cm)	ナデ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~2) 金 ◎		
1441	甕	口径(18.4) 残高 2.9	外傾する口縁部の小片。口端面はわずかに内傾する。	ヨコナデ	ヨコナデ	灰茶色 灰茶色	石・長(1~3) ◎		
1442	甕	口径(19.8) 残高 2.6	外傾する口縁部の小片。口端部は水平な面をもつ。	ヨコナデ	①ヨコナデ →ナデ ②ヨコナデ	乳黄褐色 黄灰色	石・長(1~2) ◎		
1443	高 環	口径 20.2 底径 13.7 器高 15.2	段をもつ環部は口縁部手前で外反する。「ハ」の字状の脚部。裾部は屈曲して、短く伸びる。	①ヨコナデ ②ヨコナデ→ナデ ③ナデ ④ナデ ⑤ヨコナデ	①ヨコナデ ②ナデ ③ナデ ④ケズリ ⑤ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~4)多 ◎	黒 斑	29
1444	高 環	口径 13.3 底径 10.7 器高 10.5	丸味のある環底部。口端部はわずかに外反する。脚部の裾部内面にシャープな稜をもち屈曲する。径1.0cmの円孔を施す。	①ヨコナデ ②絞り痕 ③ナデ ④ヨコナデ	①ヨコナデ ②ナデ ③ヨコナデ	橙黄色 橙黄色	石・長(1~3) ◎		29
1445	高 環	底径(13.7) 残高 14.1	段をもつ環部。脚部は「ハ」の字状に開き裾部は内面にシャープな稜をもち屈曲する。	①ヨコナデ ②ナデ	①ヨコナデ →ミガキ ②ヘラケズリ ③ヨコナデ	橙黄色 橙黄色	石・長(1~3) ◎		
1446	高 環	底径 12.2 残高 8.3	段をもつ環部。「ハ」の字状に開く脚部。裾部は屈曲して短く伸びる。	①ヨコナデ ②ナデ ③ヨコナデ	①ヨコナデ ②ナデ ③ケズリ ④ヨコナデ	茶橙色 茶橙色	石・長(1~2) 金 ◎		
1447	高 環	口径(19.1) 残高 4.3	環口縁部。端部は丸い。	マメツ	マメツ	橙黄色 橙黄色	長(1~2) ◎		
1448	高 環	口径(14.6) 残高 4.8	ゆるやかに屈曲する環部の小片。	ヨコナデ	①ヨコナデ ②ナデ	橙黄色 橙黄色	密・長(1~2) ◎		
1449	高 環	口径(16.2) 残高 4.3	環部の小片。口端部は丸味をもつ。	ヨコナデ→ナデ	ヨコナデ→ナデ	黄茶色 橙黄色	密・長(1~2) ◎		

船ヶ谷遺跡4次調査

SK24出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1450	高 坏	口径(15.5) 残高 5.6	段をもつ坏部。口端部はわずかに外反し丸い。	① ナデ ④⑧ ヨコナデ→ナデ ⑨ 工具痕	ヨコナデ	乳茶色 黄茶色	密・長(2) ◎		
1451	高 坏	残高 5.9	段をもつ坏部。	ヨコナデ→ナデ	ヨコナデ→ナデ	茶黄色 茶橙色	密 ◎		
1452	高 坏	底径 8.7 残高 6.0	ラップ状に開く脚部。端部は「コ」の字状に丸い。	④ ナデ ⑧ ナデ→ミガキ ⑨⑩ ヨコナデ	④ ハクリ ⑧ ヘラケズリ ⑨⑩ ナデ	茶黄褐色 茶褐色	石・長(1~2) 金 ◎		
1453	高 坏	底径(10.9) 残高 1.5	屈曲して伸びる脚裾部。	マメツ	⑧ ヘラケズリ ⑨⑩ マメツ	茶黄色 茶黄色	長(1~2) 金 ◎	黒 斑	
1454	高 坏	底径(12.2) 残高 1.0	屈曲して水平気味に伸びる脚裾部。	⑧ ヨコナデ ⑨⑩ ヨコナデ→ナデ	⑧ ケズリ ⑨⑩ ヨコナデ	黄茶色 茶黄色	密・金 ◎		
1455	高 坏	残高 6.5	充填技法。柱部。	ナデ	④ ナデ ⑧ ヘラケズリ	淡茶色 淡茶色	長(1~3) ◎		
1456	甕	残高 3.0	胴部小片。外面にヘラによる沈線文と2列の刺突文を施す。	施文	ナデ	乳黄褐色 乳黄褐色	石・長(1~3) ◎		
1457	壺	残高 2.4	下垂口縁の小片。口端部外面にヘラとクシによる波状文6条を施す。	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ	乳黄色 乳茶黄色	長(1~4) ◎		
1458	壺	底径(4.0) 残高 2.6	平底の底部片。	⑧ ハケ(8本/cm) ⑩ ナデ	ナデ (工具痕)	乳黄褐色 乳茶色	密・長(1) ◎		
1459	高 坏	口径 15.2 底径 10.2 器高 11.7	段をもつ坏部は口縁手前で外反する。「ハ」の字状に開く脚部は裾部で屈曲する。	ヨコナデ	④ ヨコナデ ⑧ ケズリ ⑨⑩ ヨコナデ	乳橙白色 乳橙色	石・長(1~3) 赤 ◎		
1460	高 坏	底径 10.4 残高 7.2	脚裾部は明瞭な稜をもち水平に伸びる。2方向に円孔を施す。組合せ技法。	④ ナデ ⑧ ハケ→ミガキ ⑨⑩ ミガキ	④ ナデ ⑧ ヨコナデ ⑨⑩ ナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) 金・赤 ◎		
1461	高 坏	底径(11.2) 残高 6.2	脚裾部は屈曲し水平に伸びる。組合せ技法。	⑧ マメツ ⑨⑩ ヨコナデ	⑧ ナデ ⑨⑩ ケズリ ⑪⑫ マメツ	乳黄色 乳黄褐色	石・長(1~3) 金 ◎		
1462	甕	口径 15.0 残高 7.8	わずかに外反する口縁部。口端部は水平な面をもつ。	④⑧ ヨコナデ ① ナデ ⑨ ヨコナデ ⑩ ハケ(12本/cm)	工具によるナデ 指頭痕	黄色 黄色	石・長(1~2) 金 ◎		
1463	高 坏	口径 16.1 底径 11.0 器高 12.5	段をもち外反する坏部。脚部は「ハ」の字状に開き裾部で屈曲する。	マメツ	④ ヨコナデ ⑧ ナデ ⑨⑩ 指頭痕 ⑪⑫ ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	密・長(1) ◎		
1464	高 坏	口径(21.2) 残高 5.9	段をもつ丸味のある坏部。口縁部は端部手前で外反する。	ヨコナデ 指頭痕	① ミガキ→ヨコナデ ④⑧ ヨコナデ→ナデ	橙茶褐色 橙茶色	長(1~3) ◎	黒 斑	
1465	高 坏	残高 7.0	坏底部から柱部。	ナデ	ナデ	にぶい橙色 にぶい橙色	長(1~3) 金 ◎		
1466	高 坏	底径(10.2) 残高 7.4	脚部。裾部は明瞭な稜をもち屈曲して水平に短く伸びる。充填技法。	④ ヨコナデ ⑧ ミガキ ⑨⑩ ヨコナデ	④ ミガキ ⑧ ナデ ⑨⑩ ケズリ ⑪⑫ ミガキ	乳褐色 乳褐色	石・長(1~7) 金 ◎		
1467	高 坏	残高 7.1	直線的に伸びる柱部。	マメツ	④ マメツ ⑧ 指おさえ ⑨⑩ マメツ	乳白橙色 乳白橙色	石・長(1~2) ◎		
1468	碗	口径 11.4 残高 6.3	内湾する口縁部。端部は尖り気味である。内面底部に赤色塗彩の痕跡。	① ヨコナデ ④⑧ ナデ	ナデ	黄灰色 橙黄褐色	長(1~3) ◎	黒 斑	
1469	碗	口径(12.3) 残高 3.1	口縁部の小片。端部は短く外反し丸い。	ヨコナデ	ヨコナデ	橙黄褐色 橙茶色	長(1)・金 ◎		
1470	碗	口径(11.6) 器高 4.4	口縁端部は先細り。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) 赤 ◎		
1471	ミナブ	最長 6.5 幅 4.3 器高 4.7	胄。手捏により成形。裾部に粘土を貼り付け底部を作る。	ナデ 指頭痕	ナデ	乳灰白色 黒灰色	石・長(1~2) 金 ◎		10
1472	坏身	口径 10.4 器高 5.1	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は尖り気味である。	① 回転ナデ ④ 回転ヘラケズリ	④ 回転ナデ ⑧ 回転ナデ→ナデ	黒灰色 灰色	密・長(2) ◎		
1473	坏身	口径 9.9 器高 4.7	短く外上方に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は丸味をもつ。	① 回転ナデ ④ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰黒色 灰黒色	長(1~4) ◎		

表46 SK24出土遺物観察表 装身具

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)		
1474	小 玉	完 形		0.45	0.45	0.30	0.093		29

出土遺物観察表

表47 SK24出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1475	碗	口径(14.4) 器高 6.0	内湾する口縁部。端部は内傾する不明瞭な面をもつ。外面に二次焼成の痕跡か。	ナデ	ナデ	乳褐色 乳褐色	石・長(1) 金・赤 ◎		
1476	甕	口径(20.4) 残高 7.0	わずかに内湾する口縁部。口端部は内傾する面をもつ。頸部下部にヘア記号。	ヨコナデ	①③ヨコナデ ④ハケ→ヨコナデ ⑤ナデ	乳灰黄色 乳灰黄色	石・長(1)・角 金 ◎		
1477	甕	口径(18.4) 残高 5.7	内湾気味の口縁部。口端部は肥厚され水平な面をもつ。	①ナデ ⑥ハケ(7本/cm)	⑦ナデ ⑧ハケ(12本/cm)	茶灰色 黒茶色	石・長(1~2) 砂 ◎		
1478	甕	口径(18.6) 残高 3.6	内湾する口縁部。口端部は内側に肥厚させ丸い。	ヨコナデ	⑩ヨコナデ ⑪マメツ	乳灰黄色 乳灰黄色	石・長(1~3) 金 ◎		
1479	甕	口径(16.0) 残高 3.2	外傾する口縁部。口端部は「コ」の字状に丸い。	マメツ	マメツ	橙黄褐色 橙黄色	石・長(1~3) ◎		
1480	甕	口径(17.2) 残高 2.9	わずかに内湾する口縁部。口端部は内傾する面をもつ。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳灰黄色 乳灰黄色	石・長(1~3) 金 ◎		
1481	甕	口径(24.5) 残高 3.5	直立気味に内湾する口縁部の口端部は内傾する面をもつ。	⑫ヨコナデ ⑬ヨコナデ	⑭ヨコナデ ⑮ヨコナデ	灰褐色 灰褐色	石・長(1~3) 金 ◎		
1482	甕	口径(22.3) 残高 3.8	段をもち内湾する口縁部。口端部は内傾する面をもつ。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳黄灰色 乳黄灰色	石・長(1~4) 金 ◎		
1483	壺	残高 5.2	肩の張る胴部に直線的に伸びる口縁部。	ヨコナデ	ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1) 金・赤 ◎		
1484	高 坏	口径 14.9 底径 10.5 器高 12.1	段をもつ丸味のある坏部。口縁部は短く外反する。脚裾部は、明瞭な稜をもち屈曲する。	⑯ヨコナデ ⑰ナデ ⑱ヨコナデ	⑲ヨコナデ ⑳ヨコナデ→ナデ ㉑ケズリ ㉒ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~4) 金 ◎		
1485	高 坏	口径(15.7) 残高 5.1	段をもつ坏部。口縁部はわずかに外反する。	マメツ	マメツ	橙黄色 橙黄色	長(1~2) ◎		
1486	高 坏	口径(16.0) 残高 3.3	口縁部の小片。端部は尖り気味である。	ヨコナデ	ヨコナデ	黄褐色 黄褐色	長(1~3) ◎	黒 斑	
1487	高 坏	口径(20.0) 残高 4.8	坏口縁部の小片。端部は丸味をもつ。	マメツ	マメツ	橙黄色 橙黄色	密・砂 ◎		
1488	高 坏	口径(14.5) 残高 6.0	段をもつ坏部。口縁部は丸味をもつ。	⑳ヨコナデ ㉓ナデ	ヨコナデ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) 金 ◎		
1489	高 坏	底径 9.6 残高 7.4	脚部。裾部は明瞭な稜をもち屈曲して水平に伸びる。	㉔ナデ ㉕ケズリ ㉖ヨコナデ	㉗マメツ ㉘ナデ ㉙ケズリ ㉚ヨコナデ	乳橙色 乳灰色	石・長(1~4) 金 ◎		
1490	高 坏	底径(11.3) 残高 2.3	脚裾部。端部は「コ」の字状。	㉛ハケ(10本/cm) ㉜ヨコナデ→ナデ	㉝ケズリ ㉞ヨコナデ→ナデ	茶灰色 茶灰色	密・長(1~2) ◎		
1491	碗	口径 12.6 器高 5.3	内湾する口縁部の端部は内傾する。	㉟ヨコナデ ㊱マメツ	ナデ ミガキ	乳橙色 乳橙色	石・長(1~3) 金 ◎		
1492	碗	口径(13.7) 残高 4.9	内湾する口縁部の端部は尖り気味に丸い。内面に放射状の暗文か。	ヨコナデ	ヨコナデ	橙黄褐色 橙黄褐色	密・長(1~2) 赤 ◎		
1493	碗	口径(10.0) 残高 3.5	内湾する口縁部の端部は丸い。	㊲ヨコナデ ㊳ヨコナデ 回転(ヘアケズリ)	ヨコナデ	橙黄色 橙黄褐色	密・長(1) ◎		
1494	甌	残高 3.5	把手。	マメツ ハクリ		橙黄褐色	砂・長(1~2) ◎		
1495	ニチュ7	口径(5.9) 残高 2.0	口縁部の小片。	ハケ→ヨコナデ	ヨコナデ 指頭痕	黄褐色 黄褐色	密 ◎		
1496	ニチュ7	最長 6.0 幅 3.3 器高 4.1	甑。手捏により成形。裾部に粘土を貼り付け底部を作る。	ナデ 指頭痕	ナデ	灰白色 黒灰色	石・長(1) ◎		10
1497	不明	残高 3.2	軟質土器。外面に斜格子タタキを施す。	斜格子タタキ		黒褐色 黒褐色	密 ◎		
1498	坏 蓋	口径 12.2 器高 4.8	丸味をもつ天井部から稜をもち、口縁部は直立する。端部は内傾する面をもつ。	㊴回転(ヘアケズリ) ㊵回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	石・長(1~7) ◎		
1499	坏 身	口径(9.6) 残高 4.9	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は尖る。	㊶回転ナデ ㊷回転(ヘアケズリ)	回転ナデ	青灰色 灰色	密・長(1) ◎		

船ヶ谷遺跡4次調査

SK24出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1500	高坏	口径(20.0) 残高 5.4	外反する坏口縁部の端部は尖り気味に丸い。外面に凸帯を2条と波状文を2条施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰黒色 灰黒色	長(1) ◎		
1501	高坏	口径(16.0) 残高 6.3	坏部。口縁端部は外反し尖り気味である。外面に凸帯1条と波状文を施す。	◎ 回転ナデ ◎ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 灰黒色	石・長(1) ◎		
1502	高坏	残高 3.9	坏部。外面に段をもち、波状文を施す。	回転ナデ ヨコナデ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎		
1503	高坏	底径(9.1) 残高 2.9	脚部の小片。裾部は屈曲して接地する。透かしを施す。	回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎		
1504	壺	口径(12.7) 残高 4.5	外反する口縁部。端部は下方に拡張さす。	◎ ヨコナデ ◎ ハケ(12本/cm)	ミガキ	黒茶褐色 黒茶色	長(1~3) 砂 ◎		
1505	支脚	底径 5.7 器高 6.7	中空。受部は斜状である。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	灰褐色 灰褐色	石・長(1) ◎		
1506	把手	残高 3.2	把手部。	ナデ		乳白色	石・長(1~2) ◎		
1507	高坏	残高 2.6	裾部。外面に線刻。	ナデ	絞り痕 ナデ	灰黄褐色 灰黄褐色	石・長(1~5) ◎		29
1508	不明	残高 1.8	口縁部か。外面に線刻。	ナデ	ヨコナデ	褐灰色 褐灰色	石・長(1~2) ○		

表48 SK24出土遺物観察表 装身具

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)		
1509	勾	玉	1/2	土	3.4	1.0	1.0	5.421	29
1510	小	玉	完形		0.40	0.40	0.18	0.043	29
1511	小	玉	完形		0.40	0.38	0.10	0.030	29
1512	小	玉	完形		0.50	0.48	0.35	0.171	29
1513	小	玉	完形		0.50	0.40	0.30	0.116	29
1514	小	玉	完形		0.45	0.40	0.30	0.080	29
1515	小	玉	完形		0.40	0.40	0.30	0.095	29
1516	小	玉	完形		0.43	0.40	0.25	0.080	29
1517	小	玉	完形		0.45	0.42	0.15	0.054	29
1518	小	玉	ほぼ完形		0.41	0.40	0.20	0.064	29
1519	小	玉	完形		0.35	0.35	0.20	0.048	29
1520	小	玉	ほぼ完形		0.50	0.50	0.35	0.146	29
1521	小	玉	完形		0.40	0.40	0.15	0.051	29
1522	小	玉	完形		0.40	0.40	0.25	0.083	29
1523	小	玉	4/5		0.65	0.58	0.35	0.297	29
1524	小	玉	完形		0.40	0.40	0.35	0.086	29
1525	小	玉	完形		0.40	0.40	0.20	0.068	29
1526	小	玉	完形		0.45	0.45	0.20	0.077	29
1527	小	玉	完形		0.31	0.30	0.10	0.017	29
1528	小	玉	完形		0.30	0.30	0.20	0.036	29
1529	小	玉	完形		0.40	0.40	0.30	0.097	29
1530	小	玉	完形		0.40	0.40	0.20	0.063	29
1531	小	玉	完形		0.48	0.45	0.20	0.083	29
1532	小	玉	完形		0.25	0.23	0.20	0.022	29
1533	小	玉	ほぼ完形		0.45	0.45	0.25	0.100	29
1534	小	玉	完形		0.35	0.35	0.25	0.055	29
1535	小	玉	完形		0.41	0.40	0.35	0.076	29

出土遺物観察表

SK24出土遺物観察表 装身具

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)		
1536	小玉	完形		0.51	0.50	0.30	0.163		29
1537	小玉	完形		0.45	0.45	0.17	0.049		29
1538	小玉	完形		0.55	0.55	0.20	0.103		29

表49 SK24出土遺物観察表 石製品

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1539	敲石			10.6	5.7	5.1	480.00		
1540	敲石		安山岩系	4.6	2.7	2.8	38.707		
1541	台石		結晶片岩	14.0	8.3	5.1	788.00		
1542	台石			19.0	17.6	6.7	2,900.00		
1543	台石			10.8	11.2	8.3	1,300.00		
1544	石庖丁		結晶片岩	6.7	4.4	0.8	39.351		

表50 SK24出土遺物観察表 木製品

番号	器種	遺存状態	樹種	法量				木取り	備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	直径(cm)			
1545	井戸枠		スギ	58.3	38.4	4.6			29	
1546	板材		クスノキ	26.4	37.8	2.8				
1547	板材		コナラ属 アカガシ亜属	17.2	21.0	2.6				
1548	板材		シイ属	14.7	11.0	2.1				
1549	不明		コナラ属 アカガシ亜属	19.7	3.0	1.9				
1550	杭材		ヒノキ	92.3	7.6	5.5			29	
1551	杭材		ヒノキ	46.4	5.0	2.6				
1552	杭		アワブキ属	12.8	4.3	4.1				

表51 SK2出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1553	甕	口径(17.0) 残高 5.3	口縁部は外傾し端部は平坦面をもち、わずかに外方向に肥厚する。	①ヨコナデ ②ハケ(4本/cm)→ヨコナデ ③ハケ(4-5本/cm)→ヨコナデ	ヨコナデ	乳褐色 乳褐色	密・石・長角(1) 金 ◎	焼土内	
1554	甕	口径(17.2) 残高 3.5	外傾する口縁部の端部は丸味をもつ。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~2) ◎	1層	
1555	甕	口径(18.1) 残高 4.4	外傾する口縁部の端部は面をもちナデにより凹む。	ヨコナデ	④ハケ(5本/cm)→ヨコナデ ⑤ヨコナデ ⑥ハケズリ	茶褐色 茶褐色	長(1~2) 金 ◎	1層	
1556	甕	口径 13.3 器高 24.4	球形状の胴部、底部は丸底である。口縁部は直線的に立ち上がり、端部は面をもち凹む。	⑦ヨコナデ ⑧ハケ→ヨコナデ ⑨ハケ(5-6本/cm)	④ヨコナデ ⑤ハケ(4本/cm)→ヨコナデ ⑥ハケズリ ⑦ハケズリ→ナデ	乳黄色 乳黄色	石・長(1) 金 ◎	1層	30
1557	甕	口径(17.9) 残高 20.5	わずかに肩の張る胴部に内湾気味に立ち上がる口縁部。端部は面をもち凹む。	⑩ヨコナデ ⑪ハケ(5-6本/cm)	④ヨコナデ ⑤ハケズリ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~3) ◎	1層	30
1558	甕	口径(15.2) 残高 4.9	直線的に立ち上がる口縁部。端部は肥厚される。	⑩ヨコナデ ⑪ハケ→ナデ ⑫ハケ(6-7本/cm)	⑦ヨコナデ ⑧ハケズリ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~3) ◎	1層	
1559	甕	口径(16.2) 残高 4.7	内湾する口縁部。端部は肥厚され内面に稜をもつ。	⑩ハケ→ヨコナデ ⑪ナデ ⑫ハケ(4本/cm)→ヨコナデ	④ヨコナデ ⑤ナデ	乳黄褐色 乳黄褐色	石・長(1) 金 ◎	1層	
1560	壺	頸部径(5.6) 胴部径(10.7) 残高 8.5	扁球形の胴部に直立気味な口縁部。	⑬ヨコナデ ⑭ハケ→ヨコナデ ⑮ハケ(7-8本/cm)	④ヨコナデ ⑤板状工具によるケズリ	乳黄色 乳黄褐色	石・長(1~2) ◎	1層	30
1561	壺	口径 7.8 器高 8.3	球形な胴部に直線的に立ち上がる口縁部。端部は丸い。	⑩ハケ→ヨコナデ ⑪ハケ(4-5本/cm) ⑫ハケズリ	⑦ヨコナデ ⑧ナデ ⑨ハケズリ	乳橙色 乳橙色	密・石・長(1) 金・赤 ◎	1層	30
1562	壺	口径(8.0) 残高 5.1	口縁部は直線的に立ち上がり、端部は、肥厚による稜をもち尖り気味に丸い。	⑩ヨコナデ ⑪ハケ(5本/cm) ナデ	⑦ヨコナデ ⑧ナデ	乳黄色 灰褐色	密・石・長(1) 金・赤 ◎	1層 黒斑	
1563	壺	口径(8.6) 残高 5.4	肩の張らない胴部。口縁部は直線的に立ち上がり端部は丸味をもつ。	ハケ(5本/cm)→ヨコナデ	④ヨコナデ ⑤ハケズリ→ナデ	乳黄色 乳黄色	密・石・長(1) 金・赤 ◎	1層	
1564	高坏	底径(13.1) 残高 4.9	「ハ」の字状に開く脚部は屈曲して水平に伸びる。端部は丸い。	⑬ハケ(4-6本/cm) ⑭ヨコナデ	⑤ハケズリ ⑥ハケズリ→ナデ	乳黄色 乳白色	密・長角(1~2) 赤 ◎	1層	

船ヶ谷遺跡4次調査

SK2出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1565	高坏	残高 7.4	「ハ」の字状に開く脚部は屈曲する裾部をもつ。	マメツ	①ヘラケズリ ②マメツ	赤橙色 赤橙色	石・長(1~3) 金	1層	
1566	高坏	底径(12.2) 残高 2.8	屈曲する脚裾部。端部は「コ」の字状に丸い。	①ハ(9-12本/cm) ②ヨコナデ	①ヘラケズリ ②ヨコナデ	乳黄色 乳黄色	石・長・角(1) 金・赤	1層	
1567	製塩土器	口径 7.9 残高 9.5	わずかに内湾気味に直立する口縁部。端部は尖り気味である。	タタキ	①ナデ ②ハ(3-4本/cm)	乳黄色 乳黄色	石・長(1~5) 金・赤	焼土内	30
1568	ニチャア 器	口径 5.4 器高 4.7	尖り気味に丸い底部。頸部は指頭押圧により作り出す。端部はつまみながら成形する。	指頭痕 ナデ	指頭痕 ヨコナデ	乳白色 乳黄色	長(1~2) 金・赤	1層	30
1569	甌	残高 4.4	水平気味に伸びる把手部。端部は平坦面をなす。	ナデ		乳灰色	石・長(1~2) 金	1層	30
1570	蓋	口径(15.0) 残高 3.5	水平気味に丸い天井部。天井部と口縁部を分ける凸帯を施す。口縁部は垂直に接地する。	②回転ヘラケズリ ③回転ナデ	回転ナデ	橙褐色 黒灰褐色	密・石・長(1) 赤	1層	30
1571	甕	口径(18.0) 残高 3.1	わずかに内湾気味に外傾する口縁部。端部は肥厚し丸くおさめ内面に段をもつ。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳白色 乳白色	密・石・長・角(1) 金・赤	2層 煤付着	
1572	支脚	残高 4.7	角部。	ナデ 指おさえ		灰黄橙色	石・長(1~4) 金	2層 焼土	

表52 SK2出土遺物観察表 石製品

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1573	敲石	1/6	安山岩系	4.9	8.3	3.3	206.10		
1574	残核		安山岩系	7.7	8.0	3.4	234.299		

表53 杭列出土遺物観察表 木製品

番号	器種	遺存状態	樹種	法量				木取り	備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	直径(cm)			
1575	杭		マツ属	24.0	4.1	3.8			杭列1分析No.13	
1576	杭		ヒノキ	22.9	4.4	4.4			杭列1分析No.20	
1577	杭		コウヤマキ	54.3	8.0	4.9			杭列1分析No.14	
1578	杭		ヒノキ	82.3	10.1	8.7			杭列1分析No.19	
1579	杭		ヒノキ	54.9	8.1	7.5			杭列1分析No.4	
1580	杭		ヒノキ	34.9	3.0	2.0			杭列1分析No.9	
1581	杭		ヒノキ	43.7	6.5	3.6			杭列1分析No.7	
1582	杭		コウヤマキ	32.2	7.8	5.9			杭列1分析No.6	
1583	杭		ヒノキ	45.3	7.2	5.5			杭列2分析No.28	
1584	杭		ヒノキ	64.9	11.3	6.9			杭列2分析No.11	
1585	杭		ヒノキ	24.4	4.3	4.6			杭列2分析No.10	
1586	杭		ヒノキ	17.6	4.9	3.3			杭列2分析No.16	
1587	杭		カヤ	27.0	7.8	7.5			杭列2分析No.15	
1588	杭		ヒノキ	45.3	10.0	5.7			杭列2分析No.17	

表54 掘立1出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1589	甕	残高 4.3	外傾する口縁部の端面はナデにより凹む。	①ヨコナデ ②ナデ ③ヨコナデ	①ヨコナデ ②ナデ	乳茶色 乳茶色	石・長(1~2) ◎	SP16	
1590	甕	残高 2.7	外傾する口縁部の端面は水平気味でナデにより凹む。	ヨコナデ	ヨコナデ→ナデ	灰茶色 灰茶色	石・長(1) ◎	SP19	
1591	甕	残高 3.4	外傾する口縁部の端面はわずかに内傾しナデにより凹む。	ヨコナデ	①ヨコナデ ②ナデ	灰黄茶色 灰黄茶色	石・長(1~3) ◎	SP17	
1592	高坏	口径(14.1) 残高 6.2	丸味をもつ坏部。口縁端部は尖り気味に丸い。	①ヨコナデ ②ナデ ③指おさえ ハ(6本/cm)	①ヨコナデ ②ナデ	乳茶橙色 乳茶橙色	石・長(1~8) ◎	SP15	

出土遺物観察表

掘立1出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1593	高 坏	口径 (17.0) 残高 3.0	坏部。口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。	マメツ	⑬ヨコナデ 板状工具によるナデ ⑰ 工具痕あり	乳灰茶色 乳桃色	石・長 (1) 褐色粒 ◎	SP16	
1594	高 坏	残高 5.4	坏底部に段をもつ。	ヨコナデ ナデ 指頭痕	ヨコナデ ナデ	茶橙色 茶橙色	石・長 (1~5) ◎	SP15	
1595	高 坏	残高 8.2	坏底部は水平で段をもつ。	⑭ 指おさえ ナデ ⑯ ナデ・ヨコナデ	⑭ ヨコナデ ナデ ⑯ ケズリ	茶橙色 茶橙色	石・長 (1~4) ◎	SP15	
1596	高 坏	残高 7.6	脚部。	ナデ	⑮ ハケ(6~7本/cm) →ナデ ⑯ ナデ ヨコナデ	乳茶色 乳茶色	石・長 (1~2) ◎	SP16	
1597	鉢	底径 (7.6) 残高 4.6	平底で直線的に立ち上がる。	⑯ ハケ(7本/cm) →ナデ ⑰ ナデ	ナデ(板状工具)	乳灰茶色 黒灰色	密 ◎	SP14	31
1598	碗	口径 (10.8) 残高 2.3	口縁端部はわずかに内傾し尖り気味に丸い。	⑰ ヨコナデ ⑯ ハケ(6~7本/cm)	ヨコナデ	乳桃色 乳桃色	密 ◎	SP19	
1599	製塩土器	底径 (3.8) 残高 1.7	平底。	マメツ	マメツ	黒色 茶橙色	石・長 (1~2) ◎	SP11	
1600	製塩土器	口径 (4.6) 残高 3.3	直線的に立ち上がる口縁部。	平行タタキ	マメツ	乳茶色 乳茶色	石・長 (1) 褐色粒 ◎	SP11	
1601	壺	残高 3.7	沈線と竹管文を施す。	ハケ(4本/cm) ミガキ	ナデ	乳茶色 乳茶色	石・長 (1~3) ◎	SP7	
1602	高 坏	口径 (13.2) 残高 4.0	口縁部と体部を断面三角形の凸帯によって分ける。口縁部は直立気味である。	⑰ 袖付着の為不明 ⑱ 回転ナデ	⑰ 回転ナデ ⑱ 袖付着の為不明	青灰色 灰色	石・長 (1~3) ◎	SP16 袖付着	31
1603	坏 蓋	残高 3.2	口縁部を分ける稜はシャープである。	⑲ 回転ヘラケズリ ⑰ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	SP8	
1604	蓋	口径 (11.9) 残高 1.9	口端部は外方向に肥厚され端部は凹む。外面に波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	SP19 袖付着	

表55 掘立1出土遺物観察表 木製品

番号	器種	遺存状態	樹種	法量				木取り	備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	直径 (cm)			
1605	柱		カ ヤ	48.7	12.8	6.6			SP1	
1606	柱		カ ヤ	42.8	12.1	8.6			SP2	
1607	柱		カ ヤ	40.3	7.7	3.0			SP4	
1608	柱		コナラ属 コナラ属	31.7	4.0	3.2			SP6	

表56 掘立2出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1609	甕	残高 3.4	段をもち直立する口縁部の端面は内傾する。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳茶色 乳茶色	石・長 (1~3) ◎		
1610	甕	残高 2.6	外傾する口縁部の端面は内傾する。	マメツ	マメツ	乳灰橙色 乳黄色	石・長 (1~2) ◎		
1611	甕	残高 2.4	外傾する口縁部の端部は「コ」の字状に丸い。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳灰茶色 乳灰茶色	石・長 (1~5) ◎		
1612	製塩土器	残高 2.0	小片。	平行タタキ	ナデ	乳茶色 灰白色	密 ◎		
1613	甕	残高 4.4	直立する口縁部の端部は剥がれている。	⑬ヨコナデ ⑰ ナデ	ミガキ	茶橙色 乳茶橙色	石・長 (1~3) 褐色粒 ◎		
1614	甕	残高 6.3	直立する口縁部。口縁端部と口縁下部の凸帯が剥がれている。	ハケ(4本/cm) ヨコナデ ミガキ	ミガキ	茶橙色 茶橙色	石・長 (1~4) ◎	北九州	
1615	坏蓋	口径 (12.4) 残高 3.1	内湾気味に接地する口縁部の端面は内傾し凹む。	⑲ 回転ヘラケズリ ⑰ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎		
1616	坏蓋	口径 (13.0) 残高 2.8	口端部は丸味をもち内面上部に浅い凹線が巡る。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎		

船ヶ谷遺跡4次調査

掘立2出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1617	坏蓋	口径(14.0) 残高 2.6	口端部は丸味をもち内面に段をもつ。	回転ヘラケズリ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	石・長(1~2) ◎		
1618	坏蓋	残高 3.4	甘い稜をもつ天井部。	㊸ 回転ヘラケズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	石・長(1~2) ◎		
1619	坏身	口径(10.4) 残高 2.8	外反気味に直立する口縁部。受部は外上方に短く伸びる。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎		
1620	坏身	口径(10.9) 残高 2.9	直立する口縁部の端面はわずかに凹む。受部は外上方に伸びる。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰白色	密 ◎		
1621	坏身	口径(13.2) 残高 3.5	内傾する口縁部の端面は内傾し凹む。	㊺ 回転ナデ ㊻ 釉付着の為不明	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1) ◎	釉付着	
1622	高坏	底径(8.4) 残高 4.6	短く「ハ」の字状に開く脚部。台形状の透かしを施す。	回転ヨコナデ	㊼ ナデ ㊽ 回転ナデ	黒灰色 黒灰色	密 ◎		
1623	碗	口径(10.1) 残高 3.8	段をもち直立する口縁部の端部は尖り気味である。体部に波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰茶色 灰色	密 ◎		

表57 掘立4出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1624	高坏	残高 11.0	細い柱部。	ミガキ	㊾ ナデ ㊿ 工具によるケズリ	茶橙色 茶白色	石・長(1) ◎		
1625	壺	口径(17.6) 残高 4.9	外反する口縁部の端部は肥厚させ丸い。	㊽ 回転ナデ ㊾ 粘目(7本/cm)	回転ナデ	灰茶色 灰黄色	密・石(1~3) ◎		

表58 SB1出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1626	坏蓋	残高 1.8	口端部は尖り気味に丸く内面に段をもつ。	回転ヨコナデ	回転ヨコナデ	青灰色 青灰色	密 ◎		
1627	坏蓋	残高 1.3	天井部と口縁部を分ける稜をもつ。	回転ヨコナデ	回転ヨコナデ	灰色 灰色	密 ◎		

表59 SK25出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1628	高坏	底径(9.0) 残高 2.2	「ハ」の字状に開く脚裾部。	回転ナデ	回転ナデ	灰茶色 灰茶色	砂 ◎		

表60 SK26出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1629	坏身	口径(12.2) 器高 4.1	短く外上方に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は先細りする。	㊽ 回転ナデ ㊾ 回転ヘラケズリ	㊽ 回転ナデ ㊾ 回転ナデ →ヘラケズリ	灰色 青灰色	長(1~2) ◎		

表61 SD2出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1630	坏蓋	口径(14.8) 残高 2.1	尖り気味に丸い口縁部の小片。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎		
1631	坏身	残高 2.2	短く外上方に伸びる受部。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎		
1632	高坏	残高 3.1	坏部。外面に波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	長(1)・砂 ◎	釉付着	
1633	器台	残高 5.4	外面に波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 黒灰色	密 ◎		

出土遺物観察表

表62 SD2出土遺物観察表 金属製品

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)		
1634	鑿		鉄	3.8	0.5	0.3	4.902		31

表63 SA1出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1635	坏蓋	口径(11.7) 残高 2.9	天井部と口縁部を分ける稜をもち、口縁部は内湾気味である。	㊸ 回転ヘラズリ ㊹ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎		
1636	坏蓋	口径(14.2) 残高 2.0	口縁部の小片。口端部は内傾する面をもち凹む。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎		
1637	高坏蓋	つば径(3.2) 残高 1.7	つまみ部。中央部が凹む。	㊺ 回転ナデ ㊻ 回転ヘラズリ	ナデ	灰色 灰色	密 ◎		
1638	坏身	口径(11.0) 残高 1.8	短く水平に伸びる受部。短い立ち上がりは内傾し口端部は尖り気味である。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎		
1639	高坏	底径(7.6) 残高 3.7	脚部小片。脚縮部は屈曲する。	㊼ 斜目(8-9.5/cm) 回転ナデ ㊽ ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎		
1640	高坏	底径(7.8) 残高 1.9	脚部小片。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 灰色	密 ◎		
1641	高坏	底径(8.0) 残高 2.7	脚部小片。透かしをもつ。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	釉附着	
1642	高坏	残高 3.9	透かしをもつ脚部の小片。	ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎		
1643	甗	残高 2.5	段をもち外反する口頸部。頸部上部に波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎		
1644	壺	口径(17.8) 残高 1.8	口縁部の小片。口端部は肥厚させ丸い。	㊾ 回転ナデ ㊿ 斜目(9.5/cm)	不明	暗青灰色 灰色	密 ◎		

表64 SX2出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1645	壺	胴部径 27.9 残高 23.4	球形の胴部。口縁部と底部を欠失する。	㊿ タキ→回転ナデ ㊽ 回転ナデ→タキ	㊿ 同心円タタキ ㊽ タタキ	灰色 灰色	長(2~4) ◎		31
1646	把手付鍋	口径 28.2 器高 23.4	丸味をもつ底部から胴部。口縁部は短く、外反する。舌状の把手が付く。把手の上部に沈線が全体の半周巡る。	㊿ ヨコナデ ㊽ 斜目(10-14.5/cm) ㊾ ハケ(7本/cm) ㊿ マメツ	ヨコナデ 指頭痕	橙黄褐色 橙黄褐色	石・長(1~6) ◎		31

表65 第Ⅶ層出土遺物観察表 土製品

(1)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1647	坏身	口径(12.4) 器高 4.2	底部は丸味をもち、短く外上方に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は丸い。ヘラ記号あり。	㊿ 回転ナデ ㊽ 回転ヘラズリ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1~5) ◎	G16区	
1648	高坏	口径(15.0) 残高 4.8	口縁部はわずかに外反し端部は丸い。外面に2条の凸線と5条1組の波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰褐色	石・長(1~3) ◎	G8区	
1649	高坏	口径(14.6) 残高 4.5	わずかに外反する口縁部の端部は丸い。外面に凸線と沈線を1条、10条1組の波状文を施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰白色	石(1~2) 赤(4) ◎	G7区	
1650	高坏	残高 2.8	外面に凸線2条と凸線間に波状文を施す。坏底部に脚部接合のための線刻。	回転ナデ	マメツ	灰色 灰白色	長(2~3) ◎	F6区	
1651	高坏	底径(7.2) 残高 4.5	脚部。端部は内湾して接地する。外面に2条の凸線。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰色	密 ◎	F7区	
1652	高坏	残高 3.3	凸線と透かしを施す。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	長(1) ◎	F8区	
1653	甗	口径(19.9) 器高 31.3	球形の胴部に外反する口縁部。端部はナデにより上下に拡張さす。	㊿ 回転ナデ ㊽ カキ目 ㊾ カキ目→ナデ ㊿ 平行タタキ	㊿ 回転ナデ ㊽ 同心円タタキ	暗灰色 暗灰色	石・長(1~5) ◎	H14区	31
1654	甗	口径(17.2) 残高 6.8	外反する口縁部、端部手前にわずかに段をもち端部は丸い。	㊿ 回転ナデ ㊽ タタキ→カキ目	㊿ 回転ナデ ㊽ 同心円文	灰黒色 灰色	長(1) ◎	H15区	

船ヶ谷遺跡4次調査

第Ⅶ層出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1655	壺	口径(20.2) 残高 3.6	外反する口縁部の端部は丸い。外面にヘラ記号あり。	㊦ 回転ナデ ㊧ カキ目	回転ナデ	灰色 灰色	長(1~3) ◎	F 9 区	
1656	壺	口径(17.8) 残高 5.4	口縁部は段をもち直立する。端部は内傾する面をもつ。	㊦ 回転ナデ ㊨ カキ目	回転ナデ	灰色黄色 灰色黄色	長(8) ◎	H17区	31
1657	壺	残高 6.7	外傾する口縁部。内面に段、外面に沈線1条を施す。	㊦ 回転ナデ ㊨ タタキ→カキ目	回転ナデ 同心円文	青灰色 青灰色	石・長(1~8) ◎	F 8 区	
1658	壺	口径(10.2) 残高 3.5	肩の張る胴部に口縁部はわずかに内傾する。端部は尖り気味に丸い。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎	G17区	
1659	壺	口径(11.0) 残高 4.5	外傾する口縁部の端部は尖り気味である。	㊦ 回転ナデ ㊧ カキ目	回転ナデ	灰褐色 灰褐色	長(1~3) ◎	F 7 区	
1660	壺	口径(12.6) 残高 8.7	直立する口縁部。凸帯3条と6条の波状文を施す。	回転ナデ ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ◎	G 8 区	
1661	壺	残高 3.1	耳状の把手が付く。外面に2条の沈線と波状文を施す。	施文	回転ナデ	灰色 灰褐色	密 ◎	E 8 区	
1662	器台	残高 5.2	外面に波状文を施す。	回転ナデ 格子タタキ	回転ナデ	灰褐色 灰色	密 ◎	G 6 区 釉付着	
1663	器台	残高 5.8	口縁部の小片。端部外方に肥厚さす。	回転ナデ	回転ナデ	青灰色 青灰白色	長(1~3) ◎	G 6 区	
1664	器台	残高 2.7	頸部の小片。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰白色	白色粒 △	F 5 区	
1665	器台	残高 3.7	斜格子文を施す。小片。	ナデ	回転ナデ ナデ	灰桃白色 灰白色	白色粒 △	G14区	
1666	器台	残高 3.1	竹管文を施す。小片。	マメツ	マメツ	灰白色 灰白色	白色粒 △	F 7 区	
1667	甗	胴部径 9.4 残高 7.9	胴部は丸味をもち、底部は平底気味でヘラ記号あり。円孔は径1.5cm。	㊦ 回転ナデ ㊨ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	青灰色 青灰色	長(1~6) ◎		
1668	甗	胴部径 9.0 残高 9.2	細い頸部に扁球形な胴部をもち肩部に沈線2条を施す。円孔は径1.7cm。	㊦ 回転ナデ ㊨ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰白色 灰白色	長(1) ◎	G13区	
1669	甗	胴部径 10.0 残高 9.3	球形の胴部に広い頸部は段をもち口縁部につづく。外面には10条の波状文を施す。円孔は径1.4cm。	回転ナデ	回転ナデ	暗紫灰色 暗紫灰色	長(1~3) 金 ◎	G13区	
1670	甗	胴部径 10.6 残高 8.1	肩の張る胴部に尖り気味に丸い底部。頸部外面に波状文を施す。円孔は径1.5cm。	㊦ 回転ナデ ㊨ 回転ヘラケズリ ㊩ 回転ナデ→ナデ	㊦ 回転ナデ ㊨ タタキ	黒灰色 青灰色	密・長(1) ◎	D13区 釉付着	
1671	坏	底径(6.0) 残高 2.4	薄い底部の裾部に沈線が巡る。	回転ナデ	マメツ	乳白色 乳白色	密・赤 ◎		
1672	坏	底径 6.8 残高 2.2	丸味のある厚い底部。	回転ナデ ナデ	回転ナデ	灰黄色 黒茶色	密 ○	F 6 区	
1673	不明	残高 5.5	軟質土器。縄縵文。	タタキ	ナデ	乳黄色 乳黄色	密・石・長(1) ◎	G13区	31
1674	不明	残高 3.2	軟質土器。胴部の小片。	タタキ	マメツ	褐色 褐色	石・長(1~3) 金 ◎	H16区	31
1675	不明	残高 3.3	軟質土器。胴部の小片。	タタキ		乳茶色 乳茶色	長(1~3) 金 ◎	H13区	31
1676	不明	残高 4.1	軟質土器。胴部片。	格子タタキ	ナデ	茶橙色 黄白色	石・長(1~4) ◎	G 6 区	31
1677	不明	残高 4.1	胴部の小片。器壁は薄い。	格子タタキ	ナデ	灰白色 灰白色	密 ◎	G 7 区	31
1678	不明	残高 3.7	胴部の小片。	格子タタキ	ナデ	赤茶色 灰色	密 ◎		31
1679	壺	口径(17.1) 器高 40.2	屈曲して外反する口縁部。端部は「コ」の字状である。肩部に「X」字状のヘラ記号あり。	㊦ ヨコナデ ㊨ ハケ(8~11本/cm)	㊦ ヨコナデ ㊨ ハケ・指頭痕 工具痕 ㊩ ハケ(8本/cm)	淡黄灰色 淡黄灰褐色	石・長(1~5) ◎	E15区 黒斑	32

出土遺物観察表

第Ⅶ層出土遺物観察表 土製品

(3)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1680	台付甕	口径 (6.6) 底径 (7.6) 器高 8.2	内湾する口縁部の端部は短く外反する。脚部は外湾し端部は尖り気味に丸い。	①ヨコナデ ②マメツ ③ヨコナデ	④ヨコナデ ⑤マメツ ⑥ハケ(5~8/cm) ⑦ヨコナデ	橙褐色 橙褐色	石・長(1~4) ◎	E 5 区	32
1681	高 坏	残高 11.0	柱部。面を意識した成形を行っている。13面か。	マメツ	ヨコナデ	乳橙色 乳白橙色	石・長(1) 赤 ◎	F 7 区	
1682	高 坏	残高 6.0	柱部。外面は7面の面をもつ。	マメツ ハクリ	ナデ	乳黄色 乳白色	密・石・長(1) ◎	F 5 区	
1683	坏	底径 (7.3) 残高 3.0	円盤高台をもつ。(緑釉陶器?)	マメツ	マメツ	橙黄褐色 黄橙褐色	長(1~3) ◎	F 5 区	
1684	坏	底径 (7.0) 残高 1.5	削り出し高台をもつ。	ヨコナデ	マメツ	乳白橙色 乳白橙色	密(石・長・金) ◎	釉付着	
1685	甌	残高 4.0	把手。断面は長方形状で上面に「V」字状の溝。	ナデ		乳灰茶色	石・長(1~3)多 ◎	D 7 区	
1686	甌	残高 7.2	把手部。外上方に細長く伸びる。	ナデ 指おさえ	ナデ	乳黄橙色 乳黄橙色	石・長(1) 赤 ◎	H14区	
1687	カマド	残高 2.8	全体的に火を受けている。	ナデ		灰褐色	石・長(1~3) ◎	G 9 区	
1688	カマド	残高 10.5	すすけている。	ナデ 指おさえ		乳白色	石・長(1~3) 赤 ◎	G 9 区	
1689	鉢	残高 5.3	丸底。	ナデ	ナデ 指頭痕	橙黄色 黄灰褐色	長(1~3) 金 ◎		
1690	壺	胴部径 7.9 残高 6.0	扁平な胴部。胴中央部で最大径を測る。	⑧ヨコナデ ⑨ハズリ ナデ ⑩マメツ	ナデ	淡黄灰色 淡黄灰色	長(1~3) 金 ◎	D14区	
1691	ミチユ	口径 (6.0) 器高 4.5	手捏ね土器。口縁部は強い指押さえで作り出す。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	乳灰白色 乳白色	石・長(1~2) 赤 ◎	G 7 区	
1692	ミチユ	口径 (4.8) 残高 3.3	手捏ね土器。口縁部は指押さえにより外反する。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	乳黄色 乳黄色	石・長(1) 赤・金 ◎	G 7 区	
1693	ミチユ	口径 (3.2) 器高 2.4	手捏ね。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	灰白色 灰白色	密・白色粒 ◎	G 6 区	
1694	ミチユ	口径 (4.4) 残高 2.5	口縁部の小片。外面に竹管文が2ヶ所残る。	ナデ	ナデ	灰色 灰色	石・長(1~3) ◎	G 8 区	
1695	製塩土器	口径 (8.0) 残高 5.5	直立気味に内湾する口縁部の端部は尖る。	ナデ 指おさえ	ナデ 指おさえ	乳黄色 乳黄色	石・長(1~2) 金 ◎	H13区	
1696	製塩土器	底径 (6.8) 残高 4.2	直立する口縁部の端部は尖り気味に丸い。	マメツ ハクリ	ナデ 指おさえ	乳黄色 灰白色	石・長(1) 赤 ◎	H 8 区	
1697	製塩土器	口径 (4.4) 残高 2.4	直立する口縁部は尖る。	ナデ 指おさえ	ナデ	乳黄色 乳黄色	石・長(1) ◎	H13区	
1698	製塩土器	口径 (3.6) 残高 3.7	直立する口縁部は丸い。	タタキ	マメツ	乳橙色 乳褐灰色	密 ◎	G17区	
1699	製塩土器	残高 3.7	内湾気味の胴部片。	タタキ→ナデ タタキ	ナデ 指おさえ	乳灰褐色 褐色	石・長(1~2) 金 ◎	F14区	
1700	ミチユ	長幅高 4.8 2.8 3.1	甕。指おさえで成形。両側面に竹管文を巡らす。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	乳灰茶色	石・長(1~2) ◎	F 9 区	10 11
1701	ミチユ	長幅厚 4.3 5.0 1.5	盾。背面に把手状の凸基部をもつ。	指おさえ ナデ	指おさえ ナデ	茶白色	石・長(1~3) ◎	F 8 区	11
1702	ミチユ	径 (9.0)	鏡の模造品か。紐と思われる凸基部をもつ。	ナデ		乳灰黄色 灰黄色	石・長(1) 金 ◎	G 8 区	11
1703	紡錘車	上巾 (5.8) 下巾 (6.3) 器高 3.1	台形状の中心部に径1.2cmの孔。	ナデ 指頭痕	ナデ	乳白色 乳灰色	石・長(1~2) ◎	C14区	
1704	紡錘車	上巾 3.2 下巾 4.4 厚み 2.3	丸味をもつ台形状の器形。中心部に径1.0cmの孔。	ナデ 指おさえ		乳褐色	石・長(1) ◎	F 7 区	

船ヶ谷遺跡4次調査

第Ⅶ層出土遺物観察表 土製品

(4)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1705	土 錘	残高 8.9 孔径 1.6	円柱状の大きな土錘。	マメツ	ナデ	黄茶色 黄茶色	長(1~5) ◎	F 9 区	
1706	土 錘	残高 4.3 孔径 0.5	丸味をもつ円柱状である。	ナデ 指おさえ		乳褐色	石・長(1) 赤 ◎		
1707	甕	口径(19.0) 残高 4.3	貼付口縁。端部は丸い。	① ナデ ② ヨコナデ ③ ミガキ	ミガキ	乳灰茶色 灰色	石・長(1~5) 褐色粒 ◎	F 6 区	32
1708	壺	残高 4.3	胴部の小片。外面に貝殻による直線文と弧文を施す。	ナデ→施文	ナデ	乳白色 乳灰白色	石・長(1~2) 赤 ◎	D11区	
1709	壺	口径(17.6) 残高 6.7	外反する口縁部。端部に羽状文、頸部に連鎖状刻目文の凸帯を貼付ける。	ハケ(5本/cm) ナデ	④ミガキ ⑤ハケ(5本/cm) ⑥ナデ	灰褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	H 8 区 黒 斑	
1710	壺	残高 4.3	口縁部の小片。端部に羽状文を施す。	ミガキ	ヨコナデ	淡褐色 暗灰色	石・長(1~3) ◎	G 8 区 黒 斑	
1711	甕	底径 6.3 残高 3.4	くびれの上げ底。	ナデ上げ ヨコナデ	ナデ 板ナデ	淡茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) ◎		
1712	壺	残高 4.9	胴部片。5条以上の沈線文、7条の波状文、7条の沈線文、刺突列点文を施す。	ミガキ	不明	茶橙色 乳白色	石・長(1~3) ◎	B 8 区	
1713	分銅型 土製品	長 3.3 幅 4.0 厚 1.2	くびれ部が細い。表面から側面に貫通する穿孔2ヶ所。表面と上面に沈線による表現。	ナデ		乳白色	石・長(1~2) ◎	H13区 黒 斑	32
1714	壺	残高 3.0	口縁部の小片。端部は「コ」の字状。外面に竹管文を施す。	施文	ナデ	暗灰色 暗灰色	石・長(1) ◎	G 7 区	
1715	鉢	残高 7.8	胴上部に「十」字状の線刻あり。	⑦ ヨコナデ ⑧ ハケ(8本/cm)	⑨ ヨコナデ ⑩ ミガキ	乳茶褐色 乳灰黄色	石・長(1~5) ◎	F 5 区	
1716	器台	残高 10.5	脚部に径1.0cmの円孔が5段に残る。	ハケ(6本/cm)	ナデ ハケ	淡茶褐色 淡褐色	石・長(1~2) ◎	F 5 区	
1717	甕	底径 3.2 残高 5.2	小さな底部に径0.9cmの焼成前の穿孔を施す。	ハケ→ミガキ	ナデ	淡茶褐色 橙褐色	石・長(1~3) ◎	G 8 区 黒 斑	

表66 第Ⅶ層出土遺物観察表 金属製品

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)		
1718	鍔	ほぼ完形	鉄	2.4	0.8	0.4	3.109		33

表67 第Ⅶ層出土遺物観察表 石製品

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1719	石 鍔	完形	サヌカイト	2.4	1.8	0.3	1.032	I 6 区	
1720	石 鍔	ほぼ完形	サヌカイト	2.8	2.3	0.4	1.89	D14区	
1721	粗製剥片刃器	完形	安山岩	8.7	5.3	1.0	50.37	F10区	
1722	石 錘	完形	緑色片岩	10.1	6.7	1.7	199.73	G 9 区	
1723	石 錘	完形	緑色片岩	12.2	6.3	1.3	175.90	D14区	
1724	石 錘	完形	緑色片岩	10.1	4.7	1.7	129.62		
1725	石 錘	完形	花崗岩	10.3	7.8	4.9	500.00	F13区	
1726	敲 石	完形	安山岩	10.8	6.0	5.3	460.00	F 8 区	
1727	敲 石	完形	安山岩	16.0	5.1	4.6	640.00	F 5 区	
1728	敲・磨石	完形	安山岩	4.9	4.8	4.9	168.04		
1729	砥 石	完形	安山岩	8.3	5.9	1.7	147.35	F 7 区	
1730	石 庖丁	3/4	緑色片岩	8.6	4.7	0.6	35.907		
1731	石 庖丁	3/4	緑色片岩	7.7	3.9	0.7	31.847	E 5 区	
1732	石 庖丁	完形	サヌカイト	8.9	5.1	1.5	78.703	F 8 区	
1733	柱状片刃石斧		緑色片岩	4.7	2.1	4.3	75.066	F 8 区	
1734	両刃石斧			3.9	5.6	1.2	33.564	F14区	

出土遺物観察表

第Ⅶ層出土遺物観察表 石製品

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1735	扁平片刃石斧		緑色片岩	4.3	5.1	0.7	22.160	G10区	
1736	扁平片刃石斧		緑色片岩	3.5	1.9	1.0	8.201	J7区	
1737	扁平片刃石斧		白色凝灰岩	3.0	1.4	0.8	5.535	F5区	
1738	扁平片刃石斧		緑色片岩	4.0	2.4	0.5	7.238	G6区	
1739	管玉	完形	碧玉	3.2	(径)0.6	(径)0.3	2.550	G8区	33
1740	管玉	完形	碧玉	2.4	(径)0.4	(径)0.2	0.635	G17区	33
1741	勾玉	完形		3.3	2.0	0.6	6.35	G8区	33
1742	石核	完形	サヌカイト	15.0	8.1	4.7	590.00	F5区	33
1743	原石	完形	緑色片岩	10.9	4.4	1.6	102.41	G14区	
1744	鑄型		石英粗面岩	6.0	5.0	3.6	106.02	F7区	

表68 出土地点不明出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1745	壺	口径(28.8) 残高 7.0	外反する口縁部。頸部と口縁内面に押圧された凸帯を張付る。	㊶ヨコナデ ㊷ミガキ→ナデ ヨコナデ ㊸ハケ→ミガキ	㊹ミガキ 指頭痕 ㊺ナデ	淡灰黄色 淡灰黄色	石・長(1~2) 金 ◎		
1746	壺	残高 3.3	胴部の小片。4条の沈線と貝殻(タマキ貝)施文を施す。	施文	ナデ	乳白色 乳白色	石・長(1~2) ◎		
1747	壺	残高 3.9	凸帯と貝殻弧文を施す。	施文	ハクリ	乳白色 乳黄色	石・長(1~3) 金 ◎		
1748	壺	残高 3.8	胴部の小片。沈線文を施す。	タタキ→ナデ	ナデ	茶褐色 淡茶褐色	石・長(1~2) 金 ◎		
1749	壺	口径(13.2) 残高 4.7	段をもつ口縁部。端部はわずかに外反し丸い。	ヨコナデ	ヨコナデ	乳黄褐色 乳黄褐色	石・長(1~2) 金 ◎		
1750	壺	口径(7.0) 残高 1.9	口縁部の小片。端部は丸い。	ヨコナデ 指頭痕	ヨコナデ	橙灰色 橙色	石・長(1~4) 金 ◎		
1751	壺	残高 3.2	頸部は広く胴部は扁平。	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ	浅黄褐色 褐黄褐色	石・長(1~2) ◎		
1752	壺	残高 6.2	粘土紐が顕著に残る。底部に「X」字状のへら記号あり。	㊻ナデ ハケ(7本/cm) ㊼ケズリ	ナデ 指頭痕	黄褐色 明黄褐色	石(1~3) 金 ◎		
1753	甌	口径(26.8) 残高 8.3	直立する口縁部。端部は「コ」の字状に丸い。	ハケ(7本/cm)	㊽ヨコナデ ㊾ナデ	橙色 にぶい橙色	石・長(1~2) ◎		
1754	甌	残高 3.4	断面楕円形状の短い把手。	ナデ	ハケ	浅黄褐色 灰褐色	石・長(1~3) ◎		
1755	製塩土器	残高 3.1	小片。	マメツ	ナデ	橙黄色 黒灰色	長(1) ◎		

表69 出土地点不明出土遺物観察表 装身具

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)		
1756	勾玉	完形	土	3.6	1.0	1.2	8.639		33

表70 出土地点不明出土遺物観察表 土製品

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1757	土玉	最大径 2.1 長 1.4 孔径 0.3	そろばん玉状の形状の中心に径3mmの穿孔。	ナデ		乳白色	石・長(1) ◎	重さ 5.503g	33
1758	不明	長 4.4 幅 3.8 厚 3.1 孔径 0.4~1.2	片面に貫通しない穿孔。	ナデ		黒灰色	石・長(1~4) 角・金 ◎		33
1759	坏蓋	口径(12.0) 残高 4.4	丸みのある天井部は明確な稜をもち口縁部につづく。	㊿回転ヘラケズリ ㊽回転ナデ	回転ナデ	青灰色 灰色	密・長 ◎		
1760	坏蓋	残高 2.8	丸みのある浅い天井部。	㊿回転ヘラケズリ ㊽マメツ	回転ナデ	乳橙色 乳橙色	石(1) ◎		

船ヶ谷遺跡4次調査

出土地点不明出土遺物観察表 土製品

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	図版
				外面	内面				
1761	蓋	口径 (20.8) 器高 9.8	水平な天井部に大きく屈曲する口縁部。口端部は凹む。天井部につまみが付く。	㊸ 回転ナデ ㊹ 回転ヘラズリ ㊺ 回転ナデ	回転ナデ	灰黄色 灰黄色	石 (1) ◎		
1762	坏身	口径 12.4 器高 4.9	短く水平に伸びる受部。立ち上がりは内傾し端部は尖り気味に丸い。	㊸ 回転ナデ ㊹ 回転ヘラズリ	回転ナデ ナデ	青灰色 青灰色	密(石・長) ◎		
1763	器台	残高 4.7	外面に斜格子文と竹菅文を施す。	マメツ	マメツ	灰白色 乳黄橙色	白色粒 △		
1764	不明	残高 3.7	軟質土器。	タタキ	マメツ	乳橙白色 乳白色	石(1~3) ◎		33
1765	不明	残高 2.8	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	灰茶色 灰茶色	石・長(1) ◎		33
1766	不明	残高 2.2	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	灰色 灰色	石・長(1~2) ◎		33
1767	不明	残高 3.9	軟質土器の胴部片。	格子タタキ	ナデ	茶橙色 茶橙色	石・長(1) ◎		33

表71 出土地点不明出土遺物観察表 石製品

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ (cm)	幅 (cm)	最大厚 (cm)	重さ (g)		
1768	石 鎌	完 形	サヌカイト	2.1	2.0	0.4	0.905		
1769	石 鎌	4/5	サヌカイト	2.0	1.3	0.2	0.43		
1770	スクレイパー	ほぼ完形	サヌカイト	5.0	3.3	1.0	18.834		
1771	スクレイパー	完 形		11.3	11.7	1.4	242.416		
1772	スクレイパー	完 形	緑色片岩	8.8	12.1	0.8	137.900		
1773	石 錘	完 形	緑色片岩	11.3	6.8	2.1	305.00		33
1774	石 錘	完 形	安山石	11.0	7.0	3.3	380.00		
1775	石 錘	完 形	緑色片岩	7.8	7.5	1.9	196.86		
1776	石 棒		結晶片岩	10.7	4.8	2.8	204.227		
1777	石 棒		結晶片岩	8.2	4.8	2.9	213.803		
1778	石 棒		結晶片岩	8.2	5.1	3.8	250.318		
1779	男根状石製品		石英粗面岩	8.9	4.5	2.4	151.089		
1780	敲 石	完 形	安山岩	14.5	7.7	5.8	1155.00		33
1781	敲 石	完 形	安山岩	15.3	7.8	3.5	565.00		
1782	敲 石	完 形	安山岩	16.1	6.2	3.0	425.00		
1783	敲 石		緑色片岩	8.7	7.6	2.9	249.894		
1784	敲 石	完 形	安山岩	13.9	4.2	2.3	170.703		
1785	砥 石	完 形	石英粗面岩	10.0	6.2	5.4	420.00		
1786	砥 石		石英粗面岩	8.6	6.9	5.0	372.00		
1787	砥 石	完 形	石英粗面岩	7.5	6.8	4.2	195.629		
1788	鑄 型		石英粗面岩	4.6	4.4	3.8	83.43		
1789	石 庖 丁		緑色片岩	5.2	2.5	0.7	12.37		
1790	石 鎌	完 形	緑色片岩	16.1	5.6	2.0	316.00		
1791	両 刃 石 斧		緑色片岩	4.3	2.5	0.7	13.077		
1792	柱状片刃石斧		緑色片岩	4.6	2.0	3.5	48.095		
1793	柱状片刃石斧		緑色片岩	4.6	2.0	1.6	27.553		
1794	鑿状片刃石斧	完 形	緑色片岩	5.4	1.6	0.6	8.14		
1795	紡 錘 車	完 形	緑色片岩	4.5	5.0	2.0	69.86		33
1796	紡 錘 車		緑色片岩	4.3	1.8	1.6	15.20		33
1797	原 石		緑色片岩	18.7	6.9	4.4	674.00		
1798	原 石		緑色片岩	10.1	4.3	1.7	132.276		

出土遺物観察表

出土地点不明出土遺物観察表 石製品

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1799	原石		緑色片岩	8.6	3.0	1.2	55.906		
1800	原石		緑色片岩	9.4	2.3	1.7	64.177		
1801	原石			8.8	4.9	2.4	139.86		
1802	原石		緑色片岩	7.2	3.1	1.4	51.64		
1803	原石		緑色片岩	6.3	1.4	1.0	15.109		
1804	原石	完形	安山岩	10.0	5.6	1.4	140.28		
1805	原石		安山岩	7.1	5.3	3.0	144.340		

表72 SRI②層出土遺物観察表 石製品 (スクレイパー・刃器・剥片)

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1806	スクレイパー		サヌカイト	5.0	4.6	0.8	21.45	F 5 区	34
1807	スクレイパー		サヌカイト	3.5	3.0	0.5	6.63	G 1 4 区	34
1808	スクレイパー		サヌカイト	3.7	2.9	0.5	6.98	F 1 4 区	34
1809	スクレイパー		サヌカイト	4.9	2.9	1.0	16.24	G 1 0 区	34
1810	粗製剥片刃器			7.5	3.6	0.5	13.95	G 1 5 区	34
1811	打製刃器		緑色片岩	11.7	10.8	1.9	310	H 1 5 区	34
1812	剥片		サヌカイト	5.6	2.9	0.4	7.44	F 7 区	34
1813	剥片		サヌカイト	2.8	2.2	0.6	4.69	F 8 区	34
1814	剥片		結晶片岩	3.7	2.8	0.4	6.38	F 9 区	34
1815	剥片		サヌカイト	4.6	3.3	0.7	11.36	G 6 区	34
1816	剥片		サヌカイト	4.1	2.4	0.7	6.33	G 6 区	34
1817	剥片		結晶片岩	8.6	4.8	1.0	80.41	F 9 区	34
1818	剥片			8.0	5.5	0.8	34.32	F 6 区	34
1819	剥片		サヌカイト	3.4	3.2	0.9	10.42	C 1 1 区	34
1820	剥片		サヌカイト	4.0	2.4	0.7	6.36	D 1 5 区	34
1821	剥片		安山岩	3.0	2.1	0.3	2.45	E 1 3 区	34
1822	剥片		結晶片岩	2.9	2.1	0.3	3.66	E 1 5 区	34
1823	剥片		片岩	4.3	3.2	0.4	6.87	F 4 区	34
1824	剥片		緑色片岩	3.3	4.2	0.2	5.51	F 5 区	34
1825	剥片		片岩	5.1	4.0	0.6	13.74	F 7 区	34
1826	剥片		緑色片岩	4.2	2.2	0.7	8.98	F 1 0 区	34
1827	剥片		緑色片岩	5.2	4.0	0.5	15.94	F 1 0 区	34
1828	剥片			5.2	3.9	0.6	14.89	F 1 2 区	34
1829	剥片		緑色片岩	3.3	2.4	0.2	2.77	G 3 区	34
1830	剥片			6.5	2.2	0.6	9.84	G 7 区	34
1831	剥片		サヌカイト	3.3	2.2	0.5	5.07	G 1 0 区	34
1832	剥片			5.0	3.9	0.6	10.14	G 1 4 区	34
1833	剥片		緑色片岩	3.3	2.8	0.4	5.80	G 1 4 区	34
1834	剥片		緑色片岩	5.3	2.8	0.7	14.58	G 1 5 区	34

船ヶ谷遺跡4次調査

SRI②層出土遺物観察表 石製品（スクレイパー・刀器・剥片）

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
1835	剥片		サヌカイト	3.9	2.5	0.7	8.77	H14区	34
1836	剥片			2.5	3.0	0.5	4.68	H14区	34
1837	剥片		緑色片岩	4.3	3.7	0.9	21.20	H15区	34
1838	剥片		サヌカイト	4.7	3.9	0.6	16.04	H16区	34
1839	剥片		緑色片岩	4.3	2.9	0.7	15.56	E11区	34
1840	剥片		結晶片岩	4.2	3.0	1.0	15.98	E13区	34
1841	剥片		緑色片岩	4.9	2.8	0.4	8.55	E15区	34
1842	剥片		緑色片岩	11.5	7.7	1.6	153.29	G15区	34
1843	剥片		緑色片岩	8.8	1.5	1.1	19.52	G16区	34

表73 SRI②層出土遺物観察表 石製品（敲石・磨石）

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面						備考	図版	
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右			左
1844	敲石	完形	花崗岩	10.4	9.6	5.7	825	○							円形 F7区	35
1845	敲石	完形	安山岩	9.2	8.6	2.0	260	○			○	○			円形	35
1846	敲石	完形	安山岩	8.0	7.0	5.4	475	○	○		○			○	円形	35
1847	敲石	完形	安山岩	10.2	9.9	7.4	1090	○	○		○				楕円形 G6区	35
1848	敲石	欠損	安山岩	11.4	8.0	2.5	285	○						○	楕円形 F13区	35
1849	敲石	欠損	安山岩	10.3	6.5	4.9	620	○	○		○	○	○		楕円形 F16区	35
1850	敲石	完形	安山岩	18.8	12.8	6.4	1190	○	○		○		○	○	楕円形 G12区	35
1851	敲石	欠損	安山岩	13.8	8.7	4.8	770	○			○				楕円形 F8区	35
1852	敲石	欠損	安山岩	13.1	9.3	5.0	775	○	○		○	○			楕円形 F12区	35
1853	敲石	欠損	安山岩	9.4	11.5	6.4	955	○	○		○				楕円形 G16区	35
1854	敲石	ほぼ完形	安山岩	16.7	9.9	5.9	1350	○	○		●	○	○		楕円形 C13区	35
1855	敲石	一部欠損	安山岩	9.7	8.0	4.2	465	○	○		●	○	○		楕円形 E6区	35
1856	敲石	欠損	安山岩	6.9	5.3	4.7	208.18	○			○			○	楕円形 F6区	35
1857	敲石	完形	安山岩	11.6	9.5	4.6	635	○	○		○		○		楕円形 G6区	35
1858	敲石	欠損	安山岩	12.5	5.5	4.9	490	○	○					○	楕円形 G9区	35
1859	敲石	完形	安山岩	9.4	7.6	3.5	565			○					楕円形 E14区	35
1860	敲石	欠損	安山岩	7.5	8.7	7.3	685	●	○		○		○		楕円形 F7区	35
1861	敲石	完形	安山岩	15.7	8.1	6.6	260			○					楕円形 F12区	35
1862	敲石	完形	安山岩	9.9	7.5	2.5	255	○	○		○	○			楕円形 G7区	35
1863	敲石	完形	安山岩	11.7	5.9	5.1	350				○	○			楕円形 F5区	35
1864	敲石	完形	安山岩	12.6	5.9	4.8	345	○			○	○			楕円形 E6区	35
1865	敲石	完形	安山岩	10.7	6.5	3.8	370	○			○	○	○		楕円形 F6区	35
1866	敲石	完形	安山岩	10.7	7.6	3.7	490				○	○	○	○	楕円形 F14区	35
1867	敲石	完形	安山岩	11.0	6.4	3.9	410	○			○	○		○	楕円形 F15区	35
1868	敲石	完形	安山岩	10.4	6.9	4.0	525	○			○		○		楕円形 G6区	35
1869	敲石	完形	安山岩	9.7	4.4	4.4	245.76				○	○	○		楕円形 G6区	35
1870	敲石	完形	安山岩	13.0	4.9	4.2	415	○			○				楕円形 G16区	35

※敲石・磨石は敲いている面をA面と上としている。
 敲・磨石は敲面を○、磨り面を△で表示している。
 印の度合●強

出土遺物観察表

SRI②層出土遺物観察表 石製品 (敲石・磨石)

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				敲き面				備考	図版			
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上			下	右	左
1871	敲石	完形	安山岩	14.0	6.4	4.5	675	○			○	○	○	○	楕円形 G16区	35
1872	敲石	欠損	安山岩	8.5	4.6	4.3	240.89	○			○				楕円形 C12区	35
1873	敲石	完形	安山岩	8.7	5.4	4.3	268.63	○			○				楕円形 C12区	35
1874	敲石	完形	安山岩	7.5	4.4	3.4	157.74				○	○			楕円形 F3区	35
1875	敲石	完形	安山岩	7.6	5.4	3.6	246.22	○	○		○	○			楕円形 F5区	35
1876	敲石	完形	安山岩	8.9	4.6	4.1	253.58				○	○			楕円形 F5区	35
1877	敲石	一部欠損	安山岩	12.3	5.0	3.1	259.56	○	○		○		○	○	楕円形 G10区	35
1878	敲石	完形	安山岩	10.9	6.9	5.5	540			○					楕円形 G15区	35
1879	敲石	完形	安山岩	7.4	4.6	4.4	239	○			○	○		○	楕円形 H13区	35
1880	敲石	完形	安山岩	16.0	8.2	5.2	925	○			○	○	○		楕円形 C12区	35
1881	敲石	完形	安山岩	13.6	5.8	6.0	765	○			○		○	○	楕円形 C12区	35
1882	敲石	完形	安山岩	14.4	8.4	7.1	1,305	○	○		○				楕円形 F4区	35
1883	敲石	完形	安山岩	13.8	7.7	4.7	780	○	○		○	○	○		楕円形 G14区	35
1884	敲石	完形	安山岩	9.2	7.4	5.9	565	○			○	○			楕円形 H12区	35
1885	敲石	完形	安山岩	11.7	6.2	3.2	310	○			○	○	○		楕円形 E15区	35
1886	敲石	欠損	安山岩	4.9	6.5	5.7	260.05	○			○				楕円形 G12区	35
1887	敲石	欠損	花崗岩	9.1	7.4	5.2	575			○					楕円形 D13区	35
1888	敲石	欠損	花崗岩	12.3	8.9	4.4	580						○		楕円形 F5区	35
1889	敲石	完形	安山岩	8.3	6.2	3.5	310	○	○		○	○	○		楕円形 F12区	35
1890	敲石	完形	安山岩	6.4	3.9	3.1	104.31	○			○			○	楕円形 F13区	35
1891	敲石	完形	安山岩	6.3	5.5	4.2	193.22	○							楕円形 D14区	35
1892	敲石	欠損	安山岩	12.1	11.5	5.6	960	○	○		○		○	○	楕円形 D14区	35
1893	敲石	完形	花崗岩	11.3	9.4	5.2	765			○					楕円形 F14区	35
1894	敲石	欠損	安山岩	11.0	9.5	4.1	500	○	○		○				楕円形 C9区	35
1895	敲石	完形	安山岩	5.0	3.7	2.1	57.09				○				楕円形 C11区	35
1896	敲石	完形	安山岩	4.6	3.4	2.5	52.71	○							楕円形 C12区	35
1897	敲石	欠損	安山岩	10.7	5.6	2.6	204.78	○			○		○		楕円形 E14区	35
1898	敲石	完形	安山岩	13.7	7.5	7.5	900	○							楕円形 F9区	35
1899	敲石	一部欠損	砂岩	13.0	7.5	8.7	1,070	○			○				楕円形 G13区	35
1900	敲石	欠損	安山岩	5.4	4.5	1.7	68.75							○	楕円形 F4区	35
1901	敲石	欠損	花崗岩	4.5	3.0	2.9	47.46	○							楕円形 F7区	35
1902	敲石	完形	安山岩	6.9	6.0	3.4	229.76				○				楕円形 D14区	35
1903	敲石	完形	安山岩	6.1	5.2	3.9	154.40	○			○				楕円形 F7区	35
1904	敲石	完形	安山岩	7.4	6.6	6.1	485	○					○	○	楕円形 F6区	35
1905	敲石	欠損	花崗岩	9.8	7.8	5.5	545	○							楕円形 G7区	35
1906	敲石	欠損	安山岩	7.8	7.6	5.2	355	○							楕円形 G7区	35
1907	敲石	欠損	安山岩	9.6	6.6	6.1	405	○	○		○				楕円形 H14区	35
1908	敲石	一部欠損	安山岩	5.6	3.5	2.0	48.83	○	○		○	○			楕円形 F6区	35
1909	敲石	欠損	安山岩	8.0	5.9	1.8	109.06	○							楕円形 F4区	35

船ヶ谷遺跡4次調査

SRI②層出土遺物観察表 石製品（敲石・磨石）

(3)

番号	器種	残存	材質	法量				敲き面						備考	図版		
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右			左	
1910	敲石	欠損	石英	6.3	6.3	3.7	174.27	○								楕円形 F12区	35
1911	敲石	欠損	花崗岩	8.6	7.7	3.0	275	○	○		○					楕円形	35
1912	敲石	欠損	安山岩	7.1	3.8	2.9	132.63	○			○		○	○		棒状	35
1913	敲石	完形	安山岩	8.3	3.2	2.2	98.81				○	○				棒状	35
1914	敲石	完形	安山岩	9.9	3.6	3.1	177.37				○	○				棒状	35
1915	敲石	一部欠損	安山岩	9.3	3.7	2.2	128.69				○					棒状 F15区	35
1916	敲石	完形	安山岩	7.6	2.0	1.4	32.31							○		棒状 H14区	35
1917	敲石	完形	安山岩	10.0	8.0	4.0	470	○			○					方形 F5区	35
1918	敲石	完形	安山岩	9.9	7.8	4.4	485	○			○	○	○	○		方形 F4区	35
1919	敲石	完形	安山岩	9.0	8.7	6.2	705			○						方形 G12区	35
1920	敲石	完形		16.3	5.8	2.5	370				○	○	○	○		長方形 G12区	35
1921	敲石	欠損	安山岩	12.9	6.9	6.1	690	○			○					長方形 G9区	35
1922	敲石	完形	安山岩	14.3	8.4	3.7	715	○	○							長方形 H17区	35
1923	敲石	ほぼ完形	安山岩	13.0	7.9	5.4	840	○	○		○					長方形	35
1924	敲石	欠損	安山岩	10.5	6.6	2.7	1,580	○								長方形 G7区	35
1925	敲石	一部欠損	安山岩	16.2	7.2	3.7	56.5	○	○		○	○	○			長方形 G7区	35
1926	敲石	欠損	花崗岩	8.8	5.8	2.8	194.72	○			○					長方形 F4区	35
1927	敲石	欠損	安山岩	7.4	6.3	3.3	208.36	○			○		○	●		長方形 F8区	35
1928	敲石	欠損	安山岩	9.8	5.0	2.8	198	○	○		○		○	○		長方形	35
1929	敲石	完形	安山岩	16.9	7.0	6.1	1,200	○			●	○				長方形 F15区	35
1930	敲石	完形	安山岩	15.9	5.4	3.5	525				○					棒状	35
1931	敲・磨石	一部欠損	安山岩	12.5	8.6	6.5	1,095	○		△	○			○		楕円形 F7区	35
1932	敲・磨石	完形	安山岩	10.9	8.7	7.0	1,050	○	○	△	○		○	○		楕円形 F12区	35
1933	敲・磨石	ほぼ完形	安山岩	13.3	10.0	7.0	1,360	○		△	○	○				楕円形 H14区	35
1934	敲・磨石	完形	安山岩	11.4	7.6	6.1	710	○		△	○					楕円形 F5区	35
1935	敲・磨石	完形	安山岩	13.9	8.8	5.7	1,100	○		△	○	○	○	○		楕円形 F7区	35
1936	敲・磨石	欠損	安山岩	10.0	8.4	5.6	700	△	△		△		△	△		楕円形 F12区	35
1937	敲・磨石	一部欠損	安山岩	14.8	7.2	3.6	525			△	○	○				楕円形 G7区	35
1938	敲・磨石	欠損	安山岩	6.8	5.2	3.9	196.34	△	△		△			△		楕円形 H14区	35
1939	敲・磨石	完形	花崗岩	9.8	7.6	6.7	685			△	○	○				楕円形 C12区	35
1940	敲・磨石	欠損	安山岩	10.0	7.0	5.1	585	△	△		●		△	△		楕円形 E12区	35
1941	敲・磨石	完形	安山岩	6.1	4.1	2.6	94.88			△	○	○		○		楕円形 D9区	35
1942	敲・磨石	一部欠損	安山岩	11.7	5.5	1.8	204.63	○		△	○	○	○	○		楕円形 H14区	35
1943	敲・磨石	完形	安山岩	11.3	7.4	5.0	645	○	○	△	○	○	○			楕円形 D12区	36
1944	敲・磨石	完形	安山岩	15.2	7.9	7.5	1,400	○		△	○	○				楕円形 D9区	36
1945	敲・磨石	欠損	安山岩	15.3	11.2	5.4	1,265	△			○	○		△		楕円形 H14区	36
1946	敲・磨石	完形	安山岩	6.8	5.0	4.2	205.95			△	○		○			楕円形 F4区	36
1947	敲・磨石	完形	安山岩	6.3	5.4	4.6	224.32			△	○	○	○	○		楕円形 H14区	36
1948	敲・磨石	完形	安山岩	5.3	5.3	5.4	330			△	○	○		○		楕円形	36

出土遺物観察表

SRI②層出土遺物観察表 石製品 (敲石・磨石)

(4)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面						備考	図版	
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右			左
1949	敲・磨石	完形	安山岩	10.0	7.7	3.4	415			△	○		○	○	楕円形 E7区	36
1950	敲・磨石	欠損	安山岩	13.6	5.4	4.6	400	△	△		△				楕円形 G14区	36
1951	敲・磨石	完形	安山岩	6.5	2.8	1.5	45.27	○		△	○	○			楕円形 G13区	36
1952	敲・磨石	完形	安山岩	9.6	7.0	3.1	254.86	○		△	○		○		楕円形 C12区	36
1953	敲・磨石	欠損	安山岩	8.7	7.9	1.9	205.29	△					△		楕円形 F4区	36
1954	敲・磨石	欠損	安山岩	10.4	5.5	3.4	208.13	△	△		△			△	楕円形 G6区	36
1955	敲・磨石	欠損	安山岩	11.7	7.1	5.8	650	△	△					△	楕円形 G7区	36
1956	敲・磨石	完形	安山岩	8.0	3.1	3.2	101.90			△	○	○			棒状 F13区	36
1957	敲・磨石	完形	安山岩	9.3	4.8	3.5	252.22			△	○	○			長方形 E5区	36
1958	敲・磨石	欠損	安山岩	5.8	5.5	3.9	196.64	△	△				△	○	長方形 H15区	36
1959	敲・磨石	欠損	安山岩	12.2	5.0	3.7	290	△	△		○		△	△	長方形 G16区	36
1960	磨石	欠損	安山岩	10.4	7.1	2.4	236.84	○	○		○				円形	36
1961	磨石	完形	安山岩	4.7	4.3	3.6	107.33			○					円形 E12区	36
1962	磨石	完形	安山岩	3.2	3.1	2.3	32.51			○					円形 F12区	36
1963	磨石	完形		10.7	9.3	7.1	955			○					円形	36
1964	磨石	完形	安山岩	8.0	7.6	5.0	460			○					円形 C7区	36
1965	磨石	完形	安山岩	6.2	6.1	4.1	227.22			○					円形 C10区	36
1966	磨石	完形	安山岩	4.1	3.8	2.4	53.44			○					円形 G8区	36
1967	磨石	一部欠損		8.2	5.3	1.1	72.29			○					楕円形	36
1968	磨石	完形	安山岩	12.3	10.5	4.6	855			○					楕円形 D9区	36
1969	磨石	完形	花崗岩	8.0	6.2	3.2	206.79			○					楕円形 G7区	36
1970	磨石	完形	安山岩	13.1	8.0	4.2	550			○					楕円形	36
1971	磨石	欠損	安山岩	9.3	8.4	5.5	610	○	○				○	○	楕円形 F7区	36
1972	磨石	欠損	安山岩	8.4	7.3	4.8	370	○	○		○		○	○	楕円形 F7区	36
1973	磨石	完形	安山岩	9.9	6.1	3.5	345			○					楕円形 F7区	36
1974	磨石	完形	安山岩	11.4	4.6	3.5	310			○					楕円形	36
1975	磨石	完形	安山岩	12.5	5.1	4.1	320			○					楕円形 C12区	36
1976	磨石	一部欠損		8.4	3.7	2.5	76.54	○	○				○	○	楕円形 E10区	36
1977	磨石	欠損		3.7	3.3	2.0	32.58	○			○		○	○	楕円形 F5区	36
1978	磨石	完形	安山岩	4.3	3.6	3.1	64.73			○					楕円形 F5区	36
1979	磨石	完形	安山岩	6.7	5.6	4.6	249.52			○					楕円形 F7区	36
1980	磨石	欠損	花崗岩	12.2	4.0	3.8	245.03	○	○		○			○	楕円形 G7区	36
1981	磨石	欠損	砂岩	8.3	4.7	2.1	99.92	○	○				○	○	楕円形 G13区	36
1982	磨石	完形	安山岩	10.6	4.6	4.4	325			○					楕円形	36
1983	磨石	完形	安山岩	17.2	7.7	6.3	1,270			○					楕円形 F7区	36
1984	磨石	欠損	安山岩	7.5	3.7	4.3	138.29	○							楕円形 C9区	36
1985	磨石	完形	安山岩	13.6	6.6	5.0	615								楕円形 C11区	36
1986	磨石	ほぼ完形	砂岩	7.6	4.7	3.9	196.73	○	○			○	○		楕円形 E14区	36
1987	磨石	完形	安山岩	5.2	3.5	1.5	42.45			○					楕円形 G12区	36

船ヶ谷遺跡4次調査

SRI②層出土遺物観察表 石製品（敲石・磨石）

(5)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面						備考	図版	
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右			左
1988	磨石	完形	安山岩	11.2	9.0	6.4	900			○					楕円形 F9区	36
1989	磨石	完形	安山岩	6.7	4.0	3.0	128.39			○					楕円形 E15区	36
1990	磨石	完形	安山岩	5.0	3.3	2.4	62.90			○					楕円形 F11区	36
1991	磨石	欠損	安山岩	8.8	6.4	6.0	254.34	○					○		楕円形 G14区	36
1992	磨石	完形	安山岩	7.3	3.9	3.1	133.89			○					楕円形 G16区	36
1993	磨石	完形	安山岩	4.8	3.9	2.2	61.39			○					楕円形 H17区	36
1994	磨石	完形	安山岩	4.2	3.6	2.0	41.05			○					楕円形 C10区	36
1995	磨石	完形	安山岩	6.2	3.4	2.4	77.57			○					楕円形 C10区	36
1996	磨石	完形	安山岩	6.2	4.8	3.6	160.36			○					楕円形 C12区	36
1997	磨石	完形	安山岩	4.8	3.8	3.2	87.35			○					楕円形 F12区	36
1998	磨石	完形	安山岩	12.4	7.4	5.7	780			○					楕円形 G17区	36
1999	磨石	完形	花崗岩	15.7	8.6	8.6	1,565			○					楕円形 F7区	36
2000	磨石	完形	安山岩	3.9	3.0	1.5	26.80			○					楕円形 C5区	36
2001	磨石	完形	安山岩	6.5	5.6	1.9	95.78			○					楕円形 F5区	36
2002	磨石	完形	安山岩	4.4	3.3	2.7	55.58			○					楕円形 F5区	36
2003	磨石	完形		4.1	3.6	2.8	63.00			○					楕円形 F7区	36
2004	磨石	完形	安山岩	4.2	3.6	2.7	56.24			○					楕円形 F8区	36
2005	磨石	欠損	安山岩	5.5	4.1	3.0	82.92	○							楕円形 F9区	36
2006	磨石	完形	安山岩	4.3	3.7	3.1	70.73			○					楕円形 F14区	36
2007	磨石	完形	安山岩	4.6	4.0	3.6	89.18			○					楕円形 F15区	36
2008	磨石	完形	安山岩	3.0	2.0	1.7	14.57			○					楕円形 G10区	36
2009	磨石	完形	安山岩	9.7	6.0	2.7	261.94	○	○				○	○	楕円形 D11区	36
2010	磨石	欠損	安山岩	8.1	6.7	3.2	242.90	○			○		○		楕円形 E4区	36
2011	磨石	完形	安山岩	5.8	3.8	2.0	66.07			○					楕円形 F13区	36
2012	磨石	完形	安山岩	6.6	5.0	1.8	75.59			○					楕円形 F15区	36
2013	磨石	完形	安山岩	7.8	4.8	3.1	180.97			○					楕円形 G15区	36
2014	磨石	完形	安山岩	5.7	7.6	5.8	330	○	○		○		○	○	楕円形	36
2015	磨石	欠損	安山岩	8.8	8.4	5.0	520	○			○			○	楕円形 G14区	36
2016	磨石	欠損	安山岩	8.8	6.0	5.1	380	○						○	楕円形 G17区	36
2017	磨石	完形	安山岩	9.3	7.0	4.8	480			○					楕円形	36
2018	磨石	完形	安山岩	4.3	3.1	2.9	58.74			○					楕円形 E13区	36
2019	磨石	完形	安山岩	5.8	3.9	2.8	82.20			○					楕円形 E13区	36
2020	磨石	完形	安山岩	6.3	3.7	3.2	106.09			○					楕円形 E15区	36
2021	磨石	完形	安山岩	4.0	3.4	2.8	52.35			○					楕円形 F5区	36
2022	磨石	完形	安山岩	5.0	3.6	2.1	56.61			○					楕円形 F5区	36
2023	磨石	完形	安山岩	4.7	3.6	2.6	65.00			○					楕円形 F5区	36
2024	磨石	完形	安山岩	6.0	4.8	4.0	142.64			○					楕円形 F6区	36
2025	磨石	完形	安山岩	4.9	3.6	3.2	79.71			○					楕円形 F7区	36
2026	磨石	完形	安山岩	5.2	3.2	2.3	50.36			○					楕円形 F9区	36

出土遺物観察表

SRI②層出土遺物観察表 石製品 (敲石・磨石)

(6)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面							備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右	左		
2027	磨石	完形	安山岩	3.7	2.7	1.6	23.10			○					楕円形 F12区	36
2028	磨石	完形	安山岩	4.5	3.7	2.6	62.02			○					楕円形 F15区	36
2029	磨石	完形	安山岩	4.0	3.4	3.0	62.53			○					楕円形 G10区	36
2030	磨石	完形	安山岩	4.6	3.6	2.0	52.99			○					楕円形 G13区	36
2031	磨石	完形	安山岩	3.7	3.4	1.9	23.84			○					楕円形 G13区	36
2032	磨石	完形	安山岩	7.7	4.5	3.0	144.50			○					楕円形 G13区	36
2033	磨石	完形	安山岩	5.3	4.1	3.0	92.71			○					楕円形 G16区	36
2034	磨石	完形	安山岩	5.4	3.8	3.0	86.22			○					楕円形 G17区	36
2035	磨石	欠損	花崗岩	5.7	5.0	2.7	91.63	○							楕円形 H14区	36
2036	磨石	完形	安山岩	4.8	3.2	1.4	31.67			○					楕円形 H14区	36
2037	磨石	完形	安山岩	4.8	4.4	0.8	22.66			○					楕円形 H15区	36
2038	磨石	完形	安山岩	4.0	2.6	2.4	33.09			○					楕円形	36
2039	磨石	欠損	安山岩	6.7	5.5	1.5	94.63	○							楕円形 F7区	36
2040	磨石	欠損	安山岩	7.0	6.2	1.6	86.62	○	○						楕円形 G7区	36
2041	磨石	完形	安山岩	10.3	4.4	1.9	133.41			○					楕円形 G14区	36
2042	磨石	一部欠損	砂岩	7.1	3.1	2.6	96.87	○	○				○	○	棒状 G17区	36
2043	磨石	欠損	安山岩	7.2	3.5	2.5	97.11	○	○		○		○	○	棒状	36
2044	磨石	完形	安山岩	13.4	4.7	2.7	214.21			○					棒状 D10区	36
2045	磨石	欠損	安山岩	7.4	2.8	2.2	83.44	○	○		○		○	○	棒状 E11区	36
2046	磨石	完形	安山岩	7.0	2.9	2.1	56.55			○					棒状 C12区	36
2047	磨石	完形	安山岩	5.8	2.7	1.9	49.12			○					棒状 F6区	36
2048	磨石	完形	安山岩	6.5	2.7	2.0	56.62			○					棒状 G15区	36
2049	磨石	完形	安山岩	8.0	2.9	1.8	56.72			○					棒状 G10区	36
2050	磨石	欠損	安山岩	4.9	2.8	2.2	56.20	○	○		○		○	○	棒状 G16区	36
2051	磨石	完形	安山岩	6.5	5.6	5.2	280			○					方形 F7区	36
2052	磨石	完形	安山岩	3.5	3.4	2.9	48.81			○					方形 G15区	36
2053	磨石	完形	安山岩	7.3	7.2	2.6	205.86			○					方形 F6区	36
2054	磨石	欠損	安山岩	9.6	7.2	4.2	440	○	○		○	○	○		方形 G13区	36
2055	磨石	完形	安山岩	20.0	8.3	5.5	225			○					長方形 G7区	36
2056	磨石	完形	安山岩	15.0	8.0	5.0	870			○					長方形 G5区	36
2057	磨石	欠損	安山岩	8.6	6.0	3.7	249.72	○					○	○	長方形 E4区	36
2058	磨石	欠損	安山岩	9.0	9.5	4.5	640	○			○			○	長方形 G9区	36
2059	磨石	完形	安山岩	10.5	5.3	3.1	239.35			○					長方形 G14区	36
2060	磨石	欠損	安山岩	10.7	7.6	5.5	685	○	○		○		○	○	長方形 F6区	36
2061	磨石	欠損	安山岩	9.4	8.0	4.3	540	○			○		○	○	長方形 F14区	36
2062	磨石	欠損	安山岩	8.5	5.9	4.9	300	○			○				長方形 G7区	36
2063	磨石	完形	安山岩	7.8	5.8	3.4	257.06			○					長方形 H15区	36
2064	磨石	欠損	安山岩	3.5	4.5	2.0	60.94	○	○		○		○	○	長方形 C12区	36
2065	磨石	欠損	安山岩	9.7	5.5	1.5	107.30	○	○		○			○	長方形 F5区	36

船ヶ谷遺跡4次調査

SRI②層出土遺物観察表 石製品 (砥石・磨石)

(7)

番号	器種	残存	材質	法量				磨切面						備考	図版	
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右			左
2066	磨石	欠損	安山岩	8.8	5.6	4.1	270				○				長方形 G16区	36
2067	磨石	完形	安山岩	10.3	9.8	6.0	745				○				三角形 H17区	36
2068	磨石	欠損	花崗岩	13.4	8.5	5.7	855	○	○			○	○	○	三角形 F8区	36
2069	磨石	完形	安山岩	7.9	6.0	3.4	220.13				○				三角形 G16区	36
2070	磨石	完形	安山岩	8.3	5.1	4.0	227.32				○				三角形 G14区	36
2071	磨石	欠損	安山岩	7.7	5.6	2.1	128.04						○	扇形 E7区	36	

表74 SRI②層出土遺物観察表 石製品 (砥石・台石・残刻・石刻・未成品・原石・不明品)

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2072	砥石	欠損		8.1	3.6	3.0	104.01	F 3 区	37
2073	砥石	欠損		31.0	23.2	9.5	6,850	楕円形 C 8 区	37
2074	砥石	欠損	安山岩	24.5	24.4	8.2	7,200	長方形 D 1 4 区	37
2075	砥石	欠損	安山岩	21.5	18.8	9.1	3,650	長方形 G 1 2 区	37
2076	砥石	欠損	安山岩	26.3	18.3	7.6	3,950	長方形 F 8 区	37
2077	砥石	一部欠損	安山岩	11.5	11.6	7.9	1,410	方形 F 5 区	37
2078	砥石	欠損	安山岩	19.3	9.8	5.8	1,355	楕円形 F 6 区	37
2079	砥石	欠損	安山岩	13.9	10.1	2.8	745	長方形 F 1 2 区	37
2080	砥石	欠損	砂岩	10.2	5.1	3.8	310	長方形 F 1 4 区	37
2081	砥石	欠損	安山岩	15.6	7.0	2.2	405	楕円形 F 1 4 区	37
2082	砥石	一部欠損		14.3	6.4	4.3	505	長方形 G 1 6 区	37
2083	砥石	欠損	安山岩	11.8	8.0	1.9	231.29	長方形 G 1 6 区	37
2084	砥石	欠損	安山岩	11.2	9.1	3.3	470	楕円形 D 7 区	37
2085	砥石	欠損	安山岩	10.4	6.3	3.2	350	長方形 F 9 区	37
2086	砥石	ほぼ完形		8.8	6.8	5.7	425	楕円形 F 1 5 区	37
2087	砥石	欠損	砂岩	13.5	7.4	4.0	460	長方形	37
2088	砥石	欠損		6.3	8.2	3.8	253.17	楕円形	37
2089	砥石	欠損	安山岩	9.4	9.9	2.8	395	長方形 D 6 区	37
2090	砥石	欠損	安山岩	6.4	4.6	2.3	134.43	長方形 E 8 区	37
2091	砥石	欠損		5.5	7.7	4.3	290	長方形 E 5 区	37
2092	砥石	完形	安山岩	10.5	5.4	1.9	149.94	楕円形 D 1 4 区	37
2093	砥石	完形	安山岩	14.7	5.0	3.2	485	長方形 F 1 3 区	37
2094	砥石	欠損	安山岩	13.8	11.3	3.6	410	E 3 区	37
2095	砥石	欠損	安山岩	16.3	13.4	2.7	880	E 1 2 区	37
2096	砥石	欠損	安山岩	14.4	11.5	2.6	750	長方形 G 1 4 区	37
2097	砥石	欠損	安山岩	7.6	4.1	2.2	127.24	長方形	37
2098	砥石	欠損	石英粗面岩	4.6	5.6	3.4	87.43	E 1 2 区	37
2099	砥石	欠損	安山岩	6.6	6.1	4.6	249.86	長方形 H 1 4 区	37
2100	砥石	欠損	安山岩	12.9	6.3	4.8	700	長方形 F 4 区	37
2101	砥石	欠損	安山岩	15.9	11.8	5.3	990	G 1 2 区	37

出土遺物観察表

SRI②層出土遺物観察表 石製品（砥石・台石・残刻・石刻・未成品・原石・不明品）

(2)

番号	器種		残存	材質	法量				備考	図版	
					長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)			
2102	砥	石	欠	損	安山岩	14.5	8.7	4.7	850	G 1 2 区	37
2103	砥	石	欠	損		7.9	6.9	1.2	78.76	C 1 1 区	37
2104	砥	石	欠	損		16.2	5.9	4.0	335	長方形 C 9 区	37
2105	砥	石	欠	損	砂岩	7.4	5.2	3.5	157.86	E 1 2 区	37
2106	砥	石	欠	損		11.1	5.4	4.7	375	楕円形 G 1 2 区	37
2107	砥	石	欠	損	安山岩	7.4	5.1	4.5	236.51	G 1 2 区	37
2108	砥	石	完	形	安山岩	23.2	13.0	8.0	3,350	楕円形 C 9 区	37
2109	砥	石	欠	損	砂岩	10.9	7.7	6.2	580	長方形 E F 3 区	37
2110	砥	石	欠	損	安山岩	18.4	8.4	8.7	1,900	楕円形 F 1 2 区	37
2111	砥	石	欠	損		13.1	8.7	7.2	1,065	楕円形 G 1 3 区	37
2112	砥	石	欠	損	安山岩	5.9	4.6	1.1	27.30	G 8 区	37
2113	砥	石	欠	損	安山岩	5.7	3.2	2.6	49.42	F 9 区	37
2114	砥	石	欠	損	安山岩	7.2	6.7	3.9	211.26	E 7 区	37
2115	砥	石	一	部欠損	安山岩	7.2	5.0	3.6	183.15	長方形 F 1 3 区	37
2116	台	石	一	部欠損	安山岩	20.8	20.1	8.6	6,450	五角形 C 9 区	38
2117	台	石	欠	損	花崗岩	17.6	16.4	9.4	4,300	楕円形 F 7 区	38
2118	台	石	欠	損	安山岩	22.8	14.5	5.3	2,900	長方形 F 6 区	38
2119	台	石	欠	損	安山岩	19.3	17.9	6.5	4,200	H 7 区	38
2120	台	石	欠	損	安山岩	19.2	16.0	5.7	2,900		38
2121	台	石	欠	損	安山岩	14.9	12.6	4.0	1,310	長方形 C 1 1 区	38
2122	台	石	欠	損	安山岩	23.6	10.4	4.6	1,580	長方形 F 4 区	38
2123	台	石	欠	損	安山岩	11.9	9.8	4.1	750	G 1 0 区	38
2124	台	石	一	部欠損	安山岩	15.5	13.6	4.3	1,725	方形 G 4 区	38
2125	台	石	欠	損	安山岩	9.7	9.2	8.5	1,800	C 8 区	38
2126	台	石	欠	損	安山岩	11.6	10.0	6.8	1,090	E 4 区	38
2127	台	石	一	部欠損	安山岩	12.7	12.4	9.8	1,635	F 5 区	38
2128	台	石	欠	損	安山岩	13.8	10.2	6.2	1,060	F 8 区	38
2129	台	石	欠	損	安山岩	11.4	10.7	8.0	1,350	H 1 4 区	38
2130	台	石	欠	損	安山岩	12.3	10.4	5.1	1,025	長方形 D 1 4 区	38
2131	台	石	欠	損	安山岩	9.3	7.2	2.0	175.37	G 1 3 区	38
2132	台	石	欠	損	安山岩	15.1	9.4	4.0	845	C 1 2 区	38
2133	台	石	欠	損	安山岩	12.6	9.2	5.2	955	楕円形 E 4 区	38
2134	台	石	欠	損	安山岩	14.2	12.0	5.4	1,460	F 5 区	38
2135	台	石	欠	損	安山岩	12.4	9.4	6.7	1,190	F 8 区	38
2136	台	石	欠	損	安山岩	7.9	8.7	4.1	570	長方形 F 9 区	38
2137	台	石	欠	損	安山岩	13.7	8.4	6.2	1,040	E 5 区	38
2138	台	石	欠	損	安山岩	9.3	5.7	4.8	430	E 8 区	38
2139	台	石	欠	損	安山岩	13.5	13.0	3.3	625	F 1 5 区	38
2140	台	石	欠	損	安山岩	10.7	6.5	1.0	111.44	長方形 C 9 区	38

船ヶ谷遺跡4次調査

SRI②層出土遺物観察表 石製品（砥石・台石・残刻・石刻・未成品・原石・不明品）

(3)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2141	台石	欠損	安山岩	10.6	7.7	2.3	375	長方形 D 7 区	38
2142	台石	欠損	安山岩	11.9	11.2	3.2	850	方形 D 1 2 区	38
2143	台石	欠損	安山岩	17.7	14.7	3.0	1,110	D 1 2 区	38
2144	台石	欠損	安山岩	6.2	6.1	4.6	370	方形 E 5 区	38
2145	台石	欠損	安山岩	8.7	6.8	1.4	94.45	E 7 区	38
2146	台石	欠損	安山岩	8.4	7.8	1.9	160.37	F 6 区	38
2147	台石	欠損	安山岩	8.3	6.9	2.7	275.86	F 6 区	38
2148	台石	欠損	安山岩	9.7	8.6	2.3	305	長方形 F 7 区	38
2149	台石	欠損	安山岩	7.3	6.4	3.2	180.83	F 9 区	38
2150	台石	欠損	安山岩	12.6	12.3	5.3	1,010	F 1 0 区	38
2151	台石	欠損	安山岩	8.0	7.6	2.4	231.42	長方形 F 6 区	38
2152	台石	欠損	安山岩	6.9	7.0	1.4	100.39	長方形 F 1 2 区	38
2153	台石	欠損	安山岩	8.1	7.0	3.6	370	長方形 G 7 区	38
2154	台石	欠損	安山岩	7.5	5.2	2.7	153.95	H 1 4 区	38
2155	台石	欠損	安山岩	12.3	8.3	3.5	580	長方形	38
2156	台石	欠損	安山岩	11.6	5.8	2.0	116.04	F 6 区	38
2157	台石	欠損	安山岩	8.1	7.6	1.8	161.24	F 7 区	38
2158	台石	欠損	安山岩	11.8	13.3	4.5	1,115	橢円形 F 1 4 区	38
2159	台石	欠損	安山岩	5.9	8.3	3.5	345	長方形 H 1 4 区	38
2160	台石	欠損	安山岩	12.5	9.8	7.4	1,215	長方形 E 1 3 区	38
2161	台石	欠損	結晶片岩	5.0	4.7	0.9	42.86	F 8 区	38
2162	残刻		サヌカイト	5.7	4.0	1.5	33.31	F 1 0 区	38
2163	残刻		サヌカイト	6.8	2.3	1.4	35.60	D 1 1 区	38
2164	残刻		緑色片岩	7.5	7.3	1.3	136.14	扇形 E 1 5 区 弧状に一部磨き	38
2165	残刻		緑色片岩	8.1	4.3	3.5	159.03	F 1 5 区	38
2166	残刻		安山岩	9.9	8.2	3.2	350	E 1 2 区	38
2167	残刻		結晶片岩	18.1	8.3	6.3	1,395	F 6 区	38
2168	石刻		サヌカイト	5.3	3.7	1.4	34.42	D 1 2 区	38
2169	石刻		サヌカイト	4.7	4.8	1.2	21.21	F 8 区	38
2170	石刻		安山岩	7.6	4.8	1.6	92.88	G 1 5 区	38
2171	未成品		緑色片岩	8.0	3.5	0.5	26.62	D 1 2 区	38
2172	未成品		緑色片岩	6.3	3.7	0.6	22.21	F 7 区	38
2173	未成品		緑色片岩	7.5	3.0	0.5	16.16	F 1 4 区	38
2174	未成品		緑色片岩	6.7	3.7	0.8	24.29	H 1 5 区	38
2175	未成品		緑色片岩	8.7	4.5	0.9	42.08	E 1 2 区	38
2176	未成品		緑色片岩	7.7	5.9	1.3	56.57	F 4 区	38
2177	未成品		緑色片岩	14.4	6.3	2.1	335	F 1 5 区	38
2178	未成品		緑色片岩	9.9	7.0	1.1	67.42	G 1 2 区	38
2179	未成品		緑色片岩	8.0	5.3	1.2	60.28	G 1 4 区	38

出土遺物観察表

SRI②層出土遺物観察表 石製品（砥石・台石・残刻・石刻・未成品・原石・不明品）

(4)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2180	未成品(石包丁)	欠損	緑色片岩	6.2	3.3	0.4	18.05	C 5 区	38
2181	原石		片岩	7.6	4.5	1.7	51.06	F 5 区	38
2182	原石		緑色片岩	9.3	3.5	1.1	77.08	H 9 区	38
2183	原石	完形	緑色片岩	11.0	3.8	2.6	157.53	棒状 D 1 3 区	38
2184	原石		緑色片岩	15.3	5.8	2.0	166.18	F 1 2 区	38
2185	原石		結晶片岩	11.7	4.1	1.6	107.70	G 7 区	38
2186	原石	完形	緑色片岩	4.7	1.9	0.4	6.95	楕円形 G 1 6 区	38
2187	不明品	欠損	緑色片岩	8.1	2.4	1.4	50.22	棒状 E 1 4 区	38
2188	不明品		緑色片岩	8.6	5.2	0.5	34.94	G 1 6 区	38
2189	不明品		緑色片岩	8.3	4.5	0.9	55.98	F 6 区	38
2190	不明品		緑色片岩	5.6	3.8	0.8	30.73	F 7 区	38
2191	不明品			5.2	5.2	1.4	67.43	G 5 区	38
2192	不明品		緑色片岩	4.0	2.5	0.5	8.83	G 7 区	38
2193	不明品		緑色片岩	3.6	1.7	0.6	3.82	H 1 4 区	38
2194	不明品		結晶片岩	12.2	3.9	1.5	100.70	E 1 2 区	38
2195	不明品		緑色片岩	6.7	1.3	0.9	9.55	棒状 成品の破損品 H 1 4 区	38
2196	不明品	完形	安山岩	6.4	4.2	3.2	123.98	楕円形 有溝 G 1 6 区	38
2197	不明品		安山岩	9.2	5.2	2.5	138.61	G 6 区	38

表75 SRI①層出土遺物観察表 石製品（スクレイパー・剥片）

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2198	スクレイパー		サヌカイト	6.0	3.9	2.7	60.79	E 4 区	39
2199	剥片		緑色片岩	2.7	2.1	0.3	3.51		39
2200	剥片		緑色片岩	3.9	2.6	0.5	8.71		39
2201	剥片		緑色片岩	6.0	4.8	0.4	23.72		39

表76 SRI①層出土遺物観察表 石製品（敲石・磨石）

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面						備考	図版	
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右			左
2202	敲石	ほぼ完形	安山岩	12.7	10.4	7.1	1,230	○	○		○				楕円形	39
2203	敲石	ほぼ完形	安山岩	15.0	6.2	3.9	575	○			○		○		楕円形	39
2204	敲石	ほぼ完形	安山岩	10.0	8.4	4.0	510			○					楕円形 F 6 区	39
2205	敲石	欠損	安山岩	9.8	4.9	2.6	148.63	○					○		楕円形 F 6 区	39
2206	敲石	完形	安山岩	7.9	3.4	1.2	56.55	○			○				楕円形 E14区	39
2207	敲石	欠損	安山岩	10.5	4.7	3.7	142.60	○					○		楕円形 F13区	39
2208	敲石	欠損	安山岩	8.1	5.3	3.0	180.19				○			○	棒状 C13区	39
2209	敲石	欠損	安山岩	7.0	3.8	2.6	103.70	○	○		○		○	○	棒状 E13区	39
2210	敲石	欠損	安山岩	22.8	8.3	3.8	1,450				○	○			長方形 E 3 区	39
2211	敲石	欠損	安山岩	14.6	7.8	6.1	700	○			○				長方形	39
2212	敲石	完形	安山岩	12.9	5.1	5.0	535	○			○			○	長方形 F13区	39
2213	敲石	ほぼ完形	安山岩	6.5	4.4	2.8	118.54							○	長方形 F 6 区	39

船ヶ谷遺跡4次調査

SRI①層出土遺物観察表 石製品（敲石・磨石）

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面						備考	図版	
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右			左
2214	敲・磨石	ほぼ完形	安山岩	8.3	8.2	3.7	400			△					円形 F4区	39
2215	敲・磨石	ほぼ完形	安山岩	8.7	4.3	4.3	239.35	△	△		△	△	△		楕円形 E3区	39
2216	磨石	完形	安山岩	8.0	7.4	7.0	605			○					球形 D12区	39
2217	磨石	完形	安山岩	6.0	5.6	2.1	89.80			○					円形 F13区	39
2218	磨石	完形	安山岩	4.0	3.7	1.7	32.88			○					円形 F13区	39
2219	磨石	欠損	花崗岩	6.5	7.1	4.7	330	○	○		○		○	○	楕円形 F13区	39
2220	磨石	欠損	花崗岩	10.3	6.9	2.6	238.05	○					○		楕円形	39
2221	磨石	完形	安山岩	4.8	4.1	2.4	72.88			○					楕円形 D12区	39
2222	磨石	完形	安山岩	4.9	3.2	1.5	32.91			○					楕円形 D13区	39
2223	磨石	完形	安山岩	2.4	1.7	1.3	8.55			○					楕円形 E4区	39
2224	磨石	完形	安山岩	4.8	3.2	2.7	60.79			○					楕円形 E12区	39
2225	磨石	完形	安山岩	4.4	3.2	3.0	67.23			○					楕円形 F13区	39
2226	磨石	完形	安山岩	10.0	3.8	1.7	114.29			○					楕円形 F13区	39
2227	磨石	欠損	安山岩	9.2	5.7	6.6	390	○					○		棒状	39
2228	磨石	完形	安山岩	8.4	2.6	2.1	70.05			○					棒状 D12区	39
2229	磨石	完形	安山岩	7.4	3.2	2.3	76.47			○					棒状 D13区	39
2230	磨石	完形	安山岩	6.5	6.5	3.8	243.29			○					方形 D13区	39
2231	磨石	完形	安山岩	5.0	4.5	2.8	91.98			○					方形 E4区	39
2232	磨石	欠損	安山岩	4.6	4.5	2.0	60.81	○			○		○		方形 F6区	39

表77 SRI①層出土遺物観察表 石製品（砥石・台石・残刻・礫・原石）

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版	
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)			
2233	砥石	欠損	安山岩	21.0	14.4	6.4	3,600	長方形 砥石原形	D13区	39
2234	砥石	欠損	安山岩	10.1	2.4	1.4	85.31	棒状	D13区	39
2235	台石	欠損	安山岩	17.5	16.8	4.0	1,825	方形	D13区	39
2236	台石	欠損	花崗岩	16.0	14.5	13.0	2,250			39
2237	台石	一部欠損	安山岩	19.1	13.9	2.7	1,045	長方形	F13区	39
2238	残刻		緑色片岩	6.7	3.8	1.2	47.33			39
2239	礫	欠損	安山岩	14.0	7.2	2.3	305	長方形	F13区	39
2240	原石	欠損	緑色片岩	5.6	3.0	0.8	39.32	棒状	D14区	39
2241	原石	一部欠損	緑色片岩	12.0	2.5	1.1	64.68	棒状	E14区	39
2242	原石	欠損	緑色片岩	8.1	3.1	1.3	51.78	楕円形	F13区	39

表78 第Ⅶ層出土遺物観察表 石製品（スクレイパー・剥片）

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2243	スクレイパー		サヌカイト	3.2	1.6	0.5	3.61	F6区	40
2244	スクレイパー		サヌカイト	2.5	2.1	0.5	3.57	F7区	40
2245	板状剥片		緑色片岩	16.7	6.0	1.5	229.45	F7区	40
2246	剥片		緑色片岩	5.2	2.3	0.6	11.02	F7区	40
2247	剥片		緑色片岩	7.1	5.7	1.2	79.59	G7区	40

出土遺物観察表

第Ⅶ層出土遺物観察表 石製品 (スクレイパー・剥片)

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2248	剥片		安山岩	5.3	3.1	0.6	12.77	G 7 区	40
2249	剥片		緑色片岩	4.0	4.7	0.5	13.88	H 8 区	40
2250	剥片		サヌカイト	2.4	1.8	0.3	1.68	H 1 3 区	40
2251	剥片		サヌカイト	2.4	1.3	0.4	1.47	H 1 5 区	40
2252	剥片		安山岩	3.9	3.4	0.7	8.72	K・L 区	40
2253	剥片		緑色片岩	4.0	1.6	0.6	4.69	F 6 区	40
2254	剥片		緑色片岩	7.5	2.5	1.0	27.60	G 7 区	40
2255	剥片		緑色片岩	3.4	2.2	0.4	4.48	G 8 区	40
2256	剥片		緑色片岩	4.5	3.1	0.6	770	G 8 区	40
2257	剥片		緑色片岩	8.5	8.5	1.3	164.67	E 1 0 区	40
2258	剥片		緑色片岩	7.4	6.1	1.3	79.65	G 8 区	40
2259	剥片		緑色片岩	8.0	5.2	0.8	57.99		40
2260	剥片		緑色片岩	5.6	3.1	0.6	21.29	D 1 4 区	40
2261	剥片		サヌカイト	2.5	2.1	0.5	3.57	F 8 区	40
2262	剥片		サヌカイト	4.2	2.1	0.7	7.93	G 9 区	40
2263	剥片		緑色片岩	6.7	2.6	0.9	16.98	G 9 区	40
2264	剥片		緑色片岩	4.6	3.6	0.4	11.17	G 1 2 区	40
2265	剥片		サヌカイト	2.9	1.8	0.7	440	H 1 3 区	40
2266	剥片		緑色片岩	3.8	2.2	0.5	6.30	H 1 4 区	40
2267	剥片		結晶片岩	6.6	3.9	0.9	28.52	H 1 4 区	40

表79 第Ⅶ層出土遺物観察表 石製品 (敲石・磨石)

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面				備考	図版		
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上			下	右
2268	敲石	完形	安山岩	13.8	8.3	7.4	1,355			○				楕円形	41
2269	敲石	完形	安山岩	10.7	6.5	5.7	600	○			○	○		楕円形 C11区	41
2270	敲石	完形	安山岩	12.7	7.3	5.3	715	○	○		○	○		楕円形 C14区	41
2271	敲石	完形	安山岩	14.2	11.5	3.5	865	○	○					楕円形 E 8 区	41
2272	敲石	ほぼ完形	安山岩	11.8	10.3	3.8	550	○	○		○		○	楕円形 F 9 区	41
2273	敲石	完形	安山岩	8.5	5.5	4.4	380	●	○		○	○		楕円形 C13区	41
2274	敲石	ほぼ完形	安山岩	11.1	5.0	3.4	250	○			○	○		楕円形 E10区	41
2275	敲石	完形	安山岩	10.9	7.7	4.0	520	○			○		○	楕円形 G 6 区	41
2276	敲石	完形	安山岩	12.0	9.2	6.2	1,050				○			楕円形 G15区	41
2277	敲石	完形	安山岩	18.2	8.2	7.1	1,685	○	○		○	○		楕円形 G16区	41
2278	敲石	完形	安山岩	13.5	5.9	3.7	420				○	○		楕円形	41
2279	敲石	完形	安山岩	15.2	6.4	3.8	560	○			○	○		楕円形	41
2280	敲石	完形	安山岩	13.2	9.9	4.1	840	○	○				○	楕円形 F 7 区	41
2281	敲石	欠損	安山岩	17.1	6.3	8.0	980	○	○		○		○	楕円形 G 6 区	41
2282	敲石	ほぼ完形	安山岩	16.3	8.2	5.8	1,000				○	○		楕円形	41
2283	敲石	ほぼ完形	安山岩	12.4	6.2	2.1	300	○			○		○	楕円形 D11区	41

船ヶ谷遺跡4次調査

第Ⅶ層出土遺物観察表 石製品（敲石・磨石）

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面						備考	図版		
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右			左	
2284	敲石	欠損	安山岩	7.9	5.5	5.8	335	○	○							楕円形 E15区	41
2285	敲石	欠損	安山岩	9.3	4.4	1.4	67.08								○	楕円形 H14区	41
2286	敲石	欠損	安山岩	8.1	4.2	3.8	226.56	○			○				○	棒状 E6区	41
2287	敲石	欠損	結晶片岩	9.5	2.0	1.3	39.57				○					棒状 G7区	41
2288	敲石	欠損	安山岩	11.0	5.3	3.6	227.41	○			○					棒状 G7区	41
2289	敲石	ほぼ完形	安山岩	9.8	2.9	3.0	98.74	○			○	○				棒状 F9区	41
2290	敲石	完形	安山岩	16.0	6.0	4.1	585				○	○				棒状 G9区	41
2291	敲石	完形	安山岩	13.8	4.4	3.1	259.89				○	○				棒状	41
2292	敲石	欠損	安山岩	10.6	8.1	5.6	475				○		○			方形 G8区	41
2293	敲石	完形	安山岩	9.9	8.8	6.6	620				○					方形	41
2294	敲石	欠損	安山岩	8.9	9.9	4.3	425	○	○		○					方形 F5区	41
2295	敲石	欠損		5.3	8.5	6.7	350				○					方形 F5区	41
2296	敲石	欠損	安山岩	12.0	8.6	2.9	395	○	○					○		方形 F5区	41
2297	敲石	欠損	安山岩	11.0	8.8	6.8	880	○			○					方形 F7区	41
2298	敲石	欠損	安山岩	9.1	4.9	2.6	92.06	○			○					方形 F5区	41
2299	敲石	欠損	安山岩	11.7	5.3	3.6	295	○					○	○		長方形 F6区	41
2300	敲石	一部欠損	安山岩	9.8	4.0	2.9	230.92	○			○					長方形	41
2301	敲・磨石	完形	安山岩	7.4	6.5	3.3	237	○		△	○		○	○		円形	41
2302	敲・磨石	欠損	安山岩	14.6	9.3	4.6	885	△			○				○	楕円形 G7区	41
2303	敲・磨石	一部欠損	安山岩	7.6	5.2	3.7	253.30	○	○	△	○		○	○		楕円形 F6区	41
2304	敲・磨石	欠損	安山岩	9.9	7.8	3.6	300	○	△		○					楕円形 F15区	41
2305	敲・磨石	完形	安山岩	9.7	5.8	3.9	300	○	○	△	○	○	○	○		楕円形 C11区	41
2306	敲・磨石	完形	安山岩	11.0	7.5	5.6	740	○	○	△	○	○	○			楕円形 G8区	41
2307	敲・磨石	完形	花崗岩	11.2	6.1	6.0	570	○	○	△	○					楕円形	41
2308	敲・磨石	完形	安山岩	9.5	7.3	5.4	555			△	○			○		楕円形 E5区	41
2309	敲・磨石	完形	安山岩	7.6	5.8	5.5	370			△	○	○	○			楕円形 G8区	41
2310	敲・磨石	完形	安山岩	9.4	5.7	3.0	268.85	○		△	○	○				楕円形 H13区	41
2311	敲・磨石	完形	安山岩	10.6	3.8	2.9	169.98	○	○	△	○	○				棒状 F9区	41
2312	敲・磨石	完形	安山岩	11.5	5.6	4.5	495	○	○	△	○	○				長方形 E11区	41
2313	敲・磨石	一部欠損	安山岩	14.0	9.8	7.0	1,390	○	○	△		○	○	○		三角形 E15区	41
2314	磨石	完形	安山岩	3.2	3.0	2.8	44.96			○						球形 H13区	41
2315	磨石	完形	安山岩	6.4	5.3	4.1	205.23			○						円形 D14区	41
2316	磨石	完形	安山岩	4.1	3.7	2.5	55.44			○						円形 G9区	41
2317	磨石	欠損	安山岩	4.5	2.8	0.5	9.12	○								円形 H14区	41
2318	磨石	完形	安山岩	7.9	4.5	2.6	140.74			○						楕円形 F7区	41
2319	磨石	欠損	安山岩	6.7	6.8	2.5	183.85	○	○		○		○	○		楕円形 F8区	41
2320	磨石	欠損	安山岩	3.7	5.1	0.6	18.41	○	○		○		○	○		楕円形	41
2321	磨石	完形	安山岩	5.7	3.7	2.5	71.55			○						楕円形 E6区	41
2322	磨石	完形	安山岩	6.7	5.1	3.4	165.62			○						楕円形 F6区	41

出土遺物観察表

第Ⅶ層出土遺物観察表 石製品 (敲石・磨石)

(3)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面						備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右		
2323	磨石	欠損	安山岩	11.5	5.1	4.8	370	○	○		○	○	○	楕円形 G7区	41
2324	磨石	完形	花崗岩	12.6	9.4	4.9	870			○				楕円形 C14区	41
2325	磨石	完形	安山岩	14.8	10.4	7.3	1,745			○				楕円形 G13区	41
2326	磨石	一部欠損	安山岩	10.2	5.4	2.9	240	○			○	○	○	楕円形 F7区	41
2327	磨石	完形	安山岩	4.5	3.3	2.8	72.41			○				楕円形 C10区	41
2328	磨石	完形	安山岩	4.5	3.3	3.0	60.96			○				楕円形 C11区	41
2329	磨石	完形	安山岩	7.4	3.6	2.7	105.80			○				楕円形 E11区	41
2330	磨石	完形	安山岩	6.1	3.4	2.1	58.18			○				楕円形 F9区	41
2331	磨石	完形	安山岩	4.5	3.0	2.6	49.67			○				楕円形 G8区	41
2332	磨石	完形	安山岩	3.1	2.1	2.0	21.62			○				楕円形 G12区	41
2333	磨石	完形	安山岩	12.7	4.9	3.3	320			○				棒状 F14区	41
2334	磨石	完形		10.4	8.7	4.1	550	○			○	○		方形 E9区	41
2335	磨石	欠損	安山岩	14.3	11.3	6.3	965	○			○			方形 F12区	41
2336	磨石	完形	安山岩	6.2	2.6	2.1	62.41			○				方形 G6区	41
2337	磨石	欠損	安山岩	6.9	3.2	0.9	21.11	○						方形 H14区	42
2338	磨石	完形	安山岩	7.3	6.2	2.7	151.50			○				三角形 E10区	41

表80 第Ⅶ層出土遺物観察表 石製品 (砥石・台石・残核・石核・礫・未成品・原石・不明品) (1)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2339	砥石	欠損	安山岩	19.3	9.1	5.9	855	長方形 F7区	40
2340	砥石	一部欠損	安山岩	7.8	2.6	2.0	58.15	棒状 G8区	40
2341	砥石	欠損		7.3	6.1	2.0	78.65	C7区	40
2342	砥石	欠損	安山岩	9.3	6.0	4.0	350	方形 G7区	40
2343	砥石	一部欠損	安山岩	8.8	3.1	1.5	56.31	棒状 G7区	40
2344	砥石	欠損	安山岩	8.6	7.9	7.3	770	長方形	40
2345	砥石	欠損	石英粗面岩	7.4	6.4	3.6	221.40	方形 F7区	40
2346	砥石	欠損	石英粗面岩	7.4	4.6	3.3	148.47	長方形鉄器用 F7区	40
2347	砥石	完形		12.7	6.4	2.4	280	楕円形	40
2348	砥石	完形?	安山岩	14.4	15.9	11.0	4,500	方形 C11区	40
2349	砥石	欠損	安山岩	10.6	10.2	5.2	735	方形 E8区	40
2350	砥石	欠損	安山岩	16.2	9.8	5.2	1,315	方形 F16区	40
2351	砥石	欠損	安山岩	12.5	8.4	4.3	595	長方形 E14区	40
2352	砥石	欠損		6.7	3.3	2.7	54.10	棒状 H14区	40
2353	台石	欠損	安山岩	8.5	4.9	2.6	230.48	長方形 F7区	41
2354	台石	欠損	安山岩	7.9	9.0	4.6	495	長方形 K・L区	41
2355	台石	欠損	安山岩	19.3	12.7	2.0	575	三角形 F6区	41
2356	台石	欠損	安山岩	11.5	4.4	1.1	71.17	F6区	42
2357	台石	欠損	安山岩	8.3	5.7	3.1	184.33	金床石? F7区	41
2358	台石	欠損	安山岩	13.4	8.6	5.0	840	長方形 G8区	41

船ヶ谷遺跡4次調査

第Ⅶ層出土遺物観察表 石製品（砥石・台石・残核・石核・礫・未成品・原石・不明品） (2)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2359	台石	完形	安山岩	17.1	9.8	9.0	2,550	長方形 C 1 1 区	41
2360	台石	完形	安山岩	21.0	11.8	5.6	2,000	長方形 金床石? F 1 6 区	41
2361	台石	欠損	安山岩	11.2	9.8	3.3	51.5	三角形	41
2362	台石	欠損	安山岩	15.5	13.1	4.3	1,400	E 1 1 区	41
2363	台石	欠損	安山岩	8.7	8.3	3.9	500	E 1 5 区	41
2364	台石	欠損	安山岩	5.8	8.2	4.6	355	長方形 H 1 3 区	41
2365	台石	欠損	安山岩	14.9	8.7	3.3	465	H 1 3 区	41
2366	台石	欠損	安山岩	7.9	7.5	3.7	535	長方形	41
2367	残核		サヌカイト	1.7	1.1	1.0	1.68		
2368	残核		サヌカイト	4.1	2.9	0.7	14.07	H 1 3 区	42
2369	石核		安山岩	9.7	3.3	2.2	99.26	F 5 区	42
2370	礫		石英	2.8	2.2	1.1	8.09		42
2371	未成品		緑色片岩	8.4	5.2	1.1	67.88	K・L区	42
2372	原石	欠損	緑色片岩	6.2	2.4	1.4	32.92	棒状 F 7 区	42
2373	原石	欠損	結晶片岩	10.4	4.4	1.4	99.27	K・L区	42
2374	原石	欠損	安山岩	8.5	4.8	2.2	87.36	C 6 区	42
2375	原石	欠損	緑色片岩	10.7	9.3	3.5	445	三角形 F 1 2 区	42
2376	原石	欠損	緑色片岩	6.8	4.3	0.9	31.41	G 1 4 区	42
2377	不明品		安山岩	6.5	5.6	4.3	174.47	G 7 区	42
2378	不明品		緑色片岩	4.2	1.7	0.8	8.93	成品 F 9 区	42
2379	不明品		緑色片岩	9.9	2.2	1.2	53.85	棒状 未成品 F 1 3 区	42
2380	不明品		緑色片岩	4.6	3.8	0.9	22.17	未成品 G 9 区	42
2381	不明品		緑色片岩	5.7	4.8	0.6	26.68	未成品 H 1 3 区	42
2382	不明品		緑色片岩	9.6	6.0	2.0	159.10	未成品 H 1 5 区	42
2383	不明品		緑色片岩	10.2	5.6	1.4	129.92	未成品 K・L区	42

表81 第Ⅵ層出土遺物観察表 石製品（剥片）

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2384	剥片		サヌカイト	2.8	1.4	0.3	1.30	G 1 3 区	42

表82 第Ⅵ層出土遺物観察表 石製品（敲石）

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面				備考	図版		
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上			下	右
2385	敲石	欠損	安山岩	7.0	7.4	5.9	460	○	○				○	楕円形 F12区	42
2386	敲石	一部欠損	安山岩	12.1	12.0	6.2	1,275	○	○		○			方形	42

表83 第Ⅵ層出土遺物観察表 石製品（台石・原石）

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2387	台石	欠損	安山岩	11.0	8.0	0.4	165.91	G 1 3 区	42
2388	原石		緑色片岩	6.2	2.5	2.0	44.75	棒状 F 1 2 区	42

出土遺物観察表

表84 出土地点不明出土遺物観察表 石製品（スクレイパー・剥片）

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2389	スクレイパー		サヌカイト	3.4	1.7	0.5	2.93		43
2390	スクレイパー		サヌカイト	5.5	2.6	0.9	18.95		43
2391	スクレイパー		サヌカイト	4.6	2.9	0.3	5.56		43
2392	スクレイパー		サヌカイト	4.3	3.0	0.5	7.35		43
2393	スクレイパー		サヌカイト	5.7	3.3	1.0	18.29		43
2394	スクレイパー		サヌカイト	3.7	2.3	0.7	5.55		43
2395	剥片		緑色片岩	5.8	5.8	0.8	53.21		43
2396	剥片		赤色珪質岩 赤色チャート	2.4	1.3	0.8	2.20		
2397	剥片		サヌカイト	3.2	3.1	0.7	11.34		43
2398	剥片		サヌカイト	1.1	0.6	0.1	0.21		
2399	剥片		緑色片岩	7.0	6.4	1.7	46.61		43
2400	剥片		黒色片岩	7.2	2.8	0.3	7.45		43
2401	剥片		緑色片岩	5.5	2.8	0.3	9.55		43
2402	剥片		サヌカイト	2.3	1.3	0.3	0.87		43
2403	剥片		サヌカイト	2.8	2.4	0.3	2.58		43
2404	剥片		サヌカイト	5.2	3.6	0.6	13.88		43
2405	剥片		サヌカイト	3.3	1.9	0.6	4.00		43

表85 出土地点不明出土遺物観察表 石製品（敲石・磨石） (1)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面				備考	図版			
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上			下	右	左
2406	敲石	欠損	花崗岩	11.8	6.8	5.0	505	○	○						円形	44
2407	敲石	欠損	安山岩	7.9	5.5	3.6	259.77	○	○		○	○	○		楕円形	44
2408	敲石	欠損	安山岩	10.7	7.1	3.4	500	○			○		○		楕円形	44
2409	敲石	完形	安山岩	7.1	5.9	3.6	220.34	○	○		○	○			楕円形 赤	44
2410	敲石	完形	安山岩	5.2	3.9	2.4	71.17	○			○				楕円形	44
2411	敲石	完形	安山岩	9.3	6.1	5.3	485	○	○		○	○		○	楕円形	44
2412	敲石	完形	安山岩	10.3	6.3	4.6	475			○					楕円形	44
2413	敲石	欠損	安山岩	8.4	5.5	4.3	310	○			○				楕円形	44
2414	敲石	ほぼ完形	安山岩	11.1	5.6	4.6	420			○					楕円形	44
2415	敲石	完形	安山岩	12.7	5.0	2.7	216.33				○	○			棒状	44
2416	敲石	完形	安山岩	10.5	3.2	2.9	152.28				○	○			棒状	44
2417	敲石	欠損	緑色片岩	8.3	2.3	1.3	49.52							○	棒状	44
2418	敲石	ほぼ完形	安山岩	14.4	11.9	6.4	1,455	○	○		○	○			長方形	44
2419	敲・磨石	欠損	安山岩	14.7	9.1	7.9	1,315			△					楕円形	44
2420	敲・磨石	完形	安山岩	13.4	9.4	8.2	1,625			△					楕円形	44
2421	敲・磨石	完形	安山岩	8.4	6.3	5.6	460			△					楕円形	44
2422	敲・磨石	完形	安山岩	14.9	6.8	4.2	530			△					楕円形	44
2423	敲・磨石	欠損	安山岩	11.1	10.0	6.6	1,200	○	△		△				方形	44
2424	磨石	完形	安山岩	10.0	8.6	8.1	1,005			○					球形	44

船ヶ谷遺跡4次調査

出土地点不明出土遺物観察表 石製品（敲石・磨石）

(2)

番号	器種	残存	材質	法量				磨り面						備考	図版	
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)	A面	B面	全面	上	下	右			左
2425	磨石	欠損	安山岩	9.1	5.0	6.3	440	○	○						凹形	44
2426	磨石	完形	安山岩	5.3	5.1	3.3	144.84			○					凹形	44
2427	磨石	一部欠損	安山岩	13.0	8.2	4.1	695	○	○		○			○	楕円形	44
2428	磨石	欠損	安山岩	9.4	7.0	4.1	420	○	○		○				楕円形	44
2429	磨石	完形	安山岩	3.8	3.3	0.9	19.96			○					楕円形	44
2430	磨石	欠損	安山岩	5.3	3.9	2.8	64.15	○							楕円形	44
2431	磨石	完形	安山岩	3.1	2.6	1.0	15.25			○					楕円形	44
2432	磨石	完形	安山岩	4.6	3.2	2.5	49.70			○					楕円形	44
2433	磨石	完形	安山岩	3.1	3.5	2.9	62.59			○					楕円形	44
2434	磨石	完形	安山岩	5.2	4.7	2.2	82.05			○					楕円形	44
2435	磨石	完形	安山岩	5.0	3.6	2.2	58.09			○					楕円形	44
2436	磨石	完形	安山岩	10.2	4.8	3.3	234.90			○					楕円形	44
2437	磨石	欠損	安山岩	6.5	6.3	4.8	259.07	○	○		○		○	○	楕円形	44
2438	磨石	欠損	安山岩	3.5	5.4	2.5	36.76	○							楕円形	44
2439	磨石	欠損	安山岩	5.5	5.6	1.9	75.68	○							楕円形	44
2440	磨石	欠損	安山岩	7.8	5.0	3.6	200.88	○	○		○		○	○	棒状	44
2441	磨石	完形	安山岩	7.6	2.7	2.4	67.12			○					棒状	44
2442	磨石	欠損	安山岩	10.4	6.0	4.3	350	○	○		○				方形	44

表86 出土地点不明出土遺物観察表 石製品（砥石・台石・残核・未成品・原石・不明品）

(1)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2443	砥石	欠損	安山岩	10.2	8.6	6.5	1,060	長方形 粗砥	43
2444	砥石	欠損	安山岩	11.5	9.5	4.2	595		43
2445	砥石	欠損	安山岩	14.5	10.2	8.2	1,595	楕円形	43
2446	砥石	欠損	安山岩	11.4	8.5	7.5	1,000		43
2447	砥石	欠損		15.0	8.7	3.8	800	中砥?	43
2448	砥石	欠損	安山岩	14.5	7.6	3.6	505		43
2449	砥石	欠損	安山岩	8.5	6.6	3.5	310		43
2450	砥石	欠損	安山岩	9.9	7.1	4.7	440		43
2451	砥石	欠損	砂岩	9.6	7.4	4.8	345		43
2452	砥石	完形	安山岩	12.6	4.8	5.2	455	楕円形	43
2453	砥石	欠損	安山岩	10.2	8.0	2.1	197.47		43
2454	砥石	ほぼ完形	石英粗面岩	8.3	7.2	3.2	300	方形	43
2455	砥石	欠損	安山岩	7.3	4.7	2.9	130.09		43
2456	砥石	完形		6.9	3.9	1.6	54.48	楕円形	43
2457	砥石	欠損	安山岩	4.6	6.1	2.9	128.59		43
2458	砥石	ほぼ完形	石英粗面岩	6.5	3.7	1.5	51.26	長方形	43
2459	砥石	欠損	安山岩	8.1	3.7	2.6	132.39	棒状	43
2460	砥石	完形	安山岩	12.8	6.0	5.6	490	楕円形	44

出土遺物観察表

出土地点不明出土遺物観察表 石製品（砥石・台石・残核・未成品・原石・不明品） (2)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	図版
				長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	重さ(g)		
2461	砥石	欠損	安山岩	3.9	2.7	0.3	2.87		
2462	台石	欠損	安山岩	19.0	12.4	5.2	1,965		44
2463	台石	欠損	安山岩	10.1	9.4	1.2	208.40		44
2464	台石	欠損	安山岩	13.0	9.9	5.4	1,225		44
2465	台石	欠損	安山岩	3.7	3.5	0.5	9.64		
2466	台石	欠損	安山岩	8.2	6.4	5.3	475	長方形	44
2467	台石	欠損	安山岩	10.9	5.2	4.7	435		44
2468	台石	欠損	安山岩	7.1	6.4	3.0	215.18		44
2469	台石	欠損	安山岩	5.6	4.6	5.3	143.30		43
2470	台石	欠損	安山岩	10.4	4.5	2.1	152.43		44
2471	台石	完形	安山岩	19.3	16.9	7.8	3,600	方形	44
2472	残核		サヌカイト	3.1	1.2	1.1	6.31		43
2473	残核		サヌカイト	2.4	2.0	0.5	3.16		43
2474	残核		サヌカイト	4.8	3.3	1.6	29.37		43
2475	未成品		緑色片岩	5.5	1.3	1.0	13.17		43
2476	原石	欠損	緑色片岩	8.0	2.8	2.2	48.28	棒状	43
2477	原石	完形	緑色片岩	4.8	3.3	0.4	14.26		43
2478	原石	欠損	サヌカイト	4.9	3.0	1.1	19.15		43
2479	不明品	欠損	緑色片岩	8.3	6.7	1.7	127.26	未成品	43
2480	不明品	欠損	緑色片岩	7.1	3.2	0.8	30.63		43
2481	不明品	欠損		6.2	5.8	4.3	202.19		44
2482	不明品		緑色片岩	4.9	2.4	0.4	8.05	成品の破片	43
2483	不明品			4.9	2.8	0.9	11.17		43
2484	不明品		緑色片岩	7.1	4.9	0.9	39.27	破損品	43

写真図版例言

1. 遺物は、4×5判または6×9判で撮影した。すべて白黒フィルムで撮影しているが、一部はカラーリバーサルフィルムでも撮影している。

使用機材：

カメラ	トヨビュー45G・69ロールフィルムホルダー
レンズ	ジンマーS240mmF5.6 他
ストロボ	コメット/C A32・C B2400
スタンド他	トヨ無影撮影台・ウエイトスタンド101
フィルム	白黒 プラスXパン・ネオパンアクロス カラー エクタクロームEPP・フジRDPⅢ

2. 単色図版は、白黒プリントを等倍で使用できるように焼き付けている。

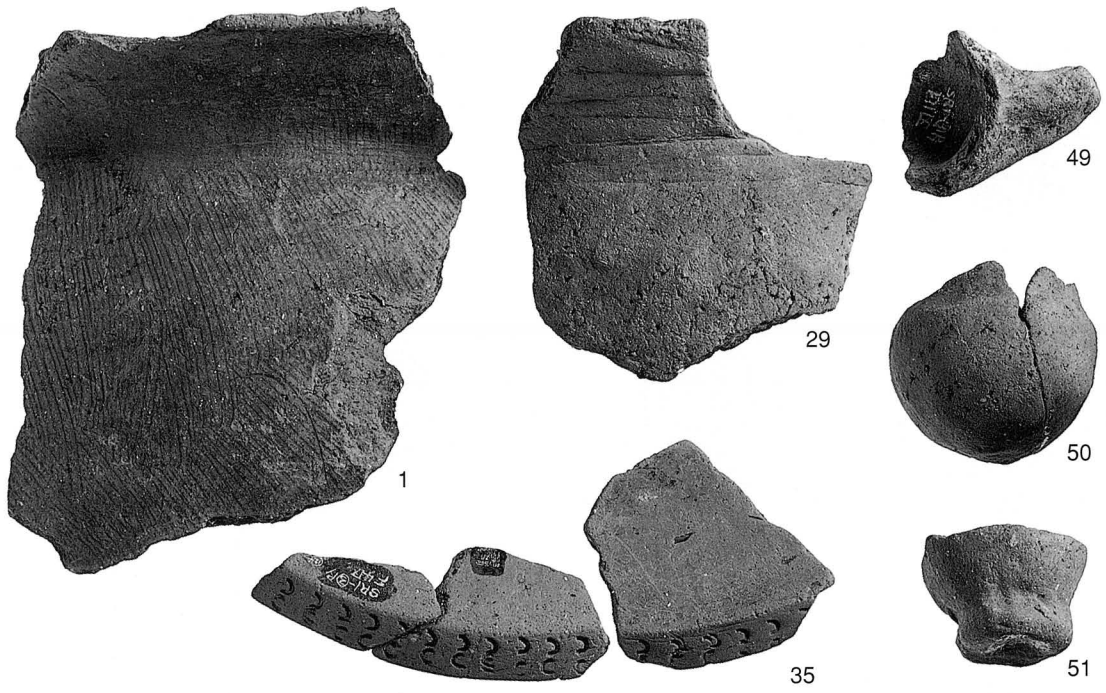
使用機材：

引伸器	ラッキーMD・90MS
レンズ	エル・ニッコール135mm F5.6A・50mmF2.8N
印画紙	インフォールドマルチグレードIVRCペーパー

3. 製版 写真図版175線
印刷 オフセット印刷
用紙 マットコート135kg
製本 アジロ綴

【参考文献】 『埋文写真研究』Vol. 1～13
『報告書制作ガイド』

[大西 朋子]



13



14



21

1. SR1③層出土遺物 (1)



56



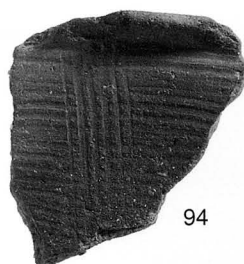
57



64



81



94



93



82



84

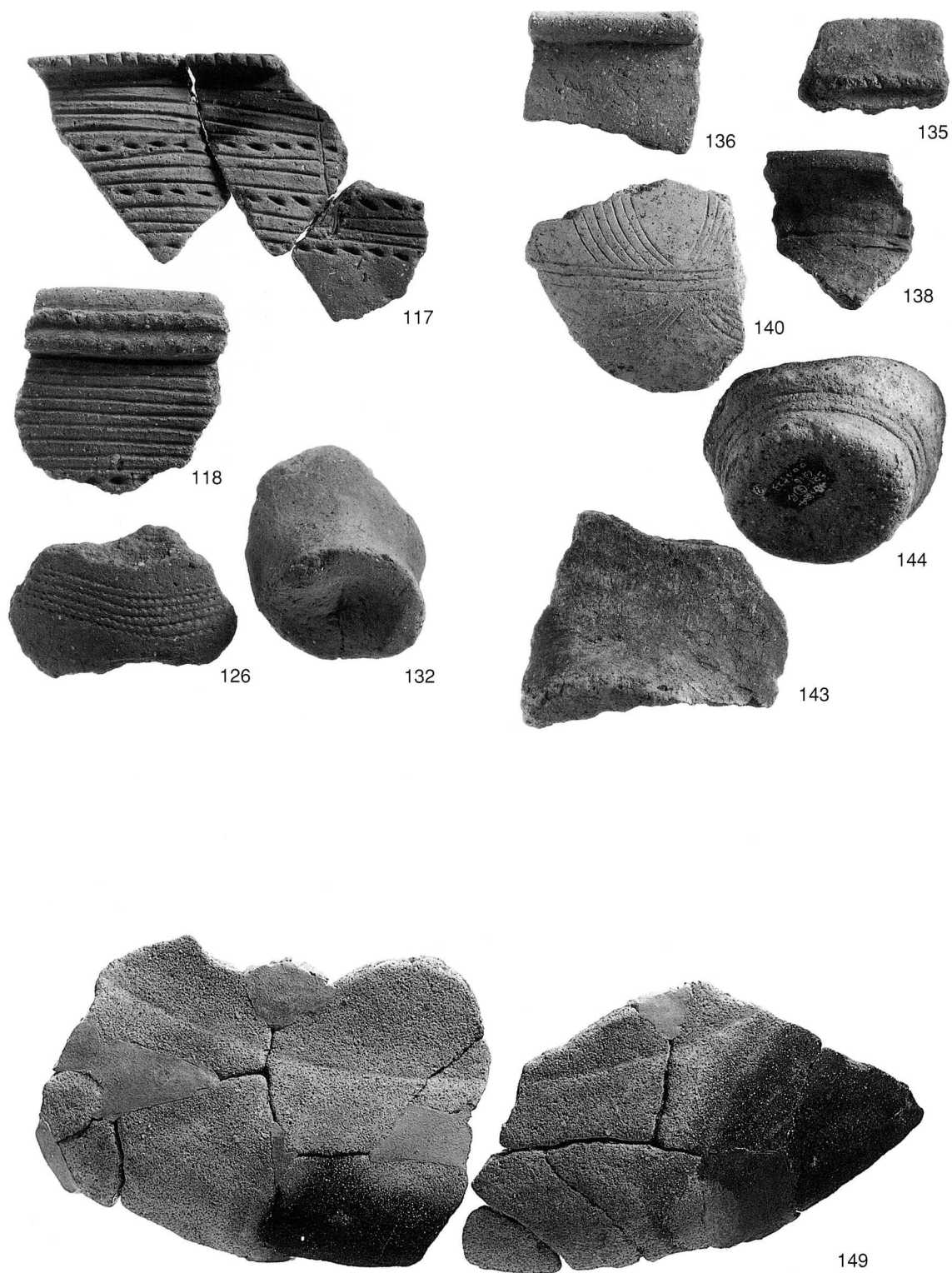


83

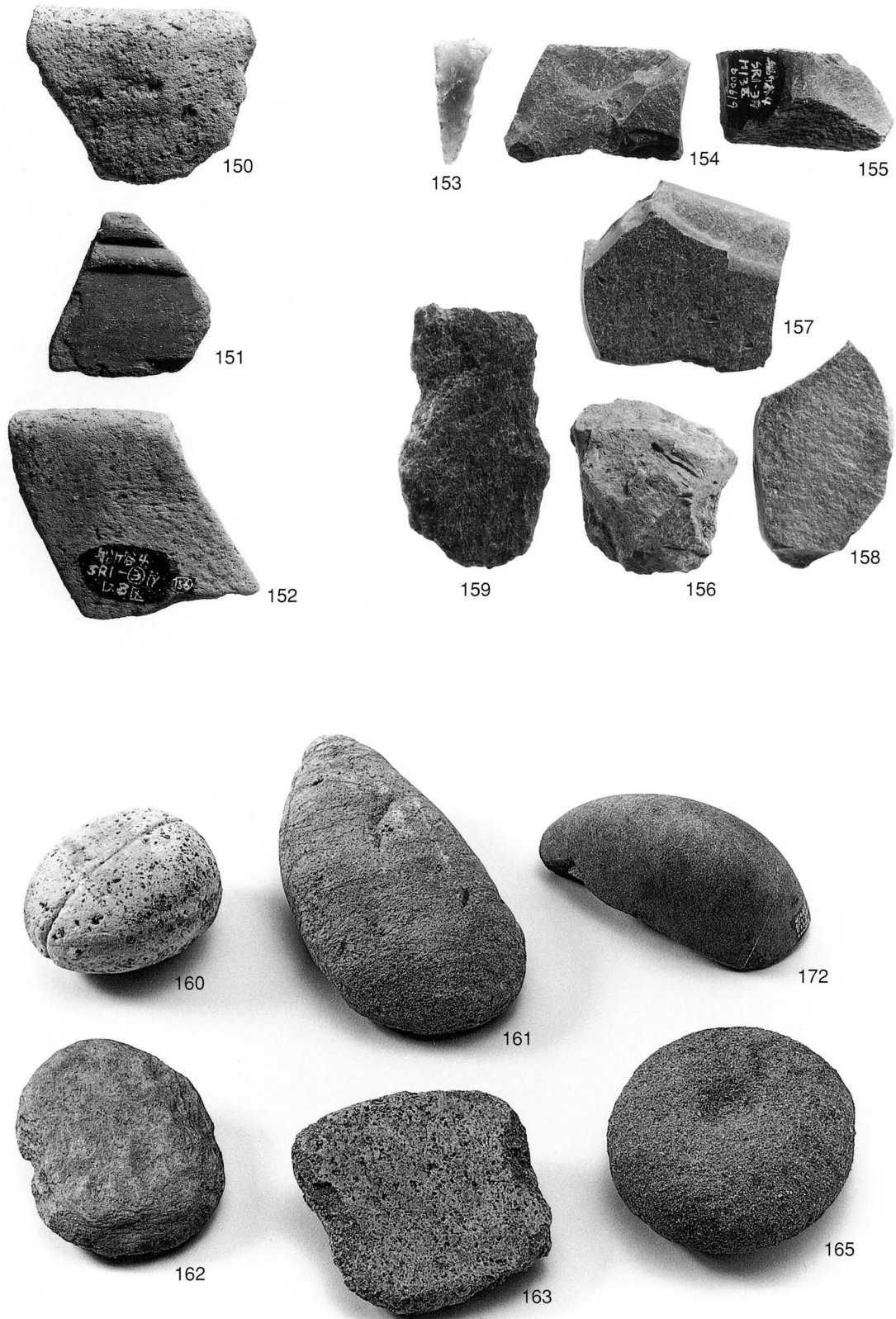


105

1. SR1③層出土遺物 (2)



1. SR1③層出土遺物 (3)



1. SR1③層出土遺物 (4)



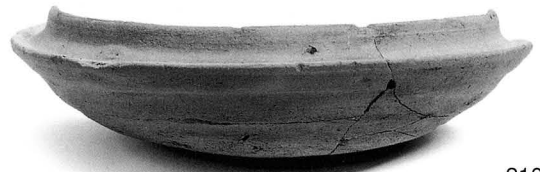
205

206



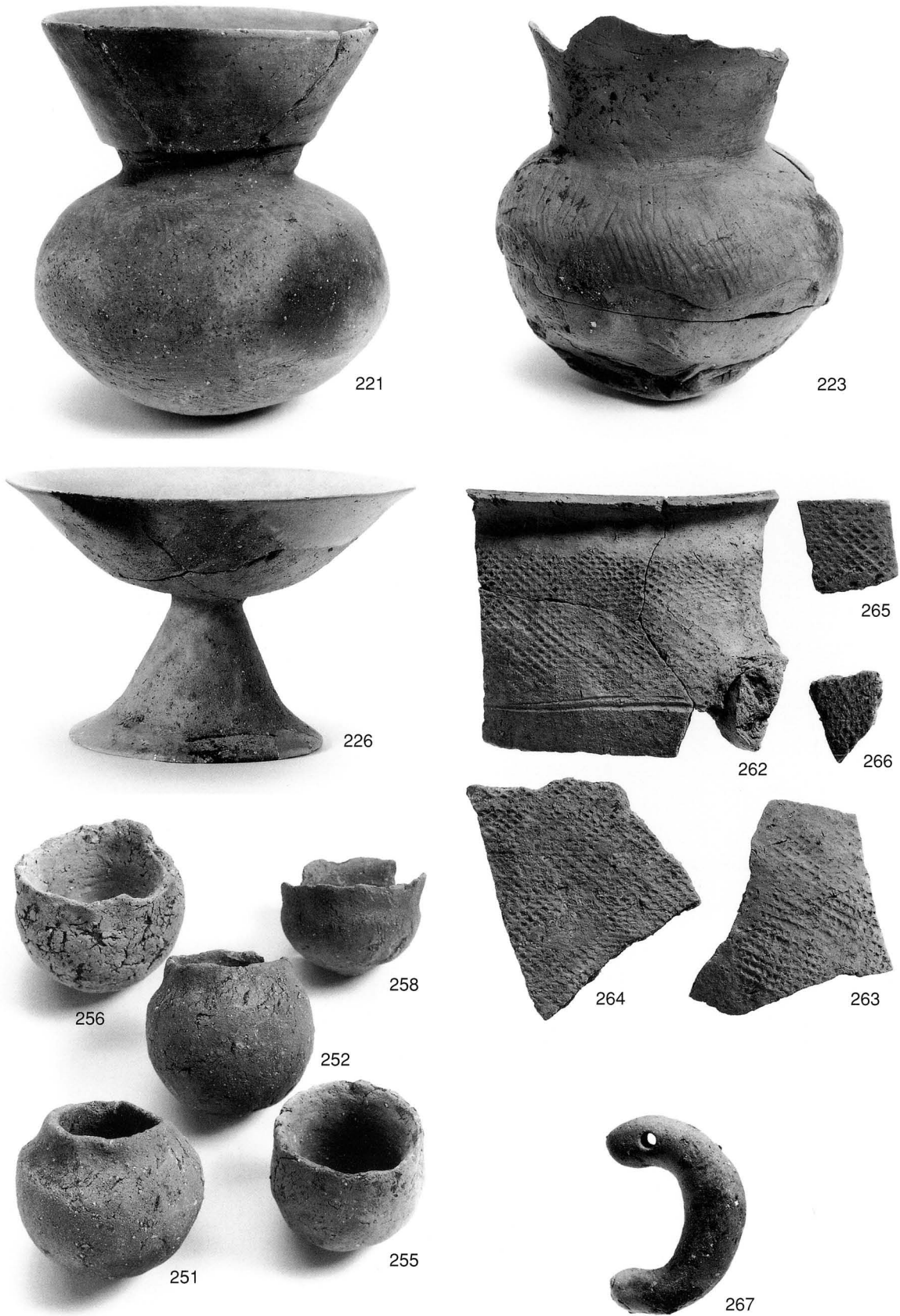
207

209

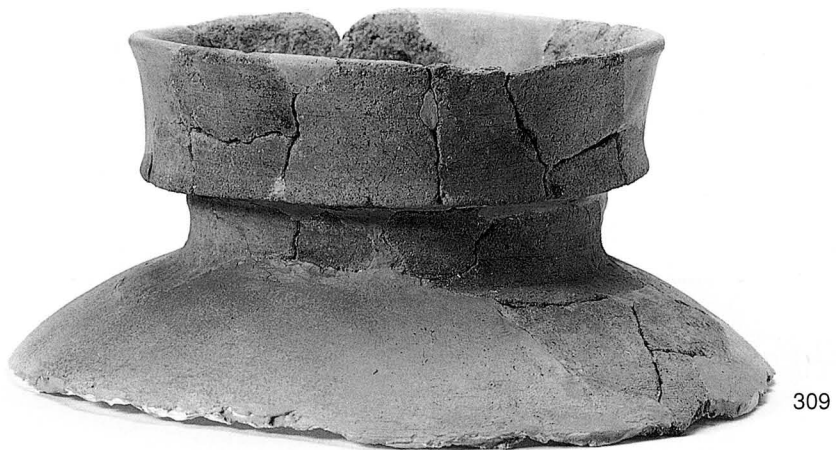
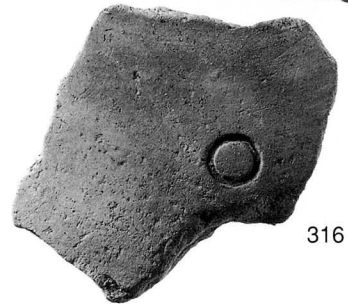
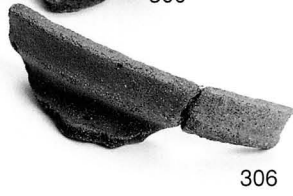
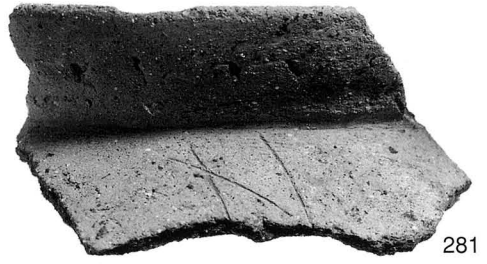


210

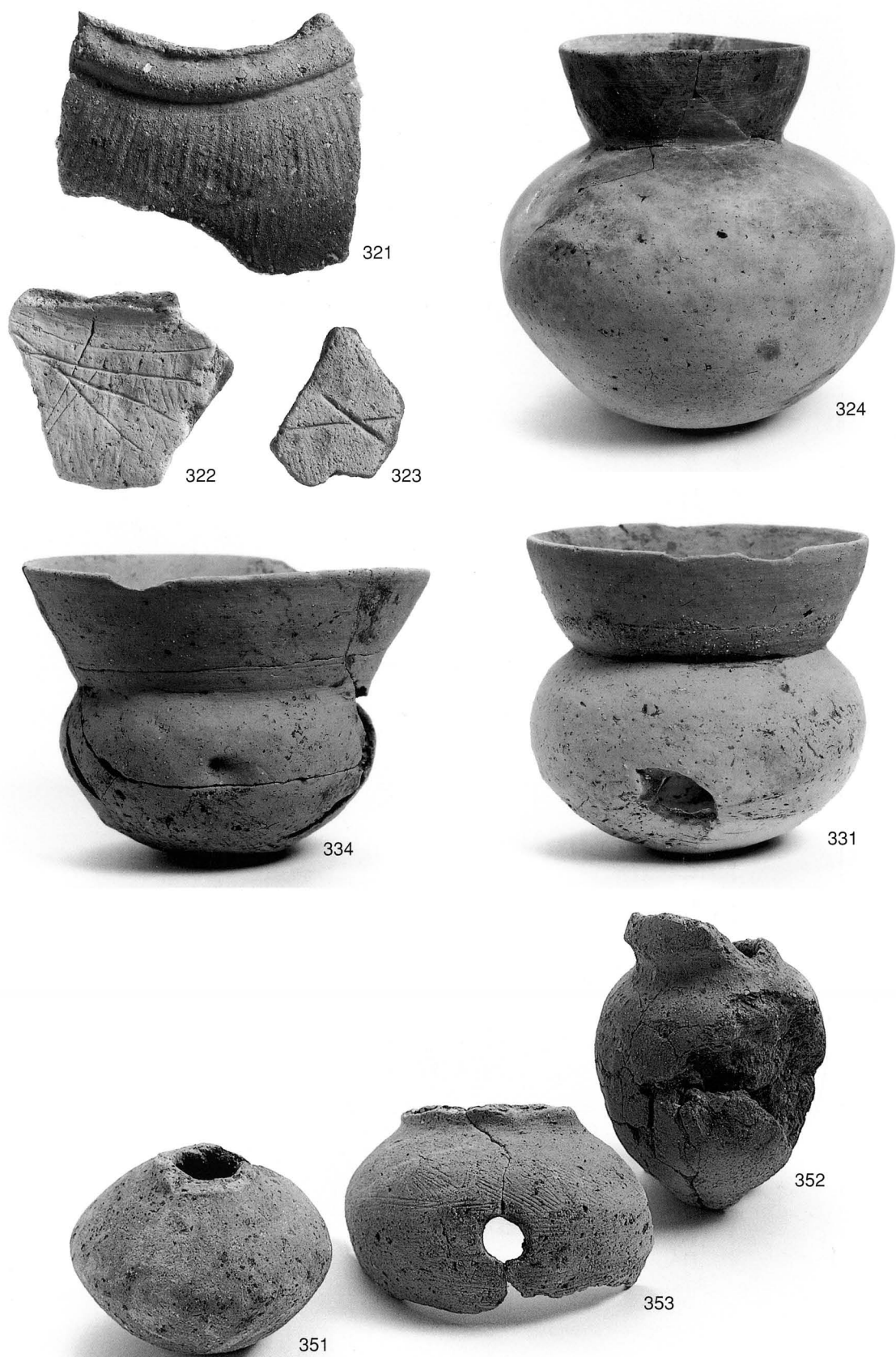
1. SR1②層G6・7区出土遺物(1)



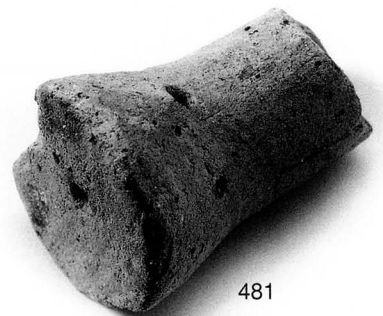
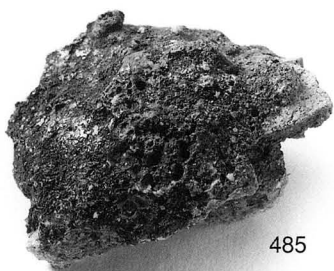
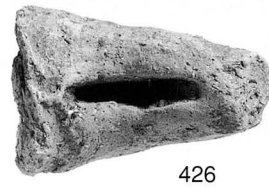
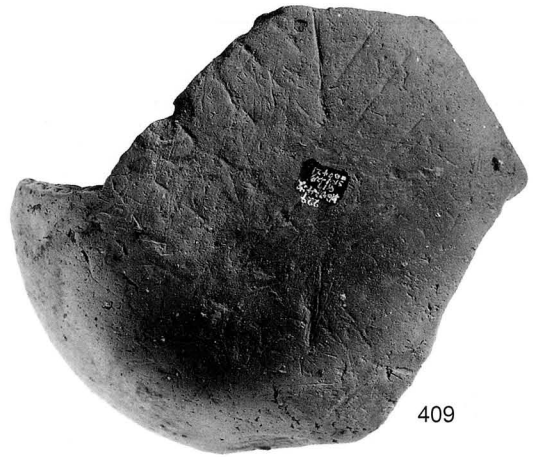
1. SR1②層G6・7区出土遺物 (2)



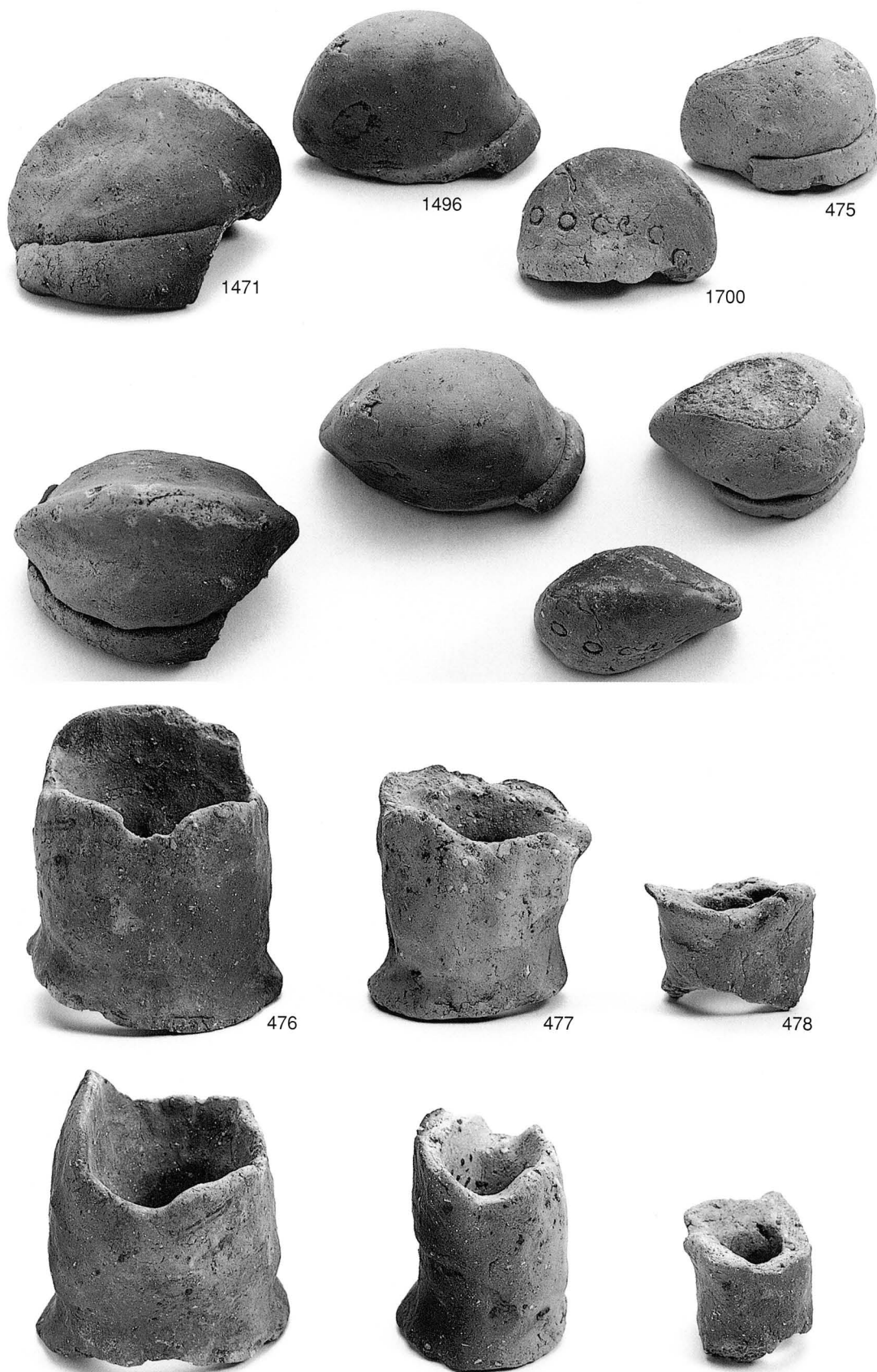
1. SR1②層出土遺物(1)



1. SR1②層出土遺物 (2)



1. SR1②層出土遺物(3)



1. 出土遺物甲冑 (SR1②層: 475~478、SK24: 1471・1496、第Ⅶ層: 1700)



1. 出土遺物盾・鏡 (SR1②層: 479、第VII層: 1701・1702)



2. 出土遺物ミニチュア土器



1. SR1②層出土遺物 (4)



605



606

1. SR1②層出土遺物 (5)



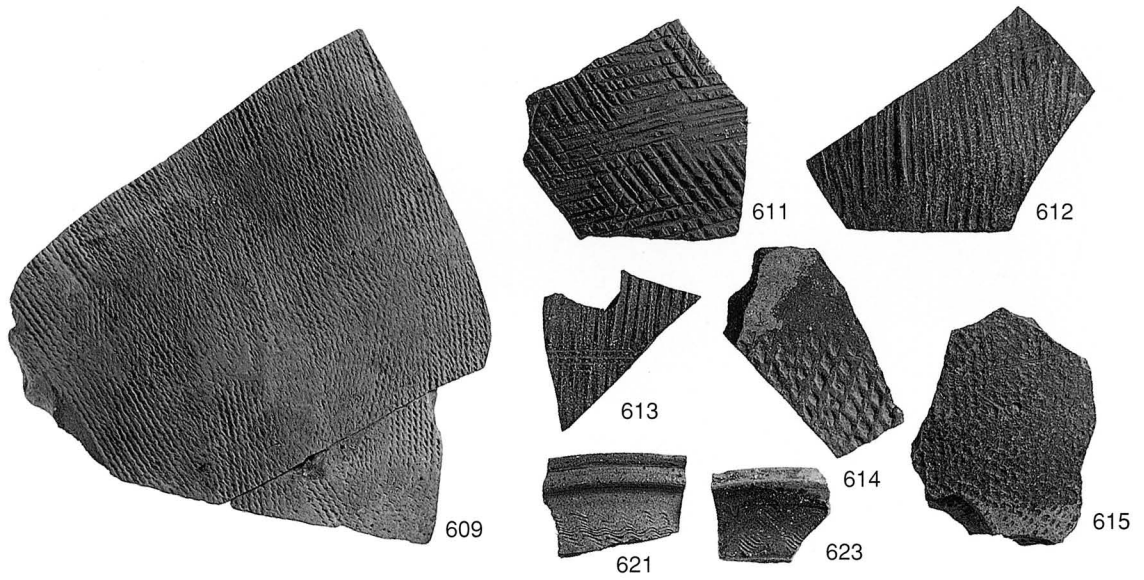
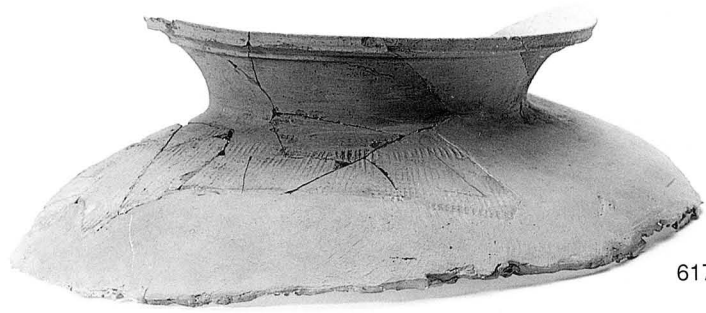
607



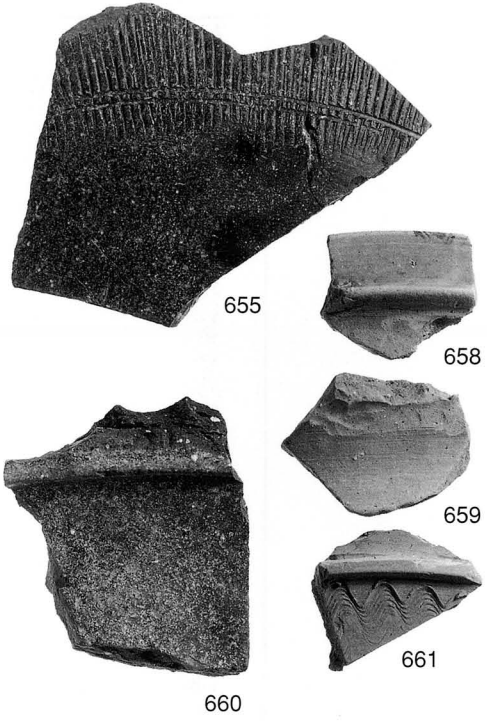
608



610



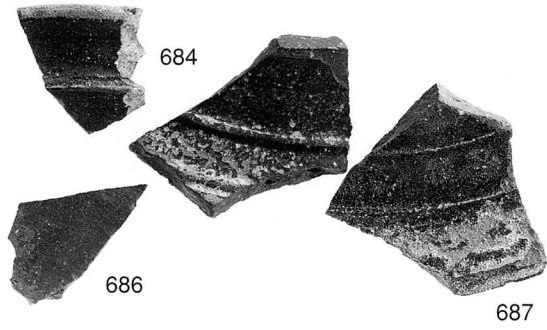
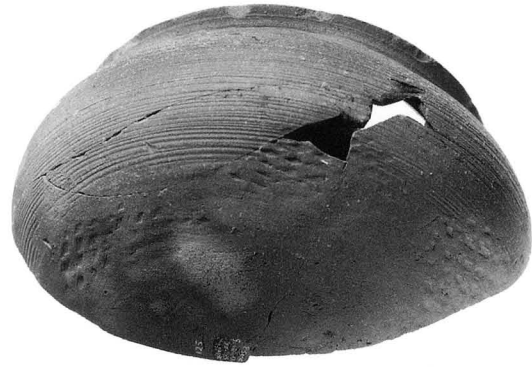
1. SR1②層出土遺物 (7)

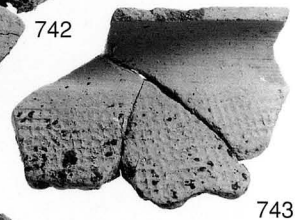
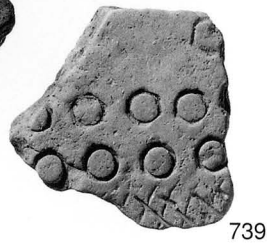
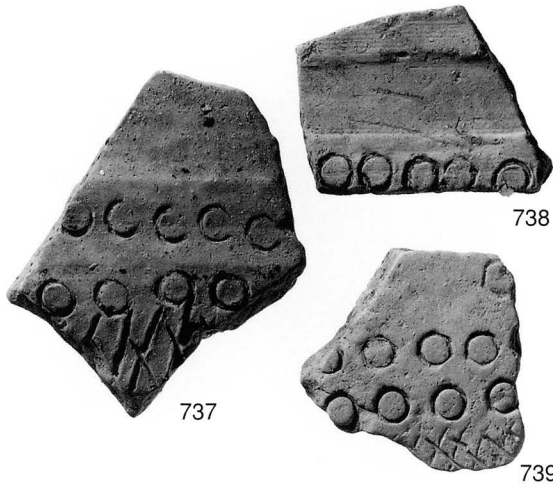
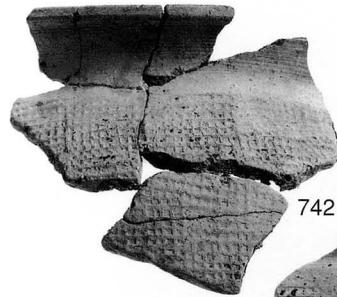


1. SR1②層出土遺物 (8)

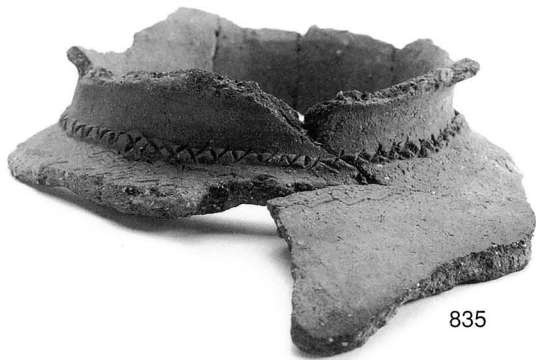


1. SR1②層出土遺物 (9)





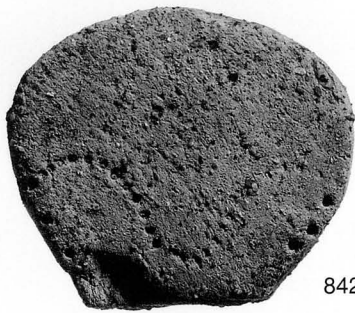
1. SR1②層出土遺物 (11)



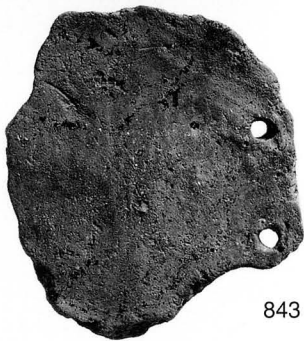
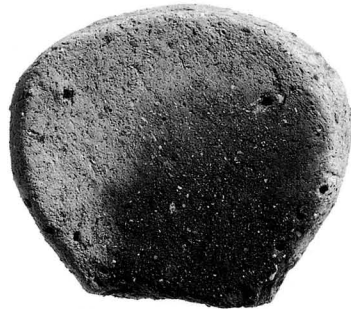
835



837



842



843



874

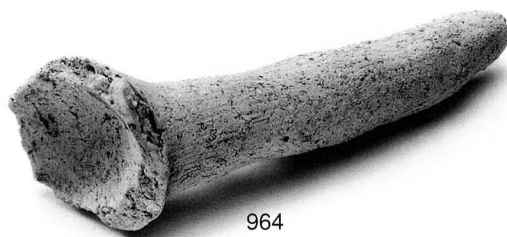


894



941

1. SR1②層出土遺物 (12)



964



962



965



1088



1000

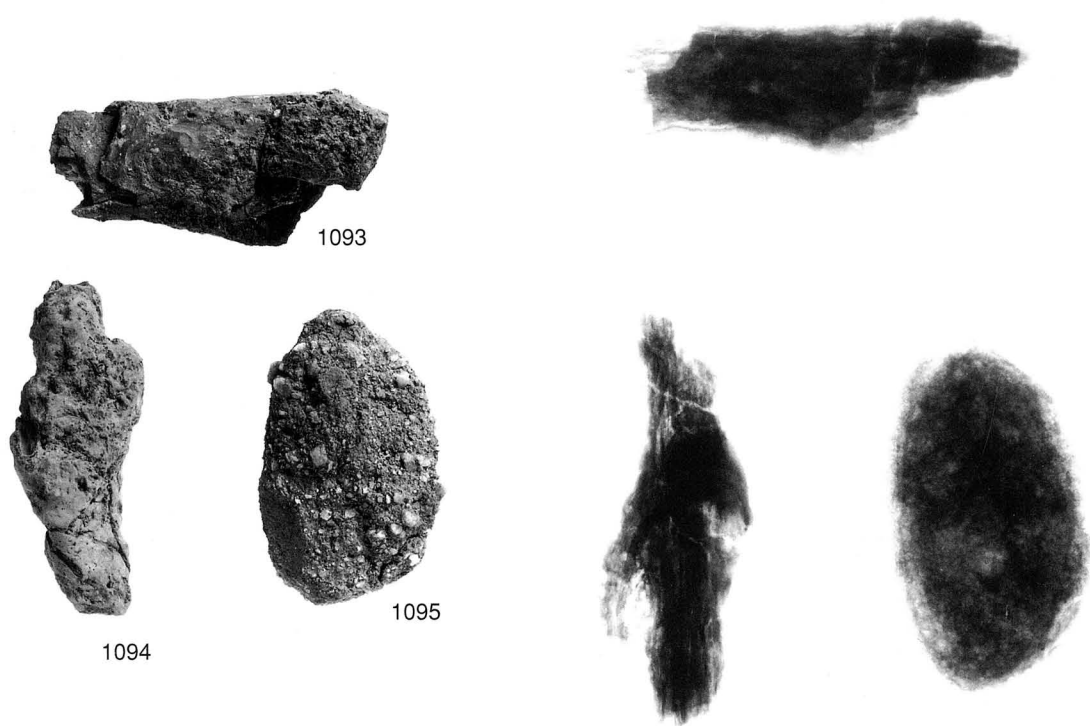
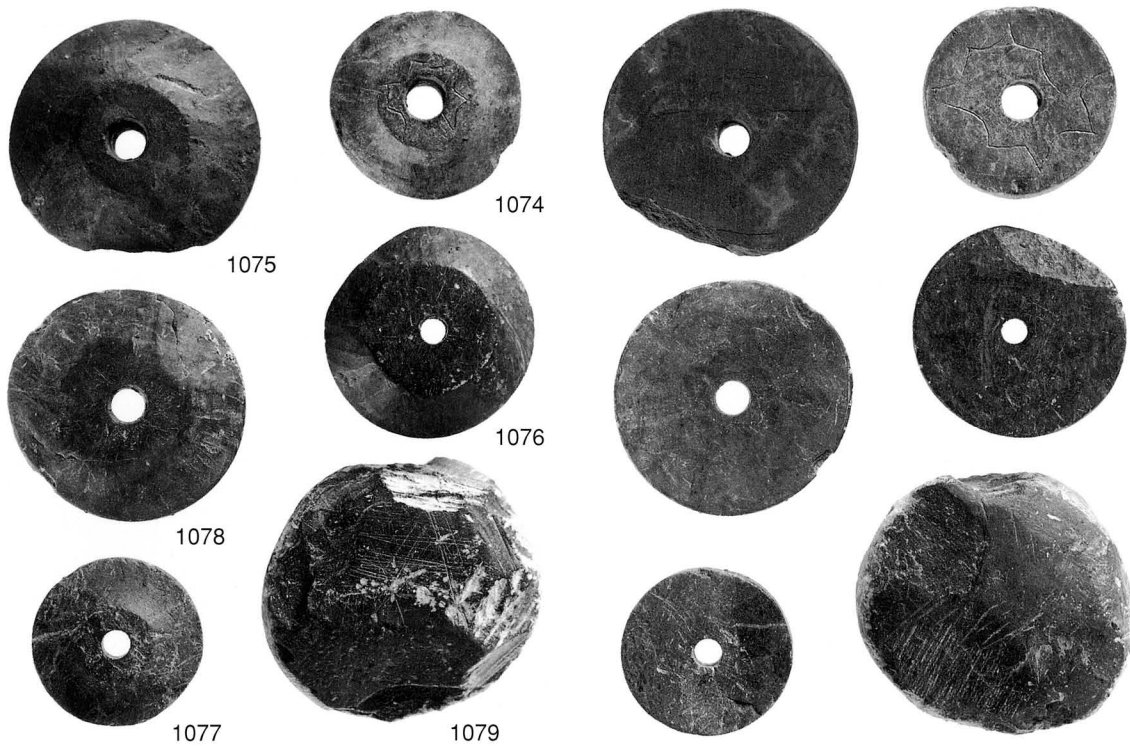


1080

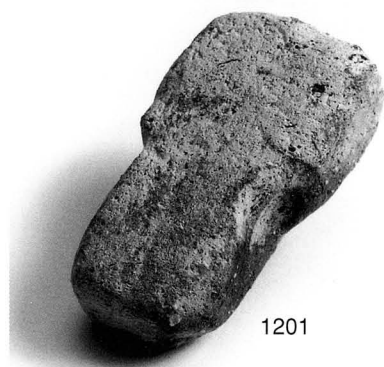


1081

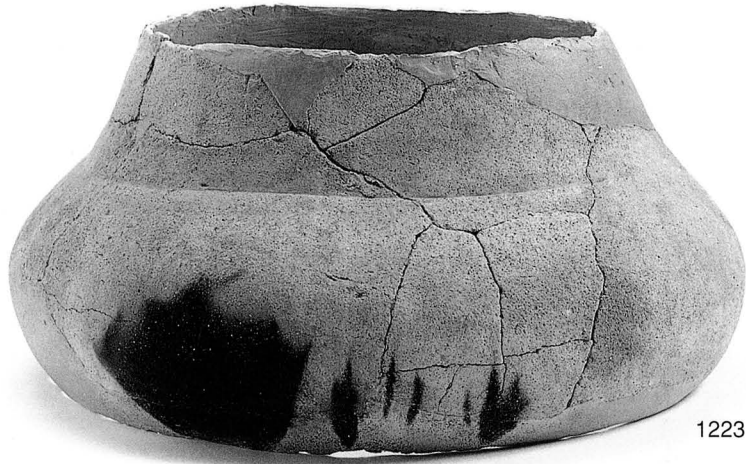
1. SR1②層出土遺物 (13)



1. SR1②層出土遺物 (14)



1. SR1①層出土遺物



1223



1224



1237

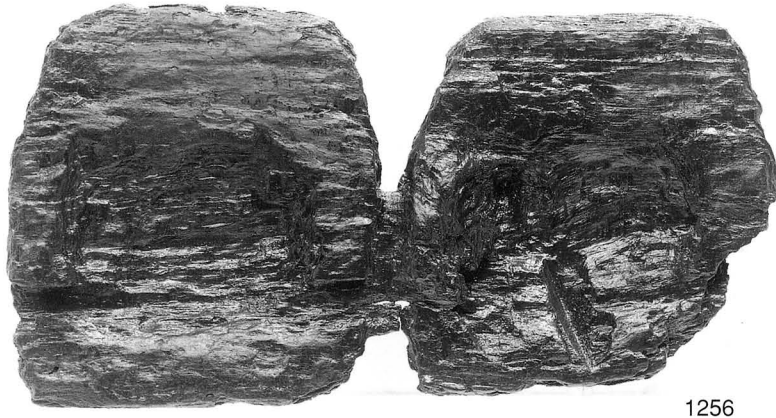


1225

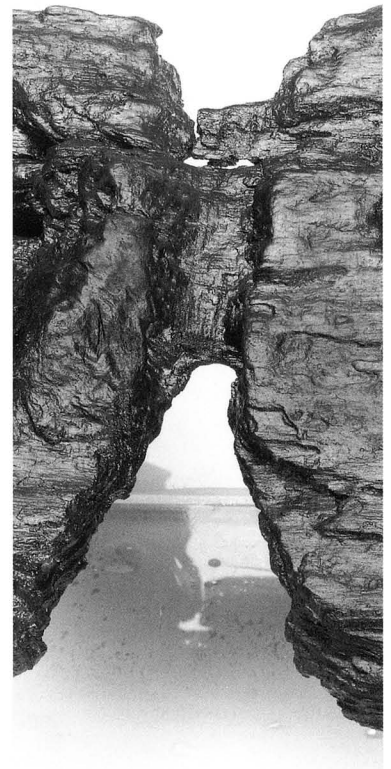
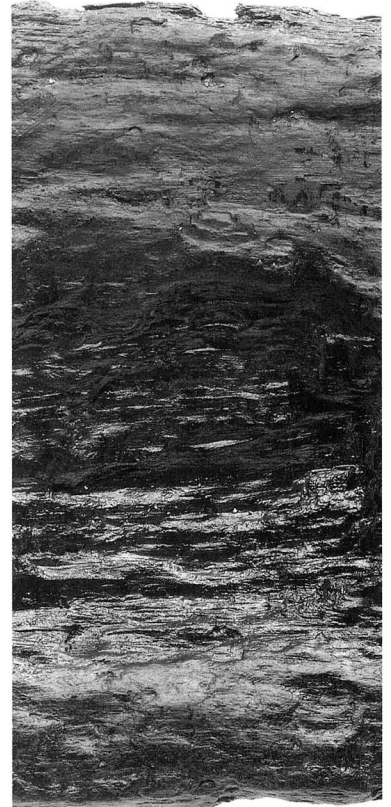
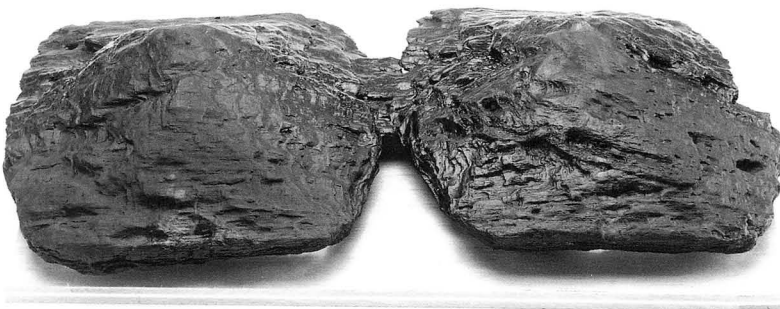
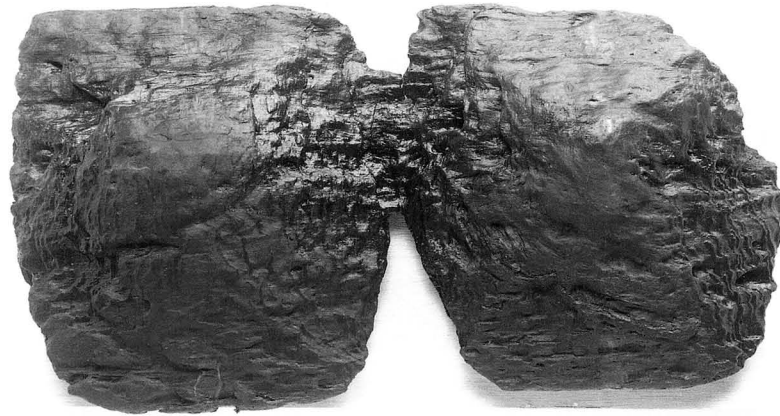


1241

1. SK1 (1223)、SK10 (1224・1225)、SK9 (1237・1241) 出土遺物



1256



1. SK7出土遺物



1. SK13出土遺物



1379



1378



1377



1398



1399



1408



1407

1. SK6出土遺物 (1377~1379)、SK14出土遺物 (1) (1398・1399・1407・1408)



1410



1416



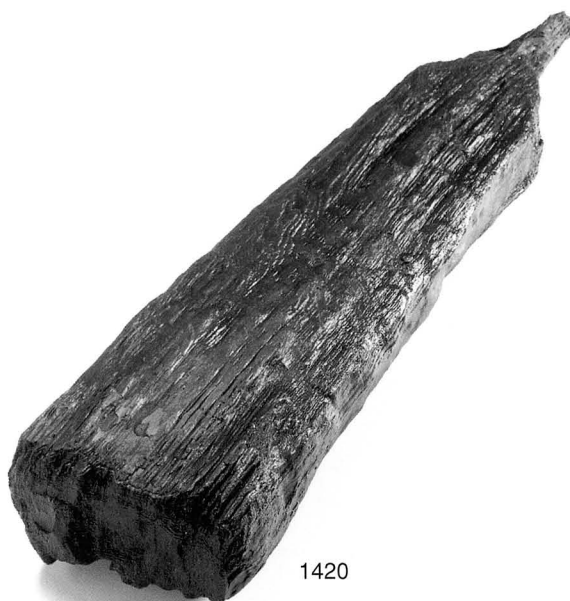
1417



1418



1409



1420



1423



1. SK14 (2)、SK22 (1423) 出土遺物



1443



1507



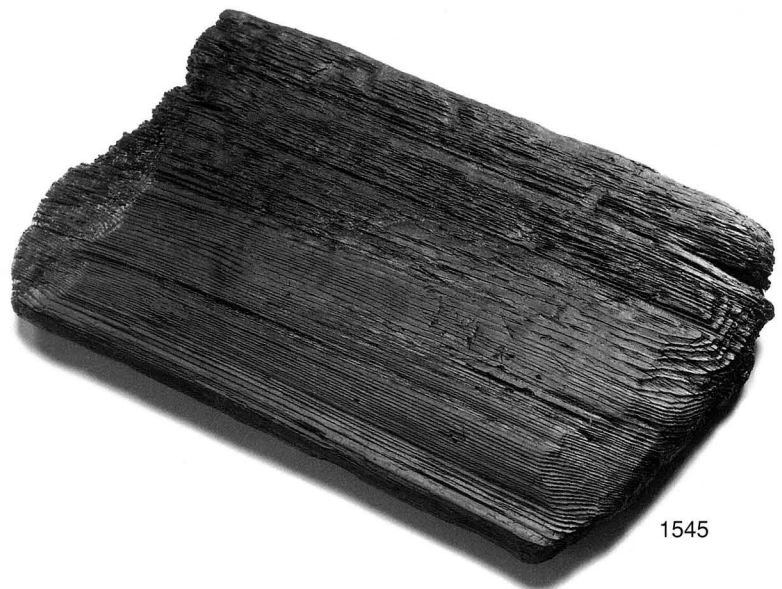
1444



1550

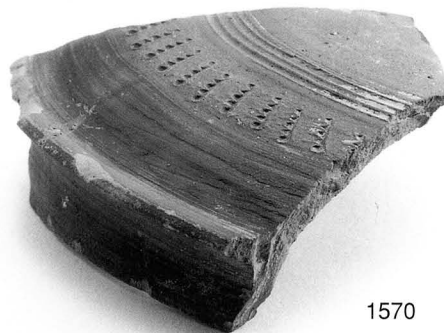
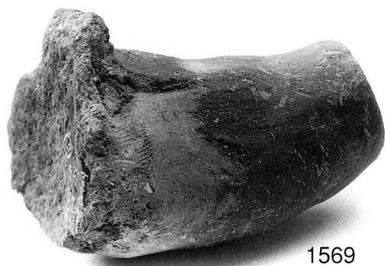
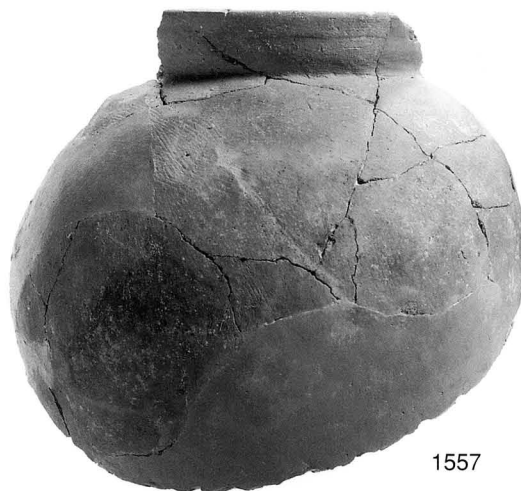


1474・1509～1538

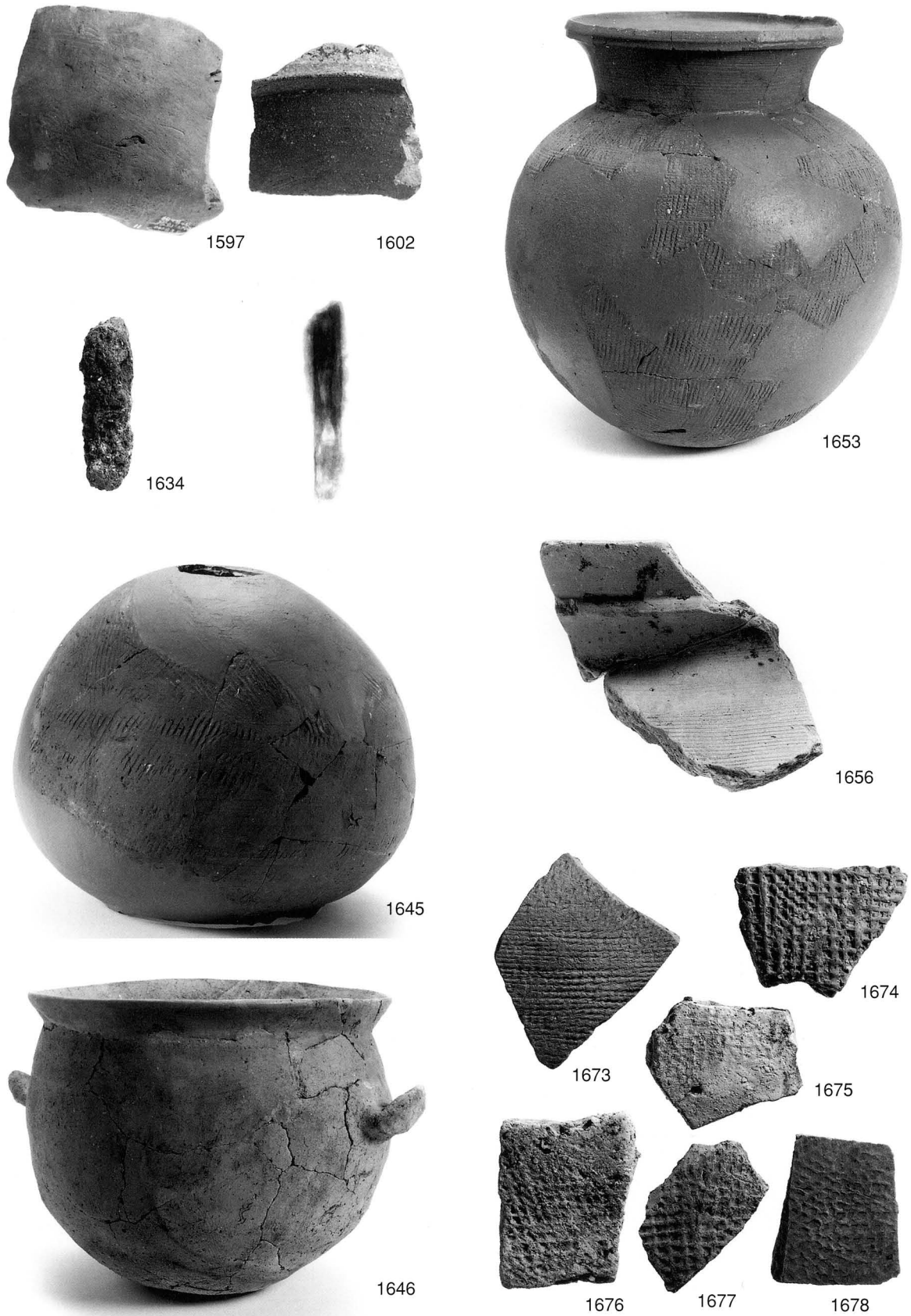


1545

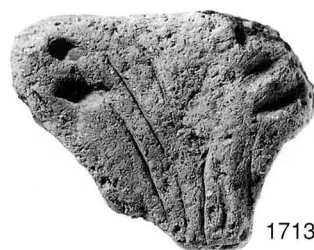
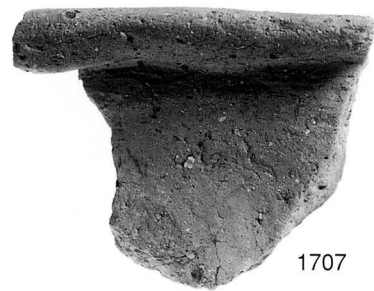
1. SK24出土遺物



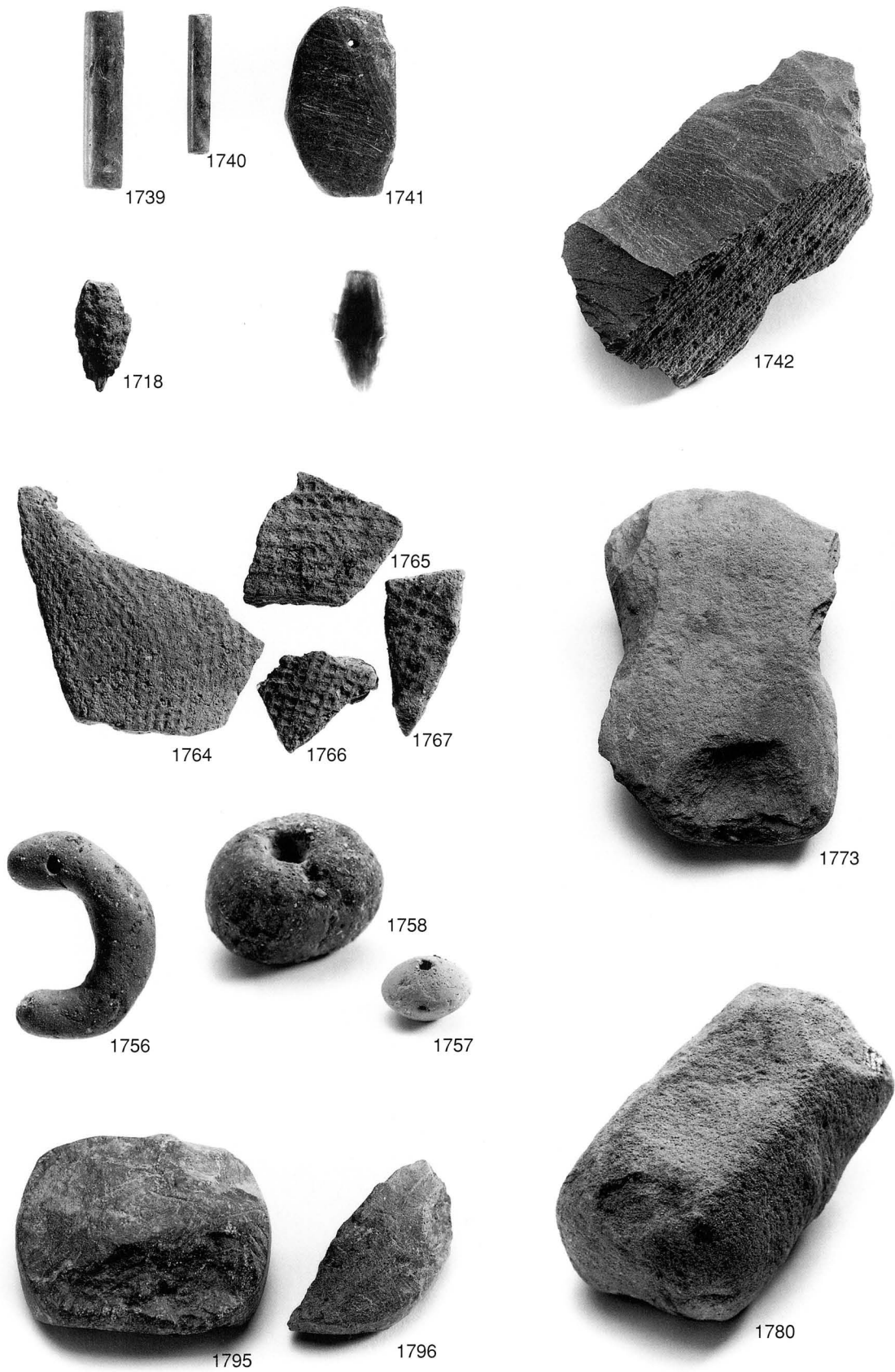
1. SK2出土遺物



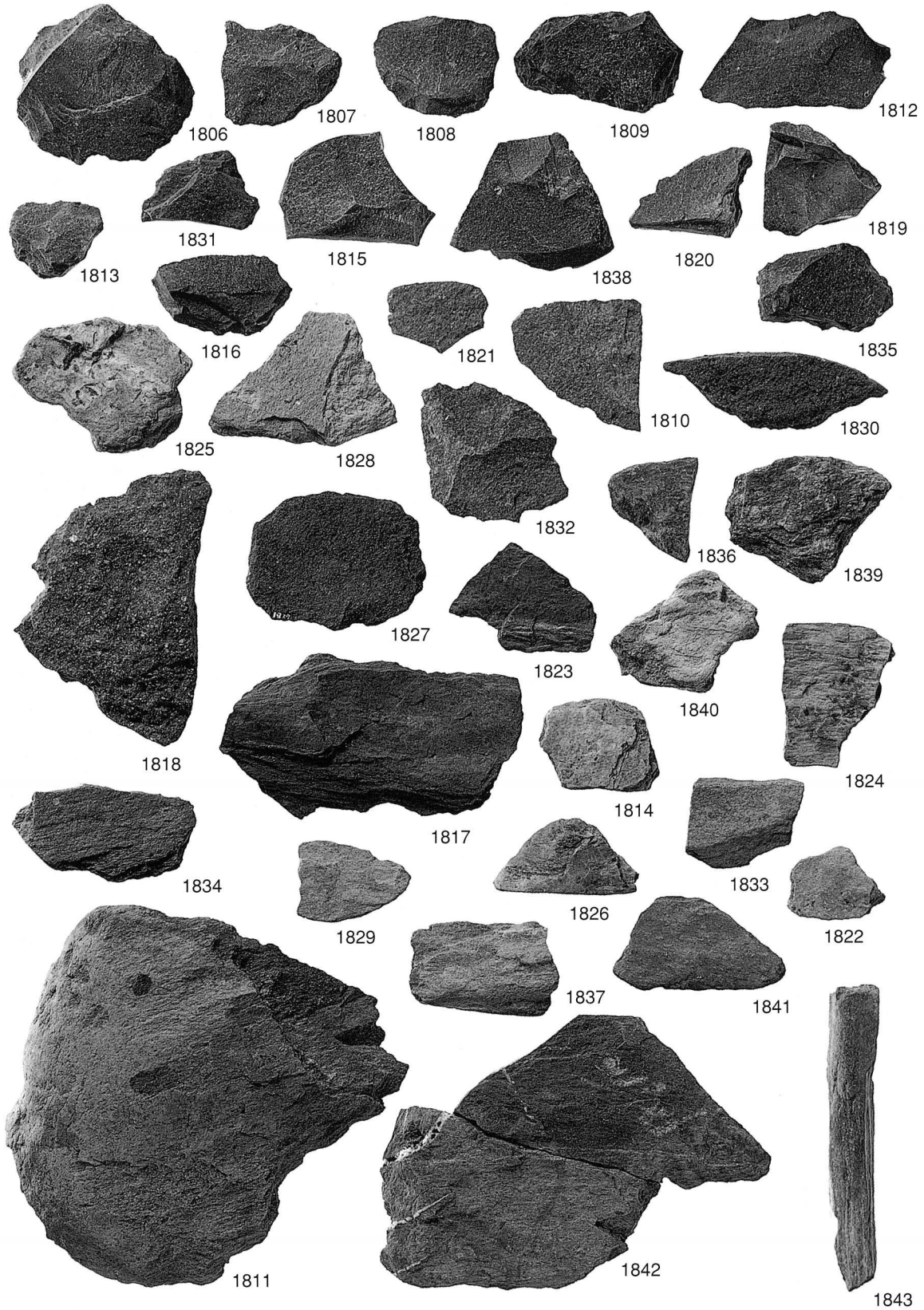
1. 掘立1 (1597・1602)、SD2 (1634)、SX2 (1645・1646)、第Ⅶ層 (1) (1653・1656・1673～1678) 出土遺物



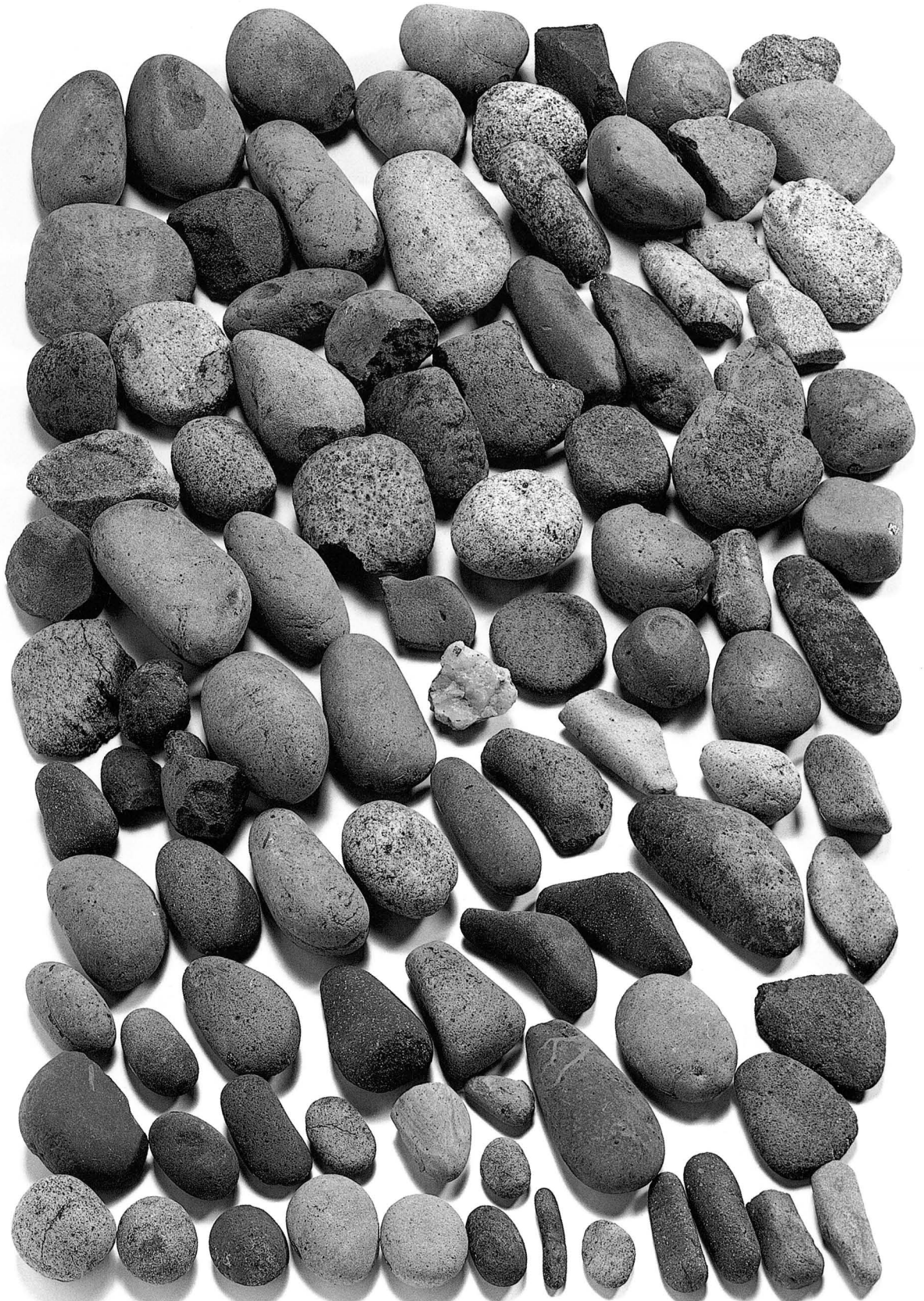
1. 第Ⅶ層出土遺物 (2)



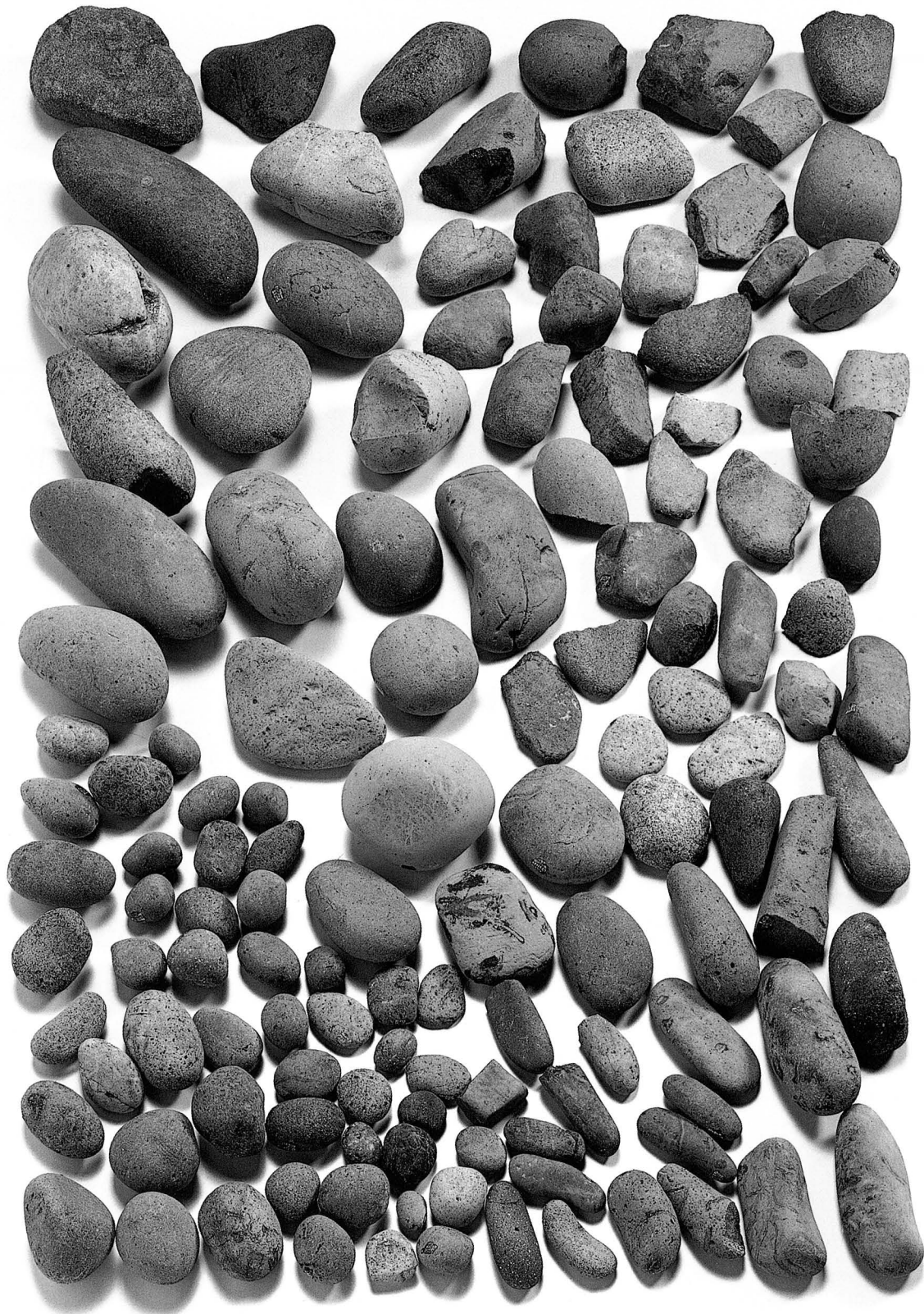
1. 第Ⅶ層(3) (1718・1739~1742)、出土地点不明(1756~1758・1764~1767・1773・1780・1795・1796)出土遺物



1. SR1②層出土遺物 石製品 (1) (1806~1843)



1. SR1②層出土遺物 石製品 (2) (1844~1942)



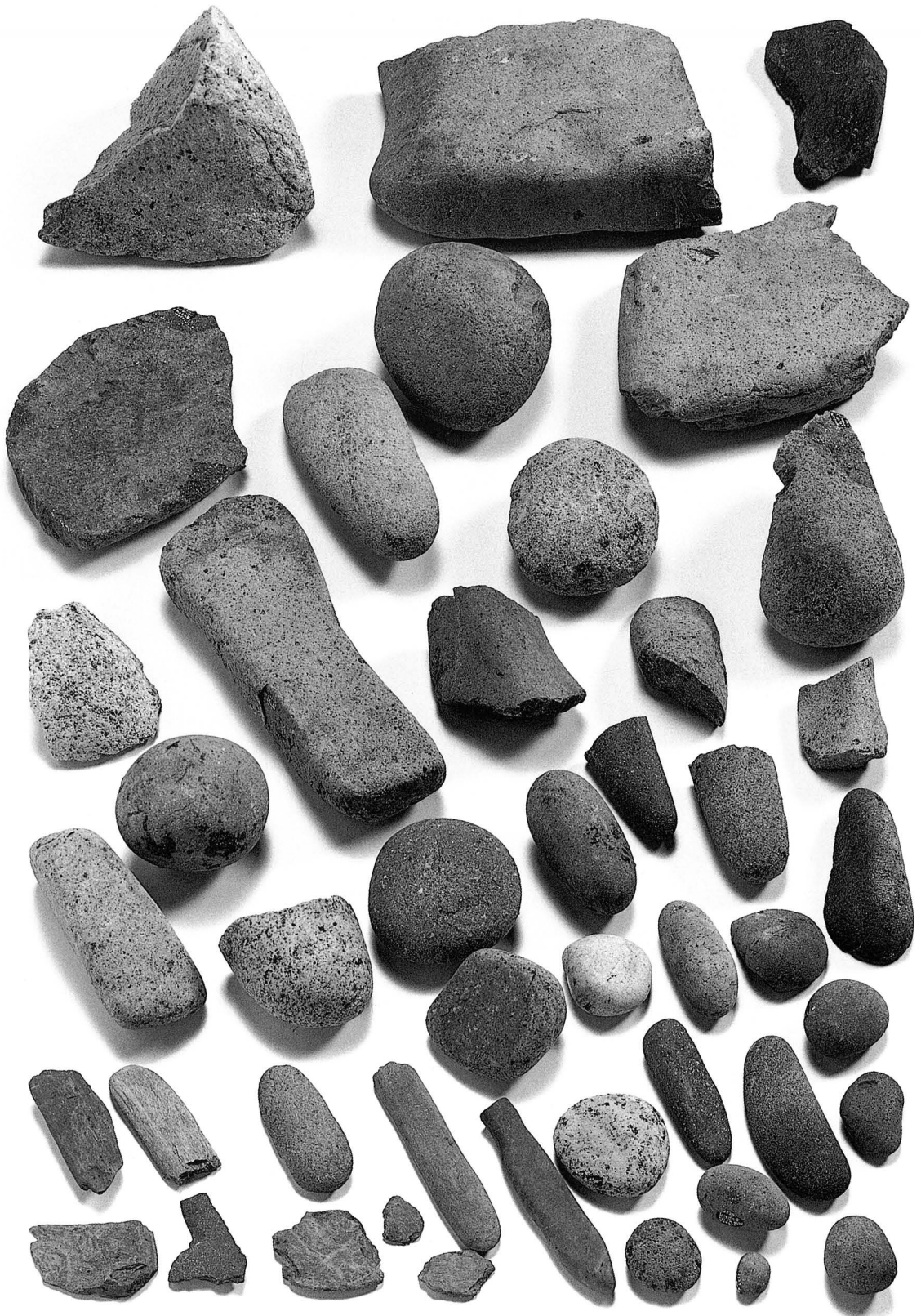
1. SR1②層出土遺物 石製品 (3) (1943~2071)



1. SR1②層出土遺物 石製品 (4) (2072~2115)



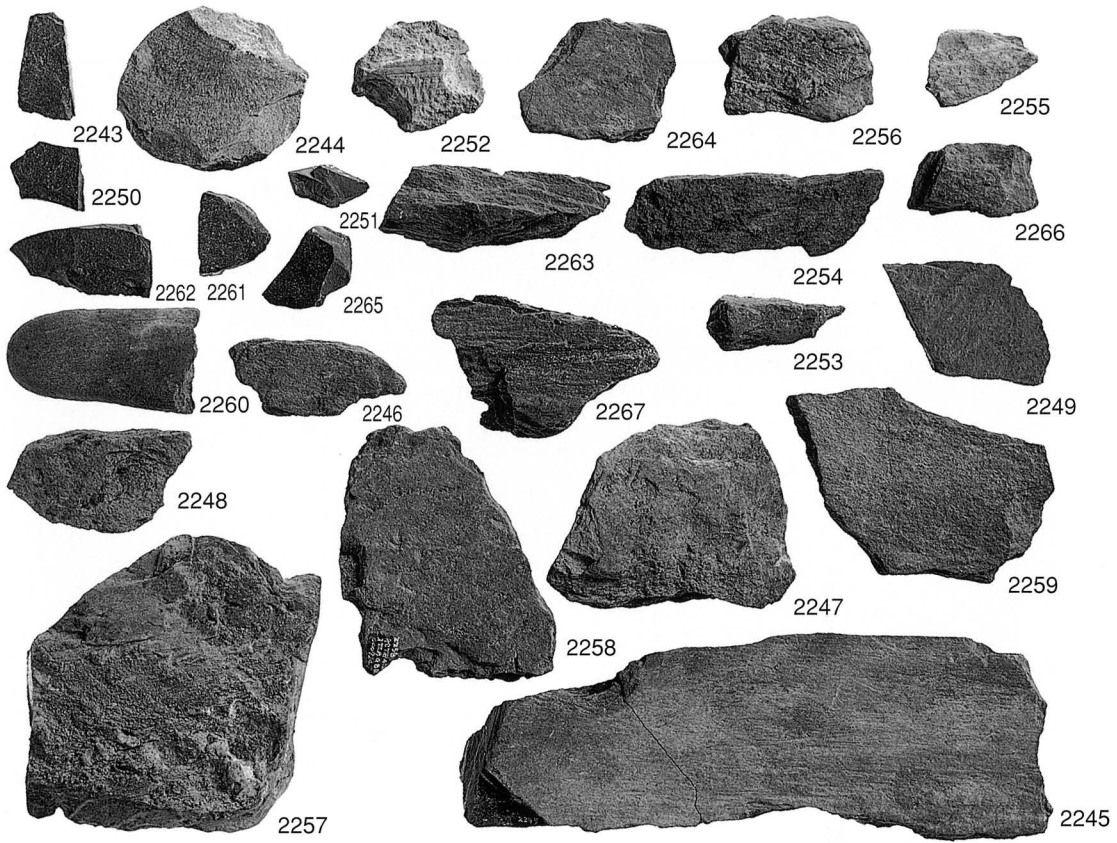
1. SR1②層出土遺物 石製品 (5) (2116~2197)



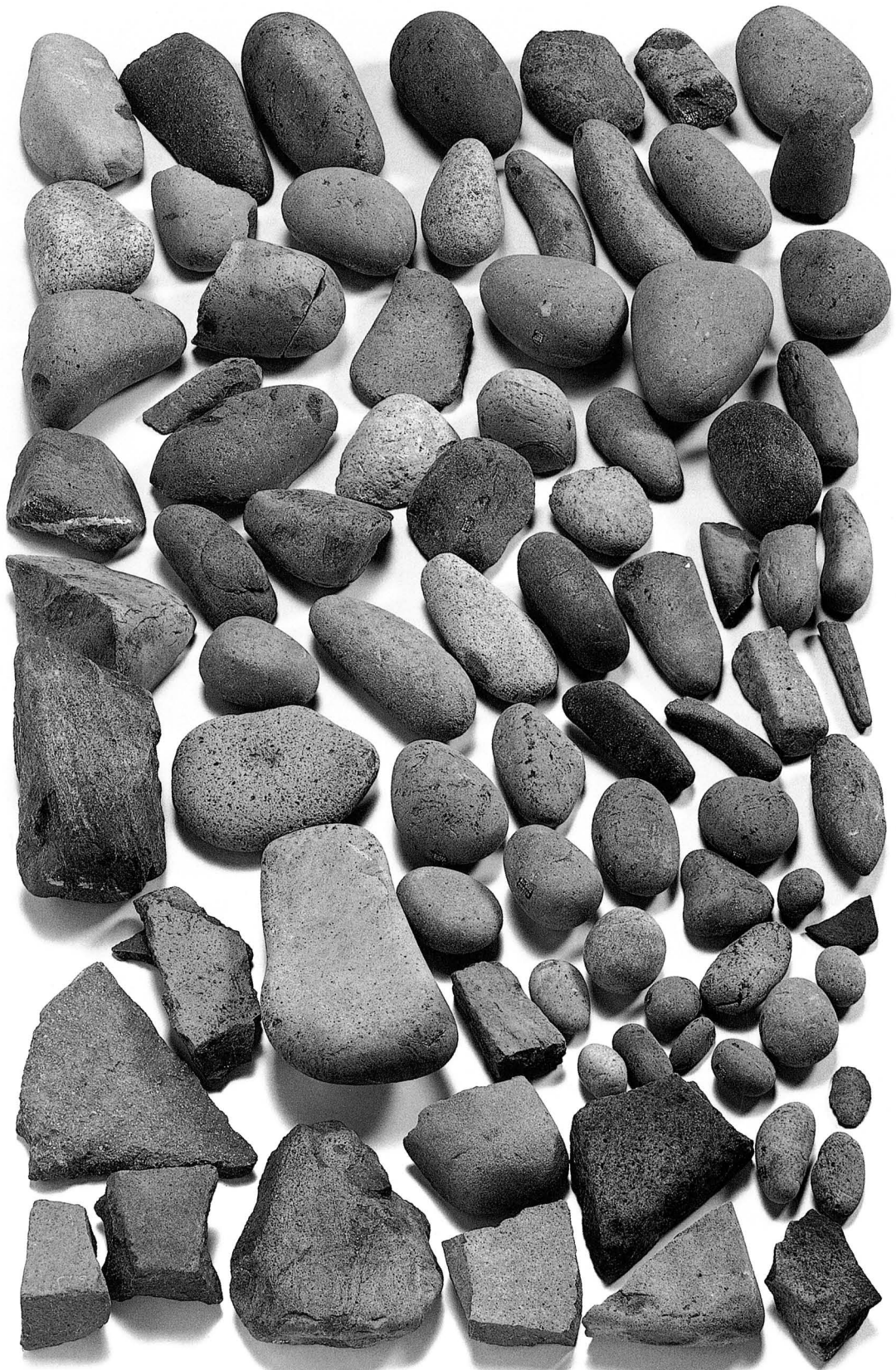
1. SR1①層出土遺物 石製品 (2198~2242)

船ヶ谷遺跡 4次調査

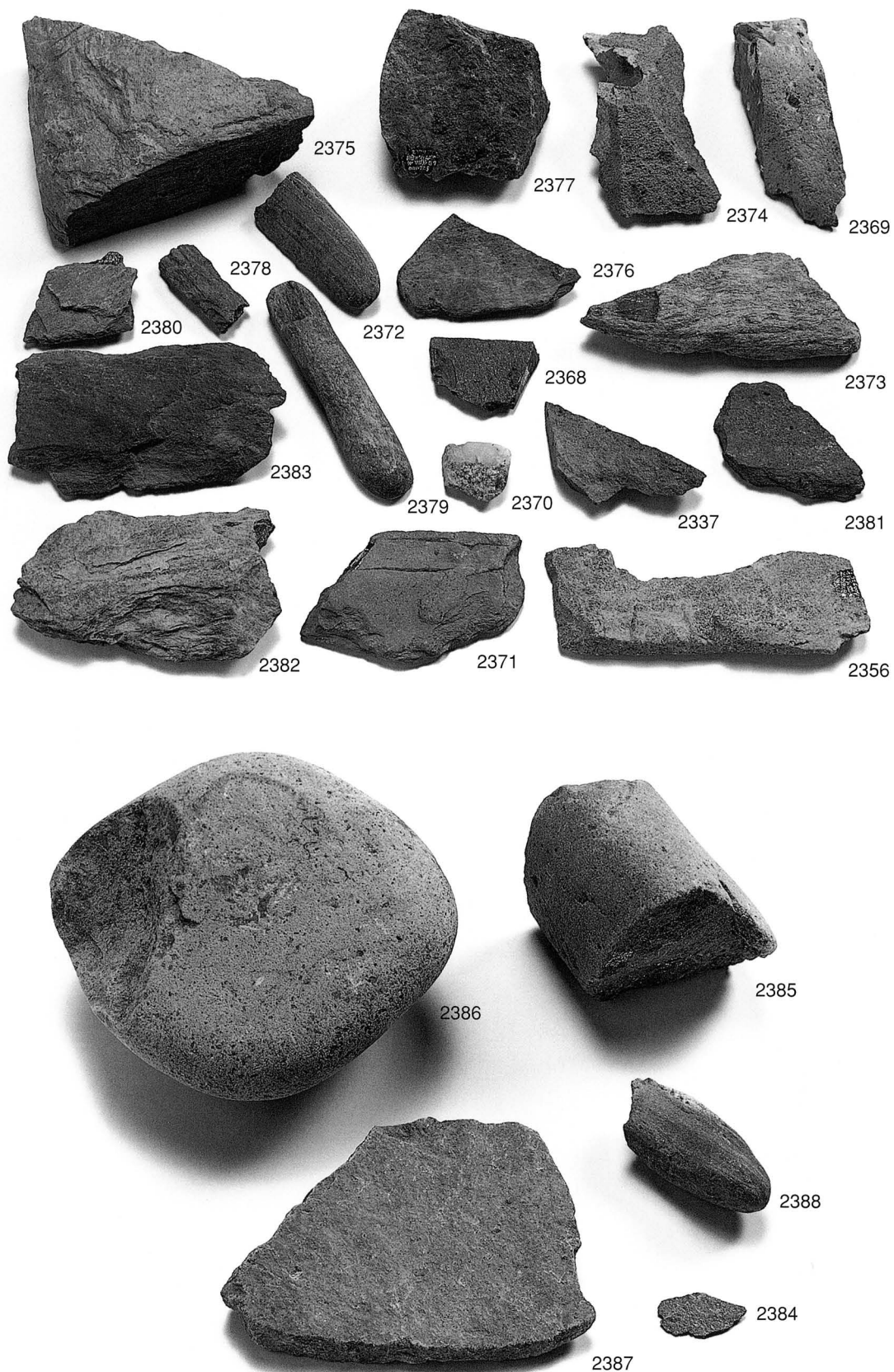
図版四〇



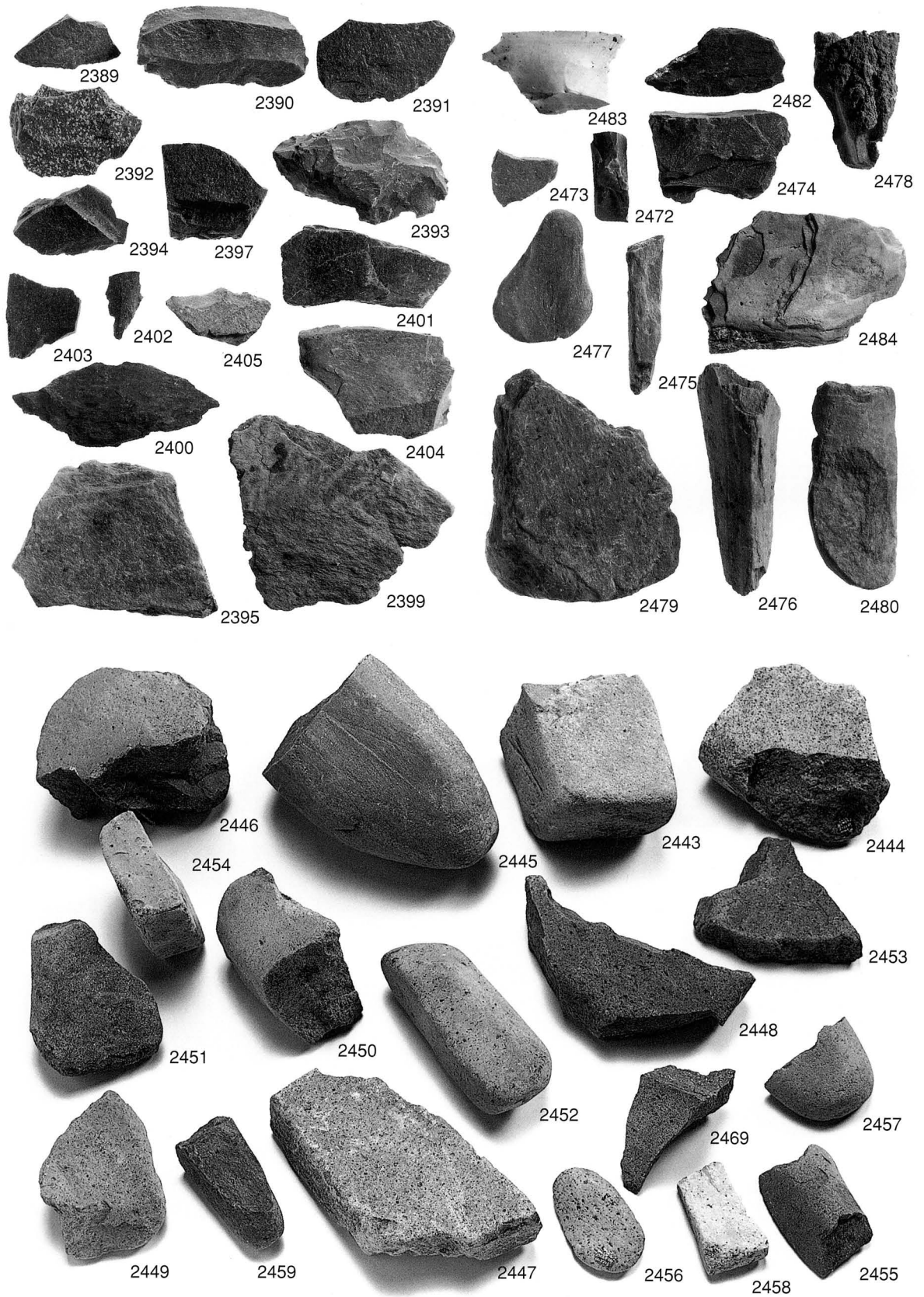
1. 第Ⅶ層出土遺物 石製品 (1) (2243~2267・2339~2352)



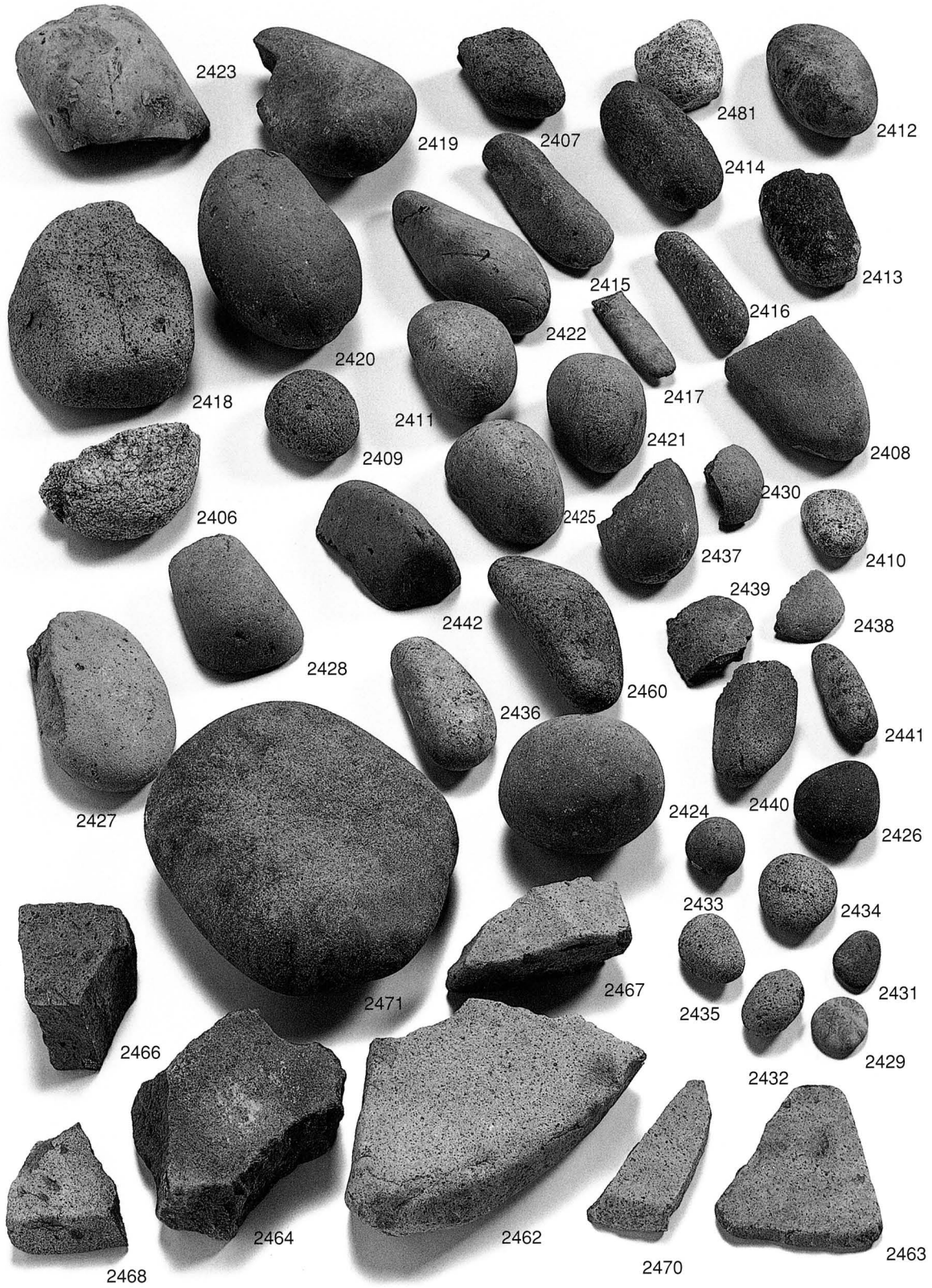
1. 第Ⅶ層出土遺物 石製品 (2) (2268~2336・2338・2353~2355・2357~2366)



1. 第Ⅶ層(3)・第Ⅵ層出土遺物 石製品 上 第Ⅶ層(2337・2356・2368~2383)
下 第Ⅵ層(2384~2388)



1. 出土地点不明出土遺物 石製品 (1) (2389~2395・2397・2399~2405・2443~2459・2469・2472~2480・2482~2484)



1. 出土地点不明出土遺物 石製品 (2) (2406~2442・2460・2462~2464・2466~2468・2470・2471・2481)

福音小学校構内遺跡

写真図版

写真図版例言

1. 遺構は、35mm判で撮影された。

使用機材：

カメラ ミノルタX-700
フィルム 白黒ネオパンSS / カラー カラーネガフィルム

2. 遺物は、4×5判または6×9判で撮影した。すべて白黒フィルムで撮影しているが、一部はカラーリバーサルフィルムでも撮影している。

使用機材：

カメラ トヨビュー-45G・69ロールフィルムホルダー
レンズ ジンマーS240mmF5.6 他
ストロボ コメット/C A32・C B2400
スタンド等 トヨ無影撮影台・ウエイトスタンド101
フィルム 白黒 プラスXパン・ネオパンアクロス

3. 単色図版は、X線写真を除いた白黒プリントを等倍で使用できるように焼き付けているが、遺構写真の一部は、カラープリントを原稿とした。

使用機材：

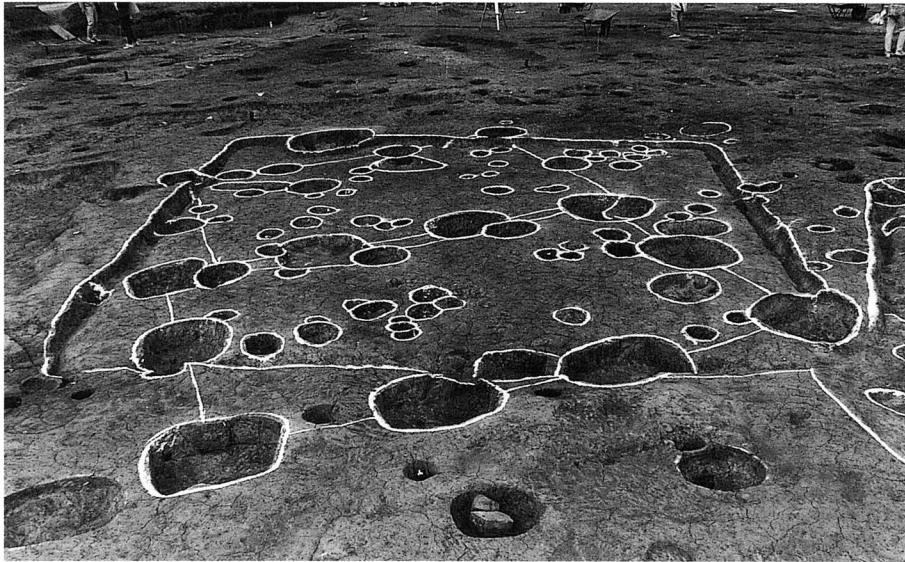
引伸器 ラッキーMD・90MS
レンズ エル・ニッコール135mm F5.6A・50mmF2.8N
印画紙 インフォールドマルチグレードIV RCペーパー

4. 製版 写真図版175線
印刷 オフセット印刷
用紙 マットコート135kg
製本 アジロ綴

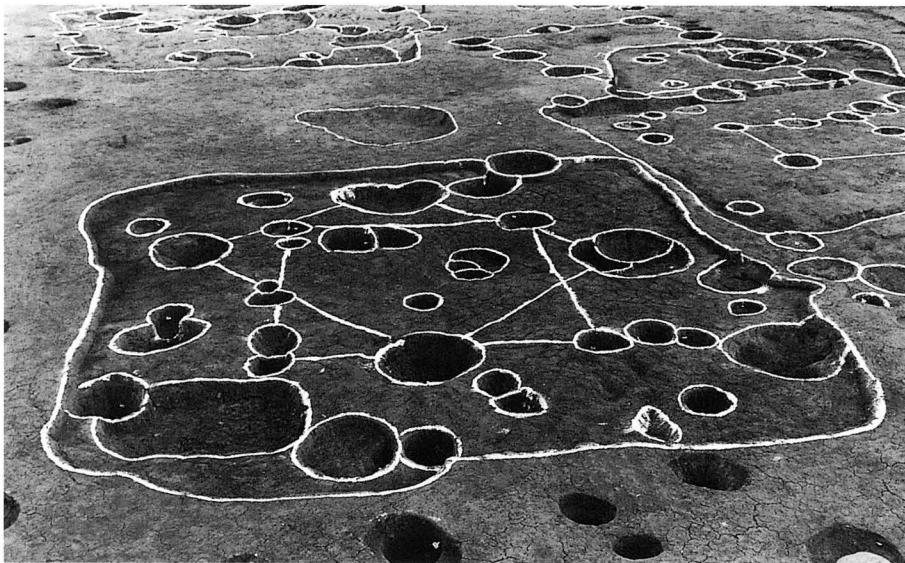
【参考文献】 『埋文写真研究』 Vol. 1～13
『報告書作成ガイド』

[大西 朋子]

福音小学校構内遺跡



1. SB125 (南西より)

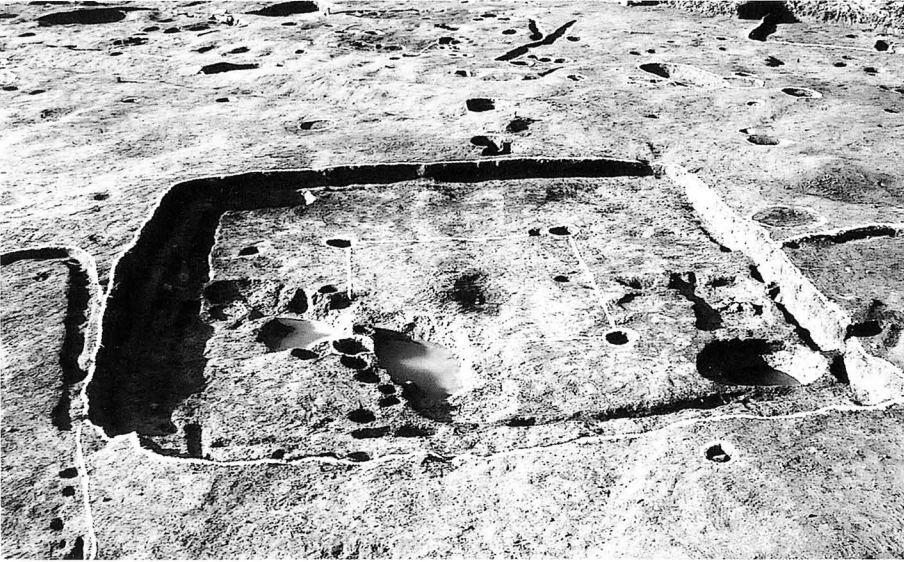


2. SB126 (北より)

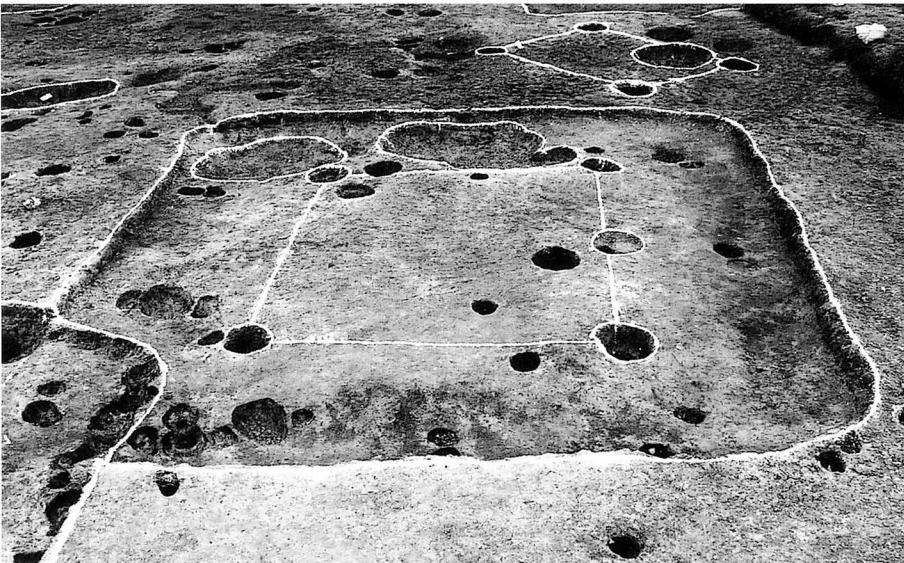


3. SB163 (東より)

福音小学校構内遺跡



1. SB7 (南東より)



2. SB10 (西より)



3. SB18 (北より)

福音小学校構内遺跡



1. SB33 (南より)



2. SB39 (北東より)



3. SB52 (南東より)

福音小学校構内遺跡



1. SB62 (西より)

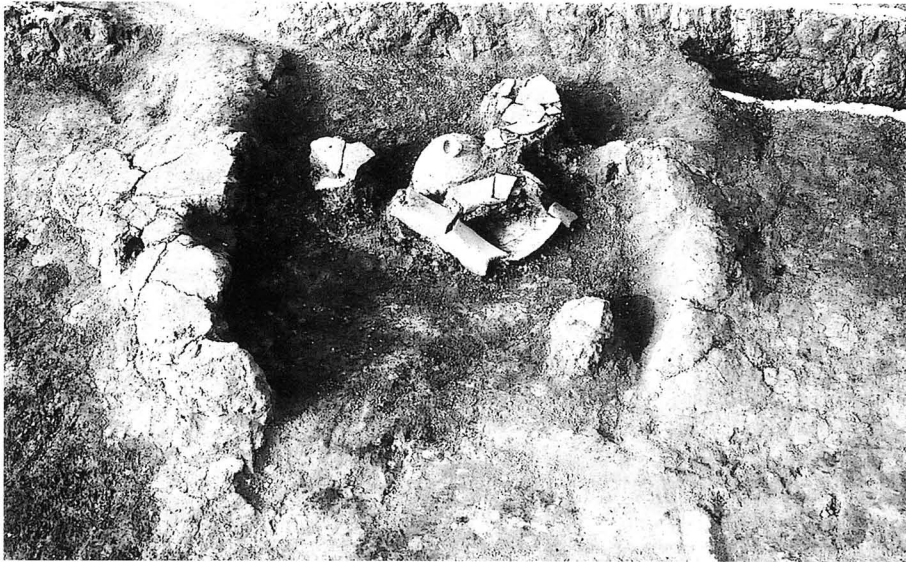


2. SB81 (南より)



3. SB82 (南より)

福音小学校構内遺跡



1. SB82竈内遺物出土状況
(南より)



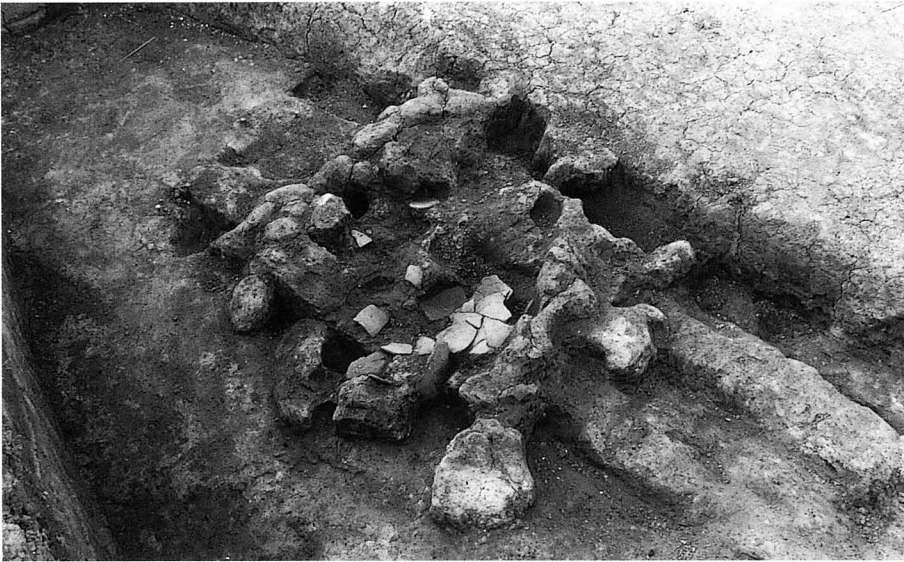
2. SB93竈内遺物出土状況
(北より)



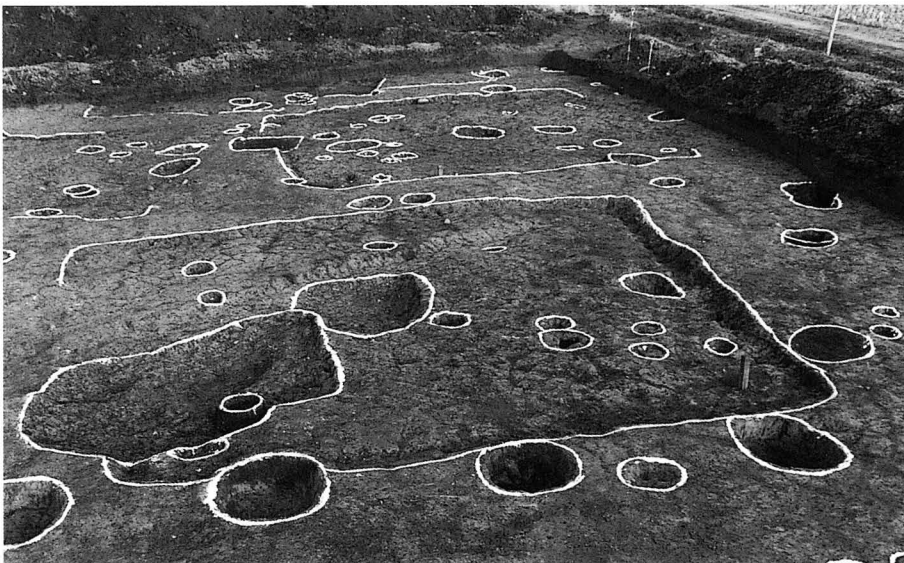
3. SB94 (南東より)

福音小学校構内遺跡

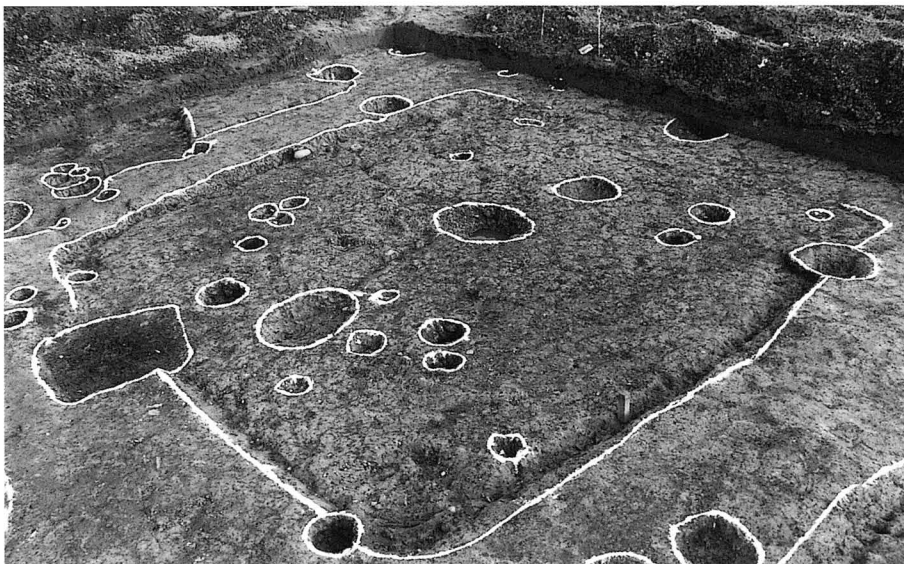
図版五〇



1. SB97竈内遺物出土状況
(東より)

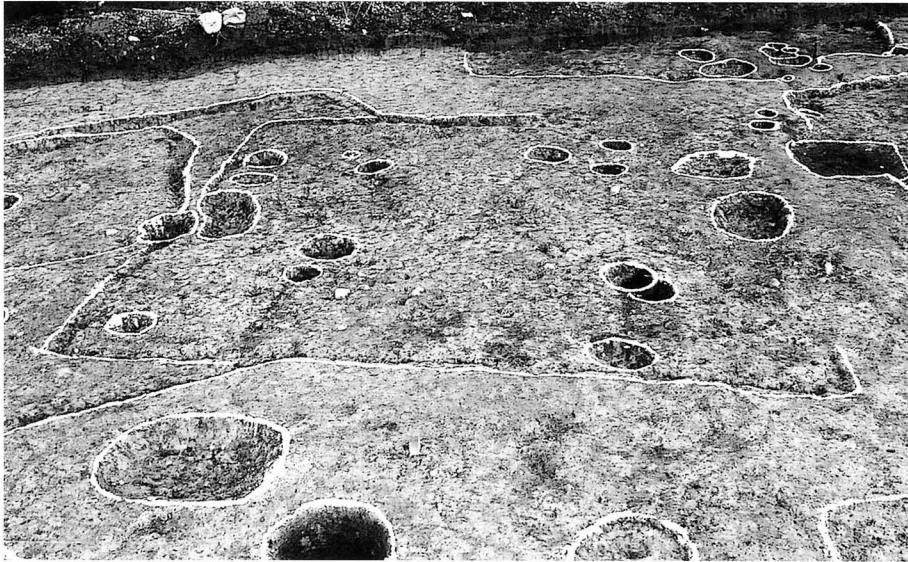


2. SB102 (西より)

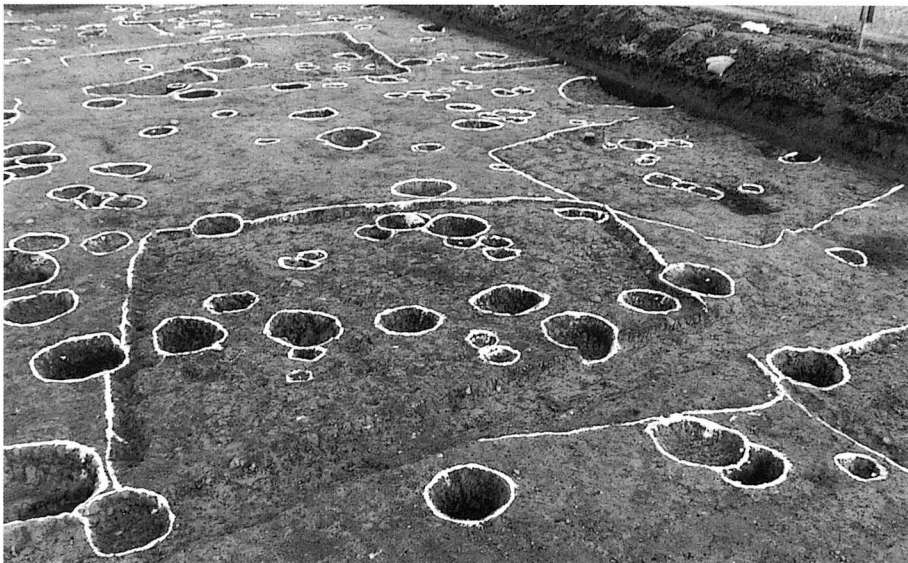


3. SB103 (北西より)

福音小学校構内遺跡



1. SB107 (西より)



2. SB108 (西より)

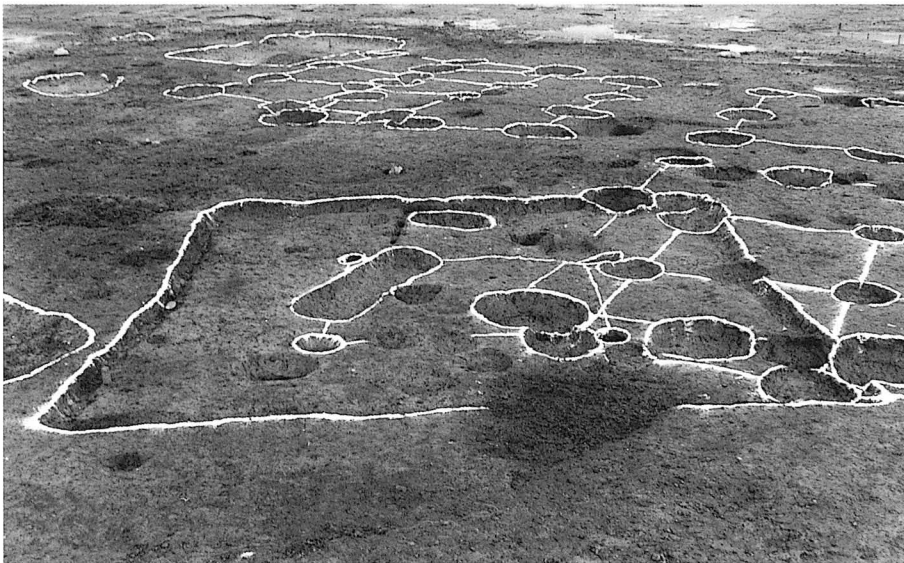


3. SB137 (南東より)

福音小学校構内遺跡



1. SB131・132 (北東より)

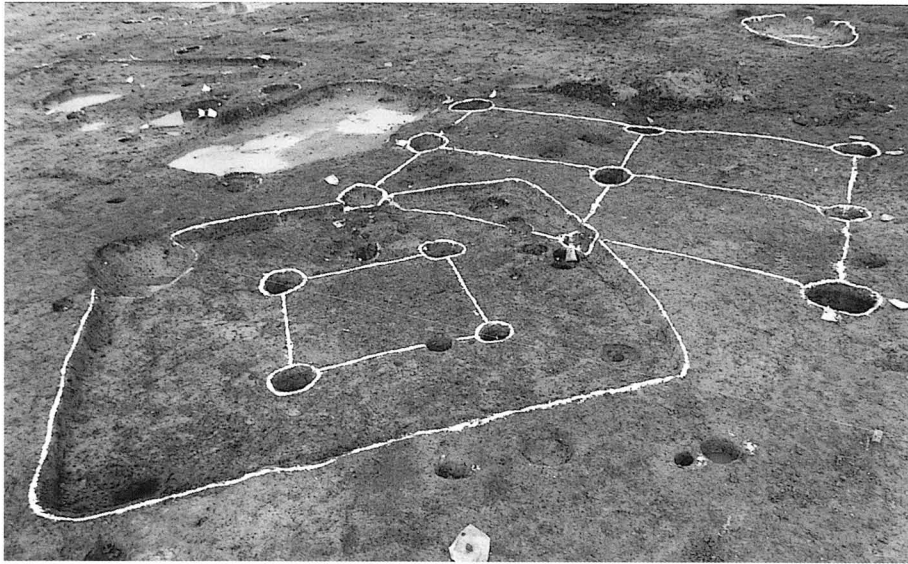


2. SB3 (西より)

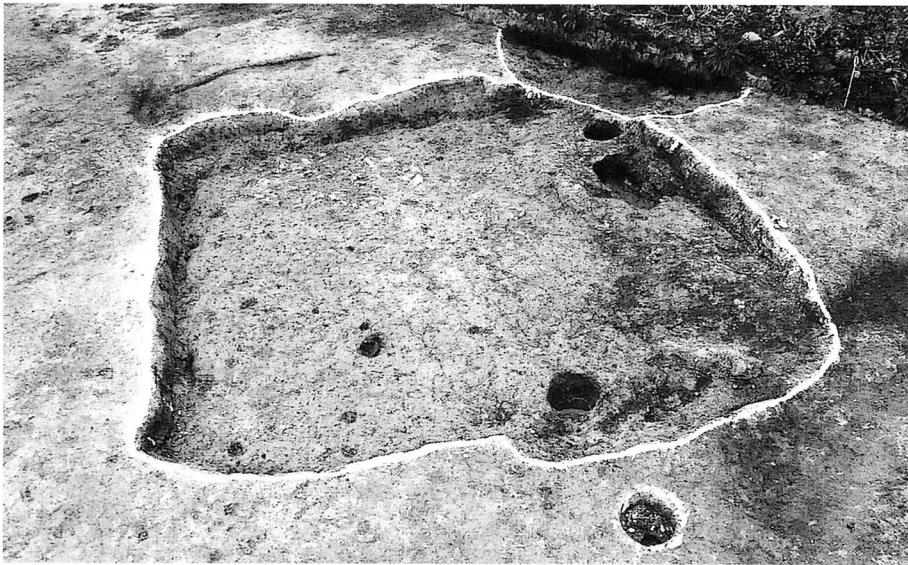


3. SB1 (北西より)

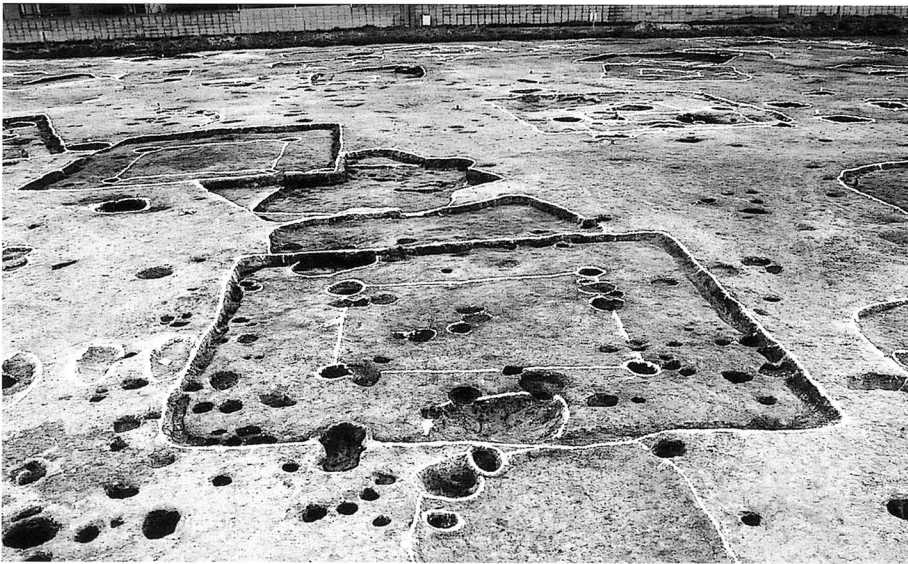
福音小学校構内遺跡



1. SB5 (南西より)



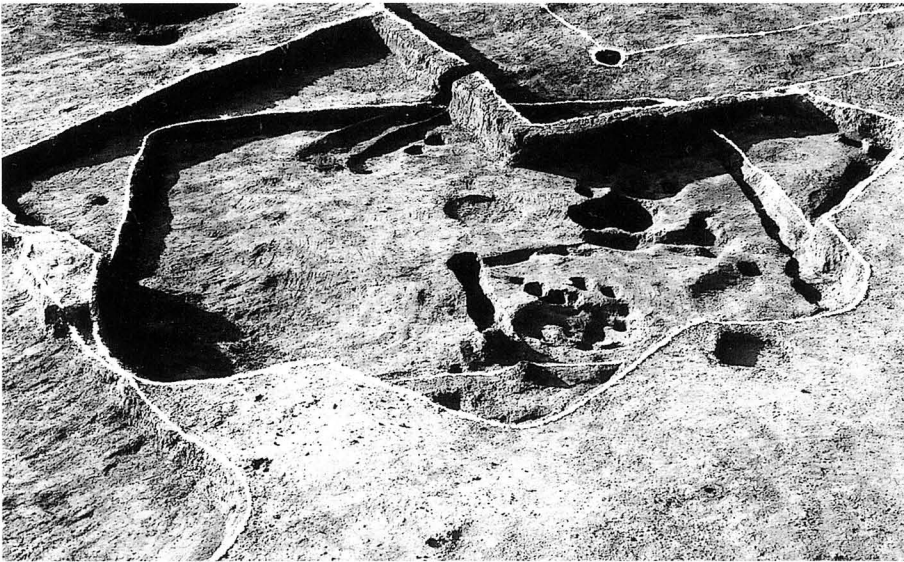
2. SB13 (南東より)



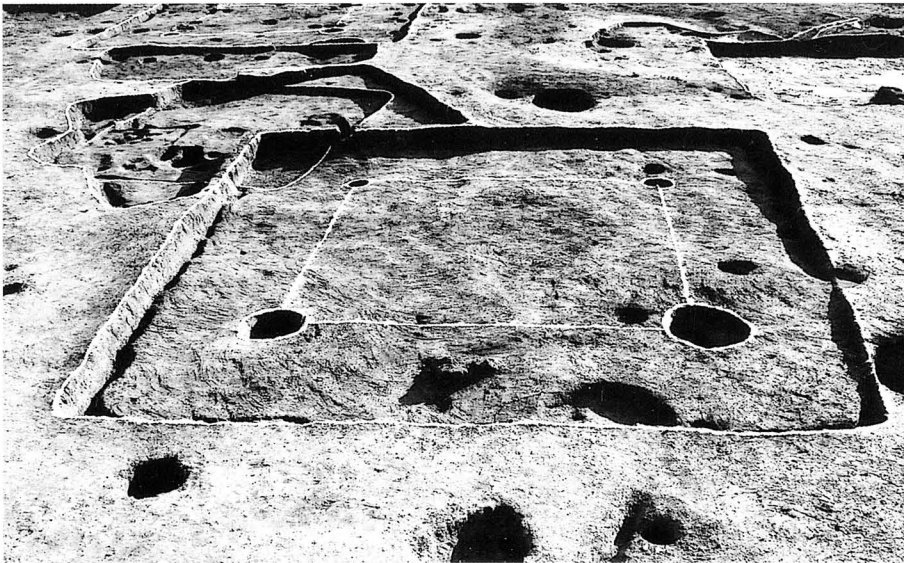
3. SB14 (南より)

福音小学校構内遺跡

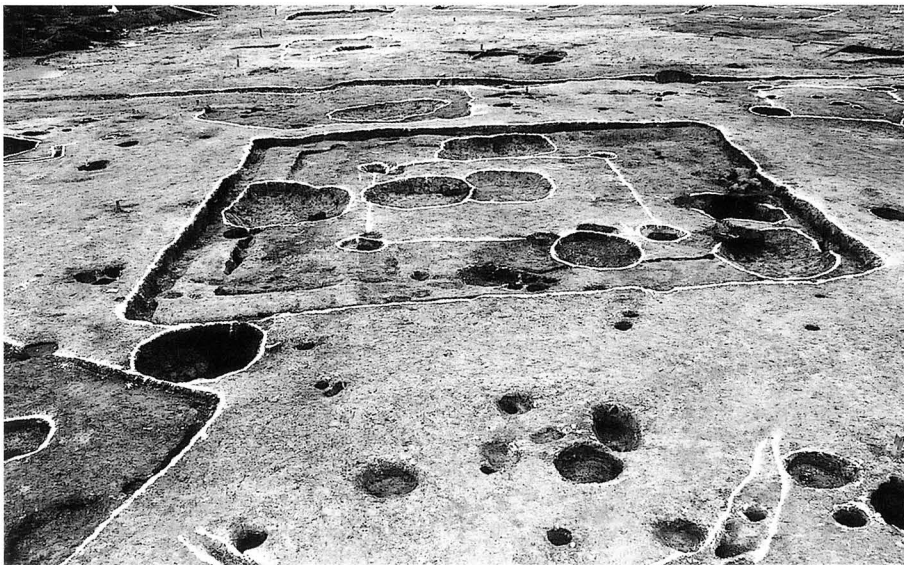
図版五四



1. SB16 (南東より)

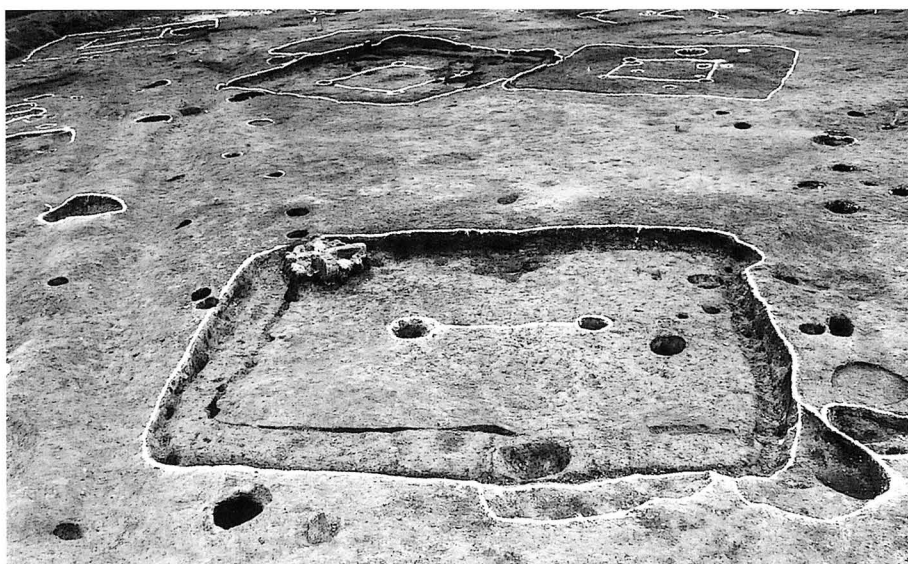


2. SB17 (北東より)

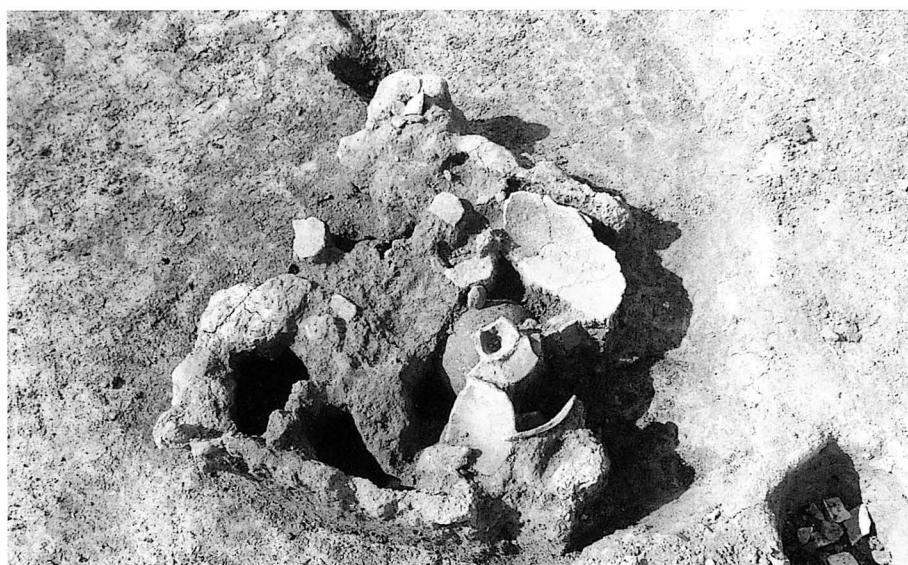


3. SB26 (東より)

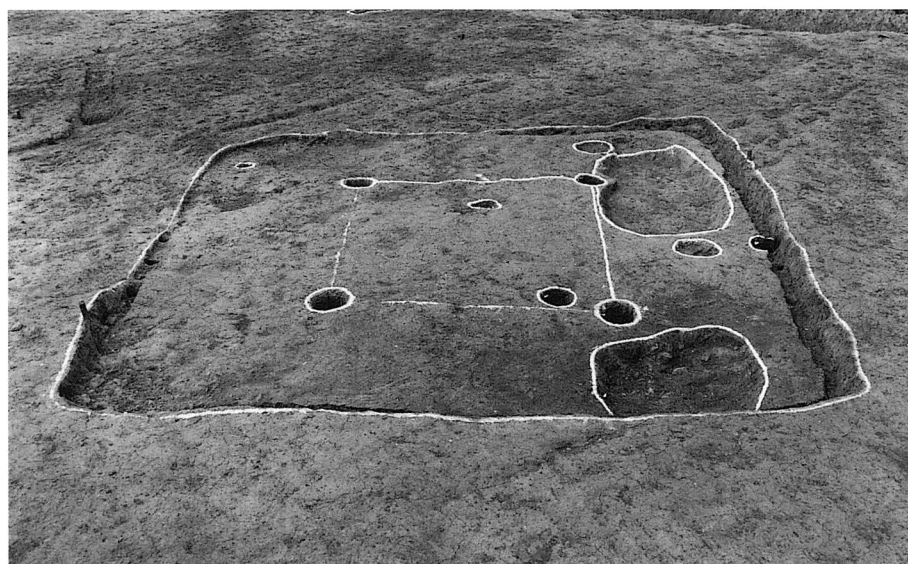
福音小学校構内遺跡



1. SB46 (西より)



2. SB46竈内遺物出土状況
(東より)



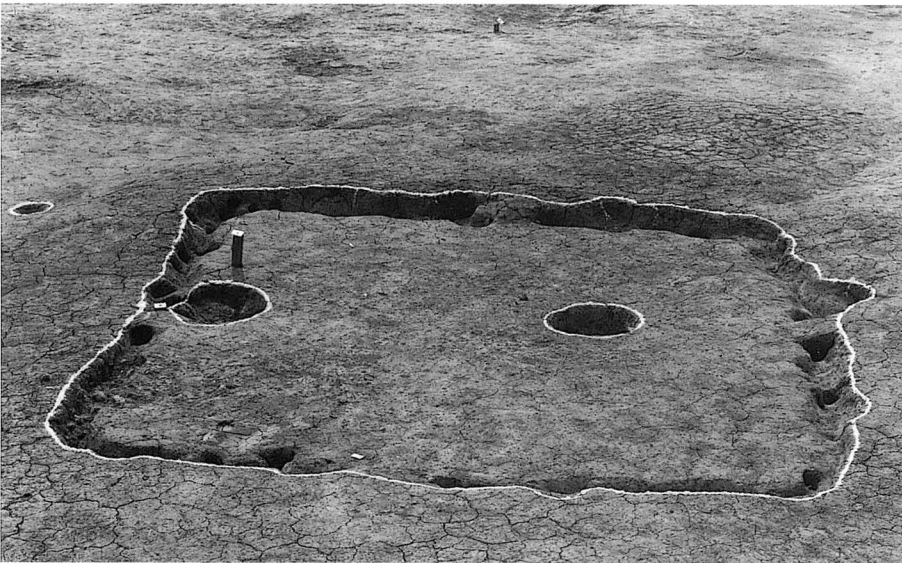
3. SB49 (南東より)

福音小学校構内遺跡

図版五六



1. SB57 (北東より)



2. SB70 (東より)

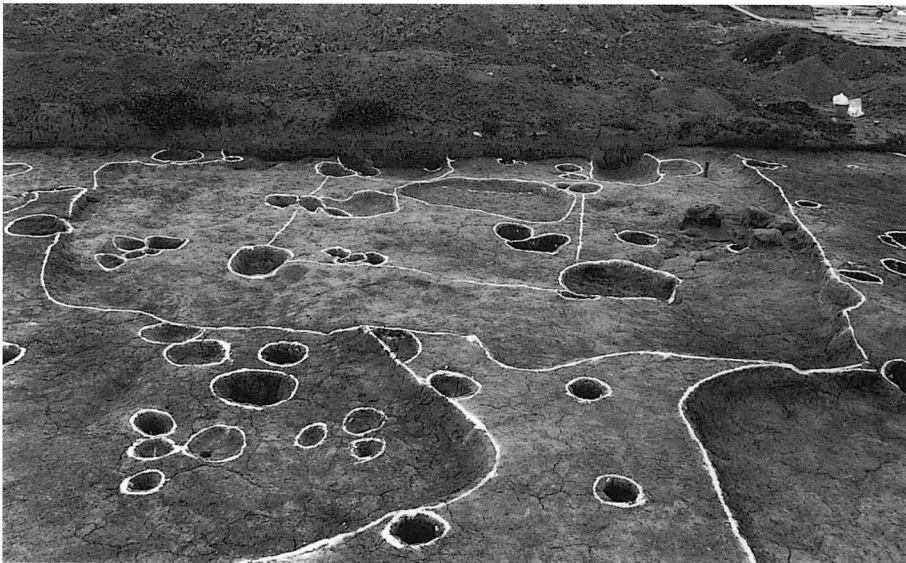


3. SB71 (南より)

福音小学校構内遺跡



1. SB85 (西より)



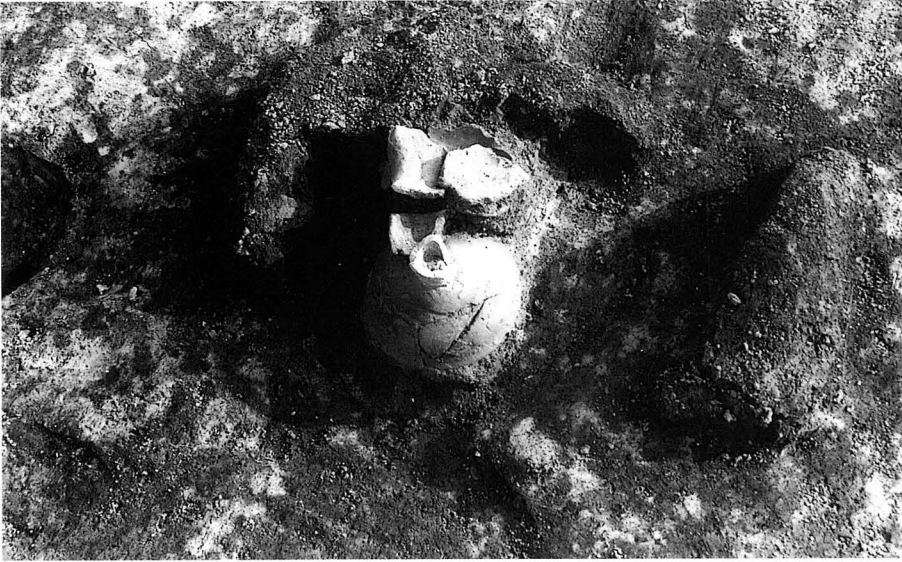
2. SB98 (東より)



3. SB98竈 (南より)

福音小学校構内遺跡

図版五八



1. SB113竈内遺物出土状況
(北より)



2. SB127竈内遺物出土状況
(南より)



3. SB128 (北より)

福音小学校構内遺跡



1. SB128竈内遺物出土状況
(南東より)



2. SB19 (北より)



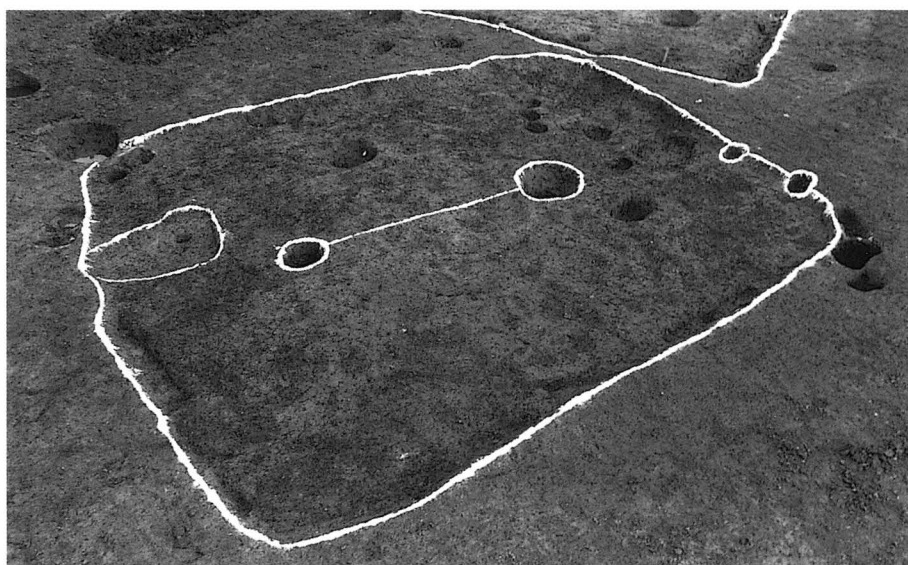
3. SB19竈 (南より)

福音小学校構内遺跡

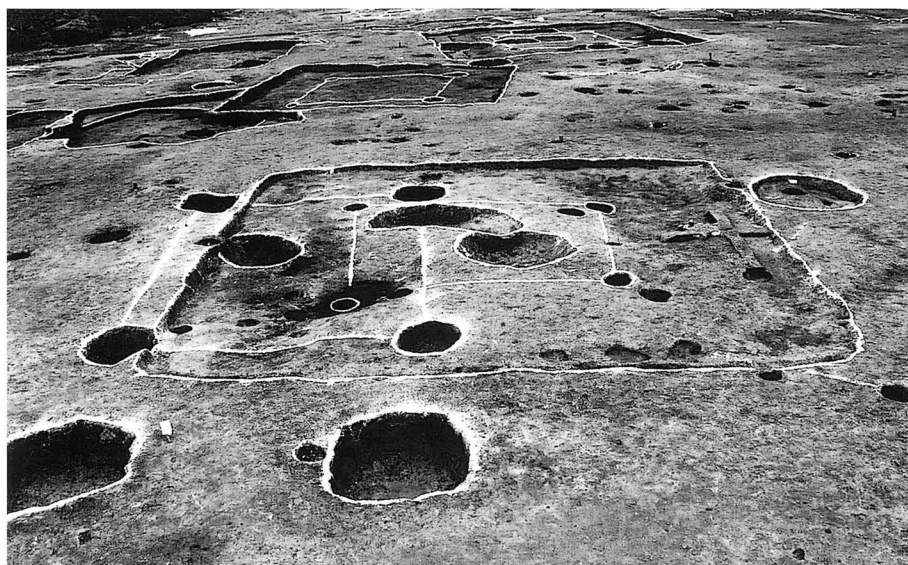
図版六〇



1. SB138 (北より)



2. SB4 (西より)

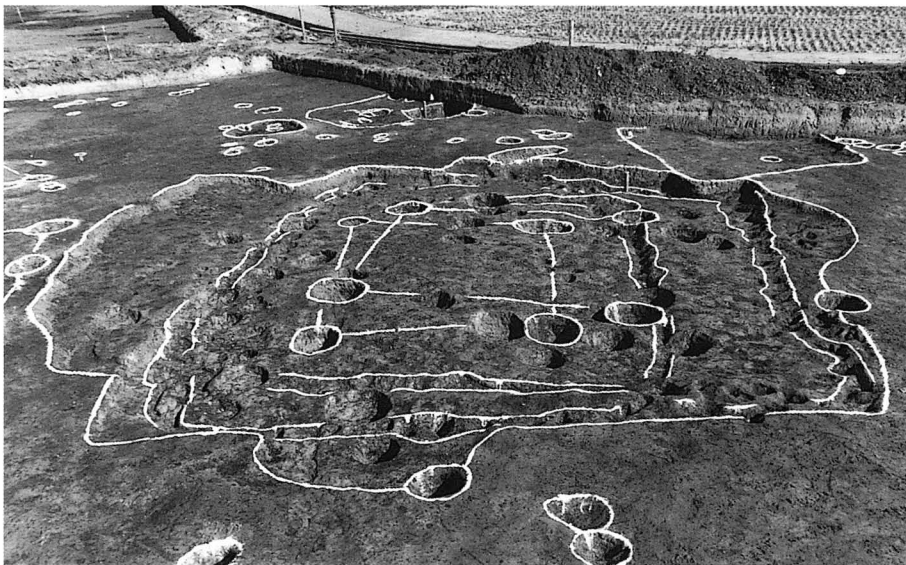


3. SB11 (東より)

福音小学校構内遺跡



1. SB80 (南東より)

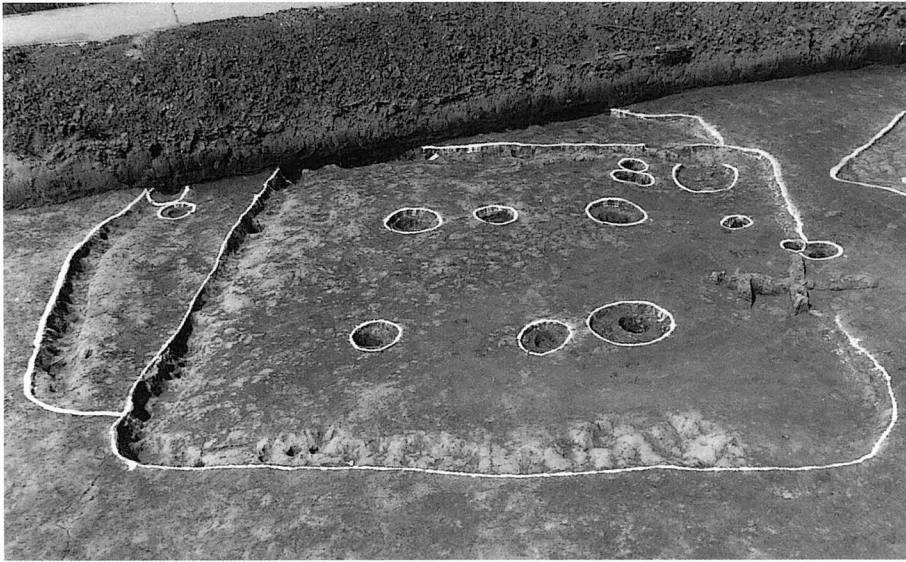


2. SB101 (南西より)

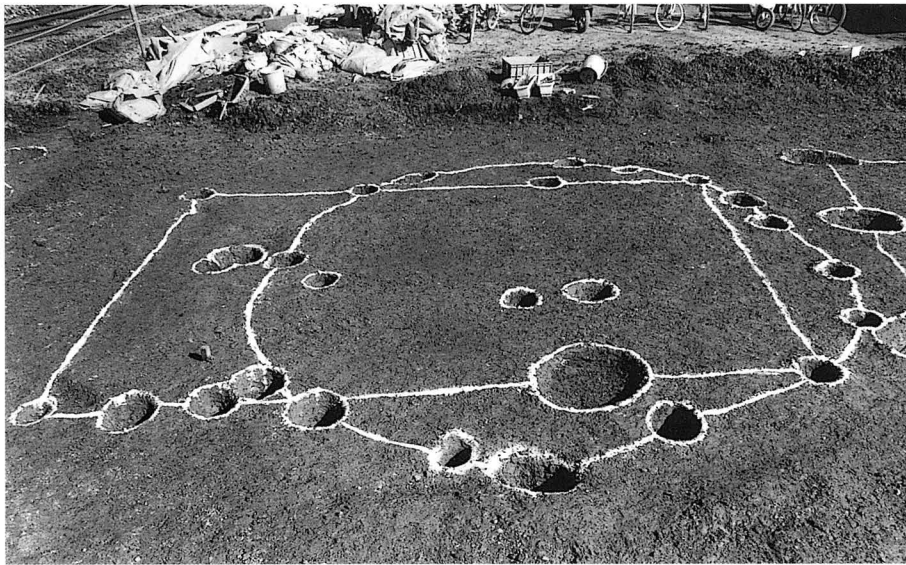


3. SB129 (北より)

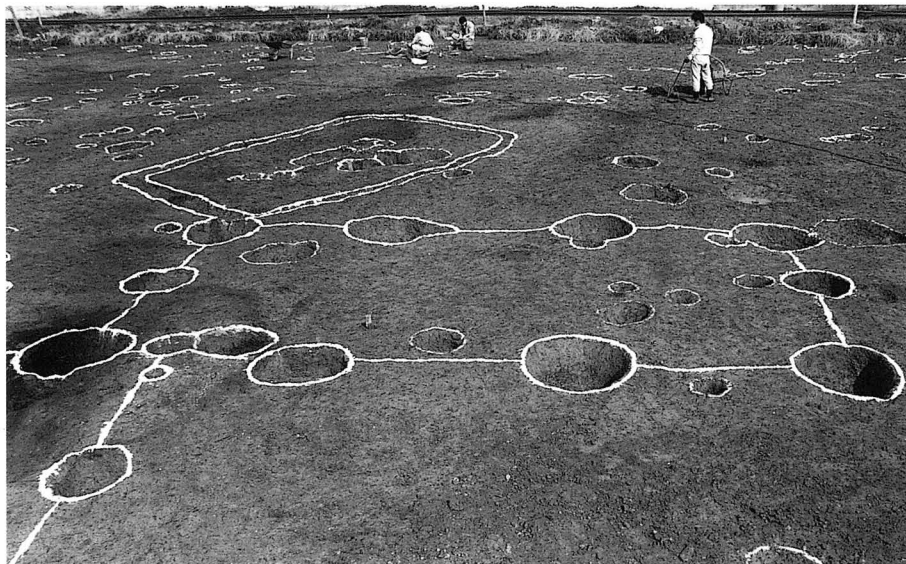
福音小学校構内遺跡



1. SB164・165 (南東より)

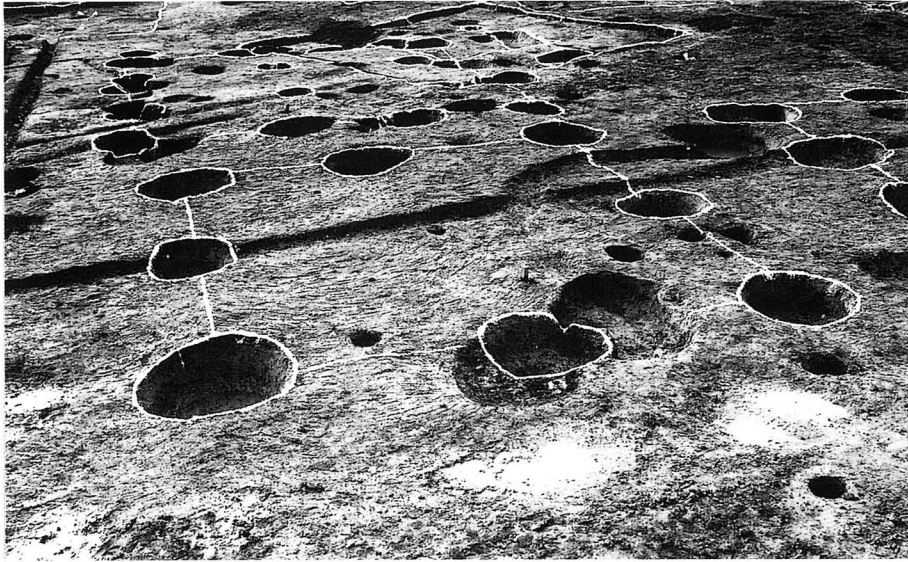


2. 掘立5 (西より)

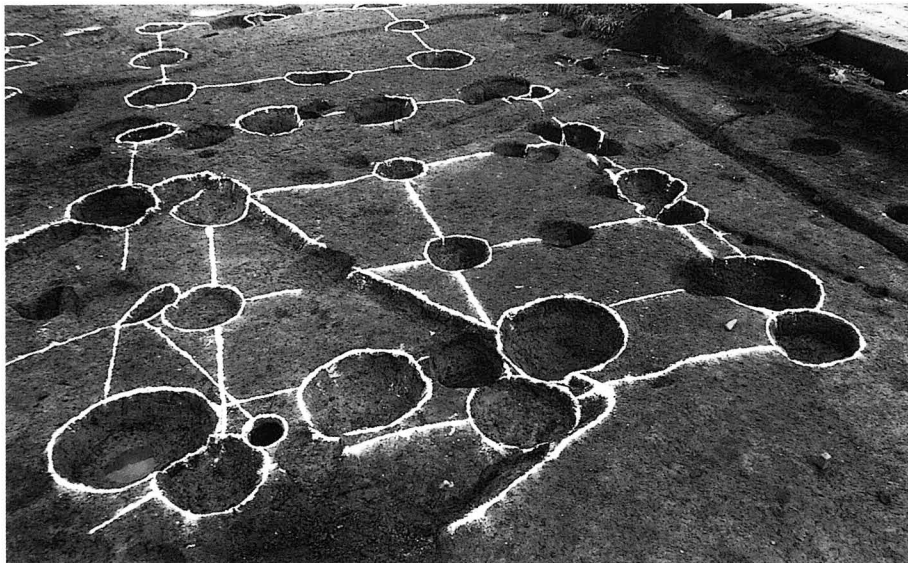


3. 掘立10 (南より)

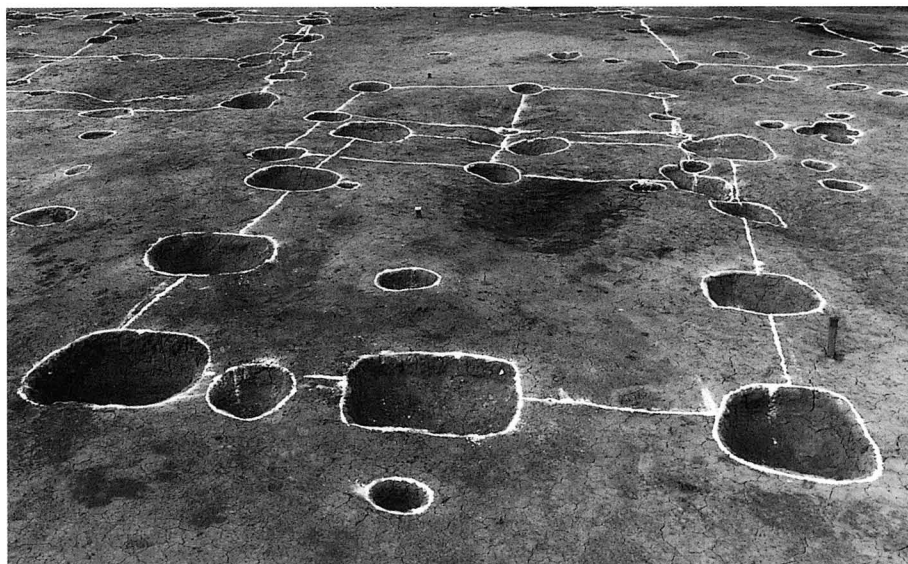
福音小学校構内遺跡



1. 掘立13 (東より)



2. 掘立20 (北西より)



3. 掘立43 (南より)